

社会医療法人 **かりゆし会 年報** 第30巻 2023年度
(2023年4月1日～2024年3月31日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.30 2023 (April 1, 2023-March 31, 2024)

年報発刊によせて



前回の年報にて、診療圏の 5 市町村（西原町、宜野湾市、中城村、南城市、与那原町）の人口推移と近隣医療機関の動向について述べました。2035 年まで人口推移は全体的に横ばいでしたが、医療需要は約 1.4 倍、介護需要は 1.8 倍と推定されています。

2023 年 5 月にコロナが 5 類になり、通常の診療に戻ったかと思いきや、病床利用率が極度に減少しています。2018 年の病床利用率は 87.9%、2019 年は 90.2%、2022 年は 79.8%、2023 年は 79.7%、2024 年の 4 月は 74.3%、5 月は 79.9% と厳しい状況にあります。その背景を分析してみると、救急搬送件数が減少（入院率減）し、特に脳血管疾患患者が減少しており、また、近隣医療機関や介護施設・高齢者施設からの紹介患者が減少（入院減）しています。血液内科の入院治療中止も大きな影響を与えており、加えて近くに移転した医療機関の救急外来強化も大きな要因と思われます。

一方、医療制度も大きく変化し、病床機能分化から病院機能分化と連携（多様な方法で）の強化が推進されています。得意の診療科外来（例：乳腺外来や心臓外科外来等）を他の病院に持ち、そこから患者を入院・手術等に繋げている医療機関も有ります。加えて、7 対 1 看護と重症度・医療看護必要度 28% の継続（毎回ハードル上昇）が、高度・急性期病院には求められています。過去のように、病床が空いていたら検査入院や軽症の観察入院は看護必要度を維持できなくなり、結果として対象外（或いは短期入院、治療途中の転院）となり、実際には高度・急性期医療を必要とする患者の対象の多くが外科系になるように、制度化・診療報酬化されています。

一昨年、480 床の地域包括ケア病棟の増床が有り、そこに介護度の高い軽症急性期患者の入院が推進され、更に今年度、地域包括医療病棟が新設されました。沖縄県は 8 次医療計画で 829 床（中部医療圏 593 床、南部医療圏 604 床）の増床を計画しています。医療需要 1.4 倍に占める患者の多くが、後期高齢者・介護度の高い患者が多いようです。医療需要

増は高度・急性期医療機関の対象では無く、地域包括ケア病棟・地域包括医療病棟・回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア有床診療所、或いは在宅専門診療所（100人の在宅患者のうち、看取り10人、入院20人、70人は在宅療養継続）等がその対象と思われます。

もう一度、7対1看護と重症度・医療看護必要度の現状（2024年度）と、総合入院体制加算、急性期充実体制加算を検証してみる必要が有ります。

さて、外科・外科系の強化が当院の今後の進む道（高度・急性期医療で308床）と目標を設定しています。それを実現するために、最新鋭の手術支援ロボット「ダビンチ」を6月中旬に導入し、「ダビンチ」の消化器外科専門医が2024年度の7月に就職予定です。7月下旬に婦人科初症例、9月初旬に結腸初症例と直腸保険適応施設認定に向けて準備を進めています。

また2024年度には乳がん専門医・指導医が9月に就職されます。整形外科・産婦人科やその他の外科系の充実強化を進めていきます。加えて、同年4月から、西平医院が仲間に加わります。職員全員の皆さんの多大なるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

社会医療法人かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて	2
----------------	---

ハートライフ病院 2023 年度 年次報告	7
--------------------------------	---

年報発刊によせての挨拶	9
-------------------	---

病院概要	10
組織概要	10
施設概要	10
診療体制	13

2023年度(令和5年度)ハートライフ病院 事業計画概要	14
---------------------------------------	----

患者統計	17
ICU 患者統計	22
医療の質 Quality Indicator (QI)	26
ハートライフ病院 DMAT	34
看護師特定行為研修センター	36
2023 年度職員満足度調査	45

部署別業務実績	49
---------------	----

医 局	50
総合内科	56
呼吸器内科	59
循環器内科	60
消化器内科	63
肝臓内科	66
血液内科	68
小児科	70
心療内科	72
外 科	73
整形外科	77
形成外科	80
脳神経外科	82
眼 科	83
耳鼻咽喉科	85
泌尿器科	87
産婦人科	89

皮膚科	91
放射線科	92
麻酔科	93
血液浄化部	95
口腔ケア科	97
救急総合診療部	99
病理診断科	105

看護部	107
外来	109
救急外来	112
人工透析室	115
手術室・中央材料室	118
ICU	120
HCU	122
東館 4・5 階病棟（産科・婦人科・女性混合）、 産婦人科外来	124
3 階病棟（整形外科・形成外科・眼科）	128
4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）	131
5 階病棟（消化器内科・小児科）	133
6 階病棟（血液内科・総合内科）	135
7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）	138
看護部 年度総括	141

医療技術部	143
放射線科	143
臨床検査科	153
臨床工学科	158
栄養科	171
薬局	175
リハビリテーション科	177

医療安全管理室	184
---------------	-----

感染対策管理室	187
---------------	-----

栄養サポート室	191
---------------	-----

内視鏡センター	194
---------------	-----

予防医学センター	200
----------------	-----

患者総合支援センター	206	内科	286
地域医療連携室	207	小児科	289
入退院支援室	209	附属施設	290
医療福祉相談室	211	疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）…	290
がん相談支援室	214	ヘルシーカフェ ohana	292
患者サポート窓口	215	ハートライフ地域包括ケアセンター…	293
事務部	216	2023 年度 年次報告	293
法人担当		年報発刊によせての挨拶	295
経営企画分析室	217	施設概要	298
財務・経理課	220	はーとらいふ保育園	301
人事課	221	2023 年度 年次報告	301
診療支援室	223	年報発刊によせての挨拶	303
附随業務部門 食堂とまと	226	施設概要	304
病院担当		組織概要	304
医事外来課	232	かりゆし会の1年	309
医事入院課	234	2023 年 社会医療法人かりゆし会 永年勤続者	312
管財課	236		
用度課	237		
施設課	239		
企画室 電算係	244		
企画室 広報係	245		
診療情報管理室	247		
総務課	249		
委員会活動	253		
ハートライフクリニック 2023 年度			
年次報告	271		
理念	272		
基本方針	272		
年報発刊によせての挨拶	273		
クリニック概要	274		
組織概要	274		
患者統計	276		
ハートライフクリニック部門別業務実績	281		
糖尿病内科	282		

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院 2023年度 年次報告

Annual report of Heartlife Hospital 2023



理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 安全で質の高いチーム医療を提供する
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）を実践する
3. 24 時間体制の断らない救急医療を提供する
4. 患者が満足し、納得する医療を提供する
5. 社会に認められる人材を育成する
6. 健全な医療経営を実践する
7. 社会の変化に対応できる組織作りをする

年報発刊によせての挨拶



2023年度は、5月に新型コロナが5類相当になり、ウィズコロナが本格化しました。コロナ禍で自粛していた社会活動が徐々に戻りつつあります。しかしながら、コロナ禍からの流れでオンラインの会議が増え、働き方の多様化がこれまで以上に進みました。医療界では訪問診療や訪問看護が活発になり、それに伴って各病院の稼働率は低下傾向にあります。当院でも11月頃から前年度と比較して明らかに稼働率が低下しました。今後は世の中の医療ニーズをよく分析して、地域から求められる急性期医療を提供するよう診療体制を整備する必要があると思われます。

沖縄県の健康寿命は男性72.1歳、女性75.5歳です。男女とも全国平均と比較してほぼ同等です。WHOの発表によると日本が男女とも世界一の健康長寿国になっています。したがって、沖縄県のデータも悪くはありません。沖縄県の問題は、働き盛りの特に35歳～64歳の年齢層の死亡率が全国一高く、平均寿命を低下させていることです。その原因になっているのは、アルコールや肥満が原因の生活習慣病、がんなどです。今後は地域の医療機関と協力して、生活習慣病への早期介入やがんの早期発見を推進する必要があります。2024年度から働き方改革が導入され、それにむけて職員を増やす必要がありますが、残念ながら、人材の採用がうまくいっていません。スタッフの数が増えない中で正規の労働時間内にこれまでと同じ仕事量をこなすには労働生産性を上げる必要があります。チーム医療（多職種連携）を強化しなければなりません。また、デジタル技術を活用して業務を効率化し、医療安全を担保しながら、業務の無駄を省くことが重要と思われます。

毎年事業計画を作成しますが、それを基にPDCAサイクルを回し、その成果として年報を作成し次年度の業務に反映させていただきたいと思います。

2024年度から西原 実 院長の新体制になります。各部署が力を合わせてこれまで同様に質の高い急性期医療を提供できるよう取り組んで下さい。地域の健康指標の向上に寄与するために組織として最善をつくすことが大事です。患者さんが納得し、満足してもらえる医療を提供するようこの1年も全職員が力を合わせて頑張りましょう。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
院長 佐久川 廣

病院概要

(2023 年 4 月 1 日時点 / データ作成 総務課 河上)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里哲好	副院長	秋元芳典	事務部長	當銘秀之
院長	佐久川 廣	医局長	阿嘉裕之		
副院長	西原 実	看護部長	古波倉 美登利		
副院長	普天間 光彦	医療技術部長	宮城 竜也		

施設概要

許可病床数

308 床 (開放病床 22 床)

敷地面積及び建物概要

敷地面積 22,225.09㎡

< 本館・西館 >	構造	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下 1 階付き 9 階建
	のべ床面積	23,920.55㎡
< 東館 >	構造	鉄筋コンクリート造地上 5 階・地下 1 階
	のべ床面積	7,551.31㎡
< 別館 >	構造	鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建
	のべ床面積	542.16㎡
< 立体駐車場 >	構造	鉄骨造陸屋根 4 階建 (駐車場)
		鉄筋コンクリートブロック造陸屋根平屋建 (機械室)
	のべ床面積	3,365.76㎡ (駐車場)
		34.00㎡ (機械室)

職員数

(2024 年 3 月 1 日時点 総務課)

総 数 944 名

職種別

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	79	臨床検査技師	37	管理栄養士	8	医師事務作業補助者	27
研修医	16	臨床工学技士	19	救急救命士	2	クラーク	26
保健師	7	臨床心理士	1	歯科衛生士	2	助手	11
助産師	25	言語療法士	4	社会福祉士	7	施設技術者	5
正看護師	382	作業療法士	8	診療情報管理士	8	司書	1
准看護師	8	理学療法士	24	保育士	1	一般事務	116
看護補助者	62	放射線技師	21	調理師	3	その他	7
薬剤師	17	視能訓練士	3	調理補助	7	職員数 総数	944

指導医・専門医・認定医・その他認定など

(2024 年 3 月末時点 / データ作成 総務課 佐和田)

資格名	人数	資格名	人数
ICD 制度協議会認定インфекションコントロールドクター	1	日本消化器外科学会消化器外科専門医	5
POCUS (Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター	1	日本消化器外科学会認定医	1
検診マンモグラフィ読影認定医	5	日本消化器内視鏡学会指導医	4
精神保健指定医	1	日本消化器内視鏡学会専門医	10
全日本病院協会医療安全管理者認定医	1	日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医	1
日本アレルギー学会専門医 (小児科)	1	日本消化器内視鏡学会認定医	1
日本がん治療認定医機構認定医	5	日本消化器病学会指導医	4
日本ペインクリニック学会認定医	1	日本消化器病学会専門医	9
日本医学放射線学会診断専門医	2	日本心血管インターベンション治療学会専門医	1
日本医師会認定産業医	5	日本心血管インターベンション治療学会認定医	1
日本医師会認定産業医・医学博士	1	日本心臓リハビリテーション学会指導士	3
日本外科学会外科専門医	6	日本神経内視鏡学会技術認定医	1
日本外科学会指導医	2	日本人間ドック学会認定医師	1
日本感染症学会 インфекションコントロールドクター (ICD) 認定医	1	日本腎臓学会腎臓専門医	1
日本感染症学会インфекションコントロールドクター	2	日本整形外科学会リウマチ認定医	1
日本感染症学会指導医	1	日本整形外科学会運動器リハビリテーション医	1
日本感染症学会専門医	1	日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医	1
日本肝臓学会指導医	1	日本整形外科学会専門医	3
日本肝臓学会専門医	2	日本精神神経学会指導医	1
日本眼科学会専門医	2	日本精神神経学会専門医	1
日本救急医学会救急科専門医	1	日本専門医機構 (及び日本内科学会) 内科専門医	1
日本血液学会指導医	1	日本専門医機構整形外科専門医	1
日本血液学会専門医	3	日本体育協会公認スポーツドクター	2
日本呼吸器学会インфекションコントロールドクター	1	日本大腸肛門病学会専門医	1
日本産婦人科学会専門医	2	日本東洋医学会認定医	1
日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門研修指導医	1	日本透析医学会指導医	1
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・日本専門医機構 耳鼻咽喉科専門医	1	日本透析医学会専門医	2
日本手外科学会認定手外科指導医	1	日本透析医学会認定医	1
日本手外科学会認定手外科専門医	1	日本内科学会指導医	3
日本集中治療医学会専門医	1	日本内科学会総合内科専門医	9
日本循環器学会専門医	6	日本内科学会総合内科認定医	1
日本小児科学会小児科専門医	2	日本内科学会認定内科医	18
日本消化器がん検診学会総合認定医	1	日本内視鏡外科学会技術認定医	1
日本消化器がん検診学会認定医	5	日本脳神経外科学会専門医	2
日本消化器外科学会指導医	2	日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	1	日本泌尿器科学会指導医	1
日本消化器外科学会消化器がん治療認定医	2	日本泌尿器科学会専門医	1
		日本病院総合診療医学会認定医	1

資格名	人数
日本病理学会病理専門医	1
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医専門医	1
日本腹膜透析医学会認定医	1
日本麻酔科学会指導医	3

資格名	人数
日本麻酔科学会専門医	3
日本麻酔科学会認定医	1
麻酔科標榜医	5

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. (財)日本医療機能評価機構一般病院2 認定第GB97-5号
5. DPC 対象病院（標準病院群）
6. 地域災害拠点病院
7. DMAT 指定医療機関

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》
9. 原爆医療法指定医療機関
10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）《てんかん》
11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》
12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》
15. 身体障害者福祉法指定医療機関（更正医療）
18 歳以上、肝臓に係わるもの
16. 児童福祉法指定医療機関（育成医療）
17. 沖縄県肝がん重度肝硬変治療研究促進事業による指定医療機関

施設認定一覧

1. 日本内科学会認定教育関連病院
2. 日本血液学会血液研修施設
3. 日本血液学会専門研修施設
4. 日本がん治療認定医療機構認定研修施設
5. 日本感染症学会研修施設
6. 非血縁者間骨髄採取認定施設
7. 非血縁者間造血幹細胞移植認定施設(認定診療科:血液内科)カテゴリー:2
8. 日本肝臓学会認定施設
9. 日本整形外科学会専門医研修施設
10. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
11. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
12. 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
13. 日本眼科学会専門医制度研修施設
14. 日本消化器内視鏡学会指導施設
15. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設(連携型)
16. 日本産科婦人科学会専門研修連携施設
17. 日本救急医学会救急科専門医指定施設
18. 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
19. 日本外科学会外科専門医制度修練施設
20. 日本消化器科外科学会専門医修練施設(認定施設)
21. 日本臨床細胞学会施設
22. 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
23. 日本消化器病学会認定施設
24. 日本呼吸器学会関連施設
25. 健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設
26. 人間ドック検診施設機能評価認定施設
27. 日本透析医学会教育関連施設

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 28. マンモグラフィー検診施設画像認定 | 35. 日本医学放射線学会画像診断管理認証施設 |
| 29. 日本食道学会全国登録認定施設 | 36. 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
認定施設 |
| 30. 日本大腸肛門病学会関連施設 | 37. 日本消化器内視鏡学会JED Project参加施設 |
| 31. 日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設群 | 38. 日本病院総合診療医学会認定施設 |
| 32. 日本病理学会研修登録施設 | 39. 日本専門医機構 専門医研修プログラム(内科領域) |
| 33. 日本小児外科学会教育関連施設B | 40. 日本角膜学会羊膜移植実施施設 |
| 34. 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設 | |

診療体制

標榜診療科目

- | | | | | |
|--------|---------|----------|-------------|--------|
| ●内科 | ●リウマチ科 | ●血管外科 | ●泌尿器科 | ●救急科 |
| ●呼吸器内科 | ●人工透析内科 | ●大腸・肛門外科 | ●眼科 | ●病理診断科 |
| ●循環器内科 | ●心療内科 | ●脾臓外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●歯科 |
| ●消化器内科 | ●小児科 | ●整形外科 | ●皮膚科 | ●精神科 |
| ●肝臓内科 | ●外科 | ●形成外科 | ●放射線科 | |
| ●腎臓内科 | ●乳腺外科 | ●脳神経外科 | ●麻酔科 | |
| ●血液内科 | ●食道外科 | ●産婦人科 | ●リハビリテーション科 | |

その他、センター・専門外来など

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| ●予防医学センター
(人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診) | ●不整脈外来 |
| ●内視鏡センター | ●甲状腺外来 |
| ●人工透析センター(昼間・夜間) | ●生活習慣病外来 |
| ●無菌治療センター | ●睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来 |
| ●ヘルニアセンター | ●スポーツ関節鏡センター |
| ●患者総合支援センター | ●通院治療室(外来化学療法) |
| ●胸やけ外来 | ●小児アレルギー外来 |
| | ●心臓リハビリテーション |

24 時間救急指定病院【内科・循環器内科・外科・整形外科・脳神経外科】

受付時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 12:00～16:30 |
| 土曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 休診 |

診療時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 9:00～12:00 | 午後 14:00～17:00 |
| 土曜日 | 午前 9:00～12:30 | 午後 休診 |

休診日 救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

2023年度(令和5年度)ハートライフ病院事業計画概要

2022 年度は引き続き新型コロナウイルス感染対策を行いながら診療する 1 年でした。

前年度の反省からコロナ禍でも予定手術を極力制限しない方針で臨みました。そのために看護師の定員を増やして看護師確保に力を入れましたが、不調に終わり、年度の後半は看護師の大幅な定員割れの状態になりました。

年度の初めから新型コロナウイルス感染者が増加し、5 月から 8 月にかけて一定期間予定手術を制限せざるを得ませんでした。オミクロン株は感染力が強く、子供を中心に感染者が急増したため、家庭内感染で職員が休職する事例が増えました。一時的にコロナ病床を最大 39 床まで増床し、増加するコロナ患者の診療を積極的に行いました。その後、9 月に入ってからコロナの新規感染者は減少し、以降は手術制限することなく、経過しました。

コロナ禍で昨年度と同様に入院患者は減少しました。特に予定入院を制限した 5 月～8 月にかけての医業収益は目標の 8.4 億円を大きく下回って、8 億円前後で推移しました。年間の稼働率も昨年を 1.6% 下回りました。しかしながら、入院の日当額が 6.8 万円（昨年度：6.7 万円）と増加したことより、入院診療収益は昨年より 2% 増加しました。外来患者数は昨年より 4% 減少し、日当額が 1.73 万円（昨年度：1.64 万円）と増加したことより、外来収益は 0.7% 増加しました。

2019 年度に初期研修医マッチングが 3 名であった反省から研修医の獲得に力を入れ、2022 年度は 2020 年度から 3 年連続でフルマッチを達成しました。また、専門医制度になってから初めて基幹病院として内科専攻医を受け入れることが決まりました。

タスクシフトの取り組みとして、看護師特定行為研修の指定研修機関として申請し認定されました（2023 年 4 月から研修開始）。

2022 年度の総収入は 99.2 億円で、事業計画を 1.7 億円下回り、医業利益は - 0.4 億円でした（補助金等を加えると利益は 7.4 億円でした）。入院診療収益は計画を 3.5% 下回りました。一方、外来は 1.3% 上回りました。

2023 年度事業計画の概要

2023 年度も急性期一般入院料 1（7 対 1）の基準をクリアすることが大前提になります。そのためには救急患者の受け入れ態勢の強化、手術件数の増加、後方連携の強化をはかる必要があります。また、国が進める働き方改革への取り組みとして、医師及び医療技術職の人材の確保、更に医師事務作業補助者や看護助手を増員し、業務の効率化と時間外勤務の短縮に努めます。

① 病棟運営の 3 指標

2023 年度も引き続きコロナ禍での診療を継続することになります。いまだ収束が見通せない状況ですので 2021 年及び 2022 年の実績を参考にする必要があります。病棟診療会議での検討をもとに 2023 年度の 3 指標を下記のように設定しました。

指標	2023 年度目標	2022 年度目標	2022 年度実績
新規入院患者数	750 人 / 月	750 人 / 月	710 人 / 月
病床利用数	260 床 (84.4%)	260 床 (84.4%)	246 床 (79.9%)
平均在院日数	10.5 日	10.5 日	10.7 日

② 2023 年度ハートライフ病院の目標

1. より安全でより質の高い医療を実践し、患者満足度の向上を図る
2. 健全な医療経営を行い、コロナ禍で利益率 1%以上を達成する
3. 人材採用の専任者を配置し、積極的な採用活動を行う
4. 将来急性期充実体制加算の取得の布石として、全麻 1,700 件を目指す
5. 看護師の定員数を満たすために病院全体で採用活動に取り組む
6. 2024 年の働き方改革に向けて労働環境の整備を行う
7. 患者満足度向上に取り組み、総合評価で満足度 90%以上を目指す
8. ハラスメント対策に取り組み、それに起因する職員の離職を減らす
9. 初期研修医のフルマッチを達成する

③ 利益率 1%以上を目指した経営戦略

2023 年度の医業収入は 102.4 億円、当期利益 1.75 億円（利益率 1.7%）を目指します。今年度は昨年度と比較してコロナ患者数が減ると予想され、関連の補助金も大幅に減額されます。コロナ患者が減る分内科の入院診療単価（日当額）が下がると予想され、病院全体の日当額は 6.76 万円を目指します。

入院診療単価を構成するのは DPC、手術料、入院料（入院基本料、特定入院料、入院料加算）です。DPC 機能評価係数Ⅱを上げる取り組み（救急医療管理加算の算定数を維持する。副傷病名ありの患者を増やす等）を今年度も継続します。手術症例が多く含まれる予定入院患者数を増やし（予定入院の目標：350 人 / 月）、手術室の稼働率を上げる取り組み（看護師の確保と ME 及び看護助手の活用）を強化します。また、全麻件数を増やし、近い将来に急性期充実体制加算の取得（全麻 2,000 件）を達成できることを目標とします。入退院支援加算を始めとする各種加算が取れるように対策します。

外来診療単価を上げる対策として、紹介患者を増やし外来診療単価 1,500 円未満の患者の割合を減らすよう努めます。また、紹介受診重点医療機関の指定を目指し、紹介率を上げ再来患者の見直しを行います。

地域医療支援病院の基準要件は、紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上です。今年度は紹介率 84%、逆紹介率 87%を目指し、新規入院患者増に繋がります。

④ 地域の健康増進に対する貢献

地域医療支援病院として、救急医療や手術を中心とするより専門性の高い医療を提供できる体制を強化します。沖縄県は、がん患者に占める割合が高い 60 歳以上の年齢層が今後急激に増加します。がんの早期発見のために自治体や企業と協力して検診受診勧奨に努めます。そのために市民公開講座、出前健康講話等の機会を有効に活用します。沖縄県のがん登録の資料によりますと、当院での登録がん患者の沖縄県全体に占める割合は 5.9%（2021 年）で同規模の急性期病院と比較すると少なく、今後はがん診療をより強化する必要があります。また、心筋梗塞を主とした突然死対策として救急医療のより一層の充実を図っていきます。

高齢者の自立は健康長寿のカギになります。衰えた機能を回復させるために整形外科、泌尿器科、形成外科、眼科、耳鼻科領域の診療を充実させる必要があります。

⑤ 職員の働き方の見直し

2024 年に働き方改革が実施されることより、本年度はそれに向け本格的に取り組めます。各職種の業務内容を見直し、無駄を省き、効率化を推進します。医師の時間外労働に関しては、一部の診療科を除いて月 80 時間、年間 960 時間以内の A 基準を満たすように取り組んでいきます。また、医師や看護師の

業務負担を軽減させるために医療事務補助者と看護助手の増員を行います。

⑥ 人材の確保と育成

現在、早急に確保する必要があるのは救急専従医、産婦人科医、脳外科医、透析専門医です。これらの人材を確保するために病院全体で情報収集を行っていきます。また、看護師、医療技術職員、事務系職員の確保及び育成は重要であり、病院の魅力度をアップさせ、選んでもらえる職場に変えていく必要があります。そのために人材確保を専門とする職員を配置します。また、昨年度に引き続き初期研修医のフルマッチと専攻医確保を目指して研修医教育に力を入れます。

結び

今年度は急性期一般入院料 1（7 対 1）を死守することが、経営上最も重要な課題になります。幹部職員はそれを念頭に置いて病棟運営をして頂きたいと思います。

患者さんが納得し、満足する医療を提供し、心と心を結ぶ信頼される医療を実践するとともに地域の健康長寿に貢献できるよう皆で力を合わせて頑張りましょう。

ハートライフ病院
院長 佐久川 廣

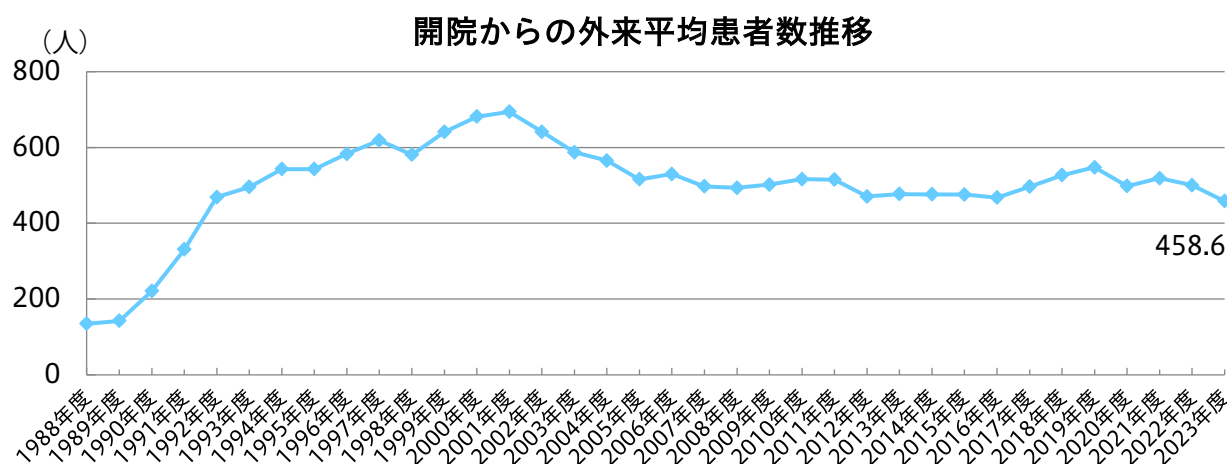
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

(データ作成：医事外来課 宮城)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2019年度	533.1	542.5	532.0	552.6	531.2	574.8	557.7	540.1	554.3	565.5	540.0	546.6	547.5
2020年度	446.4	427.0	483.8	535.9	461.4	495.4	497.6	533.3	511.4	508.3	533.4	544.1	498.2
2021年度	534.2	515.0	484.9	517.2	508.3	514.5	508.4	562.8	539.7	508.6	512.4	519.5	518.8
2022年度	509.2	536.7	507.8	475.7	440.5	503.4	497.8	512.6	504.8	509.8	514.3	489.6	500.2
2023年度	478.0	483.9	460.3	449.6	472.1	470.5	448.4	453.0	438.7	445.3	455.2	447.6	458.6

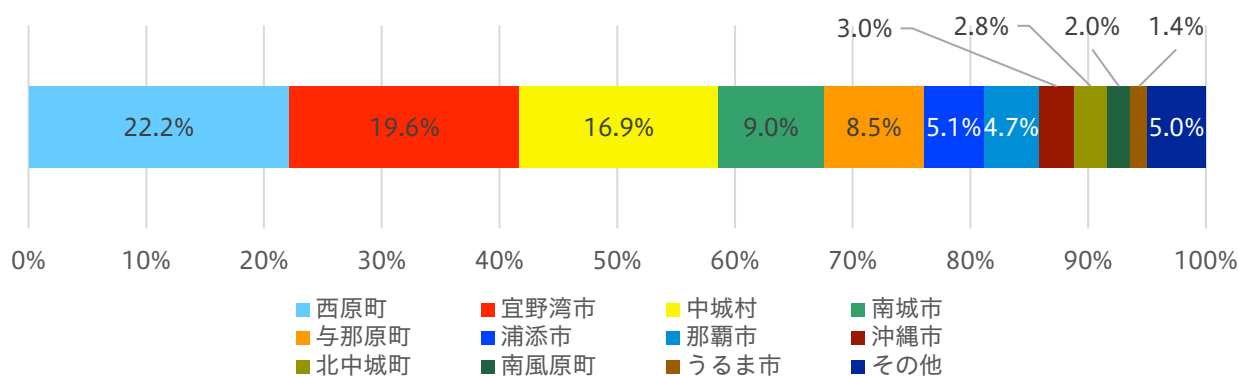


地域別外来患者数（延べ患者数）

(データ作成：広報係 仲田)

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	136,834
離島	483
県外	615
その他	735
合計	138,667

外来延べ患者構成比



※ 1,000 未満の県及び沖縄県市町村はその他に集計

救急搬送件数推移と救急患者の入院数

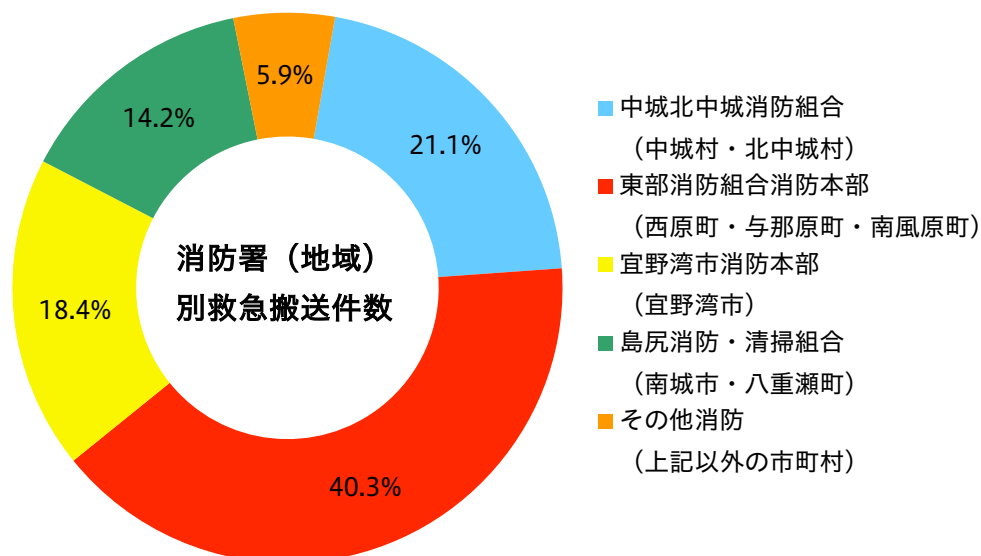
(データ作成：地域医療連携室 金城)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
2012 年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	211.9	
	うち入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1,245	103.8	49.0%
2013 年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
2014 年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%
2015 年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	104.2	49.9%
2016 年度	搬送人数	201	221	225	239	226	219	238	200	241	265	224	266	2,765	230.4	
	うち入院数	104	116	119	105	107	116	120	92	122	130	100	136	1,367	113.9	49.4%
2017 年度	搬送人数	228	229	246	258	286	221	217	216	287	260	269	235	2,952	246.0	
	うち入院数	131	105	113	112	114	92	88	94	129	122	131	129	1,360	113.3	46.1%
2018 年度	搬送人数	222	240	208	265	232	209	221	198	231	273	230	236	2,765	230.4	
	うち入院数	98	110	109	117	109	100	99	102	98	136	100	95	1,273	106.1	46.0%
2019 年度	搬送人数	239	219	252	315	287	255	268	219	280	274	234	224	3,066	255.5	
	うち入院数	108	116	124	144	127	127	125	89	129	138	99	105	1,431	119.3	46.7%
2020 年度	搬送人数	226	225	212	241	254	238	233	265	283	301	232	331	3,041	253.4	
	うち入院数	96	98	94	111	107	112	107	116	144	142	115	155	1,397	116.4	45.9%
2021 年度	搬送人数	304	318	253	320	326	307	235	277	252	306	265	300	3,463	288.6	
	うち入院数	133	127	99	143	136	125	113	121	107	145	131	144	1,524	127.0	44.0%
2022 年度	搬送人数	357	334	336	435	449	279	236	281	326	358	273	299	3,963	330.3	
	うち入院数	163	158	152	163	194	122	107	127	137	134	122	142	1,721	143.4	43.4%
2023 年度	搬送人数	247	297	367	364	387	300	279	248	290	321	233	256	3,589	299.1	
	うち入院数	102	117	150	141	152	117	104	110	123	146	102	111	1,475	122.9	41.1%

消防署（地域）別救急搬送件数

(データ作成：地域医療連携室 金城)

	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	757	447	59.0%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,447	842	58.2%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	661	399	60.4%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	511	329	64.4%
その他消防（上記以外の市町村）	213	105	49.3%
合計	3,589	2,122	59.1%

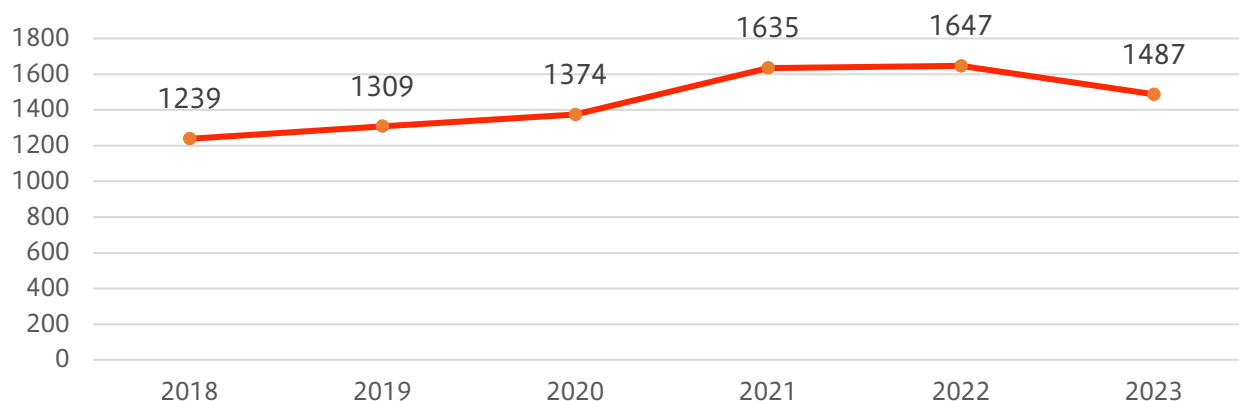


外来化学療法室施行数内訳

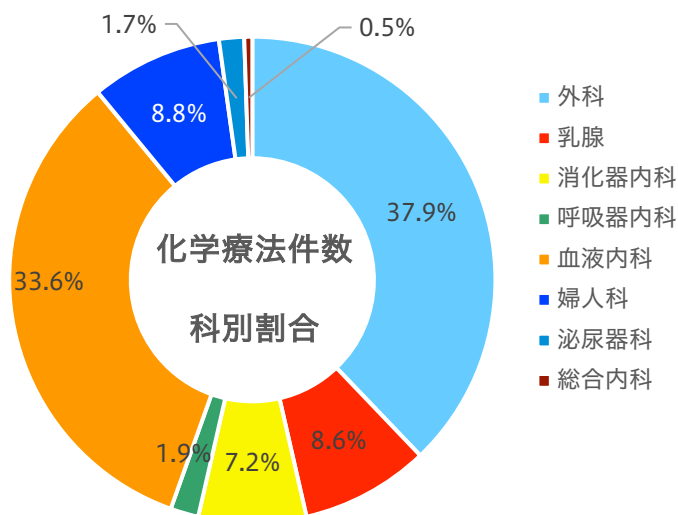
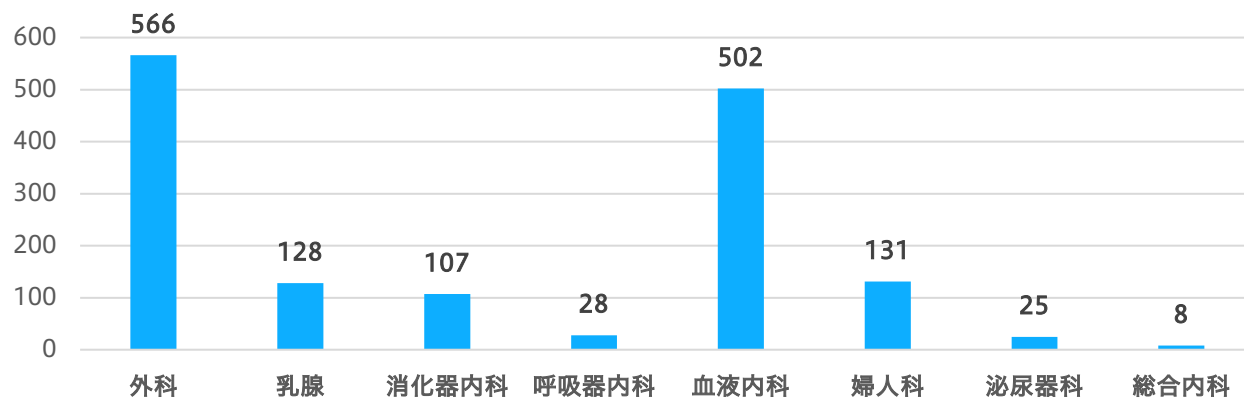
(データ作成: 看護部 外来 米須)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	56	49	48	53	49	47	53	52	38	39	48	34	566
乳腺	11	12	10	21	16	11	10	8	6	12	5	6	128
消化器内科	7	9	7	10	6	10	8	7	9	8	14	12	107
呼吸器内科	0	0	0	3	2	0	4	3	3	5	3	5	28
血液内科	26	39	36	47	49	52	40	58	29	41	42	43	502
婦人科	10	13	17	10	15	9	9	7	6	11	15	9	131
泌尿器科	2	3	2	2	4	2	2	2	1	1	2	2	25
総合内科							1	1	1	1	1	3	8
合計	112	125	120	146	141	131	127	138	93	118	130	114	1,487

外来化学療法患者数の推移

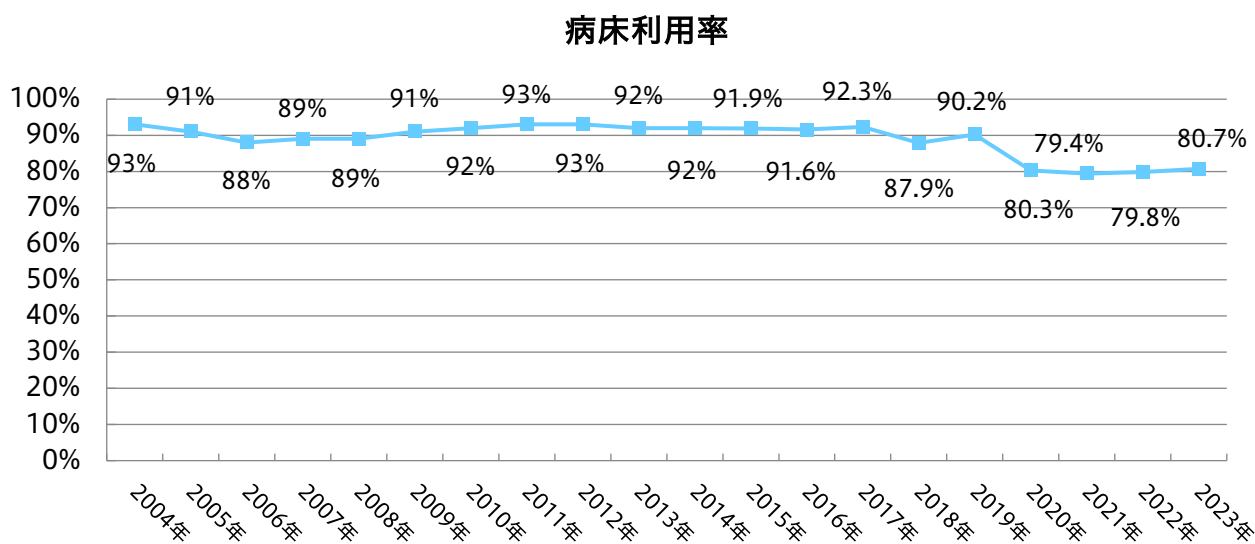
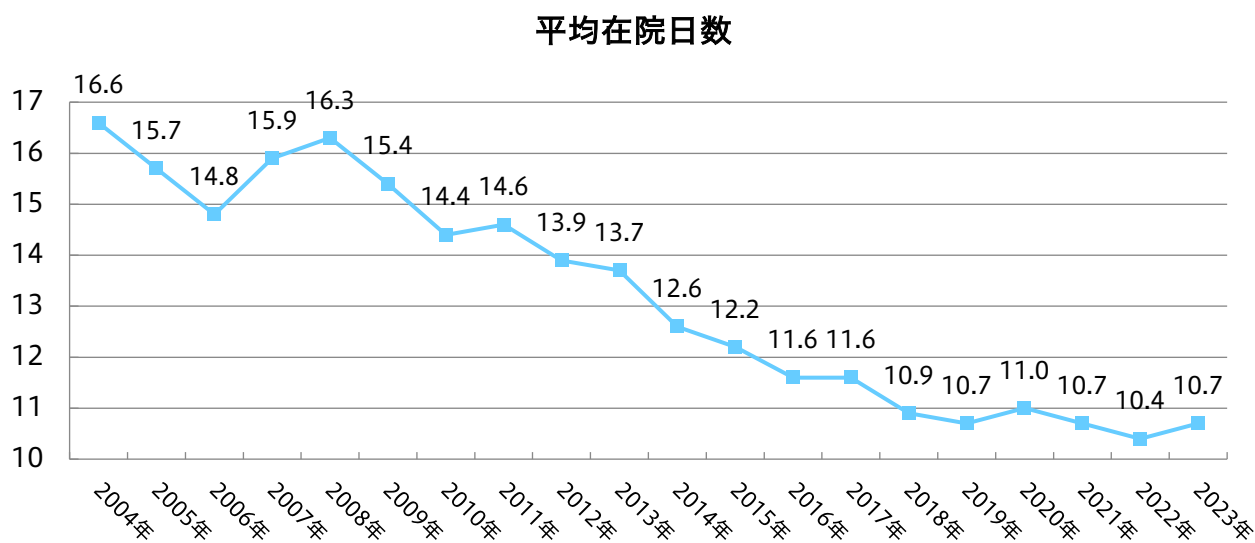
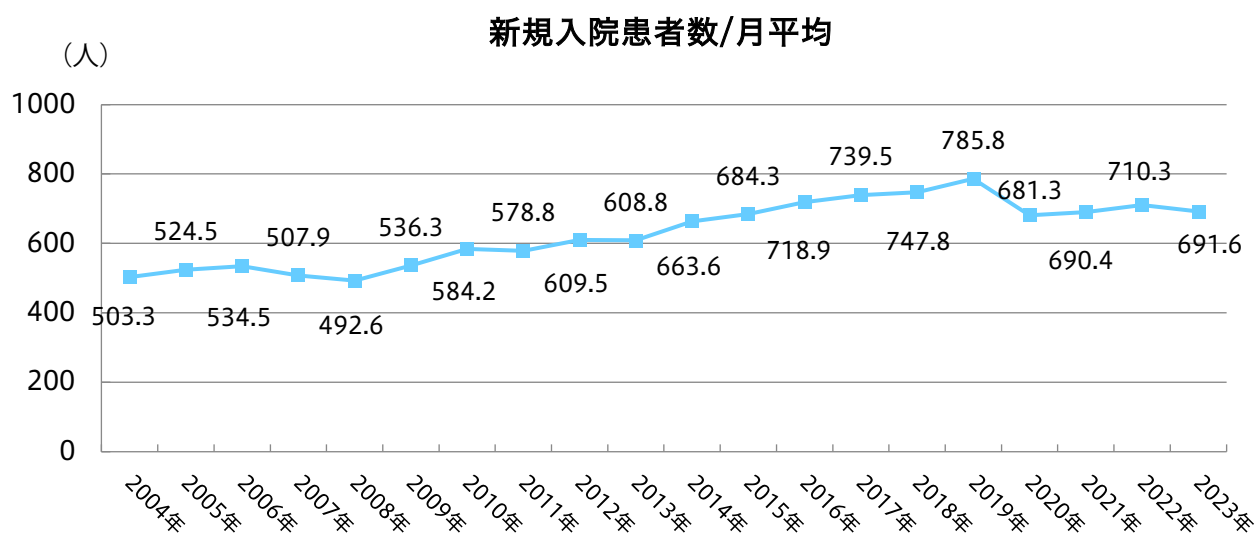


科別外化学療法総件数



入院 3 指標

(データ作成：地域医療連携室 金城)

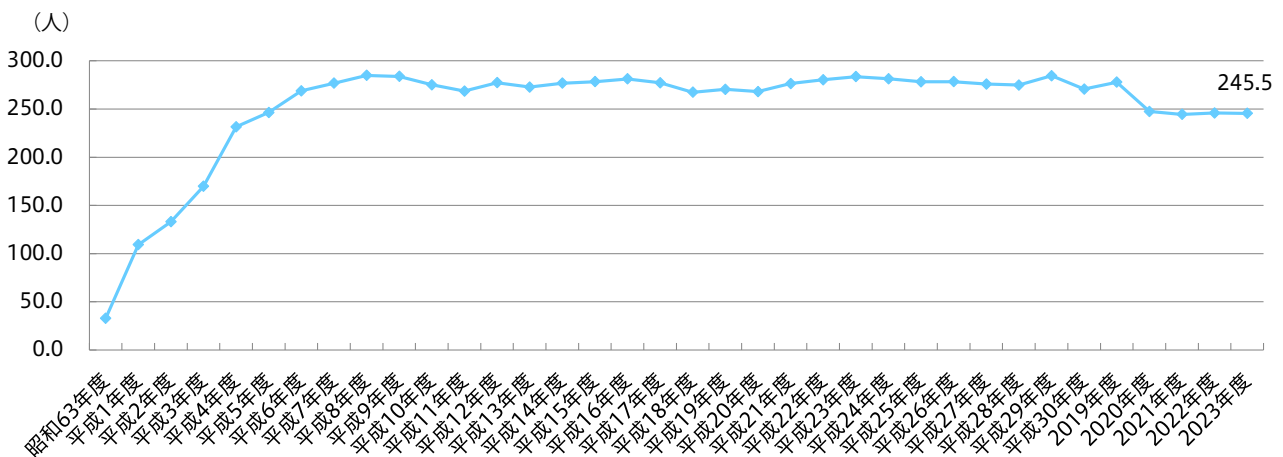


入院 1 日平均患者数推移

(データ作成：医事外来課 宮城)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
2019 年度	265.1	274.3	272.8	297.4	290.2	288.6	272.6	252.4	264.4	276.3	295.9	283.6	3,333.5	277.8
2020 年度	235.8	223.5	246.5	256.9	242.4	229.7	244.3	254.1	244.9	266.0	265.8	259.2	2,969.0	247.4
2021 年度	260.9	267.6	228.2	237.3	247.5	230.4	241.2	260.6	243.6	234.0	232.8	249.1	2,933.1	244.4
2022 年度	250.1	246.0	237.1	247.5	239.4	252.9	236.6	241.3	249.3	256.6	248.6	245.3	2,950.7	245.9
2023 年度	255.9	238.3	267.3	266.0	252.9	253.9	254.9	221.1	216.5	238.1	250.9	230.7	2,946.5	245.5

開院からの入院平均患者数推移

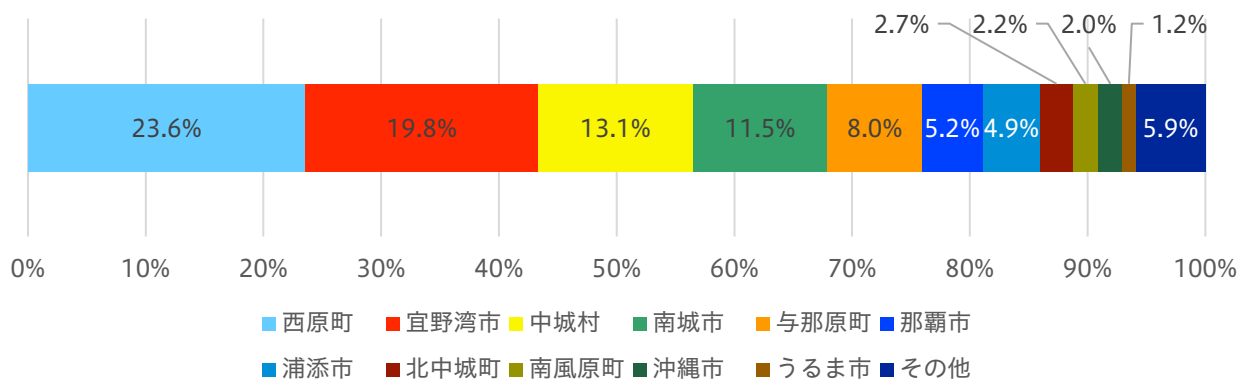


地域別入院患者数（延べ患者数）

(データ作成：広報係 仲田)

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	89,896
離島	715
県外	444
その他	629
合計	91,684

入院延べ患者構成比



※ 1000 の嶺及び沖縄県市町村はその他に集計

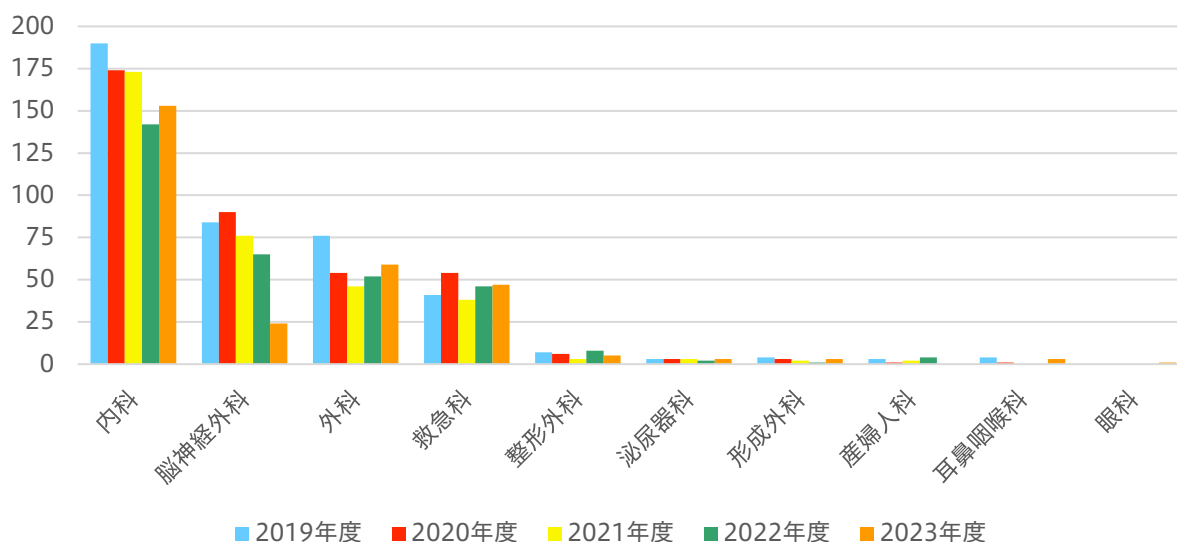
ICU 患者統計

(データ作成 ICU 勝連)

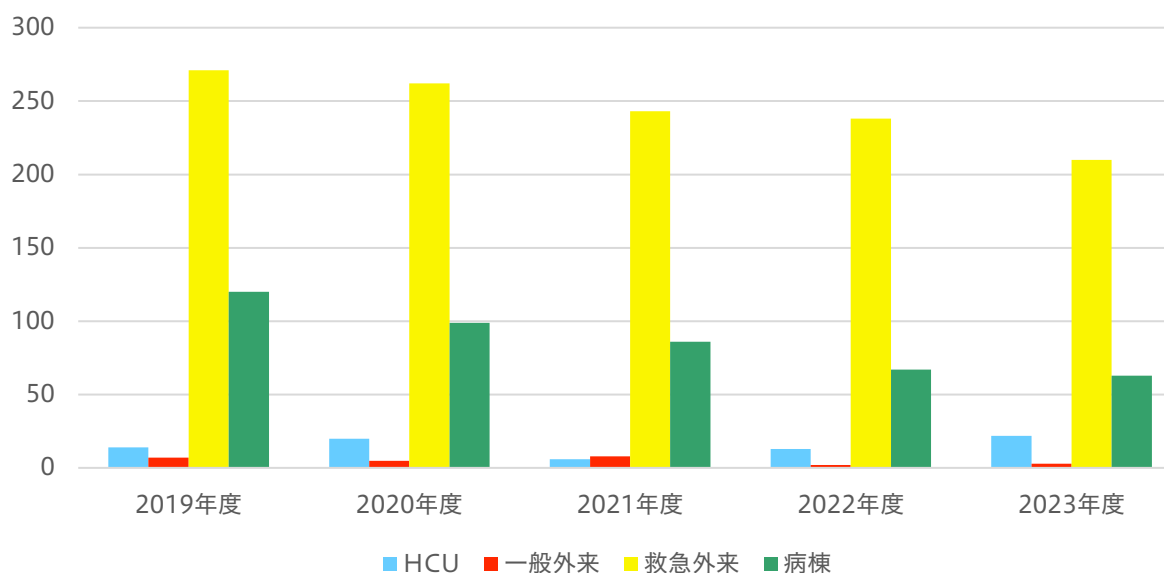
科別入院患者数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
内科	190	174	173	142	153
脳神経外科	84	90	76	65	24
外科	76	54	46	52	59
救急科	41	54	38	46	47
整形外科	7	6	3	8	5
泌尿器科	3	3	3	2	3
形成外科	4	3	2	1	3
産婦人科	3	1	2	4	0
耳鼻咽喉科	4	1	0	0	3
眼科	0	0	0	0	1
総計	412	386	343	320	298

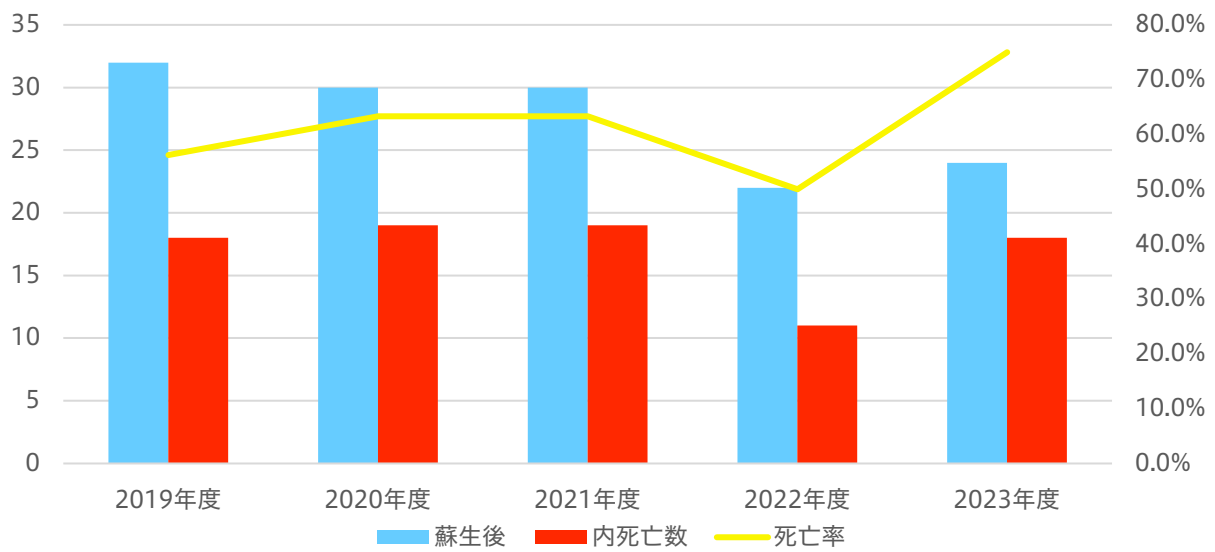
※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。



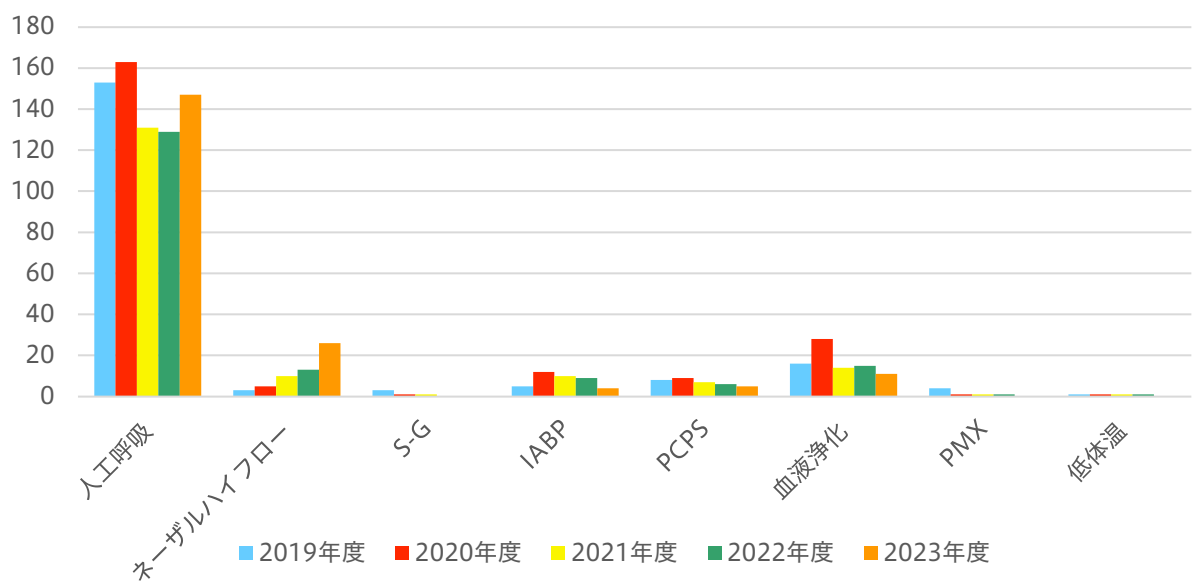
入室経路



蘇生後死亡率（ICU）



特殊治療の動向



退院患者疾患別（病態）分類

（データ作成：診療情報管理室 田河）

		内 科	外 科	泌 尿 器 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	形 成 外 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	小 児 科	産 科	婦 人 科	救 急 科	総 計
Ⅰ．感染症及び寄生 虫症 (A00-B99)	男	47	11	2					1	10			3	74
	女	67	4	2				1	2	16	2		4	98
	計	114	15	4				1	3	26	2		7	172
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞ (C00-D48)	男	477	228	32	3		10		20					770
	女	250	206	7	4	2	14	1	13		5	146		648
	計	727	434	39	7	2	24	1	33		5	146		1,418
Ⅲ．血液及び造血器 の疾患並びに免疫機 構の障害(D50-D89)	男	8	8							1			1	18
	女	16	5	1					1	3				26
	計	24	13	1					1	4			1	44
Ⅳ．内分泌、栄養及び 代謝疾患 (E00-E90)	男	43	3	1						2			3	52
	女	43	4							1			3	51
	計	86	7	1						3			6	103
Ⅴ．精神及び行動の 障害 (F00-F99)	男	2	1											3
	女		1											1
	計	2	2											4
Ⅵ．神経系の疾患 (G00-G99)	男	19	1		10	5			8	1			3	47
	女	20	3		10	5	1		11	1			2	53
	計	39	4		20	10	1		19	2			5	100
Ⅶ．眼及び付属器の 疾患 (H00-H59)	男	1					2	173						176
	女						5	129						134
	計	1					7	302						310
Ⅷ．耳及び乳様突起 の疾患 (H60-H95)	男	4							39	1				44
	女	6							37				1	44
	計	10							76	1			1	88
Ⅸ．循環器系の疾患 (I00-I99)	男	251	7	7		49	5		1				43	363
	女	161	8	12		29	12		1		1		24	248
	計	412	15	19		78	17		2		1		67	611
Ⅹ．呼吸器系の疾患 (J00-J99)	男	337	9	9	1				64	58			14	492
	女	293	8		1				43	81	1		12	439
	計	630	17	9	2				107	139	1		26	931
Ⅺ．消化器系の疾患 (K00-K93)	男	384	415	2					5					806
	女	343	251				1		1	1	1		2	600
	計	727	666	2			1		6	1	1		2	1,406
Ⅻ．皮膚及び 皮下組織の疾患 (L00-L99)	男	8	10		8		34		1	7				68
	女	20	11	1	11		36		1	9			1	90
	計	28	21	1	19		70		2	16			1	158
ⅬⅢ筋骨格系及 び結合組織の疾患 (M00-M99)	男	12		1	158		27			7				205
	女	5	2	1	210		18			4			1	241
	計	17	2	2	368		45			11			1	446
ⅬⅣ．腎尿路生殖器 系の疾患(N00-N99)	男	66	5	64			8		10	7			6	166
	女	132	6	71			3			3	3	75	7	300
	計	198	11	135			11		10	10	3	75	13	466
ⅬⅤ．妊娠、分娩 及び産じょく＜褥＞ (O00-O99)	女										669			669
	計										669			669
ⅬⅥ．周産期に発生 した病態 (P00-P96)	男									74				74
	女									93				93
	計									167				167

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常 (Q00-Q99)	男		1				1		1	1				4
	女						7		1	3				11
	計		1				8		2	4				15
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	男									2			1	3
	女	3							2	2				7
	計	3							2	4			1	10
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00-T98)	男	22	21	6	290	18	26	1		177			7	568
	女	17	17	7	415	10	16	1	4	175		1	3	666
	計	39	38	13	705	28	42	2	4	352		1	10	1,234
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)	男	13								186				199
	女	3								201				204
	計	16								387				403
XXII. 特殊目的用コード (U00-U89)	男	52		4	1					5			4	66
	女	57		1	1				3	5		1	1	69
	計	109		5	2				3	10		1	5	135
総計		3,182	1,246	231	1,123	118	226	306	270	1,137	682	223	146	8,890

医療の質 Quality Indicator (QI)

(データ作成：事務部 安里)

当院は、2013 年 4 月から日本病院会主催の「QI プロジェクト」へ参加しています。「QI プロジェクト 2023」では、日本病院会が指定する 40 項目以上の指標について、全国の参加病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し、医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

患者満足度調査

外来と入院の患者さんに対し、「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問に対し、「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の 5 段階評価をしていただき、「満足 / やや満足」とご回答をいただいた割合です。

外来

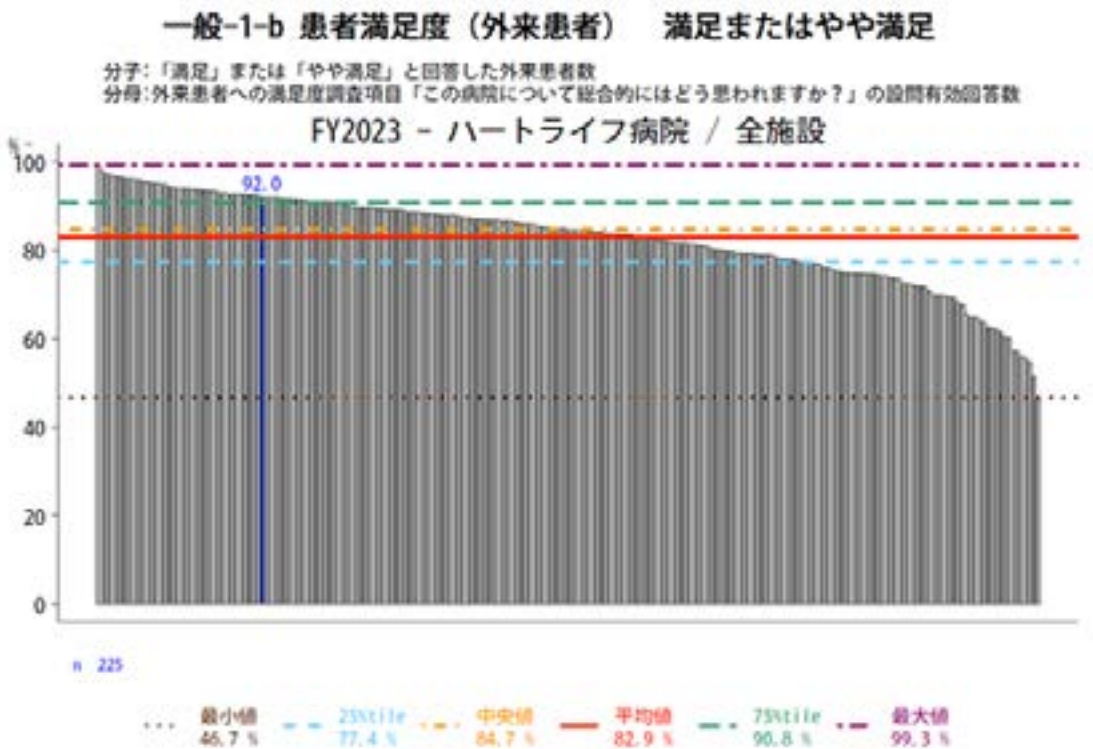
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
外来	91.9%	93.3%	92.4%	90.5%	92.0%
入院	97.4%	94.1%	96.8%	94.6%	95.8%

※外来の調査期間：2023 年 11 月 6 日～ 11 月 7 日（2 日間） 回答数：213 件

※入院の調査期間：2023 年 11 月 6 日～ 11 月 11 日（6 日間） 回答数：119 件

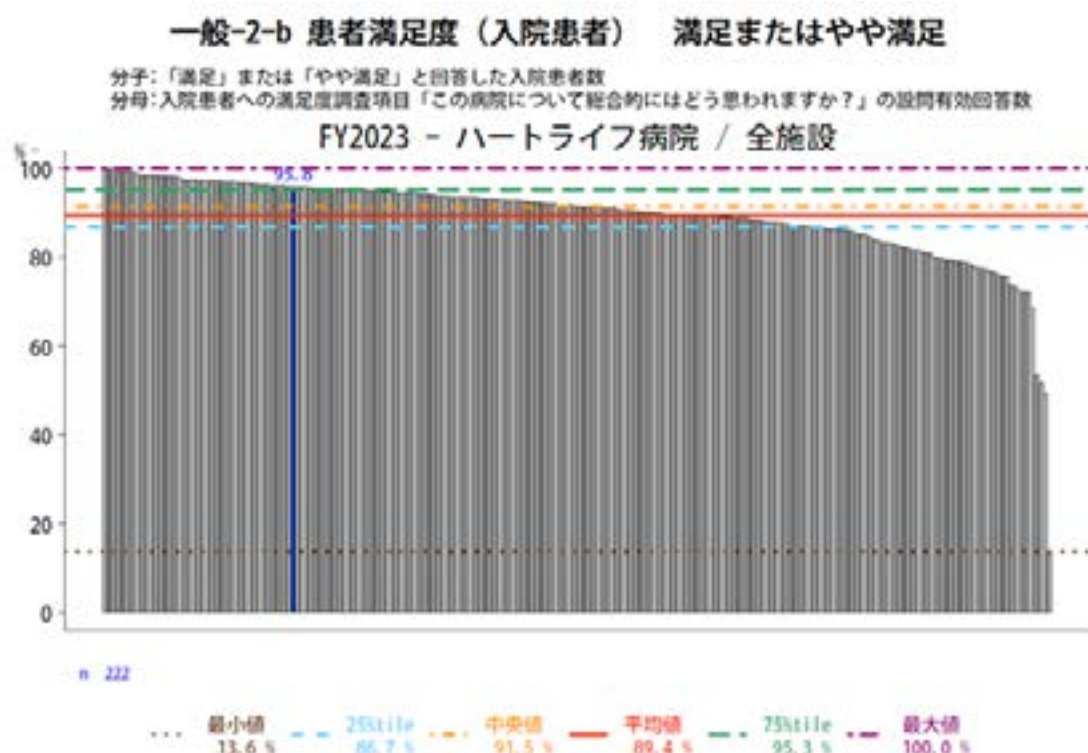
外来及び入院の患者満足度の「満足 / やや満足」の割合は、2017 年度以降、6 年間連続して 9 割を超えました。

外来



当院の外来の「満足またはやや満足」の割合は92.0%と、全国平均値（82.9%）より高い状態を維持しています。昨年度と比較し1.5%増加しました。2020年度以降減少しておりましたが、2023年度は増加しました。今後も頂いたご意見をもとに改善に努めます。「いつも落ち着いた気持ちで受診しています。」や「駐車場係の方々も良くしてくれてスムーズでした」といったお褒めのお言葉を頂きました。その一方で、「待ち時間が長いので減らして欲しい。」といった待ち時間の改善に関するご指摘も頂戴しました。

入院



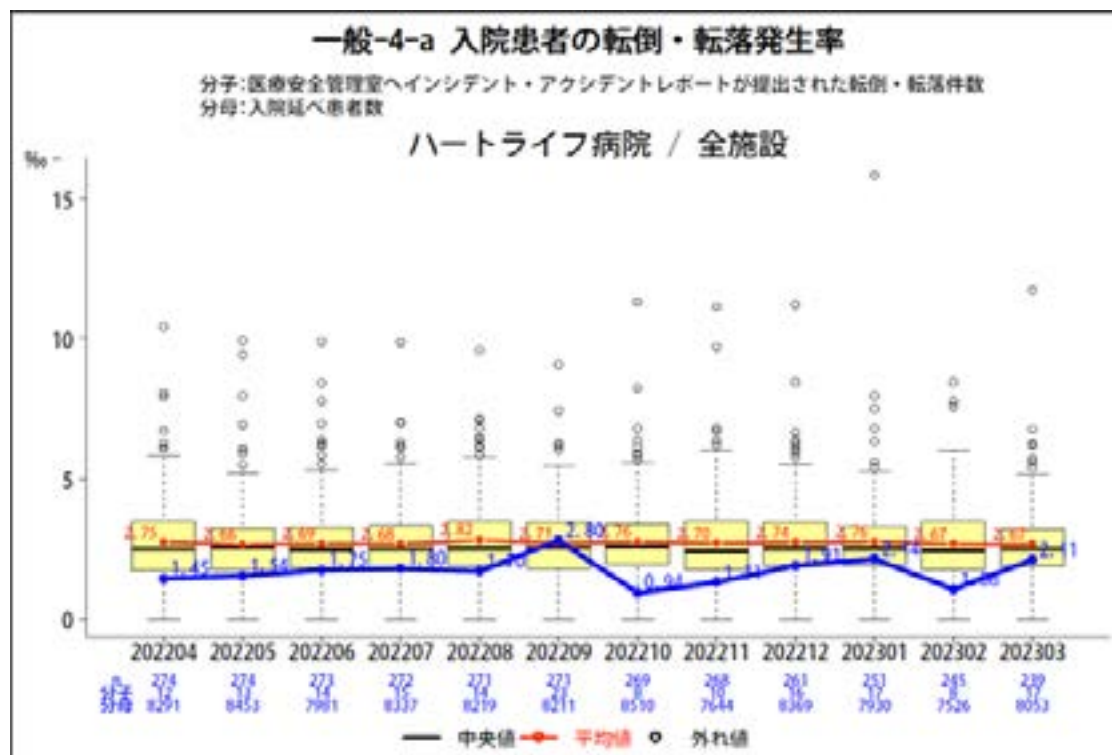
当院の入院の「満足またはやや満足」の割合は95.8%と、全国平均値（89.4%）より高い状態を維持しています。昨年度と比較し、1.2%増加しました。「出産で大変なことたくさんありましたが、支えてもらい、とても感謝しています。」といったお褒めの言葉も頂戴しました。その一方で「家族との面会時間が短すぎる。」や「入院治療計画について、具体的なお話がもう少し聞きたかった。」といった改善のご指摘も頂戴しました。

引き続き、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

入院患者の転倒・転落発生率

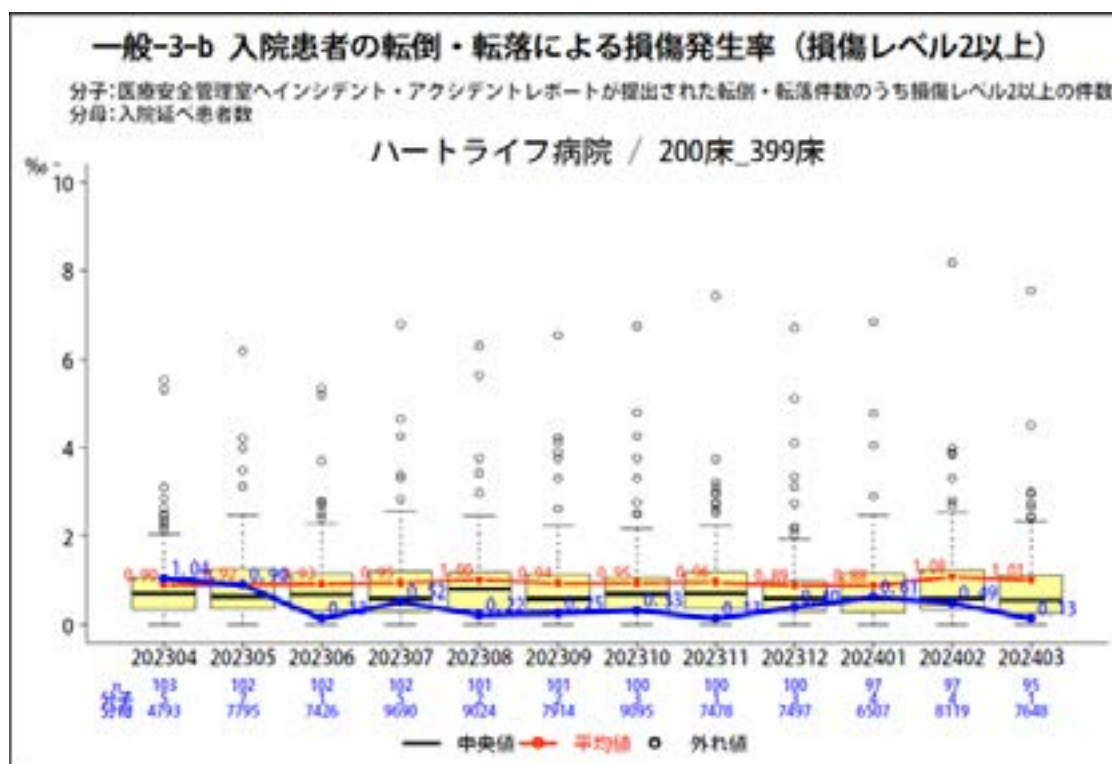
患者さんが入院中に、何らかの原因で転倒・転落した割合です。

患者さんが転倒・転落に至る原因は、療養環境（建物・部屋の構造など）によるものや、患者さんご本人の疾病・治療・手術の影響によるものなど原因はさまざまです。下記のグラフはすべての入院患者さんのうち、転倒・転落に至ったインシデント・アクシデント報告件数の割合を原因の別なく示したものです。単位はパーミル（‰）で、「1,000 人あたり何人いたか」を示す見方をします。



当院の「入院患者の転倒・転落発生率」は 2.3‰（1,000 人あたり 2.3 人）と、全国平均値（2.8‰:1,000 人あたり 2.8 人）より低かったものの、昨年度の 1.8‰より 0.5‰低下しました。

一方で、下記のグラフは、転倒・転落した入院患者のうち、転倒・転落が原因で何らかの治療が必要となる「損傷レベル2以上」として報告が上がった件数を、同じく1,000人あたり何人いたか、という割合で示したものです。



当院の損傷レベル2以上の転倒・転落発生率は0.4%（1,000人あたり0.4人）で、全国平均値（0.8%：1,000人あたり0.8人）より低く、昨年度の0.3%より0.1%低下しました。

一昨年度のQIプロジェクトの結果から、「全国のお他病院では転倒・転落が発生しても損傷レベル2以上に至らないようにフェイルセーフ（「問題が発生しても、それに伴うリスクを最小限に留める対策」）のことを指します）面で安全策を実施している」、「当院では全国と比して、転倒転落が発生すると、治療を要する状態になりやすい」ことが示唆されていました。

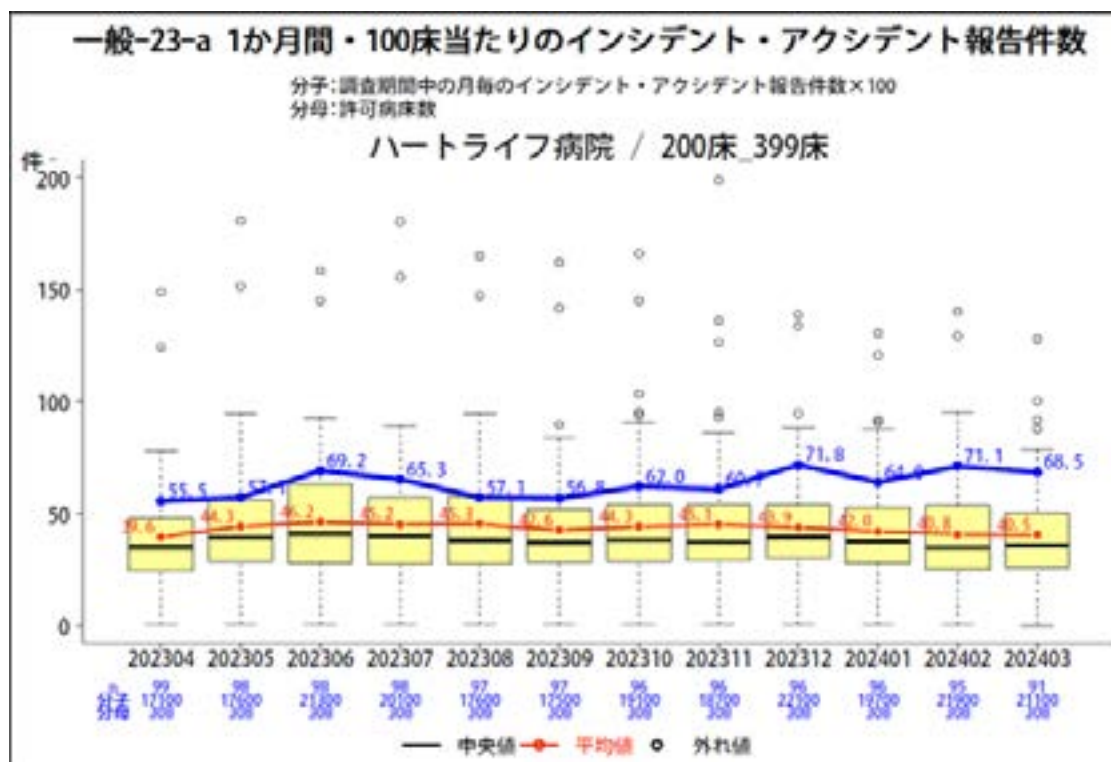
そのため、当院では医療安全管理室を中心に、各部門にリンクナースを配置するなどして、2023年度も下記の活動に継続的に取り組んでいます。

1. 自立患者、認知機能低下・せん妄など事象発生時の患者状態を安全管理室として分析しています。その上で、部署の判断と照合し、要因と対策を話し合っています。
2. 発生時間、排泄に関連しているかなど患者行動を分析しています。分析から、事前のトイレ誘導など転倒防止策について検討する場を部署と設けています。
3. 看護部を中心に転倒、転落事象低減を目標に環境管理強化に取り組んでいます。
4. 高齢化に伴い、履物選択指導を継続しています。高齢化に伴い事象レベルが高くなる傾向もあり、継続して転倒転落防止における教育を行なっています。

今回、転倒・転落発生率が継続的に改善したのは、こういった取り組みの成果だと考えており、今後も取り組みを継続します。

当院では、患者さんの転倒・転落を防止するために、転倒・転落を含め、インシデント・アクシデントが発生したらすぐに医療安全システム（インシデント・アクシデント報告システム）に報告入力し、原因を分析して改善する流れに力を入れています。

下記のグラフは、100 床あたりのインシデント・アクシデント報告件数を示したものです。全国平均の報告件数より多いことがわかりますが、これはインシデント・アクシデントが多いからではなく、程度の低いうちに報告することを全職員に推奨しているからです。程度が低いうちに報告するクセをつけてもらい、医療安全管理責任者が早期に介入する機会を増やすことで、重大なインシデント・アクシデントが発生することを未然に防ぐ取り組みを続けています。



医療の質 Quality Indicator (QI) の画像出典：日本病院会 QI プロジェクト 2023 第 4 回フィードバック資料より

地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率・逆紹介率（紹介割合・逆紹介割合）

地域医療支援病院承認条件：紹介割合 65%以上かつ逆紹介割合 40%以上

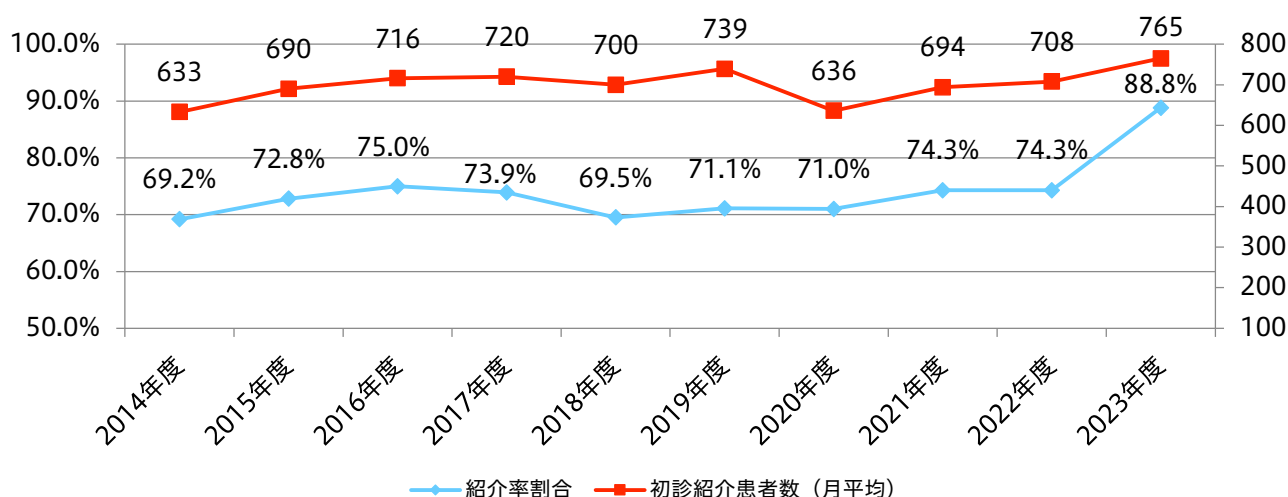
ハートライフ病院目標 紹介割合 83% / 逆紹介割合 84%

(データ作成 地域医療連携室 金城)

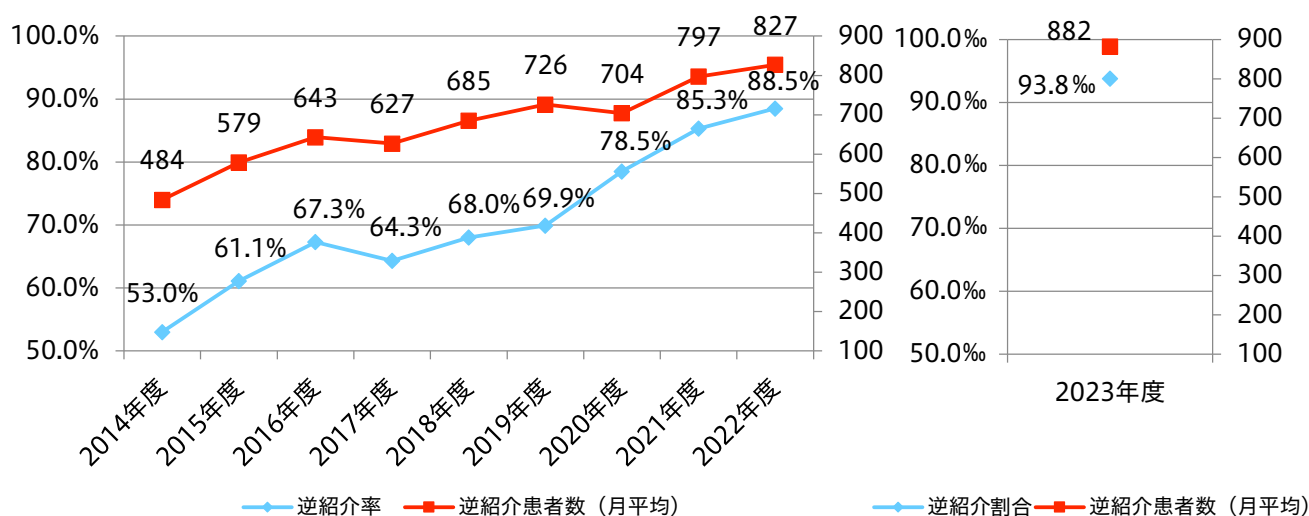
紹介患者状況

	2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均
紹介患者数	8,872	739	7,636	636	8,323	694	8,494	708	9,185	765
初診患者数	19,828	1,652	15,564	1,297	16,682	1,390	17,440	1,453	16,625	1,385
救急初診患者数	7,032	586	4,394	366	5,011	418	5,406	451	5,750	479
時間内初診救急搬送件数	772	64	749	62	807	67	1,034	86	952	79
逆紹介患者数	8,711	726	8,442	704	9,558	797	10,121	827	10,580	882
紹介率（紹介割合）	71.1%	-	71.0%	-	74.3%	-	74.3%	-	88.8%	-
逆紹介率（逆紹介割合）	69.9%	-	78.5%	-	85.3%	-	88.5%	-	93.8%	-

紹介率（紹介割合）の実績（基準値 65% 目標値 83.0%）



逆紹介率（逆紹介割合）の実績（基準値 40% 目標値 84.0%）



※ 2023 年度から紹介率と逆紹介率の名称が紹介割合と逆紹介割合に変更になっています

※逆紹介割合の単位が%から‰へ変更になっています

共同利用

(データ作成 地域医療連携室 金城)

年度別 登録医状況

	登録医数	登録医療機関
2009 年度 3 月	292	
2010 年度 3 月	303	
2011 年度 3 月	307	303
2012 年度 3 月	304	300
2013 年度 3 月	299	294
2014 年度 3 月	297	290
2015 年度 3 月	300	292
2016 年度 3 月	322	313

	登録医数	登録医療機関
2017 年度 3 月	323	314
2018 年度 3 月	324	315
2019 年度 3 月	322	313
2020 年度 3 月	313	304
2021 年度 3 月	310	301
2022 年度 3 月	307	301
2023 年度 4 月	306	300

2023 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数
北部医療圏	11
中部医療圏	104
南部医療圏	167
宮古医療圏	10

医療圏	件数
八重山医療圏	7
その他医療圏	1
合計	300

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2014 年度	8,950	115.1%
2015 年度	8,843	110.0%
2016 年度	10,521	131.2%
2017 年度	9,196	114.4%
2018 年度	9,352	117.4%
2019 年度	8,919	110.4%

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2020 年度	7,551	94.2%
2021 年度	7,275	90.5%
2022 年度	7,091	88.3%
2023 年度	9,232	115.0%

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
2011 年度	総件数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利用率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
2012 年度	総件数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2,049
	利用率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%
2013 年度	総件数	3,964	11,547	307	13,094
	紹介件数	689	1,055	49	2,156
	利用率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
2014 年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
2015 年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884
	紹介件数	667	1,134	46	2,270
	利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%
2016 年度	総件数	3,780	12,230	202	11,677
	紹介件数	782	1,340	35	2,435
	利用率	20.7%	11.0%	17.3%	20.9%
2017 年度	総件数	3,822	12,253	283	11,636
	紹介件数	733	1,306	73	2,595
	利用率	19.2%	10.7%	25.8%	22.3%
2018 年度	総件数	4,503	12,397	287	11,887
	紹介件数	939	1,247	42	2,793
	利用率	20.9%	10.1%	14.6%	23.5%

		MRI	CT	RI	超音波
2019 年度	総件数	4,758	13,667	285	12,248
	紹介件数	965	1,513	49	2,881
	利用率	20.2%	11.1%	17.1%	23.5%
2020 年度	総件数	4,581	14,708	285	11,623
	紹介件数	849	1,505	45	2,953
	利用率	18.6%	10.2%	15.8%	25.4%
2021 年度	総件数	4,975	15,426	234	12,004
	紹介件数	1,117	1,594	47	2,753
	利用率	22.4%	10.4%	19.5%	23.0%
2022 年度	総件数	4,581	14,971	203	11,020
	紹介件数	1,109	1,736	24	2,744
	利用率	24.1%	11.6%	14.1%	24.9%
2023 年度	総件数	4,424	13,719	156	10,381
	紹介件数	1,278	1,918	29	2,904
	利用率	29.1%	14.0%	18.5%	28.0%

研修

(データ作成 地域医療連携室 金城)

名称		症例 件数	参加人数			
			院内	院外	オンライン	合計
循環器疾患地域連携講演会	2023 年 4 月 20 日 (木)	2	0	0	47	47
沖縄県 COVID-19 診療 Round Table Meeting	2023 年 8 月 8 日 (火)	1	9	4	19	32
WEB Symposium for ALL	2023 年 9 月 29 日 (金)	4	0	6	12	18
薬剤耐性菌と抗菌薬	2023 年 11 月 16 日 (木)	1	3	12	0	15
外来感染対策向上加算における感染症訓練	2023 年 11 月 27 日 (月)	1	6	11	2	19
末梢神経障害に対するハイドロリリース	2024 年 2 月 3 日 (土)	1	38	11	0	49
救急症例検討会	2024 年 2 月 9 日 (金)	4	30	69	0	99
合 計		13	113	86	80	279

救急救命士実習実績

(データ作成 地域医療連携室 金城)

気管挿管病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	4
沖縄市消防本部	2
中城北中城消防組合消防本部	1
うるま市消防本部	3
合 計	10

ビデオ喉頭鏡病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	3
宜野湾市消防本部	7
中城北中城消防組合消防本部	7
沖縄市消防本部	7
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	3
合 計	27

就業前病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	2
合 計	2

気管挿管認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
うるま市消防本部	1
宜野湾市消防本部	1
沖縄市消防本部	2
東部消防組合消防本部	9
中城北中城消防組合消防本部	1
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	2
合 計	16

気管挿管及びビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
沖縄市消防本部	8
宜野湾市消防本部	6
うるま市消防本部	6
東部消防組合消防本部	3
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	3
合 計	26

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMAT は、大規模災害や多数傷病者事案など防ぎ得た災害死を減らすため、厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で多くの会議・協議会・実働訓練・学会、講習会等に参加、実績を残し、平成 26 年に DMAT 隊員養成研修を受講、正式にハートライフ病院が DMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後も、各種訓練、講習会に参加しつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、平成 28 年に起きた熊本地震では沖縄からの最先着隊として被災地に入り、令和 2 年の熊本豪雨災害にも出動し、本部活動を含め被災地の復興のために活動してきました。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療部 救急部長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科副部長	医師（外科系）
兼本 愛美	救急外来 主任（救急看護認定看護師）	看護師
山田 義長	ICU 副主任	看護師
野原 剛	臨床工学科 技師長	ロジスティクス（事務・調整役）
安里 健二	事務部企画室電算係 副主任	ロジスティクス（事務・調整役）
森元 一晟	救急外来 ER-Aide（救急救命士）	ロジスティクス（事務・調整役）

活動報告

災害派遣	- 能登半島地震 DMAT 派遣 - DMAT ロジスティックチーム派遣：三戸、山田、森元 - DMAT 隊員派遣：三戸、国吉、兼本、野原、瑞慶覧
訓練	- 令和 5 年度 総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練（9 月・大分県） 参加者（コントローラー）：三戸正人、山田義長 （プレイヤー）：国吉史雄、兼本愛美、野原剛、安里健二 - 令和 5 年度 沖縄県総合防災訓練（10 月・沖縄県石垣島） 参加者：三戸正人、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二、森元一晟大宜見宗史 - 令和 5 年度 九州・沖縄ブロック DMAT 実動訓練（1 月・沖縄県） 参加者（コントローラー）：国吉史雄、山田義長、野原剛、森元一 （プレイヤー）：三戸正人、兼本愛美、安里健二 - 令和 5 年度那覇空港航空機事故対処訓練（1 月、2 月・那覇空港） 図上訓練参加者：三戸正人、山田義長 実働訓練参加者：三戸正人、国吉史雄、兼本愛美、大宜見宗史、野原剛、安里健二、森元一晟

研修	- 令和5年度第1回災害急性期対応研修(4月・沖縄県) 参加者:三戸正人(インストラクター) - DMAT 隊員養成研修(5月・大阪府) 参加者:山田義長(タスク) - 令和5年度第2回災害急性期対応研修(6月・沖縄県) 参加者:三戸正人(インストラクター) - DMAT 隊員養成研修(6月・兵庫県) 参加者:三戸正人(インストラクター)、山田義長(タスク) - DHCoS 研修 参加者:三戸正人、兼本愛美、野原剛 - 沖縄県医師会災害医療研修会(11月・熊本県) 参加者:三戸正人、山田義長、大宜見宗史、野原剛、森元一晟 - 院内災害対応訓練(11月) 参加者:DMAT 全隊員 - 都道府県災害医療コーディネーター研修(12月・東京都) 参加者:三戸正人(インストラクター) - DMAT ロジスティックチーム隊員養成研修(12月・東京都) 参加者:三戸正人、山田義長 - 西第7回 DMAT 隊員養成研修(1月・兵庫県) 参加者:大宜見宗史(受講者)
会議	- 九州・沖縄災害拠点病院実務者会議(5月・福岡県) 参加者:兼本愛美 - 九州・沖縄ブロック DMAT 実務者会議 - 沖縄 DMAT・災害拠点病院等連絡会議
事務局活動	- 災害対策本部会議 - ハートライフ DMAT 委員会

大規模地震時医療活動訓練 9月



沖縄県総合防災訓練 10月



九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練 1月



能登半島地震 DMAT派遣



那覇空港航空機事故対処訓練



看護師特定行為研修センター

(データ作成 看護部 安谷屋)

ハートライフ病院では厚生労働省からの指定を得て、2023 年 4 月 1 日に看護師特定行為研修センターを開設しました。

特定行為は 21 区分 38 行為あり、当院では「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」や「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「循環動態に係る薬剤投与関連」などの 6 区分の研修を行うことができます。

指定研修機関認定日

2023 年（令和 5 年）2 月 22 日

基本理念

本研修は、チーム医療においてキーパーソンである看護師が患者や国民、医師その他の医従事者から信頼され、期待される人材として地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的にアセスメントを行ない、習得した知識、技術を手順書に沿って安全に実施でき、社会に貢献できる有能な看護師を養成します。

研修目的

看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技術の向上を図り、迅速かつ的確な医療の提供とチーム医療の推進を目的とする。

研修担当者

- ・特定行為研修センター長・特定行為研修指導責任者：秋元 芳典
- ・特定行為研修統括責任者：安谷屋 佳子
- ・特定行為研修指導者：医師 宮平 工（外科）、島袋 泰（麻酔科）、金城 太貴（循環器内科）、
北原 祐介（講師・アドバイザー）
看護師 兼本 愛美、富里 康太
薬剤師 大関 秀和

研修受け入れ予定人数

5 名

2023 年度研修受講者

3 名

2023 年度研修終了者

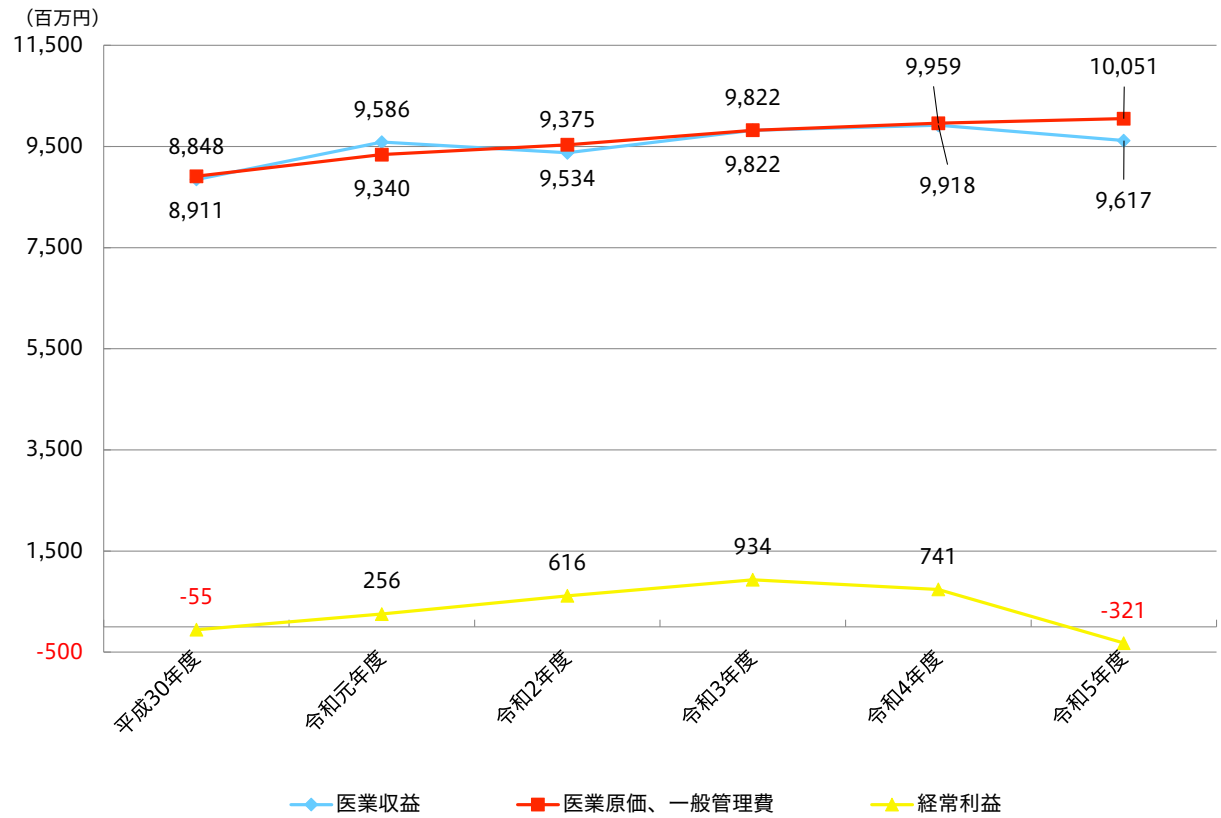
2 名

指定研修機関としての研修区分及び 2023 年度区分別研修終了者

特定行為	2023 年研修終了者数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	1
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	1
動脈血液ガス分析関連	1
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	2
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	2
循環動態に係る薬剤投与関連	1

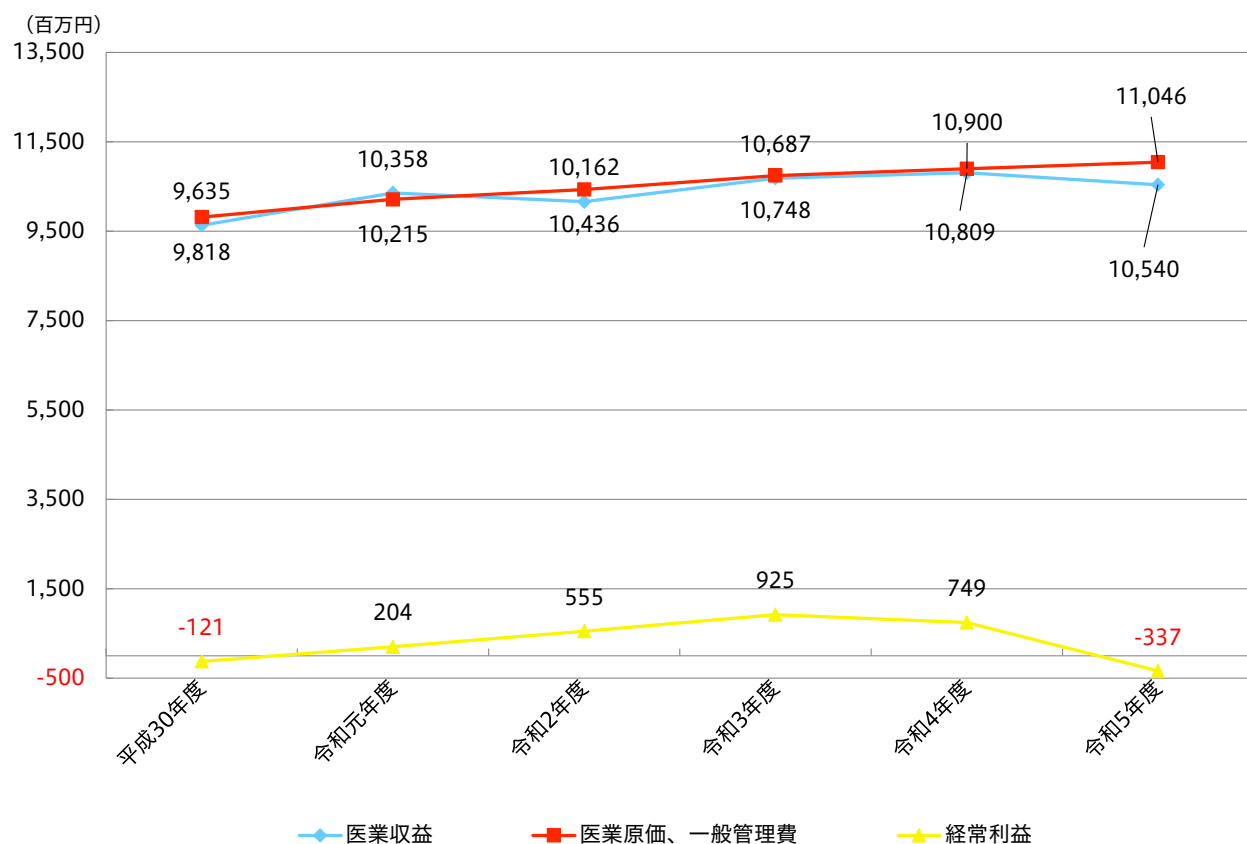
ハートライフ病院 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



社会医療法人かりゆし会 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



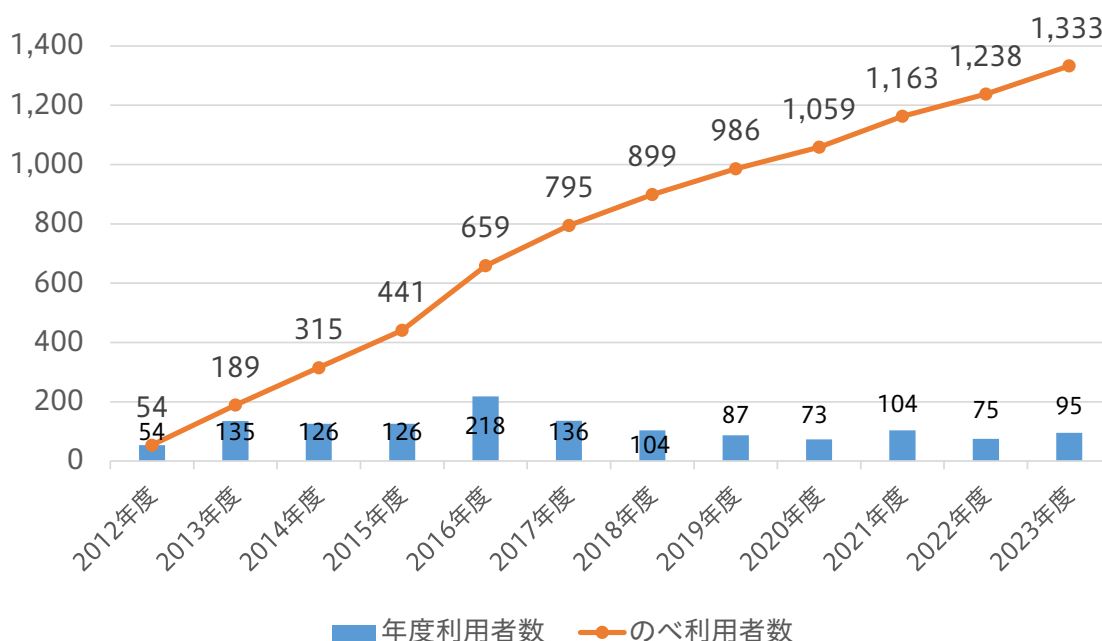
社会医療法人かりゆし会 2023 年度の活動実績

(データ作成 総務課 河上)

年月日	名称
2023 年 4 月 1 日	入職式・新入職員オリエンテーション 看護師特定行為研修センター開所 春季職員健診
2023 年 5 月 22 日	合同慰霊祭
2023 年 5 月 24 日	長期療養者支援事業協定締結式
2023 年 5 月 26 日	職員対象 新型コロナワクチン接種 (6 回目)
2023 年 6 月 2 日	職員対象 新型コロナワクチン接種 (6 回目)
2023 年 7 月 10 日	院内献血
2023 年 8 月 14 日	科別実績報告会 (オンデマンド配信)
2023 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 35 周年
2023 年 9 月 4 日	永年勤続表彰
2023 年 9 月 9 日	第 2 回おきなわ子どもメディカルラリー (イオンモール沖縄ライカム)
2023 年 9 月 13 日	職員 B 型肝炎予防接種 (集団①)
2023 年 10 月 3 日	秋季職員健診
2023 年 10 月 11 日	職員 B 型肝炎予防接種 (集団②)
2023 年 10 月 20 日	保健所立入検査
2023 年 10 月 27 日	火災避難訓練
2023 年 11 月 6 日	患者満足度調査
2023 年 11 月 10 日	職員対象 新型コロナワクチン接種 (7 回目)
2023 年 11 月 17 日	職員対象 新型コロナワクチン接種 (7 回目)
2023 年 11 月 22 日	職員インフルエンザワクチン接種 (集団①)
2023 年 11 月 24 日	大規模災害対応訓練
2023 年 11 月 29 日	職員インフルエンザワクチン接種 (集団②)
2023 年 12 月 1 日	第 3 回かりゆし会研究発表会 (本選)
2023 年 12 月 12 日	院内献血
2024 年 1 月 10 日	新春もちつき大会
2024 年 2 月 28 日	職員 B 型肝炎予防接種 (集団③)
2024 年 3 月 22 日	初期臨床研修医研修修了式

かりゆし会病児保育室 利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成 24 年 8 月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



2023 年度 患者満足度調査

(データ作成 患者満足度向上委員会 河上)

当院では、患者サービス向上を目的に「患者満足度調査」を実施しております。以下に 2023 年度に実施されました調査結果をご報告致します。アンケートにご協力して下さった皆様に心より感謝を申し上げます。今後は、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

調査場所：ハートライフ病院 外来・各病棟・透析室・予防医学センター・内視鏡センター

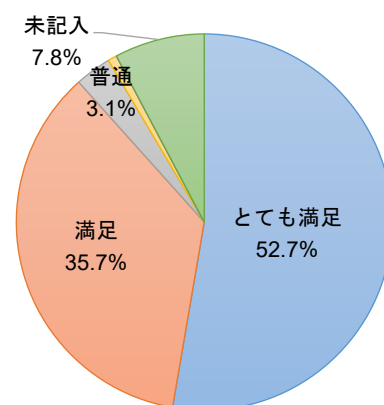
調査期間：2023 年 11 月 6 日（月）から 11 月 7 日（火）の 2 日間

※病棟・透析のみ 11 月 6 日（月）～ 11 月 11 日（土）までの 6 日間

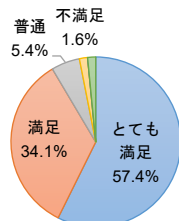


【総合評価】 この病院での診療に 満足していますか

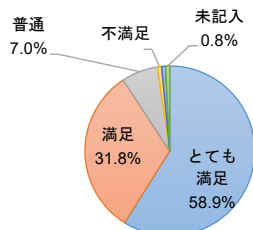
満足以上が88.4%と
概ね良い評価と
なっています。



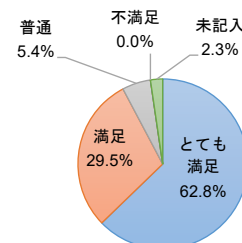
医師の病気や治療による説明はいかがですか



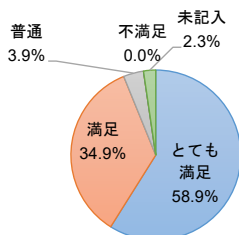
看護師の説明や対応はいかがですか



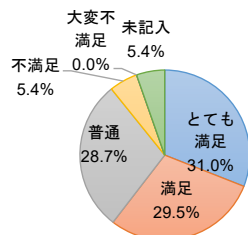
医師・看護師は話を聞いてくれますか



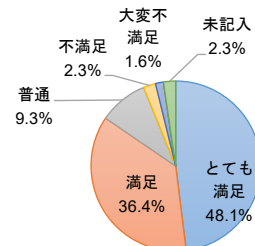
職員の言葉遣いや態度は良かったですか



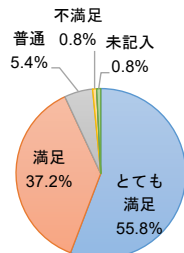
食事について(味・内容・量)はいかがですか



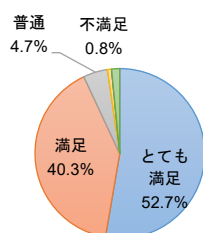
静けさは保たれていますか



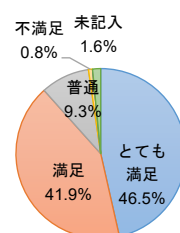
病棟・病室・トイレはきれいでしたか



病室・廊下の明るさはいかがですか



室内の温度調整はいかがですか

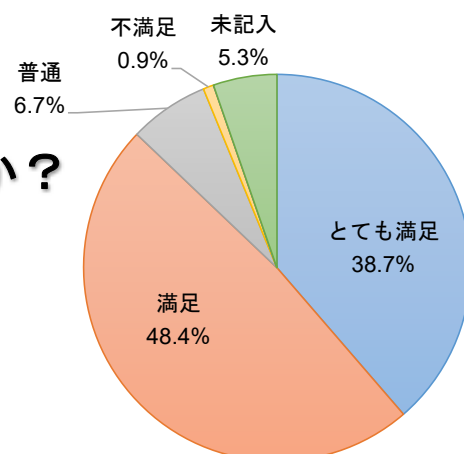


外来

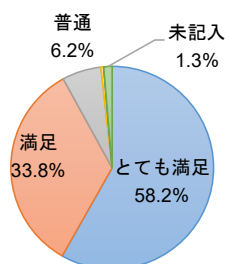
アンケート回答数
225件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

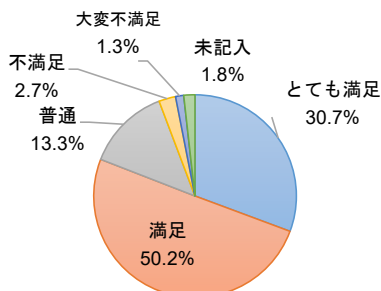
満足以上が87.1%と
概ね良い評価と
なっています。



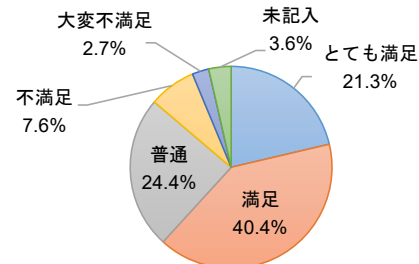
医師による診察内容は分かり易かったですか？



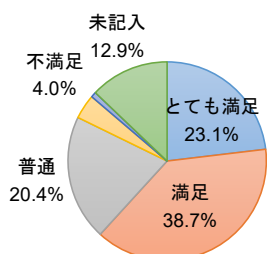
受付待ち時間はいかがでしたか？



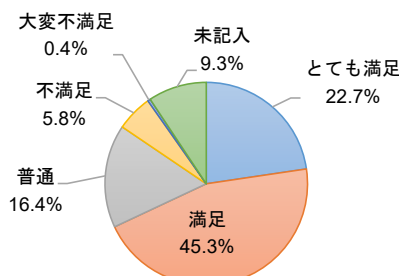
診察の待ち時間はいかがでしたか？



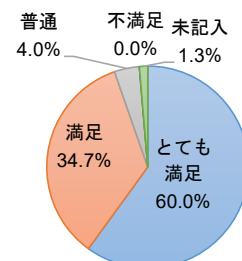
検査の待ち時間はいかがでしたか？



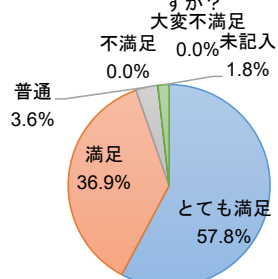
会計の待ち時間はいかがでしたか？



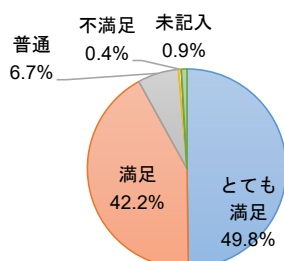
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



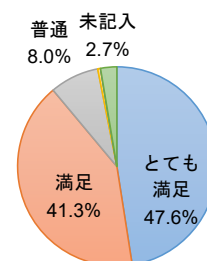
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？

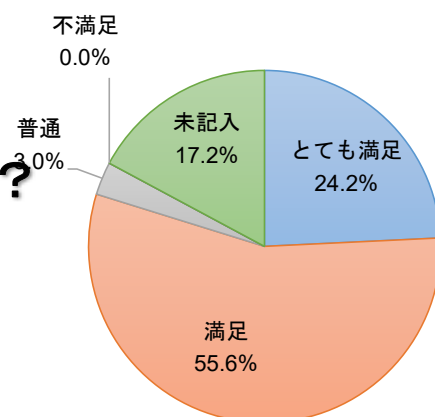


予防医学 センター

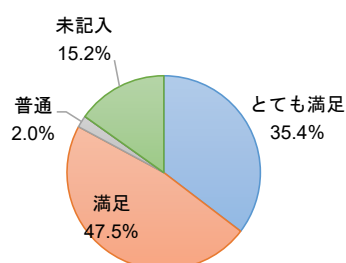
アンケート回答数
99件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

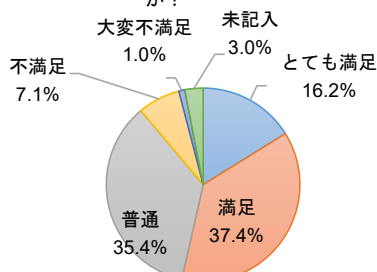
79.8%が満足以上の
評価となっています。



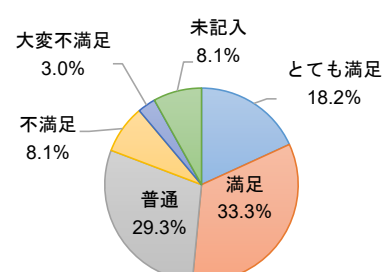
医師による診察内容は分かり易かったですか？



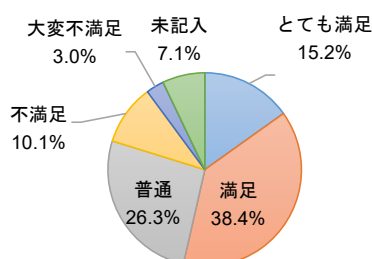
受付の待ち時間はいかがでしたか？



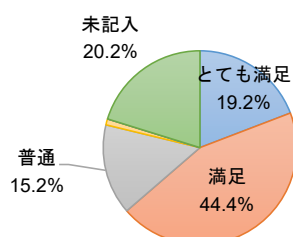
診察の待ち時間はいかがでしたか？



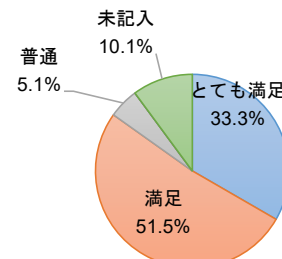
検査の待ち時間はいかがでしたか？



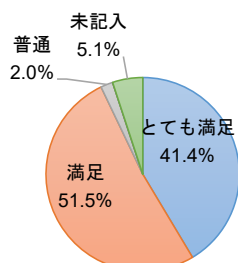
会計の待ち時間はいかがでしたか？



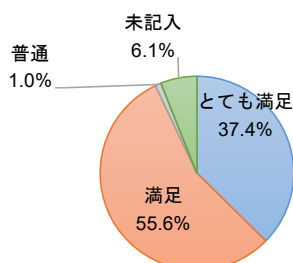
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



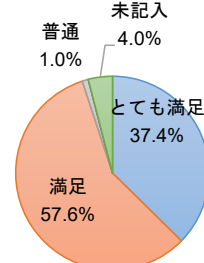
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？

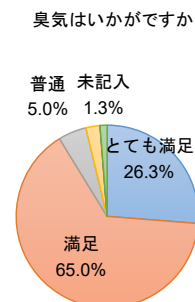
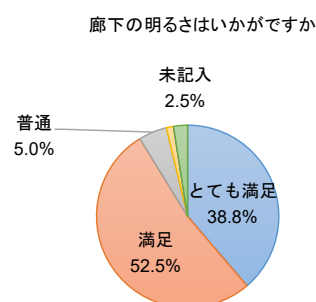
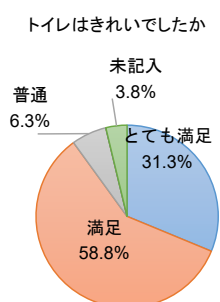
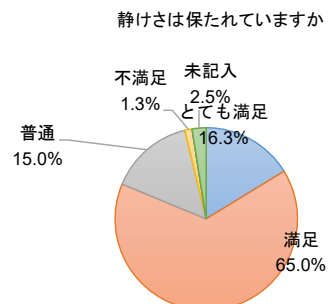
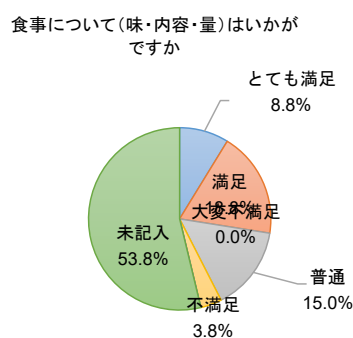
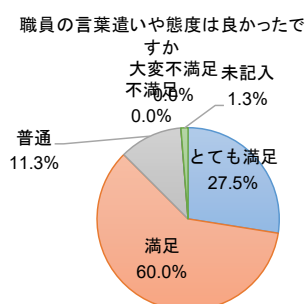
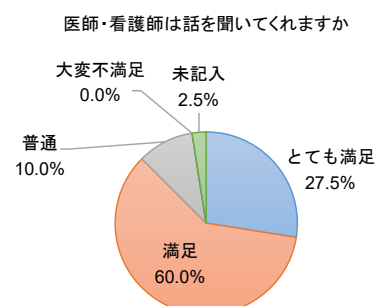
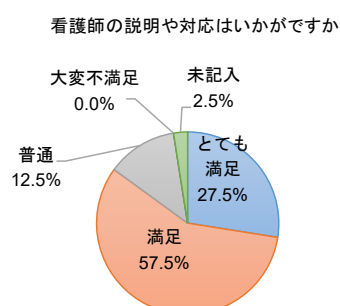
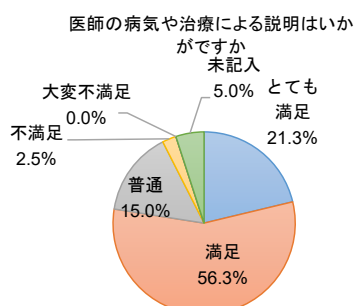
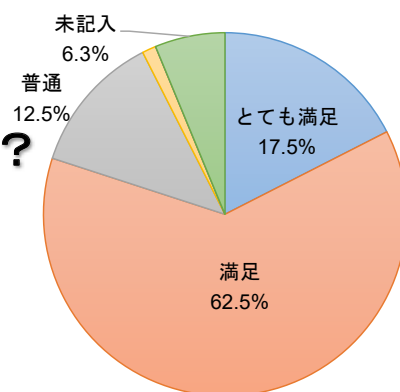


透析室

アンケート回答数
80件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

80.0%が満足以上の
評価となっています。

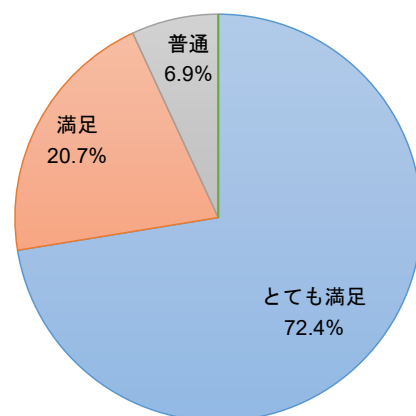


内視鏡 センター

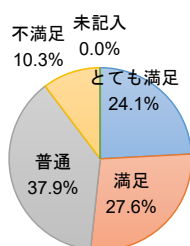
アンケート回答数
29件

【総合評価】 内視鏡での検査に 満足できましたか？

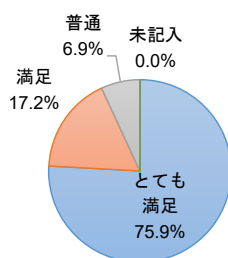
満足以上が93.1%と
概ね良い評価と
なっています。



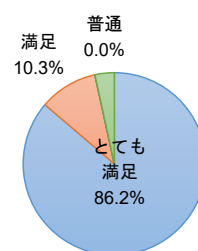
内視鏡での待ち時間



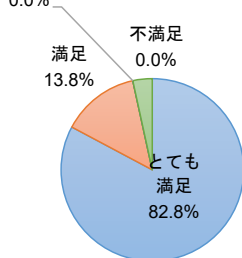
医師の言葉遣いや態度



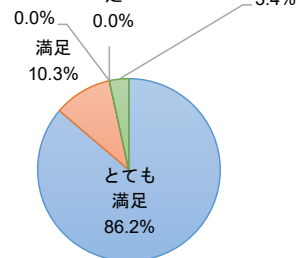
看護師の言葉遣いや態度



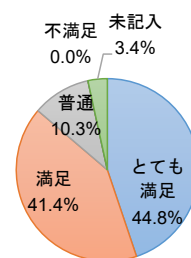
受付事務の言葉遣いや態度



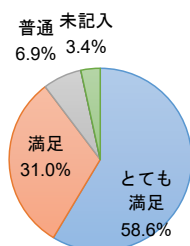
看護師の対応



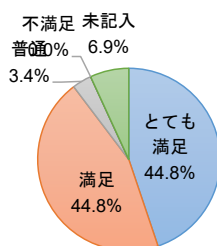
待合室の設備はいかがでしたか



検査室・麻酔部屋の雰囲気



検査後は十分に休めたか



2023 年度職員満足度調査

(データ作成 人事課 仲地)

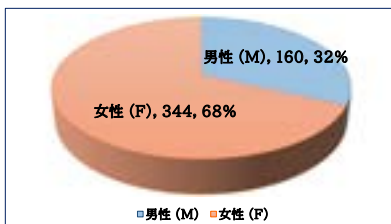
かりゆし会では、毎年職員満足度調査を行い、このアンケート結果を職場改善の材料とし、職員が働きやすく、働き甲斐のある組織運営の実現に向けて取り組んでおります。

調査概要：職員数 1,090 名 回答数 504 回答率 46.24%

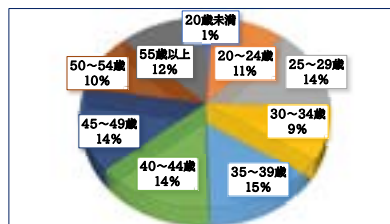
調査日時：2024 年 3 月 26 日 (火) ～ 2024 年 4 月 7 日 (日)

調査方法：グループセッション (グループウェア) を利用した調査票への入力

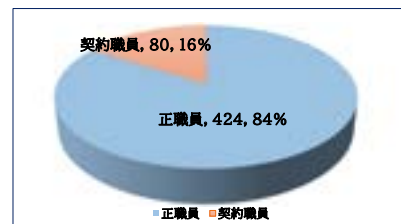
設問1 性別



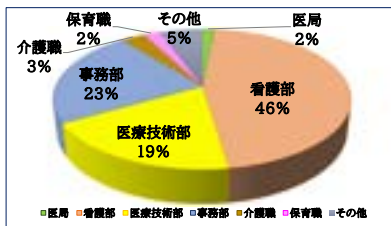
設問2 年齢



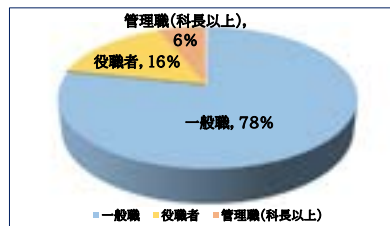
設問3 雇用形態



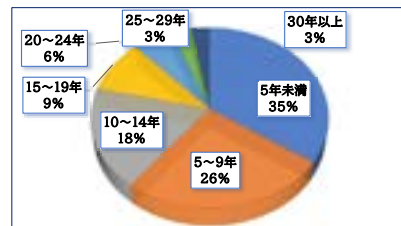
設問4 職種



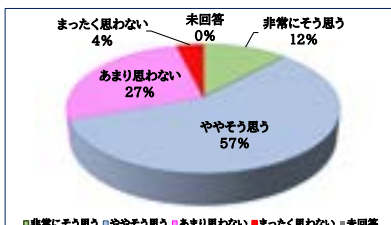
設問5 役職



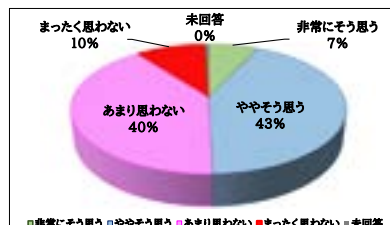
設問6 勤続年数



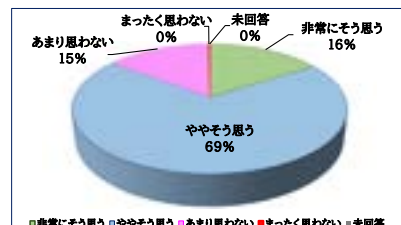
設問7 今の職場でこれからも働きたいと思えますか



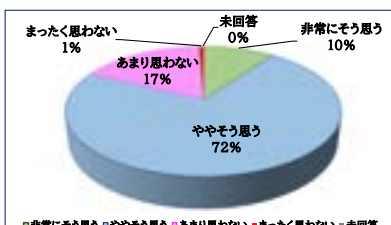
設問9 今の職場を職場として知人に勧めますか



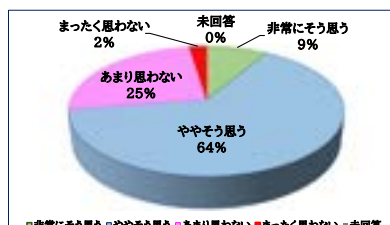
設問11 病院の理念・方針・目標などを理解していますか



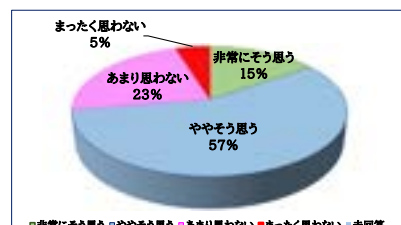
設問13 病院は理念や使命に沿った活動をしていると思いますか



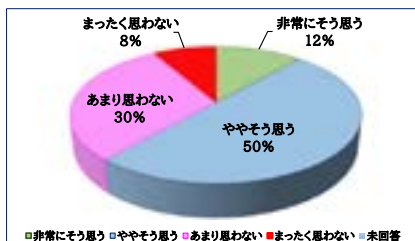
設問15 今の仕事が自分の能力にあっていると思いますか



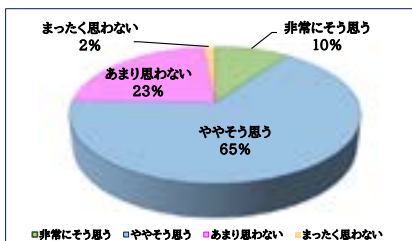
設問17 今の仕事にやりがいを感じていますか



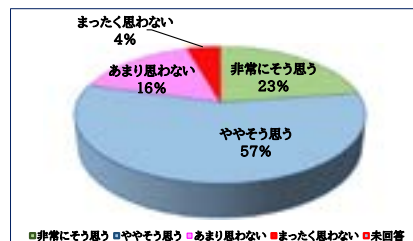
設問19 仕事の成果が正当に評価されていると思いますか



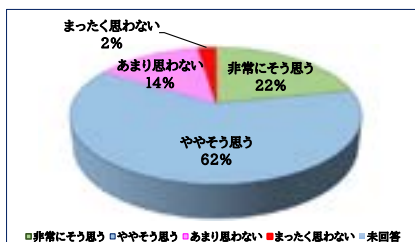
設問21 あなたは自己成長に繋がる努力をしていますか



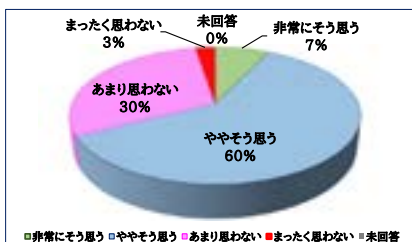
設問23 あなたの上司と仕事上の関係は良いと思いますか



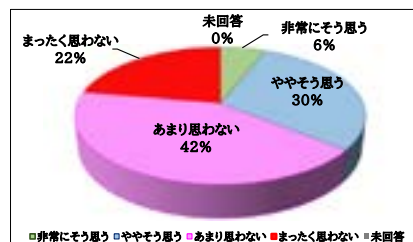
設問25 同じ職場同士で互いに協力出来ていますか



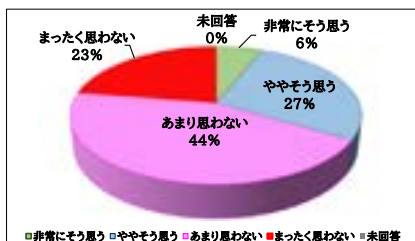
設問27 他部門との連携はスムーズですか



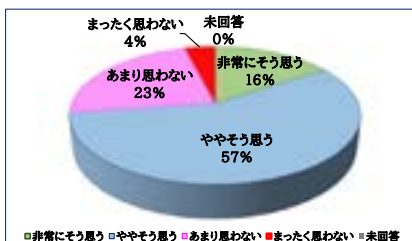
設問29 現在の福利厚生制度に満足ですか



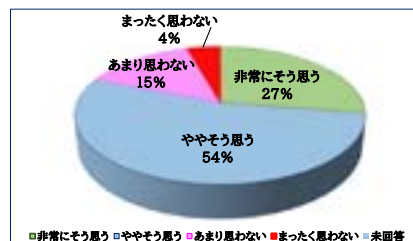
設問31 現在の報酬に満足ですか



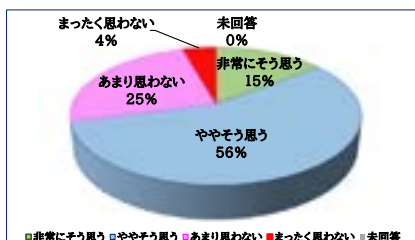
設問33 職場環境(空調・照明・作業空間)は適切ですか



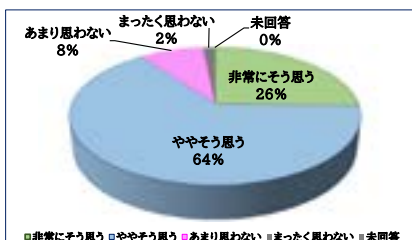
設問35 あなたの上司は仕事のサポートを良くしてくれますか



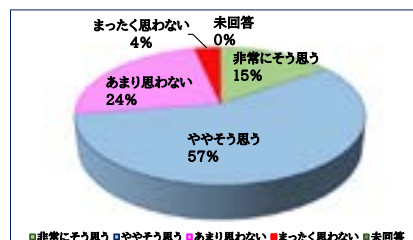
設問37 仕事のスケジュールは適切だと思いますか



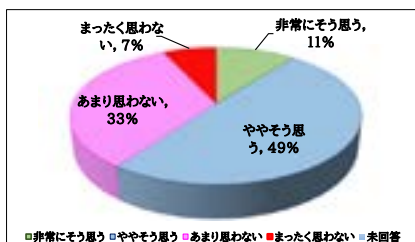
設問39 職場のメンバー同士で互いに協力出来ていますか



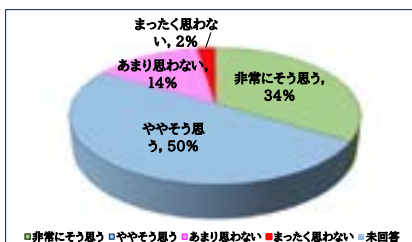
設問41 個々の向上に役立つ学習の機会が与えられていますか



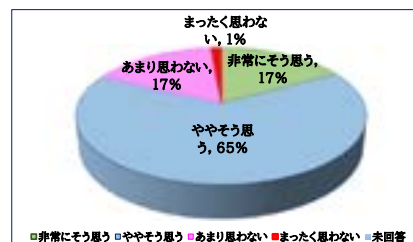
設問43 精神的な不安を感じることもなく仕事が出来ていますか



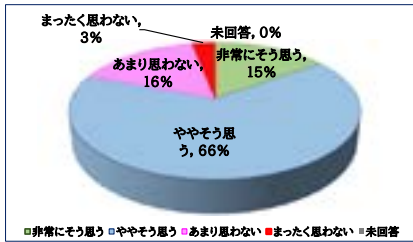
設問45 休暇を取得しやすい職場ですか



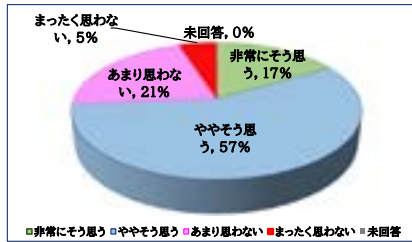
設問47 病院は、職員の安全に配慮していると思いますか。



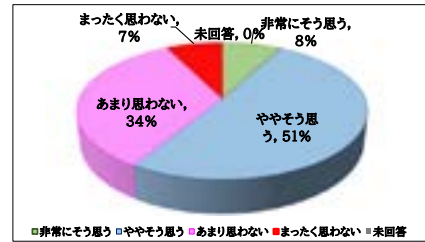
設問49 職務遂行に必要な権限を与えられていますか



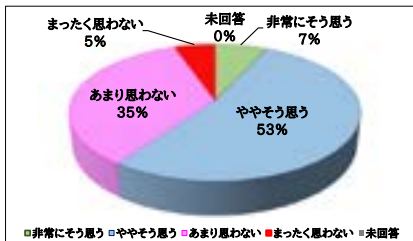
設問51 指示系統で困ることはないですか



設問53 患者として、当院を利用したいと思いますか



設問55 当院を患者さんや知人に勧めますか



<統括>

回答率は、対象者1,090名に対し504名の回答で△46.24%となった。(対前年度0.54ポイントDWN)

「非常にそう思う」「ややそう思う」合わせた評価比率で対前年2ポイント以上増加が見られた項目

勤続への意欲	今の職場でこれからも働きたいと思いますか	(69%) + 3.0ポイント
能力との適合度	今の仕事が自分の能力にあっていると思いますか	(73%) + 2.0ポイント
適正な評価	仕事の成果が正當に評価されていると思いますか	(62%) + 2.0ポイント
同僚との関係	自由な提案ができ、同じ職場同士で互いに協力できていますか	(84%) + 3.0ポイント
働きやすい環境①	職場環境(空調・照明・作業空間)は適切ですか	(73%) + 2.0ポイント
働きやすい環境③	仕事のスケジュールは適切だと思いますか	(71%) + 4.0ポイント
働きやすい環境④	職場のメンバー同士で互いに協力出来ていますか	(90%) + 2.0ポイント
教育	個々の向上に役立つ学習の機会が与えられていますか	(72%) + 3.0ポイント
家庭と仕事	休暇を取得しやすい職場ですか(年次有給休暇・育児休暇・介護休暇等)	(84%) + 9.0ポイント
権限の付与状況	職務遂行に必要な権限を与えられていますか	(81%) + 4.0ポイント
自己利用の意向	あなたは患者として、あなたの病院を利用したいと思いますか	(59%) + 2.0ポイント

「非常にそう思う」「ややそう思う」合わせた評価比率で対前年2ポイント以上減少が見られた項目

直属上司との関係	あなたの上司と仕事上の関係は良いと思いますか	(80%) △2.0ポイント
報酬	現在の報酬に満足ですか	(33%) △4.0ポイント

部署別業務実績

医 局

部門紹介

2023 年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科 29 名(内科初診担当 1 名、総合内科 3 名、呼吸器 4 名、循環器 5 名、消化器 11 名、血液 5 名)、外科 9 名、麻酔科 6 名、整形外科 6 名、産婦人科 6 名、小児科 4 名、脳神経外科 2 名、泌尿器科 1 名、眼科 2 名、形成外科 1 名、耳鼻咽喉科 1 名、放射線科 3 名、救急科 2 名 (1 名は兼任)、心療内科 1 名、人間ドック 4 名、病理診断 2 名、初期研修医 16 名の計 95 名となっていました。

また、初期研修医 16 名、専攻医 9 名の指導に加え、年間 40 ～ 50 名程のクリニカルクラークシップ (琉球大学医学部生) に対応しています。

医師数 (常勤)

(2024 年 3 月 1 日現在)

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	形成外科	病理診断科	合計
全医師数 (研修医除く)	29	9	2	4	6	6	2	1	1	2	3	1	6	4	1	2	79
うち各種学会認定・専門医数	85	36	8	3	4	9	4	5	2	2	3	3	14	7	0	3	188
うち臨床研修指導医数	20	7	2	2	2	3	2	1	1	1	1	1	3	0	0	1	47
専攻医	3	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	9
初期研修医	1 年目：9 名 2 年目：7 名																16

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性確立のため学会活動などの自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 他科との緊密な連携により、患者にとって最高の医療提供を目指す。
4. 他部署との交流・院内各行事への参加を積極的に行う。
5. 地域の医療機関、保健・福祉施設との連携を積極的に行う。
6. 研修医をはじめとする若い医師および他部署への教育、指導を積極的に行い、自身の能力向上につなげる。
7. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club（抄読会 / 毎週水曜日 8:15 ～ 8:30）

年	月日	担当者	演題名
2023 年	4 月 5 日	比嘉 真凡	高齢者の「食べられない」
	4 月 12 日	仲外 拓	非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)
	4 月 19 日	崎原 徹裕	生物統計・臨床研究いかがですか？
	4 月 26 日	新垣 珠代	沖縄県の気管支喘息の現状
	5 月 10 日	秋元 芳典	高血圧の治療
	5 月 17 日	佐藤 直行	医療と気候変動
	5 月 24 日	堀本 直幹	診療の医師間差
	5 月 31 日	島袋 泰	周術期のオピオイド
	6 月 7 日	折田 均	腸炎の診断は難しい？～実臨床を通して考える～
	6 月 21 日	宮崎 優樹	HPV ワクチンについて
	7 月 5 日	友寄 未希	当院で経験した先天性凝固因子欠乏症
	7 月 12 日	菅野善一郎	高齢者への不眠症対応
	7 月 19 日	大濱 昌代	高齢者の貧血とクローン性造血
	7 月 26 日	末吉 健次	古くて新しい片頭痛（高校生でもわかる）
	8 月 9 日	親富祖さやか	ハートライフ病院の眼科診療
	8 月 16 日	花城 直次	トルソー症候群 Trousseau syndrome
	8 月 23 日	奥島 憲彦	食道運動機能異常 特に食道アカラシアの診断と治療
	8 月 30 日	仲村 義一	沖縄県の生活習慣病を真剣に考える
	9 月 6 日	渡慶次 学	肘部管症候群
	9 月 13 日	高良 誠	突発性肺線維症の CT 診断
	9 月 27 日	大濱 千夏	高Ca血症とサルコイドーシス
	10 月 4 日	森岡 弘光	腸閉塞とイレウス
	10 月 11 日	赤嶺 尚里	運動器超音波診療とは～整形外科診療やスポーツ現場ににおいて～
	10 月 18 日	照屋 明子	近視について
	10 月 25 日	岡 伊作	MRI について
	11 月 1 日	佐久川 廣	D 型肝炎の診断と治療
	11 月 8 日	嘉手苅 由梨	全身麻酔下で暗示をかけて術後疼痛を減らす
	11 月 15 日	新垣 勝男	化膿性脊椎炎で手術を行った 5 例
	11 月 22 日	武田 理	カルボプラチン脱感作療法の現状
	11 月 29 日	仲吉 博亮	グラム陽性球菌の取り扱い
	12 月 6 日	平良 志子	レミマゾラム 新しい静脈麻酔と応用症例
	12 月 13 日	普天間 光彦	院内救急システム (PRS) が稼働します！
	12 月 20 日	三戸 正人	CBRNE terrorism から自分・家族・傷病者を守る
2024 年	1 月 10 日	釜野 武志	AceScope 第 3.5 世代ビデオ咽喉鏡の可能性
	1 月 17 日	國吉 史雄	能登地震での DMAT について
	1 月 24 日	山入端 敦	腸内細菌叢と GVHD
	1 月 31 日	又吉 貴也	アルコール離脱症候群 予防するために
	2 月 7 日	足立 達也	ショックの超音波
	2 月 14 日	伊波 雅人	虫垂切除待機中の虫垂穿孔に対する術前の院内遅延の役割
	2 月 21 日	垣花 実	慢性便秘症
	2 月 28 日	知念 佳奈	抜管後の高流量鼻カニューレと非侵襲的換気の使用は肥満患者の再挿管防止に影響を及ぼすのか
	3 月 6 日	松波 尚典	KPNA2 を抑制することで DrugA は HBV の細胞核への移行を抑制する
	3 月 13 日	阿嘉 裕之	血も凍る様な恐怖映画と凝固因子
	3 月 27 日	本永 圭吾	セフトリアキソンとランソプラゾールの併用について

院内 CPC（臨床病理検討会）

症例	発表者	日付	参加者
アルコール性肝硬変、肝不全で死亡した一例	間 妃向子（研修医） 小宮山 真代（研修医）	2023 年 12 月 13 日	間妃向子、小宮山真代、山城謙人、古謝景輔、青山肇、佐久川廣、宮城純、普天間光彦、秋元芳典、大城義人、大濱千夏、関口迪留、知念佳奈 合計 13 名
アルコール性肝硬変、多発肝細胞癌で死亡した一例	関口 迪留（研修医） 比嘉 真凡（研修医）	2024 年 2 月 21 日	関口迪留、比嘉真凡、佐久川廣、古謝景輔、青山肇、普天間光彦、比嘉章子、宮城敬、佐藤直行、大城義人、又吉貴也、田口泰透、小宮山真代、知念佳奈、町田香菜子、松波尚典、本永圭吾、笠場さき 合計 18 名
急性心筋梗塞、循環不全で死亡した一例	眞壁 知花（研修医） 町田 香菜子（研修医）	2024 年 3 月 13 日	眞壁知花、町田香菜子、秋元芳典、古謝景輔、青山肇、佐久川廣、普天間光彦、大城義人、比嘉章子、新垣珠代、仲吉博亮、佐藤直行、大濱千夏、又吉貴也、本永圭吾 合計 15 名

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘した講習会も行っています。

時間	月	火	水	木	金	土
8:00 ～ 8:15	ミニ救急症例検討会					
8:15 ～ 8:45	総合内科カンファ		抄読会	総合内科カンファ		総合内科カンファ

外部講師による教育回診

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（50 歳女性 倦怠感、起立困難、 嘔気）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 4 月 20 日	関口迪留、間妃向子、衛藤勇斗、小宮山真代、伊波雅人、垣花実、知念佳奈、松波尚典、本永圭吾、眞弓愛、眞壁知花、町田香菜子
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（54 歳男性 呼吸困難感）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 5 月 10 日	衛藤勇斗、間妃向子、関口迪留、中石祐木、足立達哉、伊波雅人、垣花実、知念佳奈、松波尚典、眞弓愛、本永圭吾、町田香奈子、眞壁知花、琉大学生 2 名、見学学生 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（60 代女性 意識障害）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 5 月 24 日	里中優太、間妃向子、衛藤勇斗、関口迪留、中石祐木、足立達哉、垣花実、松波尚典、眞弓愛、本永圭吾、眞壁知花、琉大学生 2 名、当院看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（57 歳女性 腹痛、嘔吐）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 6 月 1 日	知念佳奈、伊波雅人、垣花実、眞弓愛、眞壁知花、町田香菜子、間妃向子、小宮山真代、中石祐木、琉大生 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（70 歳女性 発熱、倦怠感）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 6 月 28 日	眞弓愛、足立達哉、伊波雅人、垣花実、知念佳奈、町田香菜子、眞壁知花、間妃向子、小宮山真代、中石祐木、比嘉真凡、琉大生 6 名、佐藤直行先生、又吉貴也先生
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（52 歳男性 咽頭痛、呼吸苦、胸痛）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 7 月 6 日	本永圭吾、衛藤勇斗、関口迪留、中石祐木、足立達哉、垣花実、知念佳奈、眞弓愛、町田香菜子、眞壁知花、横山隆也、琉大生 4 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（82 歳女性 腹痛、発熱）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 7 月 20 日	伊波雅人、垣花実、眞弓愛、本永圭吾、眞壁知花、衛藤勇斗、関口迪留、中石祐木、琉大生 2 名

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（77 歳男性 呼吸苦）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 8 月 3 日	眞壁知花、足立達哉、伊波雅人、 松波尚典、本永圭吾、町田香菜子、 間妃向子、衛藤勇斗、比嘉真凡、 嘉陽広菜先生
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（46 歳女性 発熱、頭痛、腰痛）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 8 月 17 日	町田香菜子、足立達哉、伊波雅人、 松波尚典、眞弓愛、本永圭吾、眞 壁知花、間妃向子、衛藤勇斗、小 宮山真代、比嘉真凡、嘉陽広菜先 生、見学学生 2 名
福井大学医学部医学科 地 域医療推進講座 特命教授 兼 群星沖縄臨床研修セ ンター副センター長 寺澤 秀一先生による ER 教育回 診	症例検討（48 歳男性 痙攣後、歩行困難、 意識障害）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 9 月 8 日	松波尚典、足立達哉、伊波雅人、 垣花実、知念佳奈、眞弓愛、本永 圭吾、眞壁知花、町田香菜子、衛 藤勇斗、小宮山真代、里中優太、 中石祐木、比嘉真凡、知花信、又 吉貴也先生、嘉陽広菜先生、佐藤 直行先生
カリフォルニア大学サンフ ランシスコ校内科教授 Dr. Lawrence M. Tierney Jr. による教育回診	症例検討（67 歳男性 発熱）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 9 月 26 日	足立達哉、伊波雅人、垣花実、知 念佳奈、松波尚典、本永圭吾、眞 弓愛、眞壁知花、町田香菜子、横 山隆也、間妃向子、衛藤勇斗、小 宮山真代、里中優太、中石祐木、 比嘉真凡、知花信、見学学生 4 名
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（33 歳女性 呼吸困難感、嘔吐）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 10 月 5 日	本永圭吾、足立達哉、伊波雅人、 垣花実、知念佳奈、松波尚典、眞 弓愛、眞壁知花、衛藤勇斗、中石 祐木
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（59 歳男性 脱力、起立困難）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 10 月 17 日	伊波雅人、知念佳奈、松波尚典、 本永圭吾、眞壁知花、町田香菜子、 衛藤勇斗、里中優太、中石祐木、 比嘉真凡、見学学生 1 名
ミシガン大学 Dr. Richard R.J. Schildhouse による教 育回診	症例検討（47 歳男性 腹部膨満、両下肢の 腫れ）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 11 月 16 日	足立達哉、伊波雅人、垣花実、知 念佳奈、松波尚典、眞弓愛、眞壁 知花、衛藤勇斗、小宮山真代、里 中優太、比嘉真凡、柱本まどか、 琉大生 2 名、又吉貴也先生
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（73 歳女性 発熱、体動困難）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 11 月 29 日	知念佳奈、足立達哉、伊波雅人、 眞壁知花、本永圭吾、間妃向子、 衛藤勇斗、小宮山真代、関口迪留、 比嘉真凡、柱本まどか、嘉陽広菜 先生、佐藤直行先生、琉大生 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（70 歳男性 めまい）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 12 月 12 日	町田香菜子、伊波雅人、知念佳奈、 松波尚典、衛藤勇斗、関口迪留、 琉大生 2 名
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（75 歳女性 嘔吐）	群星沖縄プロジェクト	2023 年 12 月 18 日	眞壁知花、伊波雅人、垣花実、知 念佳奈、松波尚典、本永圭吾、町 田香菜子、関口迪留、大城彩恵、 嘉陽広菜先生
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（25 歳女性 嘔気、嘔吐、右下 腹部痛）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 1 月 4 日	本永圭吾、伊波雅人、垣花実、知 念佳奈、松波尚典、眞壁知花、町 田香菜子、小宮山真代、田口泰透 先生
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（64 歳男性 右足浮腫）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 1 月 18 日	伊波雅人、垣花実、知念佳奈、松 波尚典、眞壁知花、小宮山真代、 里中優太、関口迪留、中石祐木、 琉大生 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床 研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（91 歳女性 左下腹部痛）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 2 月 1 日	眞壁知花、知念佳奈、松波尚典、 本永圭吾、琉大生 4 名

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
ミシガン大学 Dr. Stephanie Parks Taylor による教育回診	症例検討（50 歳女性腰痛による体動困難）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 2 月 22 日	足立達哉、伊波雅人、垣花実、知念佳奈、松波尚典、眞壁知花、町田香菜子、衛藤勇斗、小宮山真代、関口迪留、中石祐木、比嘉真凡、琉大生 5 名、見学学生 2 名、佐藤直行先生、又吉貴也先生、田口泰透先生
杏林大学准教授 岸本暢将先生による教育回診	症例検討（55 歳女性発熱、多関節痛）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 3 月 4 日	伊波雅人、垣花実、松波尚典、本永圭吾、眞壁知花、間妃向子、衛藤勇斗、小宮山真代、関口迪留、中石祐木、琉大生 2 名、佐藤直行先生、田口泰透先生、又吉貴也先生

研修医学会発表

学会名（開催場所）	タイトル	日時	発表者と研究者
第 120 回医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2023 東京	COVID-19 感染症で入院中に弾性ストッキングにより多発性潰瘍を形成した Leriche 症候群の一例	2023 年 4 月 15 日	小宮山真代、仲村義一
第 120 回医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2023 東京	肺炎重症度別にみた誤嚥性肺炎患者における絶食時間と入院期間との関連：後方視的研究	2023 年 4 月 15 日	間妃向子、佐藤直行、崎原徹裕
第 120 回医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2023 東京	腎盂腎炎の臨床像と画像所見を模倣した十二指腸穿孔の一例	2023 年 4 月 15 日	比嘉真凡、佐藤直行
第 123 回日本外科学会定期学術集会（東京）	S 状結腸憩室症に伴う粘膜脱症候群の 1 例	2023 年 4 月 27 日～29 日	里中優太、宮平工、石嶺伝羽、国吉史雄、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、西原実、嵩原裕夫、奥島憲彦
第 134 回沖縄県医師会医学会総会（研修医部門推薦）	腹部エコーにて経時的に follow しえた孤立性上腸間膜動脈解離の一例	2023 年 6 月 11 日	中石祐木、仲村義一
第 77 回日本食道学会学術集会（大阪）	生検で pyogenic granuloma 様の所見を呈した血管腫の一例	2023 年 6 月 29 日～30 日	関口迪留、国吉史雄、奥島憲彦、石嶺伝羽、青山肇、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、宮平工、西原実
第 135 回沖縄県医師会医学会総会（研修医部門推薦）	急性腹症様の臨床像を呈した糖尿病性ケトアシドーシスの一例	2023 年 12 月 10 日	間妃向子、佐藤直行

※各科より初期研修医のみ再掲。専攻医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修 第 19 期生 (2022 年 4 月 1 日～)

(後左より)

比嘉 真凡 (琉球大学卒)

間 妃向子 (琉球大学卒)

新垣 香乃 (琉球大学卒)

里中 優太 (鹿児島大学卒)

衛藤 勇斗 (琉球大学卒)

中石 祐木 (琉球大学卒)

関口 迪留 (埼玉医科大学卒)

小宮山 真代 (琉球大学卒)

※新垣は琉球大学病院のたすき掛け研修医



医師卒後臨床研修 第 20 期生 (2023 年 4 月 1 日～)

(後左より)

町田 香菜子 (琉球大学卒)

眞弓 愛 (琉球大学卒)

伊波 雅人 (琉球大学卒)

本永 圭吾 (琉球大学卒)

眞壁 知花 (琉球大学卒)

足立 達哉 (琉球大学卒)

垣花 実 (琉球大学卒)

松波 尚典 (名古屋市立大学)

知念 佳奈 (琉球大学卒)

※町田と眞壁は琉球大学病院のたすき掛け研修医



各科概要・実績

総合内科

総合内科は平成 31 年 1 月に開設され、外来および入院診療を行っています。スタッフ医師 1 人体制ではありますが、感染症全般、呼吸器疾患、循環器疾患、電解質異常、腎疾患、脳梗塞、リウマチ膠原病、消化器疾患など幅広い領域で診療し、必要に応じて専門診療科へ紹介させていただいております。精査や全身管理の依頼など、院内各科からのコンサルトにも対応しています。5 つの委員会に所属しており、ICT、AST、Polypharmacy 対策委員会（委員長）、研修管理委員会（副委員長）、臨床倫理委員会で活動しています。

医師プロフィール

（2024 年 3 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
部長	佐藤 直行	総合内科、Hospital medicine、感染症、リウマチ膠原病、医学教育	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター POCUS (Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター 米国内科学会会員 医学博士 日本病院総合診療医学会認定医 ハワイ - 沖縄医学教育フェローシップ certified
専攻医	又吉 貴也		
専攻医	田口 泰透		

検査・治療件数

入院症例数：144 例（当科への転入 5 例）平均年齢：76.5 歳（施設入所者 33%）

平均在院日数：15.9 日（検査入院なし）

外来コンサルト：5 件（内科系 80%、外科系 20%）

病棟コンサルト：23 件（内科系 61%、外科系 39%）

研究業績

学会発表

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
肺炎重症度別にみた誤嚥性肺炎患者における絶食時間と入院期間との関連：後方視的研究	医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2023	東京	2023 年 4 月 15 日	間 妃向子、佐藤 直行、崎原徹裕
腎盂腎炎の臨床像と画像所見を模倣した十二指腸憩室穿孔の一例	医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2023	東京	2023 年 4 月 15 日	比嘉 真凡、佐藤 直行
急性腹症様の臨床像を呈した糖尿病性ケトアシドーシスの一例	沖縄県医師会医学会総会	沖縄	2023 年 12 月 10 日	間 妃向子、佐藤 直行
自覚症状のない著明な好酸球増多症の精査で、詳細なリンパ節診察が PTCL の早期診断に寄与した一例	第 28 回日本病院総合診療医学会学術総会	福岡	2024 年 3 月 29 日	又吉 貴也、宮城 敬、佐藤 直行

- 第 2 回群星沖縄アカデミア発表会：「アルコール離脱の当院独自のスコアリングならびに PAWSS の実用的活用法の検討」松波尚典先生の指導 2023 年 12 月 18 日 優秀賞受賞

その他業績

< 学生・研修医対象の病院説明会・院外セミナー >

- ・ 病院説明会: 2023 年 7 月 1 日 (24 名参加)・11 月 11 日 (13 名参加)、2024 年 2 月 24 日 (17 名参加)
- ・ 群星沖縄 新年度オリエンテーション: プロフェッショナルリズム 2023 年 4 月 4 日
- ・ 群星沖縄 Clinical Skills @東京 (県外生リクルート企画: プロジェクトリーダーとして): レクチャー担当「臨床推論×プレゼン」 2023 年 6 月 24 日
- ・ 琉球 GIM 2023 夏: 間妃向子先生プレゼンターの指導 2023 年 6 月 21 日
- ・ 琉球 GIM 2023 冬: 又吉貴也先生プレゼンターの指導 2023 年 12 月 21 日

< 院外講師招請 >

- ・ 地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 救急救命科医長 坂本壮先生
「意識消失」(学生・研修医対象セミナー) 2023 年 7 月 22 日
「Sepsis」(学生・研修医対象セミナー) 2023 年 11 月 11 日

< 院内勉強会 >

- ・ 研修医向けの朝の内科カンファレンス: 年間 103 回開催
- ・ 医局 Journal club「医療と気候変動」 2023 年 5 月 17 日

< 執筆関連 >

【雑誌】

- ・ 「レジデントノート増刊」2023 年 5 月号 論文 1 編
- ・ 「jmed mook 86」2023 年 6 月 論文 1 編
- ・ 「ジェネラリスト教育コンソーシアム vol.19」2023 年 8 月 論文 1 編 (医中誌収載)
- ・ 「medicina」2023 年 9 月号 論文 1 編
- ・ 「総合診療」2023 年 10 月号 ゲストライブ (琉球 GIM 指導医による座談会記事)
- ・ フィジカル web ドリル (医学書院の web 媒体) 2023 年 9 月に 2 編

【雑誌連載】

- ・ 「ドクターズマガジン」 Dr 徳田のクリニカルパールズ 原作: 2023 年 6 月号・12 月号分
- ・ 「総合診療」 オール沖縄カンファレンス リレーコラム: 2023 年 11 月号分・2024 年 3 月号分

【書籍の共著】

- ・ 臨床推論のススメ方～全国 GIM カンファで話題を集めた 24 症例～、南江堂 2024 年 3 月出版 (共著)

年度総括

平成 31 年 1 月の開設から 5 年以上が経過しました。今年度も教育面に重きを置きましたが、専攻医所属により臨床面でも貢献できる体制をとることができました。朝の内科教育カンファレンスは、年間 103 回を開催することができ、研修医の先生たちの成長の一助として継続できています。引き続き、学生実習のない土曜日にも有志の学生が参加しています。当科主体で行っている学生向け説明会では、教育体制のアピールも行っています。今年度の研修医採用については、琉球大学 6 年生が例年よりも少なく県内各病院が苦戦していましたが、医局の先生方のご協力もあり、臨床研修マッチングで 3 年連続フルマッチとなったことは大きな出来事でした。最終的にマッチ者全員が卒業・国家試験に合格し、全員が入職した病院としては群星沖縄の基幹病院では当院だけでした。

引き続き今年度も初期研修医の先生方の多くが当科をローテーションしました。専攻医については、当院基幹の内科プログラムとして初めての採用となる専攻医が入職し、1 年間当科をローテーションしました。また、令和 6 年 1～3 月までは友愛医療センターから専攻医のローテーションもありました（そのまま令和 6 年 9 月まで当科で研修予定）。結果、症例数も増え収益も改善されました（1 億 5 千万円弱）。初期研修医への現場での教育も充実し、当院の内科教育で中心的な役割を担うことができるようになってきています。院外の有名な講師招聘による講演会も 2 回行うことができ、今後も継続して協力いただけることになっています。

対外的なところでは、今年度も引き続き多くの商業誌に執筆を行いました。雑誌「総合診療」やドクターズマガジン（月刊発行部数 6 万 5 千部）内の企画の連載陣に加われたことで、全国的な宣伝を継続的に行える機会を得ることができました。学術活動としては、学会発表 4 演題に関わったことに加え、今年度も群星沖縄の学術発表を指導させていただきました。研修医の先生方の頑張りもあり、群星沖縄の研究発表会では 2 位・優秀賞を獲得しました。引き続き学術的な仕事も頑張っていきたいと思います。

今年度は部長職を拝任した最初の年でしたが、幅広く活動し貢献できたと感じています。臨床・教育・研究面でバランスよく貢献できるようになってきており、対外的なアピールの仕事も徐々に行えるようになってきました。全国的に内科医が不足してくる流れの中で、しっかりと人材を確保できるような部署になっていきたいと考えています。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

総合内科部長 佐藤 直行

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 3 名体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後 2 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW・MC と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 13 時から胸写カンファレンスを行い、火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。水曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

(2023 年 6 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長・呼吸器内科部長・7 階病棟医長 ＜専門外来＞睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	日本呼吸器学会インфекションコントロールドクター
呼吸器内科副部長	新垣 珠代	呼吸器内科一般	
呼吸器内科医長	仲吉 博亮	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医
	大濱 千夏	呼吸器内科一般	

検査・治療件数

検査・治療	件数
気管支鏡検査	54

検査・治療	件数
睡眠時無呼吸外来のべ患者数	1,053 名

年度総括

2023 年度は年間 482 名の入院患者の診療を行い、54 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広めました。また、呼吸器同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内の研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていこう予定です。

呼吸器内科部長 普天間 光彦

循環器内科

循環器内科は 2024 年 4 月から 3 年目の中石先生が入り現在 6 名の医師が循環器全般の診療を行っています。

急性心筋梗塞、狭心症に対するカテーテル治療だけでなく、末梢動脈疾患へのカテーテル治療、不整脈に対するカテーテルアブレーション、ペースメーカー移植術の治療、心不全の入院加療、外来 follow を行うと同時に、それらの疾患に対する予防についても力を入れて診療を行っています。

また、致死的な救急患者さんに対する、緊急カテーテル治療に加え、V-A ECMO などの機器も十分に揃えており、スタッフのトレーニングも行っているため、短時間で導入可能となっております。

ここ数年、心リハ指導士退職により入院患者さんの心臓リハビリが行えない状況でしたが、リハビリスタッフの頑張りにより 1 人が見事試験に合格し心臓リハビリが行える状況になっております。急性期の高度医療だけでなく、再発防止の観点からも地域へ貢献していきたいと思っております。

医師プロフィール

(2023 年度 6 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長・内科部長	秋元 芳典	一般循環器内科、動脈硬化症	日本循環器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
救急総合診療部救急部長・循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター MCLS CBRNE インストラクター 日本心臓核医学会評議員 心臓リハビリテーション指導士 病院前救急統括体制認定機構認定民間メディカルコントロール医師 沖縄県災害医療コーディネーター 中部地区 MC 協議会 運営委員
循環器内科部長	仲村 義一	循環器一般、末梢血管	日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 JMECC インストラクター ICLS インストラクター POCUS(Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター
循環器内科副部長	金城 太貴	不整脈、循環器一般、総合内科、集中治療	日本内科学会認定内科医
	比嘉 建介		
専攻医	中石 祐木		
【専門外来】不整脈外来	石垣 清子 (非常勤)		

研究業績

学会発表

学会発表	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 120 回医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2023 東京	COVID-19 感染症で入院中に弾性ストッキングにより多発性潰瘍を形成した Leriche 症候群の一例	東京都	2023 年 4 月 15 日	小宮山真代、仲村義一
第 134 回沖縄県医師会医学会総会（研修医部門推薦）	腹部エコーにて経時的に follow しえた孤立性上腸間膜動脈解離の一例（医学会賞 研修医部門 II 優秀賞）	沖縄県	2023 年 6 月 11 日	中石祐木、仲村義一

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
冠動脈 CT	371	420	433	392	434	384
トレッドミル	52	58	38	42	15	17
ホルター心電図	206	200	188	258	245	284
心筋シンチ	74	84	86	86	67	47
経胸壁心エコー	2,800	2,847	3,073	3,437	3,564	3,613
経食道心エコー	54	38	32	41	33	29

治療件数一覧

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
経皮的冠血行再建術（PCI）	125	125	161	165	123	99
ペースメーカー植込み術	20	14	23	16	24	12
電池交換	7	7	9	5	12	12
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
一時的ペースメーカー	15	12	8	10	19	16
IABP	11	8	9	14	15	6
PCPS	8	7	15	11	6	7
下大静脈フィルター	1	0	1	0	0	0
末梢血管拡張術（PPI）	110	120	60	93	136	125
カテーテルアブレーション	10	24	9	10	17	11

年度総括

2023 年度は前年同様秋元 芳典、三戸 正人、仲村 義一、金城 太貴、比嘉 建介医師の 5 名で診療を行っております。2023 年度も経皮的冠動脈形成術（PCI）を受ける患者さんは減少しましたが、虚血の評価などしっかり行ったうえでの治療であり、患者数が減少したわけではありません。以前から行われている救急隊からの心電図伝送が定着してきており病院前から診断が早期に行われ早期に治療に結びつき患者さんの予後改善につながっています。そのため救急部と連携をさらに深めたいと思います。

末梢動脈疾患に対する経皮的下肢動脈形成術（EVT）も減少しています。ただ沖縄県民は歩かない方が多く跛行症状を呈しません。重症下肢虚血で受診される方がほとんどです。最近の特徴は重症例が多いことです。閉塞長が長い、高度石灰化などの症例が増加しています。形成外科とチームを組んで治療にあたっております。総腸骨動脈、外腸骨動脈、浅大腿動脈はもちろん、膝窩動脈、前脛骨動脈、後脛骨動脈、腓骨動脈、即肺動脈、足底動脈への EVT も施行しています。2020 年から 3 ヶ月に 1 度、継続して東京ベイ浦安・市川医療センターから仲間先生に指導に来ていただき治療を行っています。下肢切断は患者さん

の予後だけでなく家族の介護負担にも関わる問題であり、今後も積極的に EVT を行う予定です。EVT だけでなく、PCI 患者さんも発見した段階で病変は複雑化し治療困難な症例も多い現状です。進行する前に早期発見や予防にも介入する必要があると考えています。そのためには開業医の先生方と勉強会を開催し連携を深め、また地域住民には市民公開講座等を行う必要があると考えています。

更に不整脈に対するカテーテルアブレーションも施行しています。心臓血管研究所から大塚先生が応援・指導に来ていただき治療を行っています。2023 年度は 2022 年度と大きく変わりなく安定して治療を行っております。今後可能であれば増やしていきたいと考えております。

沖縄でも高齢化が進む中、高齢者の心不全は増加しています。入院患者さんの年齢も上がり、心不全を合併している患者さんも多くいます。心リハ指導士の退職により入院患者さんへの心臓リハビリが不十分な状況でしたが、リハビリスタッフの頑張りにより 1 人が見事試験に合格し心臓リハビリを行える体制に回復しております。今後も心疾患の既往の患者さんの増加による心不全入院や、高齢者の心不全再発入院が増える傾向にありますので、リハビリと連携し外来を含めて心臓リハビリテーションも交えながら、高齢者の心不全予防対策に取り組んでいきたいと考えております。

循環器内科部長 仲村 義一

消化器内科

消化器内科では主に下記の消化管・肝胆膵疾患の診療等を幅広く行っています。

消化管：胃癌 / 大腸癌 / 大腸ポリープ等上下部消化管内視鏡診断（拡大 / EUS 等）・治療（ESD/EMR 等）、消化管出血に対する内視鏡的止血術、GERD（胃食道逆流症） / 食道運動異常等精査（pH モニター / 食道内圧検査等）・治療、IBD（炎症性腸疾患）治療、ヘリコバクターピロリ 3 次自費除菌等

肝胆膵：肝炎 / 肝硬変 / 肝癌診断（肝生検等）・治療（ラジオ波 / TACE / 化学療法等）、胆管炎 / 総胆管結石 / 胆膵腫瘍診断・内視鏡治療（EST / 結石砕石・採石術 / 胆管ステント等）、食道静脈瘤治療（EVL/EIS）等。

外来・病棟・検査等担当の 8 人（佐久川・折田・宮城・仲本・圓若・仲舂・山城・エリクソン）及び、検診内視鏡担当の 5 人（宮里・洲鎌・小橋川・川田・川満）で内視鏡診療を行っています。

医師プロフィール

（2024 年 3 月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定
内視鏡センター長 ＜専門外来＞胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来（機能性消化管疾患）、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内科部長・内視鏡センター副センター長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療（ESD）、GERD 診療等消化管一般	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医
肝臓内科副部長	圓若 修一	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
消化器内科医長	仲舂 拓	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医
	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
	小橋川 ちはる	消化管疾患の診断・治療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医
	エリクソン 安香	消化器内科全般	日本内科学会内科専門医
	山城 謙人	消化器内科全般	日本内科学会内科専門医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第122回日本消化器病学会九州支部例会 / 第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	辺境の地沖縄のウイルス性肝疾患	沖縄	2023 年 11 月 24 日	佐久川 廣
第122回日本消化器病学会九州支部例会 / 第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	胆管癌精査目的の ERCP 直前の EGD で胃癌が発見された重複癌の1例、および当院における ERCP 直前の EGD の検討	沖縄	2023 年 11 月 25 日	山城 謙人

世話人・座長

学会名	役割	開催地	発表年月日	発表者
第122回日本消化器病学会九州支部例会 / 第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	座長	沖縄	2023 年 11 月 24 日	佐久川 廣
第122回日本消化器病学会九州支部例会 / 第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	座長	沖縄	2023 年 11 月 24 日	仲本 学
第135回沖縄県医師会医学会総会	座長	沖縄	2023 年 12 月 10 日	仲本 学

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
Early Gastric Cancer Concurrent with Gastritis Cystica Profunda Resembling Advanced Cancer	Chonnam Med J	2024;60:87-88	Eriksson Y, Nakamoto M, Orita H, Miyahira T, Aoyama H, Hokama A

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
胃内視鏡	11,583	8,872	9,754	9,642	9,573
大腸内視鏡	3,170	2,581	2,844	2,874	2,999
ERCP	168	147	236	203	242

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管 (内訳)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
EMR	12	10	11	6	9
ESD	18	25	18	27	28
EVL	21	49	37	51	34
EIS	13	0	0	0	0
止血術	29	24	18	24	10
焼灼術	7	21	0	9	4
異物摘出術	11	6	13	15	13
下部消化管 (内訳)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
EMR	397	295	357	384	451
ESD	4	8	11	5	12
止血術	18	22	12	9	20

年度総括

2019年度は検診内視鏡を含む上部消化管内視鏡（GIF）件数は11,583件、下部消化管内視鏡（CF）件数は3,170件と過去最高件数でしたが、2020年のCOVID19以降はGIF 9,000件台、CF 3,000件弱で推移しており、2023年度もGIF 9,573件、CF 2,999件とCOVID19前の水準にはまだ戻っておりません。ただ、治療中心のERCPは242件とCOVID19前と比べても増加しており、今後も十分な感染対策を継続しつつ、2024年度はGIF/CF件数の増加が見込まれます。特に沖縄県では大腸癌が増加しており、有症状者や便潜血陽性精査のCFを積極的に行っていく方針です。

現在もCOVID19禍での診療を行っていますが、消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上、消化器関連学会・研究会への活発な参加・発表、消化器関連専門医や内視鏡専門医の確保、消化器内科志望の後期研修医の確保、近隣病院・医院等からの紹介患者の積極的受け入れ、COVID19後一時中断となっている地域施設との症例検討会の再開・継続、他科とのカンファレンス等の充実・連携、技術向上目的の県外医師の当院への招聘・技術指導、胃検診内視鏡の充実等、2024年度の目標として診療・研鑽を行います。

消化器内科部長 仲本 学

肝臓内科

肝臓内科は肝臓の病気、さらに当院では胆道、膵臓疾患の検査治療を担当しています。具体的には C 型肝炎、B 型肝炎などのウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などの自己免疫に関与した肝炎、さらに近年増加傾向にあるメタボリックシンドロームの肝臓への表現型である非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、またアルコール性肝障害といった生活習慣に起因した肝障害を診療しています。また肝臓がんの治療である経皮的ラジオ波焼灼術、肝硬変の様々な合併症（肝性腹水、食道胃静脈瘤、特発性細菌性腹膜炎等）の治療を行っています。胆道、膵臓疾患としては総胆管結石、胆道・膵臓腫瘍による閉塞性黄疸に対する内視鏡的診断・治療を行っています。

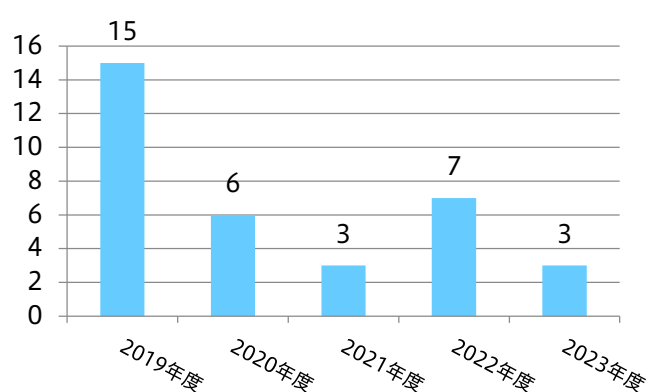
医師プロフィール

（2023 年 6 月時点）

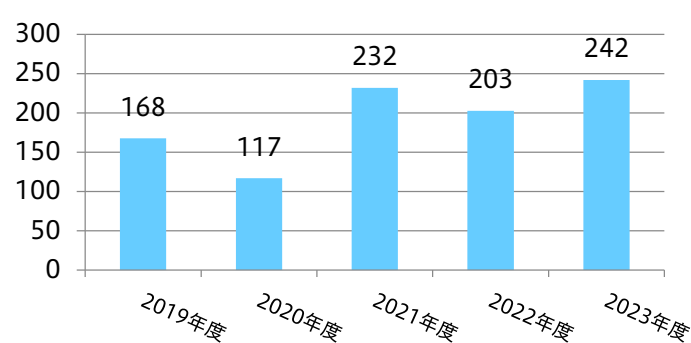
役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B 型および C 型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
肝臓内科副部長	圓若 修一	消化器内科、肝臓内科	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医

検査・治療件数

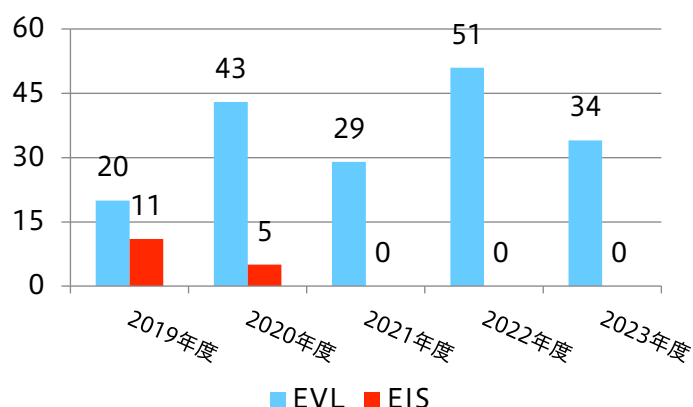
経皮的ラジオ波術症例数の推移



内視鏡的胆管膵管造影（ERCP）の推移



食道静脈瘤に対する予防的内視鏡的結紮術（EVL）、硬化療法（EIS）



年度総括

肝細胞がんに対する経皮的ラジオ波焼灼術は少ない傾向にあります。これはC型肝炎に起因した肝細胞がんが減少傾向にあるためと思われます。一方で今後 NASH 肝硬変、アルコール性肝硬変に起因した肝細胞がんは相対的に増加することが予想されます。今後も早期発見・早期治療を目指し診療していきたいと思います。

胆道膵臓疾患に関する内視鏡的検査・治療は増加傾向にあります。侵襲を伴う処置ですが、重篤な合併症は少なく安全に施行できていました。また琉球大学第一内科の宮里公也先生が、木曜日に胆膵領域の超音波内視鏡を施行しています。慢性膵炎、IPMN(膵管内乳頭粘液性腫瘍)、胆のうポリープ、膵がんなどの診断に重要な検査で、今後も継続していきたいと思います。

肝臓内科副部長 圓若 修一

血液内科

血液内科は造血器腫瘍や貧血性疾患、血友病を除く出血・血栓性疾患などほとんどの血液疾患の診療を行っています。本年度のスタッフは宮城 敬、山入端 敦、狩俣 かおり、大瀧 昌代、友寄 未希の 5 人です。同種造血幹細胞移植は主に宮城、山入端、狩俣が行い、ドナーの診療は狩俣、大瀧が担当しています。当院の特徴としては、完全無菌室を 10 床有し、血縁者間・非血縁者間の造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を行っています。沖縄県内の血液内科で造血幹細胞移植を行っているのは琉球大学附属病院と当院のみで、沖縄県の造血器移植医療、血液診療を支えているという自負があります。週 1 回、琉球大学保健学科の福島卓也先生も参加してグループカンファレンスを行い、最善の診断・治療ができるよう心がけています。

医師プロフィール

(2023 年 6 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科部長 6 階病棟医長	宮城 敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 造血細胞移植認定医
無菌治療センター部長	山入端 敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医
血液内科副部長	狩俣 かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科医長	大瀧 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
	友寄 未希		日本専門医機構認定内科専門医 ICD 制度協議会認定インфекション コントロールドクター

研究業績

学会発表

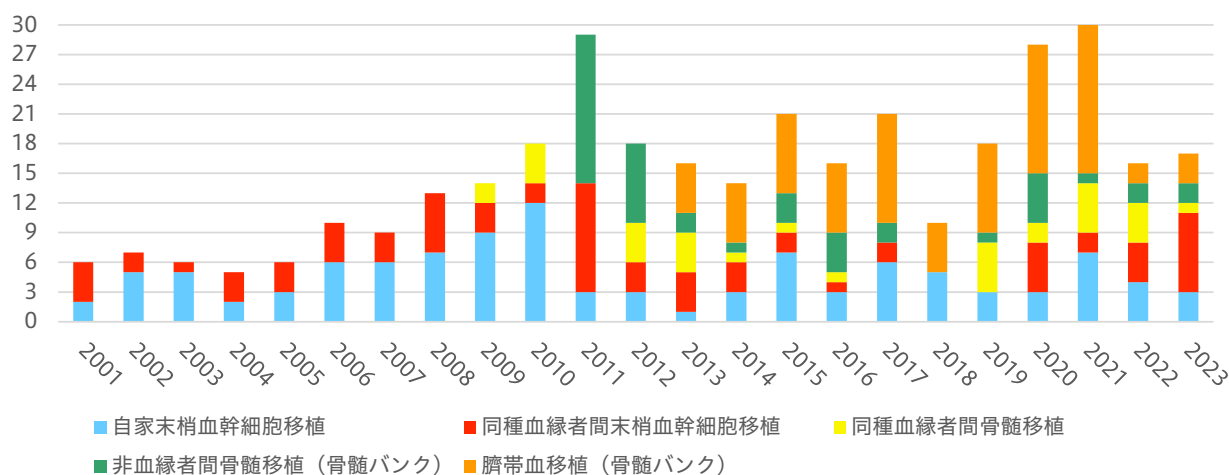
学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 341 回 日本内科学会九州地方会	先天性凝固第 XI 因子欠乏症の 2 例	オンライン	2023 年 5 月 27 日	友寄未希、山入端敦、大瀧昌代、狩俣かおり、宮城敬

検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
自家末梢血幹細胞移植	3	3	7	4	3
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	0	5	2	4	8
同種血縁者間骨髄移植	5	2	5	4	1
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	1	5	1	2	2
臍帯血移植（臍帯血バンク）	9	13	15	2	3
計	18	28	30	16	17

ハートライフ病院の造血幹細胞移植数（年次推移）



小児科

ハートライフ病院の小児科では地域医療支援病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、病院小児科常勤医として 4 名の医師が感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診察、術後管理を行っています。また、当院で出生する新生児の管理や 1 か月健診を行っています。

中城村や西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や中城小学校および西原小学校の学校医、近隣保育園の園医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標としています。

平成 28 年度からは小児アレルギー外来を開設しており、アレルギー専門医、看護師、栄養士、薬剤師と連携しながら食物アレルギーに対する食物経口負荷試験や食事療法指導、アトピー性皮膚炎に対するスキンケア指導などを行っています。また、近隣市町村の保育園や小学校から依頼を受け、エピペン指導などの講演も行っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	崎原 徹裕	一般小児科、小児アレルギー	日本小児科学会専門医 日本小児科学会指導医 日本アレルギー学会専門医
小児科医員	古波蔵 都秋	一般小児科、膠原病	日本小児科学会専門医 日本小児科学会指導医 日本リウマチ学会専門医
小児科医員	安木 大地	一般小児科	日本小児科学会専門医
小児科医員	金城 優美	一般小児科	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
分野別シンポジウム：食物アレルギーの発症予防と食物摂取開始時期	第 126 回日本小児科学会	東京	2023 年 4 月 15 日	崎原徹裕
ミニレクチャー：アナフィラキシーガイドライン改定・食物アレルギーの最近の話題	第 134 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄	2023 年 6 月 11 日	崎原徹裕
人工乳の摂取と牛乳アレルギー発症予防	第 36 回東北小児喘息アレルギー研究会	Web	2023 年 7 月 2 日	崎原徹裕
育児用調製粉乳の早期中止は牛乳感作陽性児のカゼイン特異的 IgG4 抗体価低値に関連する	第 72 回日本アレルギー学会	東京	2023 年 10 月 20 日	崎原徹裕
シンポジウム 9 食物アレルギーの新たな展開：食物抗原の摂取と湿疹への抗炎症治療	第 60 回日本小児アレルギー学会	京都	2023 年 11 月 19 日	崎原徹裕

年度総括

令和 5 年度の新生児を除いた小児科の総入院患者数は 586 名でした（前年度 354 名）。ようやくコロナ禍以前（約 500 ～ 600 名）と同じ水準まで復帰しました。入院患者の多くは 3 歳未満の乳幼児であり感染性疾患が大半を占めますが、食物アレルギーの経口負荷試験の入院数は 344 名（前年度 210 名）で入院全体の大半を占めています。

今年度の当院出生新生児は 544 名でした（前年度 549 名）。小児科医は全出生児の出生時診察と退院時診察を行っており、産科医からの要請に応じてハイリスク分娩の立会いや 24 時間オンコール体制で新生児蘇生を行っております。

外来業務では病院とクリニック小児科との役割分担を明確にし、病院小児科は慢性患者の定期フォローや紹介患者の受け入れを、クリニック小児科は発熱などの急性期患者の対応を行っております。今年度は病院小児科の外来患者数は 6,000 名（前年度 6,473 名）、このうちアレルギー外来 1,660 名（前年度 1,538 名）でした。クリニック小児科の外来患者数は 9,559 名（前年度 8,694 名）、このうち予防接種は 1,007 件（前年度 1,399 件）でした。アレルギー外来やクリニック小児科の外来受診者数が前年度に比べ増加しています。

コロナ禍で入院・外来診療ともに厳しい状況が続いていますが、日常診療と並行して臨床研究にも注力しています。2021 年に当科の主導で行った沖縄県内の乳児を対象とした多施設共同研究である「SPADE 試験」の研究成果を報告し、米国アレルギー学会の監修する学会誌に掲載され国内外で高く評価されました。本研究の知見は、2021 年 11 月に改訂された本邦の「食物アレルギー診療ガイドライン 2021」にも大きく掲載され、海外の離乳食ガイドラインにも影響を与えています。さらに、今年度は SPADE 試験をベースにした追加の研究成果も海外雑誌に掲載され、大きなインパクトを与えています。今後も、地域医療支援病院ならではの観点から、臨床の現場へ情報を発信していくことを目標としています。

小児科部長 崎原 徹裕

心療内科

当科は医師 1 名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、身体疾患のため入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療を専門とする科ということになります。

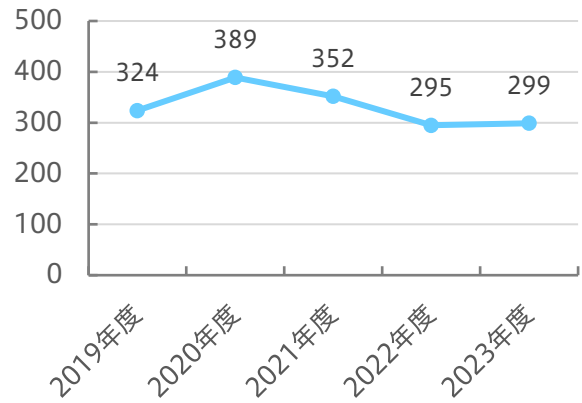
自律神経の機能がうまく調整できなくなる理由は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労、熱中症などさまざまです。近年は新型コロナウイルス感染症の後遺症としての自律神経失調症も増えている印象です。うつ病などの精神疾患や認知症が原因のこともあります。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

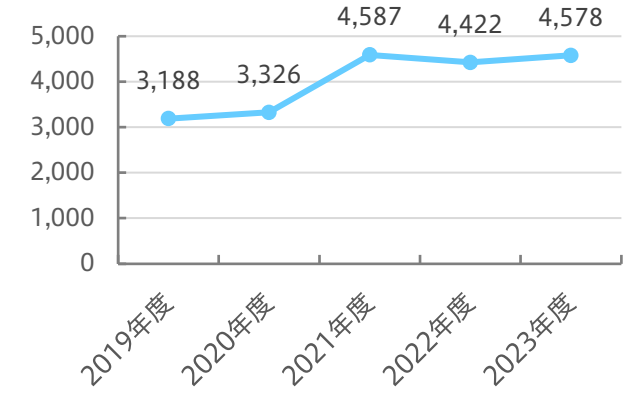
(2023 年 6 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科副部長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移



年度総括

心療内科を立ち上げて 14 年が経ちました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、外来は飽和状態になっています。

来年度からは診療日数を減らすため、2024 年 4 月から新規患者の紹介をお断りしています。これまでご紹介いただきありがとうございました。

心療内科 菅野 善一郎

外科

医師プロフィール

(2023 年 6 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
名誉院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道アカシアの POEM 治療、食道癌の胸腔鏡下手術	日本外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本医師会認定産業医
副院長 外科系統括部長 外来診療部長 地域医療連携部長 患者総合支援センター長	西原 実	一般消化器外科、肝胆膵外科、ヘルニア外科、内視鏡外科、抗がん剤治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会・消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会指導医
外科部長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、抗がん剤治療、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術、単孔式手術	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器病学会指導医 日本消化器外科学会・消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
消化器外科部長 4 階病棟医長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術、食道癌の胸腔鏡下手術	日本外科学会専門医
消化管外科部長	比嘉 宇郎	一般外科、胃癌・大腸癌に対する手術治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会・消化器がん外科治療認定医
大腸・肛門外科部長 医局長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患（痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジロームなど）、便通異常などに対して注射療法	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器外科学会・消化器がん外科治療認定医
外科副部長	国吉 史雄	ヘルニア外科、膵・胆道外科	日本外科学会専門医
	森岡 弘光	一般外科	日本外科学会専門医
	松尾 聖哉	一般外科	
	小堀 秀一	一般外科	
	仲栄真 盛保 (非常勤)	血管外科	日本外科学会専門医 日本心臓血管外科学会専門医 日本脈管学会専門医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医
	前田 達也 (非常勤)	血管外科	日本外科学会専門医 日本心臓血管外科学会専門医 胸部ステントグラフト実施医 腹部ステントグラフト実施医
	野村 寛徳 (非常勤)	乳腺外科、甲状腺外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺認定医 日本乳がん検診精度管理中央機構 乳房超音波医師 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 厚生労働省医政局 指導医 看護師特定行為研修指導医
	久田 正昭 (非常勤)	一般・小児外科	日本外科学会専門医 日本小児外科学会専門医 医学博士
	梁 英樹 (非常勤)	膵・胆道外科、消化器外科全般	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本乳癌学会認定医 マンモグラフィ読影認定医

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
肺	1
胸腔鏡下手術	1
食道	16
食道悪性腫瘍手術	7
POEM 手術	2
食道癌 ESD	3
APC 焼灼術	4
乳腺	53
乳腺悪性腫瘍切除術	39
乳腺腫瘍摘出術	14
胃	12
腹腔鏡下胃悪性腫瘍切除術	5
開腹胃悪性腫瘍手術	4
腹腔鏡下胃良性腫瘍切除術	1
開腹胃悪性全摘術	2
胆嚢・胆管	102
腹腔鏡下胆嚢摘出術	96
開腹胆嚢摘出術	3
胆管空腸吻合術	1
腹腔鏡下胆管切開結石摘出術	1
開腹胆管切開結石摘出術	1
肝臓	11
肝切除術	8
腹腔鏡下肝嚢胞開窓術	3
脾臓	2
脾頭部十二指腸腫瘍切除術	2
小腸	19
腹腔鏡下小腸切除術（悪性）	2
開腹小腸切除術（悪性以外）	2
腸閉塞症手術	15
虫垂	46
腹腔鏡下虫垂切除術	46
虫垂切除術	
結腸	68
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	47
開腹結腸悪性腫瘍切除術	12
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	8
開腹結腸切除術（良性）	1

直腸	30
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	13
直腸脱手術	4
直腸腫瘍摘出術	1
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	12
肛門	91
痔核硬化療法	52
痔核根治手術	9
痔瘻根治手術	22
肛門ポリープ切除術	1
膿皮症	1
肛門皮膚剥離術	2
肛門潰瘍根治術	3
肛門括約筋形成術	1
ヘルニア	147
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	117
鼠径ヘルニア手術	4
大腿ヘルニア手術	1
臍ヘルニア手術	10
腹壁癒痕ヘルニア手術	15
胃瘻	39
胃瘻造設術	39
その他部位	106
毛巣洞手術	1
大網、腸間膜、後腹膜手術	2
大網、腸間膜、後腹膜手術（腹腔鏡）	1
リンパ節生検	19
リンパ節郭清術	2
体表の手術	6
CV ポート	37
腹腔鏡下急性汎発性腹膜炎手術	4
開腹急性汎発性腹膜炎手術	1
腹腔鏡下十二指腸潰瘍穿孔縫合術	3
胃腸吻合術	4
その他	26
計	743

（外来小手術は除く）

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 22 回日本 LPEC 研究会	成人外鼠径ヘルニアに対する LPEC の適応拡大	大阪	2023 年 5 月 28 日	西原 実、国吉 史雄、嵩原 裕夫
第 77 回日本食道学会学術集会	右非反回下喉頭神経を伴う食道癌の頸部郭清で術中神経モニタリングが有用だった 1 例	大阪	2023 年 6 月 29 日	石嶺 伝羽、奥島 憲彦、国吉 史雄、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、宮平 工、花城 直次、西原 実、嵩原 裕夫、高良 誠
	食道アカラシアに対する POEM の治療成績の検討	大阪	2023 年 6 月 30 日	奥島 憲彦、石嶺 伝羽、国吉 史雄、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、宮平 工、花城 直次、西原 実、嵩原 裕夫
第 78 回日本消化器外科学会総会	特発性大網出血の 2 例 Two cases of idiopathic omental bleeding	函館	2023 年 7 月 12 日	宮平 工、石嶺 伝羽、国吉 史雄、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
	occult hernia に対する当院における戦略	函館	2023 年 7 月 13 日	西原 実、国吉 史雄、嵩原 裕夫、森岡 弘光、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、宮平 工、花城 直次、奥島 憲彦
10th Reduced Port Surgery Forum	患部対側オカルトヘルニアに対して LPEC を施行した 1 例	北九州	2023 年 8 月 18 日	小堀 秀一、国吉 史雄、西原 実、嵩原 裕夫
第 85 回日本臨床外科学会総会	成人外鼠径ヘルニアに対する LPEC の手技の工夫	岡山	2023 年 11 月 17 日	西原 実、国吉 史雄、嵩原 裕夫、森岡 弘光、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、宮平 工、花城 直次、奥島 憲彦
	小型の胃 GIST 破裂に対して緊急手術を行った 1 例	岡山	2023 年 11 月 18 日	森岡 弘光、宮平 工、玉城 頼人、国吉 史雄、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
第 36 回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下胆嚢摘出術後に仮性動脈瘤を発症した 1 例	神奈川	2023 年 12 月 9 日	宮平 工、西原 実、花城 直次
第 23 回 日本 LPEC 研究会	Occult hernia に対する LPEC ～小児から成人への橋渡しとして～	名古屋	2024 年 1 月 27 日	西原 実、国吉 史雄、嵩原 裕夫
第 25 回 Needlescopic Surgery Meeting	短期間に Nuck 管水腫、外鼠径ヘルニア小腸嵌頓、内鼠径ヘルニアを発症し、手術を繰り返した 1 例	大阪	2024 年 2 月 2 日	西原 実、国吉 史雄、嵩原 裕夫、松尾 聖哉、森岡 弘光、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、宮平 工、花城 直次、奥島 憲彦

座長

学会名	役割	開催地	発表年月日	発表者
第 21 回日本ヘルニア学会学術集会	座長	大阪	2023 年 5 月 26 日	西原実
第 22 回日本 LPEC 研究会	座長	大阪	2023 年 5 月 28 日	西原実
10th Reduced Port Surgery Forum	座長	北九州	2023 年 8 月 18 日	西原実
第 85 回日本臨床外科学会総会	座長	岡山	2023 年 11 月 17 日	西原実

年度総括

令和 5 年度は名誉院長の奥島 憲彦（食道）、副院長兼外科系統括部長の西原 実（ヘルニア・肝）、外科部長の宮平 工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城 直次（胃・大腸）、外科消化管外科部長の比嘉 宇郎（胃・大腸）、大腸肛門科部長の阿嘉 裕之（大腸・肛門）、外科副部長の国吉 史雄（胆膵、ヘルニア）、琉球大学消化器・腫瘍外科から派遣された森岡 弘光、相模原協同病院から派遣された外科専攻医の小堀 秀一、松尾 聖哉と、非常勤の仲栄真 盛保（血管）、前田 達也（心臓、大血管）、野村 寛徳（乳腺・甲状腺）、久田 正昭（一般、小児外科）、梁 英樹（肝胆膵）の各先生方のご尽力を頂き、外科診療を運営してまいりました。（敬称略 / カッコ内は専門領域）

手術件数は 743 件（外来小手術を除く）と前年度と比較して約 60 件減少していました。手術術式別の症例数は多い順に腹腔鏡下ヘルニア手術 117 例、腹腔鏡下胆嚢摘出術 96 例、痔核硬化療法 52 例、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術 47 例、腹腔鏡下虫垂切除術 46 例、乳腺悪性腫瘍切除術 39 例と続きました。良性疾患のほとんどが腹腔鏡を用いた MIS (Minimal Invasive Surgery) で施行されていました。大腸癌など悪性疾患でも、MIS の割合が増加しつつあります。

日本専門医機構の外科専門研修システムで外科専修医を 1 名受け入れており、若手外科医の指導をしつつ上記のような体制で診療にあたっています。

外科は手術だけでなく、消化器癌、乳癌の化学療法や終末期の緩和医療も担当しています。初期研修医の指導はもちろん、琉球大学医学部学生の臨床実習も受け入れており、外科の魅力を伝えることで、外科医減少の歯止めに微力ながらも貢献できればと考えています。臨床や教育の合間には県内外での学会発表や論文投稿も積極的に行っています。さらに指導医クラスの医師は緩和ケアチーム、感染対策チーム、NST（栄養サポートチーム）、クリニカルパス委員会、DPC 委員会、化学療法委員会、救急総合診療部委員会を始め、COVID-19 感染対策として発足した C-19 災害対策本部の中心メンバーとして病院全体の診療を影から支えています。

今後もより安全で質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

外科部長 宮平 工

整形外科

スタッフは、新垣勝男・渡慶次学・川越得弘・琉球大学からのローテーター大中敬子・赤嶺尚里・當山全哉の6人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。また、水曜日はじのん整形外科副院長新垣薫先生・木曜日は KAZ クリニック新垣和伸先生に関節専門外来および手術指導など御協力いただいています。新垣勝男は脊椎外科を担当し、椎弓拡大・椎体固定等の手術を行っています。渡慶次学・川越得弘・大中敬子は手の外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。赤嶺尚里は膝関節を担当し、変形性膝関節症に対する骨切り術・人工膝関節置換術および関節鏡を用いた靱帯再建・半月板縫合術等の手術を行っています。當山全哉は一般外傷を担当し、整形外科医としての研鑽を積んでいます。

医師プロフィール

(2023年6月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
整形外科部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科指導医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
脊椎外科部長	新垣 勝男	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
手外科部長	川越 得弘	手外科	日本整形外科学会専門医
	儀間 朝太	手外科	日本整形外科学会専門医
	大中 敬子	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医
	赤嶺 尚里	関節外科(膝関節)	
	當山 全哉		
	水田 康平		
【専門外来】 股関節外来	新垣 薫	関節外科(股関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
【専門外来】 スポーツ関節鏡センター	新垣 和伸	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
【専門外来】 スポーツ関節鏡センター	上原 史成	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会認定スポーツ医 琉球ゴールデンキングスチームドクター 沖縄県サッカー協会医学委員 日本スポーツ協会公認スポーツドクター IOC diploma Sports Physician
【専門外来】 脊椎外来	金城 英雄	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医
【専門外来】 リウマチ科	東 千夏	整形外科・関節リウマチ	日本整形外科学会指導医 日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会指導医 日本リウマチ学会専門医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
日本超音波医学会第 96 回学術集会	運動器のみえかたのなぜ？ 軟骨のみえかたについて	埼玉県	2023 年 5 月 27 日	赤嶺尚里
第 49 回日本骨折治療学会学術集会	外傷現場で使えるエコーガイド下伝達麻酔のすすめ（下肢）	静岡県	2023 年 6 月 29 日	赤嶺尚里
第 34 回日本整形外科超音波学会	全身総なめ！運動器エコー入門（肩関節）	東京都	2023 年 7 月 8 日	赤嶺尚里
第 34 回日本末梢神経学会学術集会	透析患者における MRI を用いた正中神経の質的評価	京都府	2023 年 9 月 8 日	大中敬子
15 回日本手関節外科ワークショップ	T1 p・T2 mapping を用いた尺骨頭の形態による手関節尺側部軟骨の質的評価	新潟県	2023 年 9 月 30 日	大中敬子

論文・著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
神経損傷を起こさない！術前エコー評価① 鎖骨上神経・浅排骨神経・排腹神経	外傷エコー診療のすすめ全日本病院出版会	2023 年,306-311	赤嶺尚里
【日常診療で出合う筋骨格疾患 - 脳神経内科と整形外科からのアプローチ】腰部～下肢の病態 大腿骨近位部骨折	総合診療 (2188-8051)	34 巻 2 号 Page167-170(2024.02)	赤嶺 尚里

開催セミナー

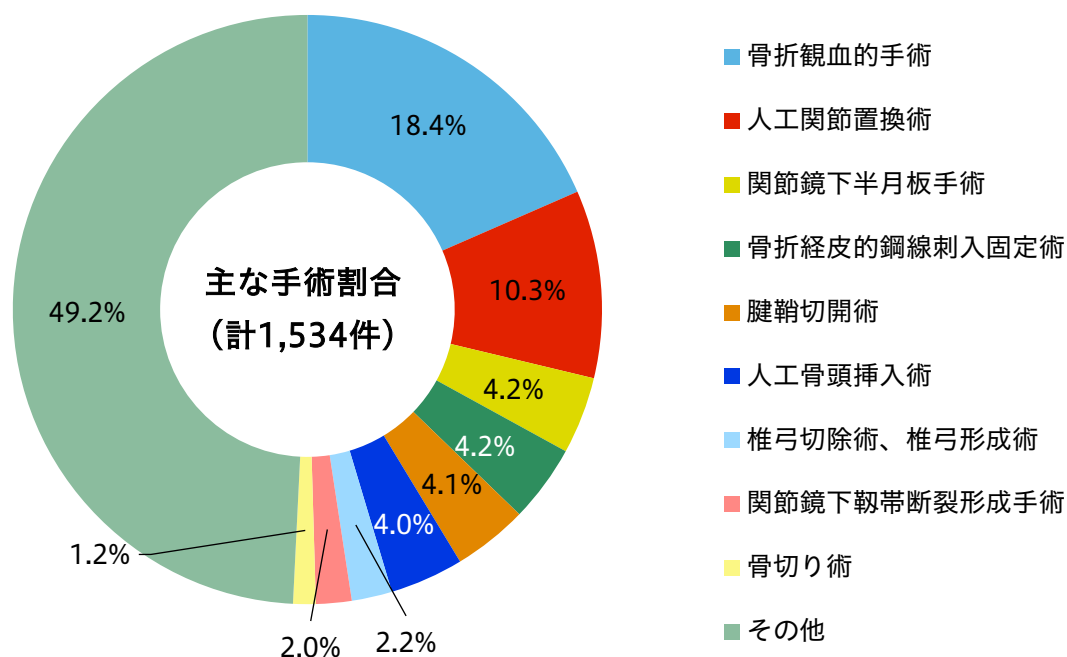
名称	講師	開催日
第 5 回ハートライフ病院エコーハンズオンセミナー	末梢神経障害に対するハイドロリリース～医療安全と超音波診断～ 城東整形外科 皆川洋至先生	2024 年 2 月 3 日

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血の手術	283
人工関節置換術	158
関節鏡下半月板手術	65
骨折経皮的鋼線刺入固定術	65
腱鞘切開術	63
人工骨頭挿入術	62

部位・行為	件数
椎弓切除術、椎弓形成術	34
関節鏡下靱帯断裂形成手術	30
骨切り術	19
その他	755
総計	1,534



年度総括

2023 年度は新型コロナ感染が 5 類感染症へ移行し手術制限が無くなり、ロコモティブシンドロームによる高齢者の骨折等が増え新規入院患者数・手術件数ともに増加しました。

これからも、より安全に配慮しスポーツ外傷手術（膝前十字靱帯再建術・半月板縫合術）・変形性膝関節症手術（骨切り術・人工膝関節置換術）・脊椎外科・手外科疾患手術を継続していく予定です。

整形外科部長 渡慶次 学

形成外科

当科は今年で開設 10 年目を迎えました。当科の特徴は、形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やわきがなどの美容的手術のみならず、悪性腫瘍切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、重度顔面外傷、重症熱傷などオールラウンドに形成外科的疾患に対応できるよう心がけていることです。特に近年急増する下肢難治性皮膚潰瘍に対する予防を含めた総合的な治療に力を入れております。今後も、ニーズに応じてますます発展させて形成外科治療で県民に広く貢献して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

施設認定など

- ・ 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実地基準による実地施設 認定証（登録番号 H00789）

医師プロフィール

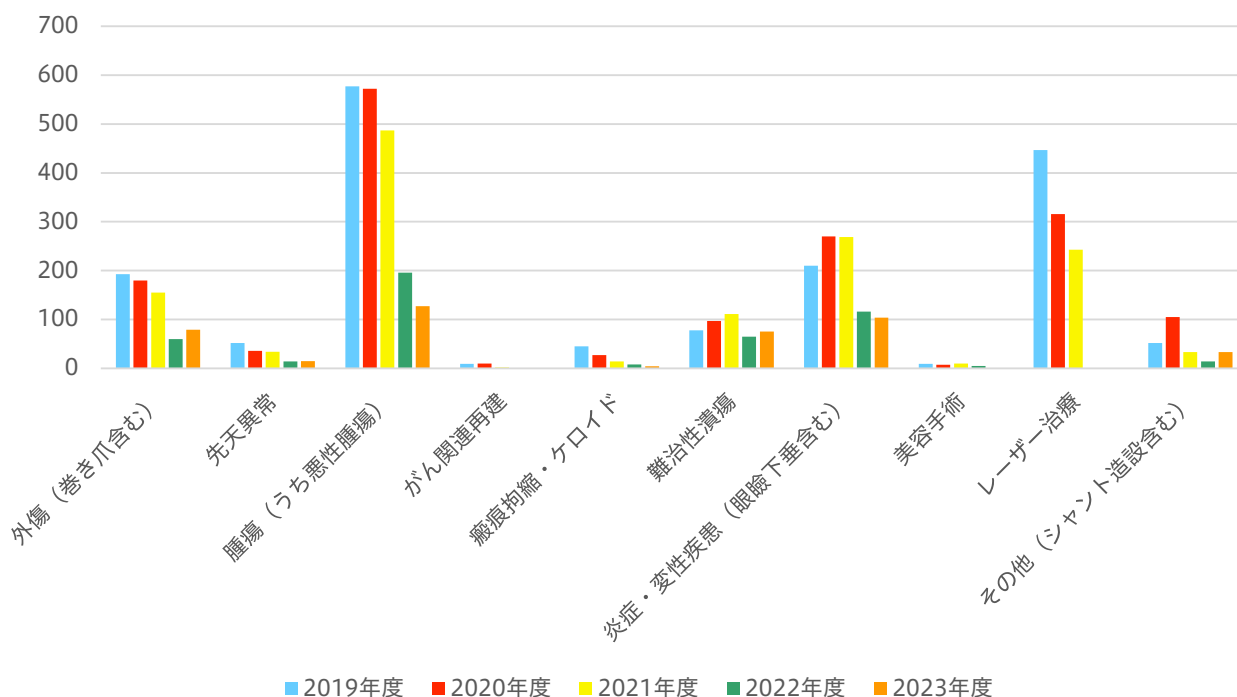
（2023 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
医長	立津 朝成	形成外科一般	
非常勤	東盛 貴光	下肢難治性潰瘍、足の外科、広範囲重症熱傷、マイクロサージャリー、頭頸部癌・乳がんに対する再建術、レーザー治療、下肢静脈瘤、美容外科	日本形成外科学会専門医 日本形成外科学会領域指導医 日本形成外科学会熱傷分野指導医 日本形成外科学会創傷外科分野指導医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会指導医 日本レーザー医学会専門医 日本創傷外科学会専門医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー 学会認定エキスパンダー・インプラント責任 医師 身体障害者福祉法指定医（肢体不自由） 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認 定医 日本フットケア・足病医学会 九州・沖縄地 方世話人 日本褥瘡学会 九州・沖縄地方世話人

検査・治療・手術件数

検査・治療実績

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
外傷（巻き爪含む）	193	180	155	60	79
先天異常	52	36	34	14	15
腫瘍（うち悪性腫瘍）	577(24)	572(19)	487(24)	196	127
がん関連再建	9	10	2	0	0
瘢痕拘縮・ケロイド	45	27	14	8	4
難治性潰瘍	78	97	111	65	75
炎症・変性疾患 （眼瞼下垂含む）	210	270	269	116	104
美容手術	9	7	10	5	0
レーザー治療	447	316	243	0	0
その他(シャント造設含む)	629	105	33	14	33
合計	1,672	1,620	1,358	478	437



年度総括

2022 年度より医長に就任いたしました立津と申します。世間的にコロナウイルスは 5 類感染症となり外出が可能となってきました。当方のみ常勤医師となり 2 年が経過しましたが、昨年度に比べ外出の影響からか外傷が多くなっている印象を受けます。色々に変遷の多い 9 年目になりました。

2022 年度は前年に比べ手術件数が 3 分の 1 程度に落ち込みましたが、2023 年度は 2022 年度とほぼ横ばいの件数で、1 人で可能な件数の維持ができております。

足の難治性潰瘍は糖尿病内科や循環器内科との連携により治療を行っており、患者さんの健康寿命を伸ばすことを目標としております。今後も密な連携で大切断に至らせないような診療に尽力していきます。

初期研修医は院内から 4 名の先生が研修され、当科の基礎的な手術を執刀経験いたしました。創部に関する知識や対応など、今後も当科で「きずをみる」指導を致します。

昨年に続き常勤医一人という状況です。他科へのご迷惑は今後もおかけしてしまうことになりましたが、どうかご了承ください。

形成外科医長 立津 朝成

脳神経外科

主に脳卒中、外傷を中心に診療しております。発症早期の脳梗塞に対しては t-PA、血管内血栓除去術を行い患者さんの日常生活が保てるように努めております。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対しては低侵襲な血管内治療を first choice としております。また、脳内出血に対しても神経内視鏡手術を導入して侵襲の少ない手術が可能となりました。今後も安全、安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

医師プロフィール

(2023 年 6 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉 健次	脳卒中・脳外科一般	日本脳神経外科学会専門医

検査・治療・手術件数

名称	件数
急性硬膜下血腫除去	1
急性硬膜下血腫除去	1
慢性硬膜下血腫穿頭ドレナージ	7
脳出血開頭血腫除去	1

名称	件数
内視鏡下脳血腫除去	1
脳腫瘍摘出術	1
頭蓋形成術	1

年度総括

当院脳外科は主に脳卒中、外傷を対象に治療を行っております。

現在、脳外科医は 1 人体制になっていることで救急が制限されている状況です。当院で対応できる疾患、時間帯では救急を受け入れておりますが、それ以外の疾患に対しては速やかに近隣の医療機関へ紹介、搬送できる体制づくりをしております。何卒ご理解をよろしくお願いいたします。

脳神経外科部長 末吉 健次

眼 科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉球大学病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 15 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、患者さんの状況に合わせてご希望があれば、白内障の日帰り手術も行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております、皆様に安心して手術を受けていただけるものと思っています。

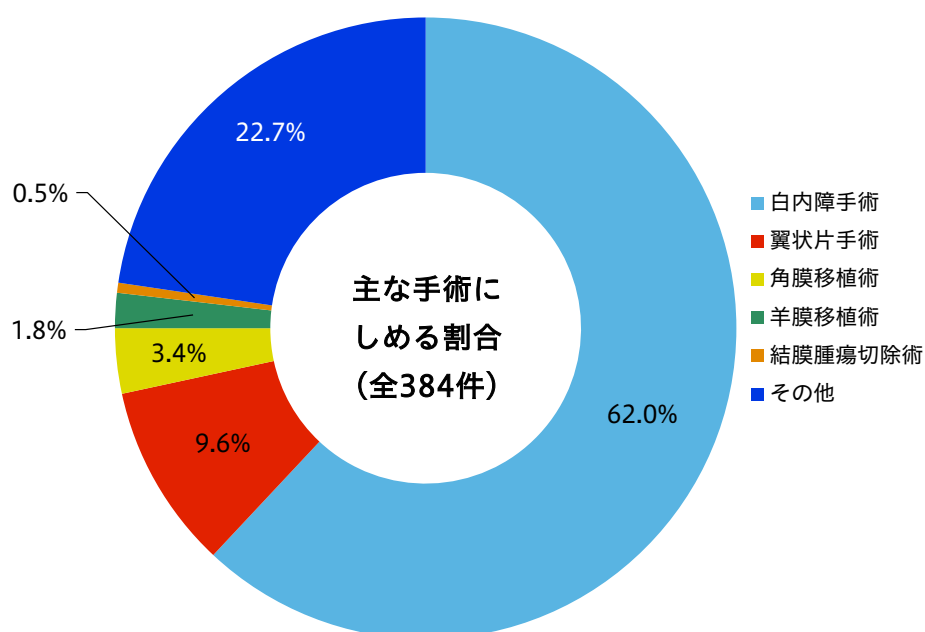
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など	備考
眼科部長	照屋 明子	一般眼科・角膜	日本眼科学会専門医	
	親富祖 さやか			
	安次嶺 僚哉			

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

名称	件数
白内障手術	238
翼状片手術	37
角膜移植術	13
羊膜移植術	7
結膜腫瘍切除術	2
その他	87
合計	384



年度総括

2023 年 4 月より眼科部長を拝命した照屋です。当院では白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの眼科一般診療をはじめ、専門分野である前眼部（角膜・結膜）疾患を柱とした診療を、常勤医 2 名と大学からの外来応援医師を併せた体制にて行っております。

特に角膜移植などの角結膜診療に関しては、2023 年 4 月より月一回程度、稲富勉先生（国立長寿研究センター眼科部長／京都府立医科大学眼科客員教授）にお越し頂き、角膜専門外来および角結膜手術執刀・手術指導を担当していただいております。本当に有難いことに、沖縄にいながらにしてトップレベルの角結膜診療を患者さんにご提供できるようになりました。

近隣の眼科クリニックを中心に、本島北部地域や離島の眼科クリニック、県内各総合病院や琉球大学病院から患者さんをご紹介いただき、診療・治療をさせていただいています。

これまで懸案であった外来診療における待ち時間の解消は依然として大きな課題ではありますが、もう一つの課題である患者さんの手術待機期間は 1 ～ 2 カ月以内におおむね短縮できております。

さらなる眼科診療のクオリティ向上を目標に掲げ、今後も患者さん一人ひとりに最も適した質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同協力して当たらせていただきます。

眼科部長 照屋 明子

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は耳、鼻、咽頭、喉頭、頭頸部と幅広く、聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器に加え、摂食嚥下、発声、呼吸といった重要な機能を取り扱っている診療科です。

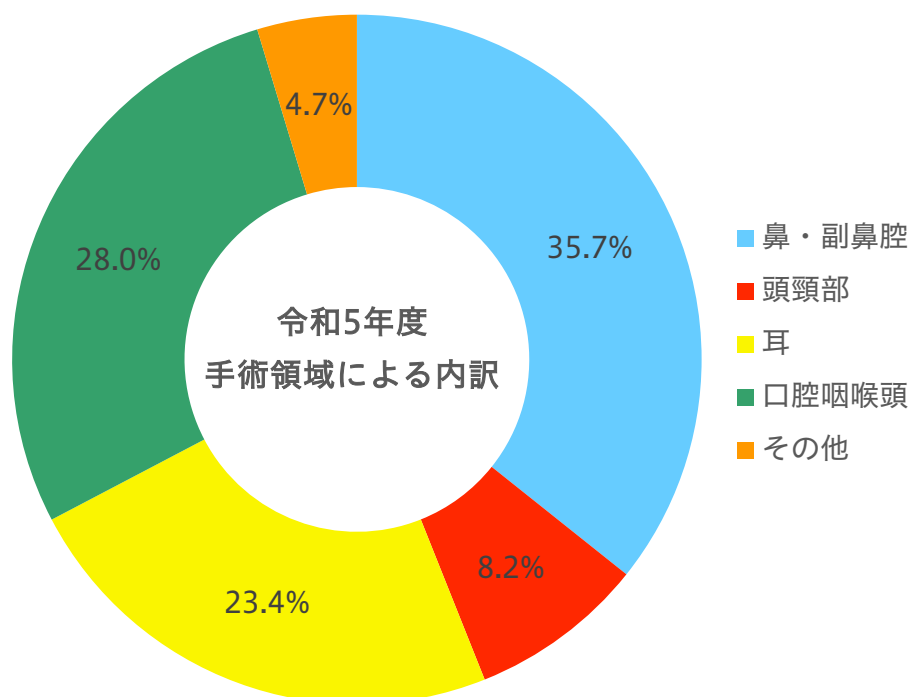
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
耳鼻咽喉科副部長	赤澤 幸則	中耳炎、難聴、顔面神経、めまい	日本耳鼻咽喉科学会認定専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医 日本耳科学会認定医 補聴器適合判定医 騒音性難聴認定医 医学博士
	古謝 幸宏	耳鼻咽喉科一般	

診療実績

手術名	件数
耳科手術	
鼓室形成術（耳小骨温存術）	15
鼓室形成術（耳小骨再建術）	4
乳突削開術	5
鼓膜形成術	5
鼓膜穿孔閉鎖術（リティンパ®）	12
鼓膜切開術	14
鼓膜チューブ挿入術	24
先天性耳瘻管摘出術	1
耳介血種開窓術	2
耳介腫瘍摘出術	1
外耳道異物除去術	1
外耳道腫瘍摘出術	1
鼻科手術	
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型	9
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型	20
内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型（下鼻甲介手術）	46
内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型（鼻中隔矯正）	28
後鼻神経切断術	18
鼻腔粘膜焼灼術（鼻出血止血）	7
鼻茸摘出術	1
鼻前庭嚢胞摘出術	1
口腔咽喉頭手術	
口蓋扁桃摘出術	90
中咽頭腫瘍摘出術（経口腔）	1
声帯ポリープ切除術	1
喉頭異物摘出術（直達鏡下）	1
咽頭異物摘出術	5
唾石摘出術（表在性）	2
唾石摘出術（深在性）	2

手術名	件数
頭頸部手術	
舌下腺腫瘍摘出術	1
顎下腺摘出術	2
耳下腺腫瘍摘出術（浅葉）	8
耳下腺腫瘍摘出術（深葉）	3
口腔底悪性腫瘍手術	1
舌悪性腫瘍手術（切除）	1
甲状腺部分切除術	2
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	1
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘・郭清なし）	1
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘・郭清あり）	1
副甲状腺腺腫過形成手術	1
頸癭摘出術	1
甲状舌管嚢胞摘出術	1
頸部郭清術	6
その他	
リンパ節摘出術	6
気管切開術	5
皮下腫瘍摘出術	1
咽後膿瘍切開術	2
皮弁作成術	1
神経縫合術	1
気管口狭窄拡大術	1



年度総括

耳鼻咽喉科副部長の赤澤幸則と申します。令和 5 年度は基本 1 人体制でしたが、10 月～12 月にかけては古謝幸宏先生と 2 人体制で可能な限り地域の先生方からのご紹介に対応させて頂けたかと存じます。私は耳科領域を専門としており、大学病院等より頭頸部腫瘍、鼻科、音声、嚥下の各専門医師による外来及び手術を可能としているため、耳鼻咽喉科のほぼ全領域を高いレベルで対応可能となっております。

平成 30 年度より、嚥下チーム（医師・言語聴覚士・看護師・栄養士・歯科衛生士）を立ち上げ、嚥下障害患者の回診などチームでの活動を開始いたしております。他科よりコンサルトされた入院患者を中心に、正確な嚥下機能評価及びそれに基づく適切なリハビリ指導を行って参りました。

今後も地域医療支援病院として、他院ならびに他科の先生方からも患者さんをご紹介いただけるよう病診連携の維持に努めてまいります。できるだけわかりやすい説明を心がけ、それぞれの患者さんに合った医療を提供できることをモットーにし、本年度も入院患者数・手術症例数の増加を目指し、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科副部長 赤澤 幸則

泌尿器科

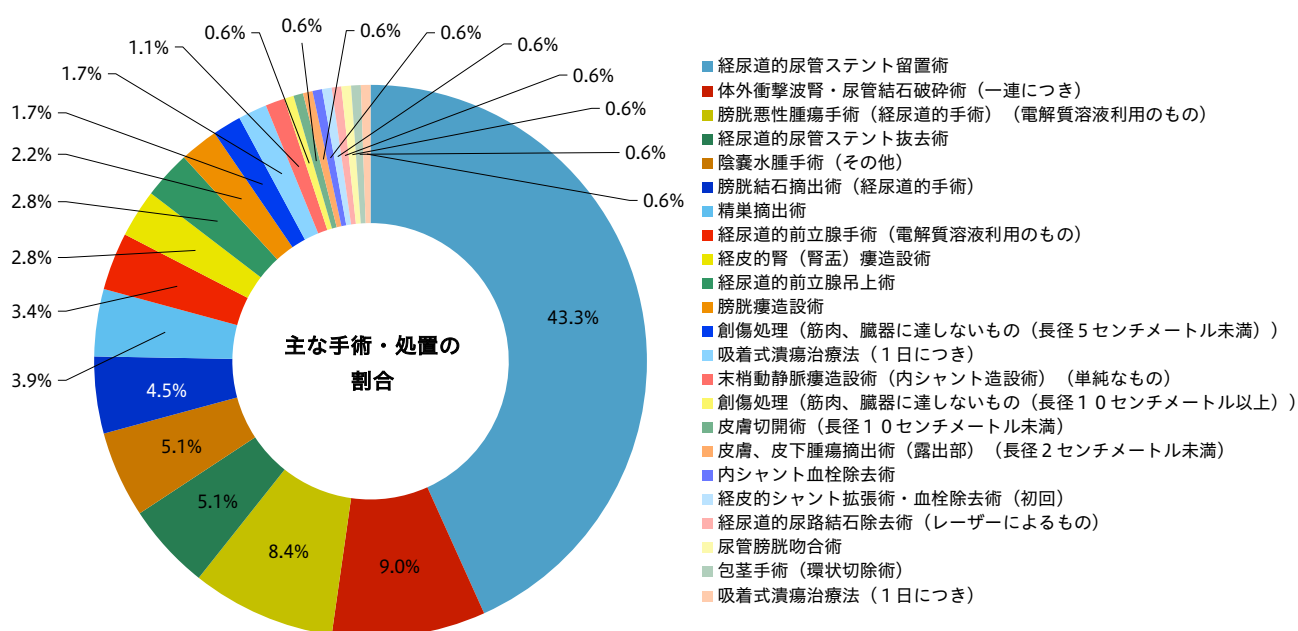
2023 年度は、常勤医として嘉川春生、外来非常勤医師として琉球大学腎泌尿器外科学講座から斎藤誠一教授、木村隆先生、芦刈明日香先生、琉球大学システム生理学講座の宮里実教授に応援をいただきました。外来患者数は毎月 700 人前後で推移しており、年間累計患者数は 8,195 人でした。主な検査としては、膀胱ファイバーが年間 159 件。経直腸前立腺針生検が 38 件、(内前立腺癌は 34 件)。手術は、経尿道的膀胱腫瘍切除術 15 例、経尿道的前立腺切除術 6 例と尿管ステント留置術 77 例を中心に実施しています。腎癌、前立腺癌の手術に関しては、琉球大学病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院に紹介しています。前立腺癌に対する放射線治療は南部徳洲会病院、南部医療センター、琉球大学病院へ紹介しており各病院と連携を取らせていただきながら治療にあたっています。

医師プロフィール

(2023 年 6 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会専門医
	宮里 実		
	斎藤 誠一		
	木村 隆		
	芦刈 明日香		
	與那嶺 智子		

検査・治療・手術件数



年度総括

人口の高齢化が進む中、泌尿器科を受診される患者さんは年々増加の一途をたどっています。病診連携により患者さんの円滑な受け入れ、また逆紹介に取り組んで参ります。

2023 年度は常勤医 1 人体制で業務に携わりましたが、琉球大学腎泌尿器外科からのサポートをいただきながら乗り切ることができました。

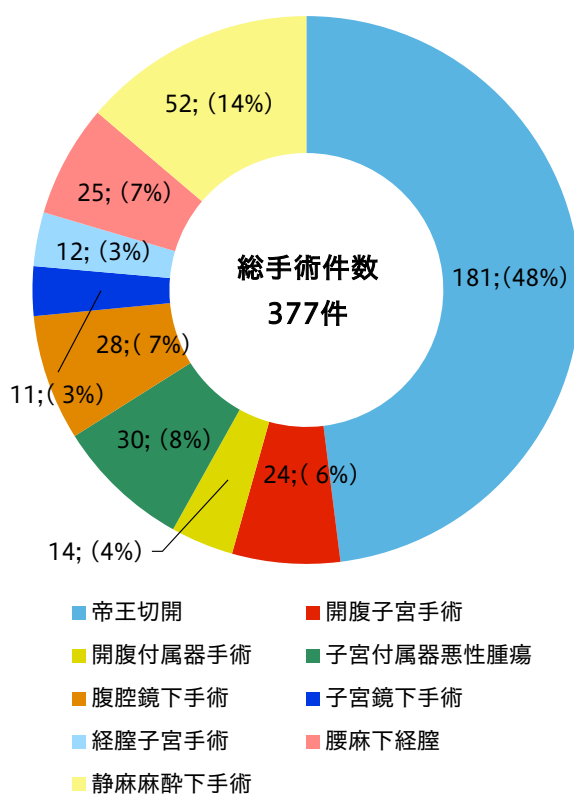
泌尿器科部長 嘉川 春生

医師プロフィール

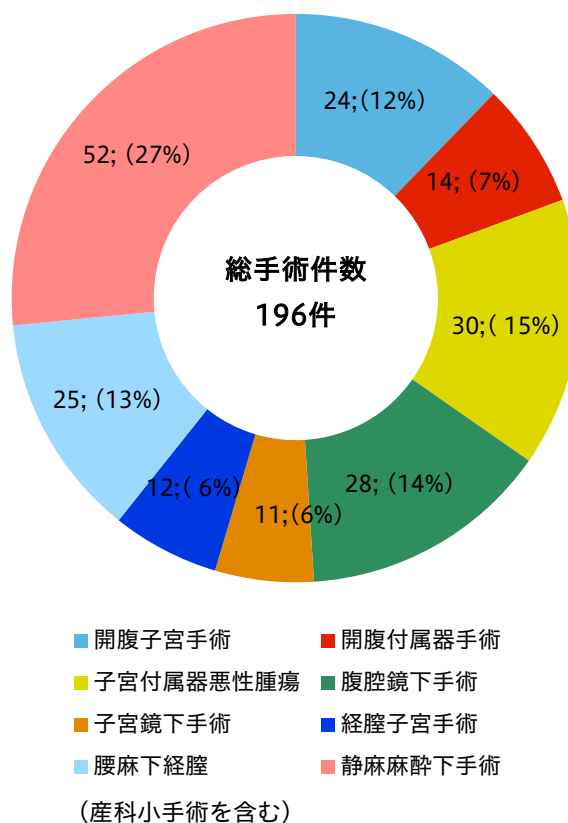
役職	氏名	専門分野	学会認定
産婦人科センター長 婦人科部長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医・指導医
産科部長	大西 勉	産婦人科全般	母体保護法指定医
産婦人科部長 東館４・５階病棟医長	堀本 直幹		
	比嘉 博香	一般産婦人科	日本産科婦人科学会専門医
産婦人科医長	宮崎 優樹		日本産科婦人科学会専門医
	吉川 和泉		
非常勤	當眞 真希子	婦人科	日本産科婦人科学会専門医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医

統計

産婦人科手術



婦人科手術



研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 75 回日本産科婦人科学会学術集会	急性腹症で緊急手術を施行した微小浸潤癌を伴う卵巢境界悪性腫瘍の 1 例	東京都	2023 年 5 月 11 日	武田 理、宮崎優樹、比嘉 博香、堀本 直幹、大西 勉
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	術後 9 年目に肺転移再発を来した子宮体癌の 1 例	鹿児島県	2023 年 7 月 18 日	武田 理、宮崎 優樹、比嘉 博香、堀本 直幹、大西 勉、青山 肇、仲宗根 尚子、熱海 恵理子
第 56 回沖縄産科婦人科学会学術集会	肺良性転移性平滑筋腫(benign metastasizing leiomyoma) の 1 例	沖縄県	2023 年 9 月 24 日	武田 理、宮崎 優樹、比嘉 博香、堀本 直幹、大西 勉、青山 肇、星野 浩延、熱海 恵理子

論文・著書

論題名	雑誌名	掲載年・巻号・頁	著者名
肺良性転移性平滑筋腫 (benign metastasizing leiomyoma) の 1 例	沖縄産科婦人科学会雑誌	第 46 巻 2024.3 月	武田 理、宮崎優樹、比嘉博香、堀本直幹、大西 勉、青山 肇、星野 浩延、熱海 恵理子

年度総括

参加では分娩数は昨年度とほぼ同数でした。帝切症例が増加、ハイリスク分娩が増えたことが原因と思われます。産婦人科スタッフ数減少でマンパワー不足の中、分娩数を維持できたのはひとえにスタッフ個々の精力的な働きによるものと思われます。今後は働き方改革の指針に沿って医師数、スタッフ数確保に努め分娩数増加を図る予定です。

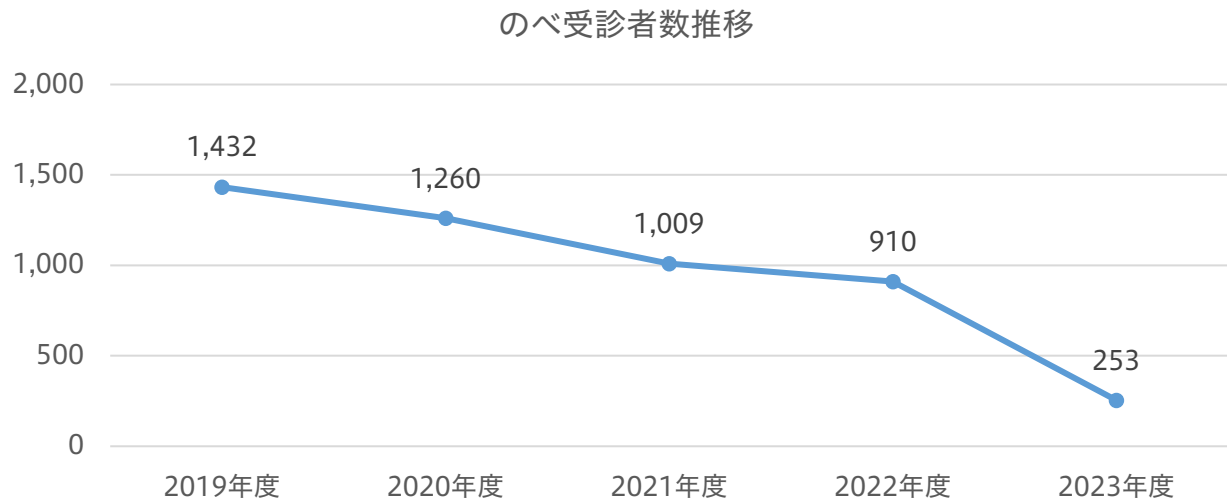
婦人科では、手術件数は前年からやや減少、産婦人科スタッフ数減少の影響かと考えています。2024 年度は婦人科外来枠増加により手術数の増加を図る一方、ロボット手術も導入されるため新しい手術スキルを獲得して収益の増加に貢献したいと考えています。

産婦人科センター長 兼 婦人科部長 武田 理

皮膚科

皮膚科の診療は、琉球大学病院の非常勤医師が対応しておりましたが、2023年6月で休診となりました。

診療実績



放射線科

放射線科の診療は CT、MRI、RI（ラジオアイソトープ）、マンモグラフィー等の検査内容の指示、診断、検査報告書作成など画像のみを扱う分野と、画像支援で治療を行う IVR（血管内治療）が主な業務内容になっております。IVR には肝動脈化学塞栓療法などの待機的治疗から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も他科と連携しながら行っています。

医師プロフィール

（2023 年 6 月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本医学放射線学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
	東江 ゆりか	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本核医学会核医学専門医 日本核医学会 PET 核医学認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
	岡 伊作	放射線診断学	日本放射線学会専攻医

各種検査・治療件数と推移一覧

医療技術部 放射線科のページに業務実績を掲載しております。

年度総括

2023 年度の CT、MRI の読影件数は減少が見られます。コロナの頃に著しい件数増加があり、今年はその反動が来ているのかもしれませんが。医師の移動によるオーダーの減少も原因となっている可能性があります。

RI は減少傾向ですが、他に代用の利かない検査もありますので、引き続き放射線科として、広報に努めていきたいと思えます。

マンモグラフィーもやや減少しており、IVR は一時期激減していた TACE がやや増加に転じています。

2023 年度は常勤 3 名体制でダブルチェック体制を強化し、至急の読影や IVR に対応してきました。これからも放射線科医と放射線科スタッフが連携し、各診療科の要望に応えられるよう、より良い診断と治療に努めてまいります。

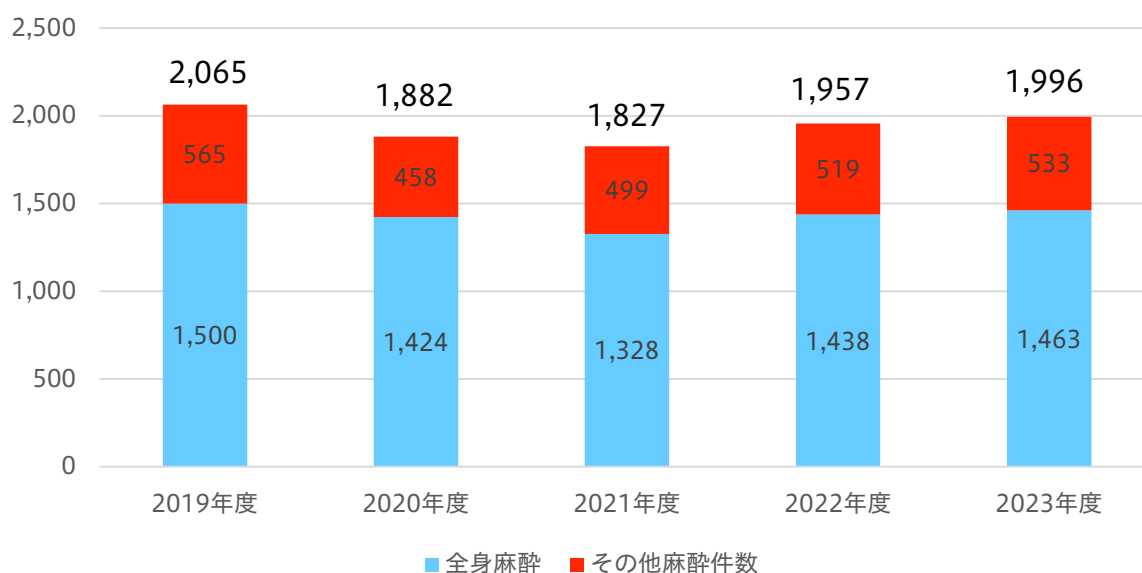
放射線科部長 高良 誠

麻酔科

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
麻酔科部長 手術室部長	島袋 泰	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会指導医
麻酔科副部長 手術室副部長	釜野 武志	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会指導医
麻酔科医長	嘉手苅 由梨	一般麻酔	日本麻酔科学会専門医
医師	太田 沙也加	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会認定医
医師	平良 志子	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医
麻酔科相談役	久場 良也	集中治療・麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会指導医 日本集中治療学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医

麻酔件数推移



年度総括

2023 年度の麻酔管理件数は 1,996 件（前年 1.9% 増）、全身麻酔管理件数 1,463 件（同 1.7% 増）と 2022 年度とほとんど変化がありませんでした。嵩原医師の退職に伴い小児の麻酔件数は減少したものの、乳児から 100 歳超の患者まで麻酔を行っている状況は続いています。患者個々の病状や状態に合わせたいわゆる「オーダーメイド」麻酔を心がけ患者の安全を保つように努力しています。手術室外でも前年度まで同様、covid-19 患者の挿管や ICU での血液浄化等も散発的に受けている状況です。

麻酔科関連学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。学会参加はハイブリッド開催の増加で現地に赴く必要はなくなりましたが、技術向上・維持のため、現地ハンズオンセミナーには定期的に参加する必要があります。特に全身麻酔が困難な症例に対し区域麻酔中心に管理することが全国的に一般化してきており、麻酔科全体の技術向上は急務と考えております。その際、手術制限で各科の先生方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。今後とも安全で効率的な手術室管理へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

麻酔科副部長 釜野 武志

血液浄化部

2023年の人員体制は、医師4名、看護師23名、看護助手4名、医師事務作業補助2名、医事1名で臨みました。透析室のコンソールは57台（内個室2台）。外来維持透析の患者さんは延べ151名でした。月・水・金は午前55名、午後（13時半～19時）は9名、夜間（16時から22時）は20名の3クール。火・木・土は午前55名の1クールで透析治療を行っています。

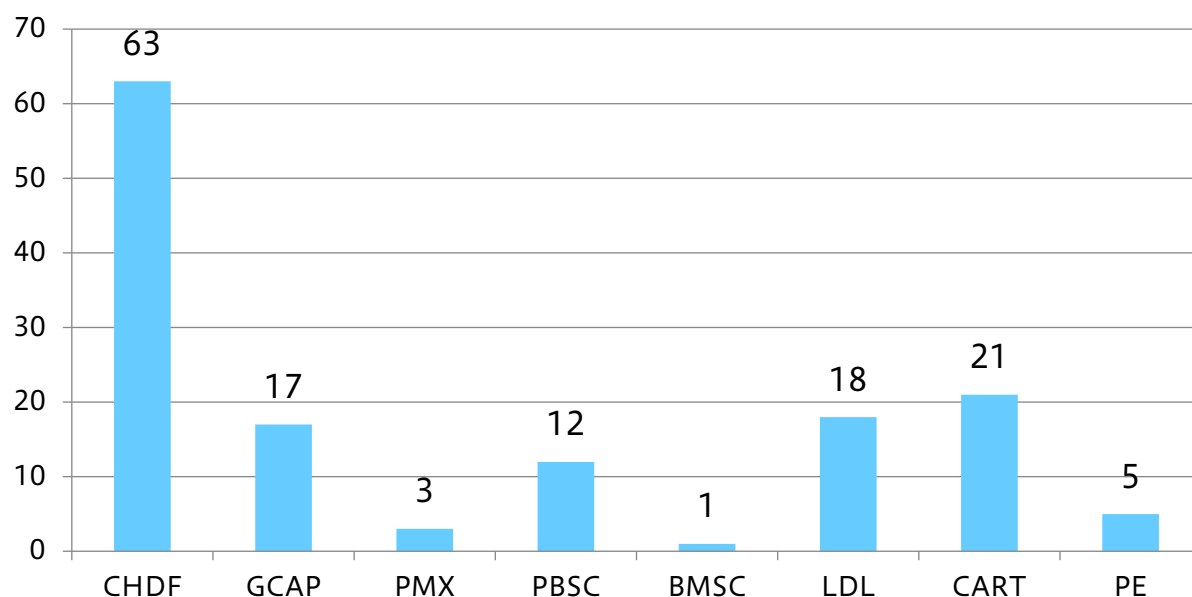
ICU、HCU等での血液浄化療法として持続血液濾過透析（CHDF）、白血球除去療法（GCAP）、LDL吸着、エンドトキシン吸着（PMX）、腹水ろ過濃縮療法（CART）、自家抹消血幹細胞移植（PBSC）骨髄幹細胞採取（BMSC）、血漿交換（PE）等、201件実施しました。

医師プロフィール

（2023年6月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定
理事長	安里 哲好	循環器疾患、生活習慣病・禁煙外来	日本循環器学会専門医 日本透析医学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医
院長	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクشنコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
血液浄化部長 泌尿器科部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会専門医
ハートライフクリニック 糖尿病内科副部長	小原正也	糖尿病、内分泌	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病学会研修指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医 日本骨粗鬆症学会認定医 日本医師会認定産業医 医学博士
	比嘉建介		

業務実績



年度総括

2023 年度は私嘉川の常勤 1 名に、木曜日には理事長の安里先生、水曜日には院長の佐久川先生、金曜日には循環器内科の比嘉先生、土曜日はハートライフクリニックから小原先生にお越し頂き、5 名体制で業務を行いました。第 3 土曜日はハートライフクリニック糖尿病内科の小原先生による透析室糖尿病外来も継続しておこないました。また、ハートライフクリニック内科、糖尿病内科と連携し、血液透析導入前から患者さんに関わることができ、円滑に血液透析の導入をすすめることができました。

今年度から透析室に医師事務作業補助係 2 名が配属されたことにより、透析室内での医師のタスクシフトを進める事ができました。

当院の患者さんの平均年齢も 68.8 歳と年々高齢化が進んでいます。患者さんのニーズも多様化している中で、それぞれの個性を大切にしながら、求められるニーズにお応えし、透析患者さんが住み慣れた地域で安心して生活および透析治療が継続できるよう地域や多職種と連携しながら取り組んでいきたいと思っています。併せて、患者さんに安心して透析治療を受けていただけているよう、安全面や感染面にも十分配慮しながら診療を行っていききたいと思います。

血液浄化部部長 嘉川 春生

口腔ケア科

概要・実績

2017年（平成29年）4月より診療科を立ち上げ6年目を迎えました。2022年度からは、金曜日も外来を追加し月曜～金曜日まで非常勤医師・歯科衛生士により、周術期患者や化学療法患者を対象としたケア中心の診療を行ってまいりました。

職員数

歯科医師

5名

歯科衛生士

2名

医師

氏名	専門分野	学会認定
村橋 信	口腔外科一般、顎関節症 摂食嚥下	日本口腔外科学会専門医 日本顎関節学会認定医 リハビリテーション学会認定医
井手 健太郎	口腔外科一般	日本口腔外科学会認定医
丸山 修幸	口腔外科一般	日本口腔外科学会専門医 日本口腔科学会認定医
村橋 佳代子	口腔外科一般	日本口腔外科学会認定医
白川 純平	口腔外科一般	日本口腔外科学会専門医

歯科衛生士

氏名	認定
仲山 綾子	歯科衛生士
當山 あすか	歯科衛生士

診療実績

診療科別患者数

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
延患者数	1,508	1,111	1,216	1,944	1,521
月平均患者数	126	93	101	162	127
1日平均患者数	16	15	13	16	17
日当点（円）月平均	8,435	10,036	11,494	11,027	12,032
パノラマ件数月平均	13	34	35	55	69

5年間の推移

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
周術期 I 280	35	44	46	76	85
周術期 I 190	11	7	2	7	1
周術期 II 500	230	204	330	562	565
周術期 II 300	190	41	28	38	84
周術期 III 200	323	211	226	157	101
パノラマ X 線撮影	153	405	424	857	881
歯科衛生実施指導料1	959	791	1,000	1,175	1,192

年度総括

口腔内のケアを中心としている当科では、新型コロナウイルス感染症が5類になってからも感染対策を講じて診療とケアの介入を継続しています。実行すべき対策（標準予防策）の徹底とエアロゾルの分散を防ぐための口腔外吸引装置を設置しながら患者へ提供する診療とケアの質を落とさない様、努力を行ってきました。

前年度と同様、手術時にトラブルが起こりやすい口腔内の場合は、麻酔科医と情報共有をしています。また、入院前に診察が行えない場合は手術前と入院中のケアを行うなど、手術における合併症の予防に努めています。手術後の安静や病状により口腔ケア科へ来ることができない場合は、歯科医師と歯科衛生士で病室への往診を行うなど個々に合わせたケアを継続しています。

2023 年度より歯科衛生士が新人看護師対象に口腔内ケアについて教育を開始しました。周術期の合併症に対する口腔内管理だけでなく、入院中の患者の口腔ケア方法や義歯の取り扱い方など、学校で学べない事など実技を通して学習して頂きました。

次年度は後方施設との連携や勉強会実施を計画しています。内科の緊急入院症例で多い誤嚥性肺炎患者はセルフケア困難症例が多く口腔衛生環境が悪い状態で入退院をくりかえしています。病院内での口腔衛生管理だけではなく、退院後も口腔ケアが継続して行えるように後方施設との調整を歯科衛生士中心に行っていききたいと思います。

救急総合診療部

コロナ禍で近隣病院が救急要請を不応需とする症例が増えたことで増加した救急搬送件数は、もともとの地域で必要とされる救急搬送件数と落ち着いてきました。しかし「救急搬送は断らない」前提である脳神経外科の夜間・休日対応ができなくなったことで「突然発症の片麻痺」だけでなく「意識障害」や「痙攣」「飲酒後の転倒・頭部外傷」までも脳外科救急の可能性があると不応需としてしまう症例が増え、不応需率は増え、救急搬送は減少してしまいました。

救急総合診療部としては、当直の先生のために「夜間脳外科救急対応マニュアル」の整備や、南部医療センターの脳卒中担当医との画像相談システムの構築などを行いましたが、その効果についてはいまのところ不明です。働き方改革に伴い、もともと少ない脳神経外科の先生たちの集約化、偏在化がすすむ中北部の脳外科救急体制を維持するには、まずは一旦診療したうえで、二次転送するシステムを浸透させていく必要があるものと考えています。当直を担当される先生にはご無理をおかけしますが、地域医療、救急医療を守るため、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

2022 年度に初開催した「おきなわ子どもメディカルラリー」は、2023 年 9 月 9 日にイオンモール沖縄ライカムを会場として中北消防の防災・救急フェアと共同開催しました。第 2 回ということと全国初の大型ショッピングモール、イオンモールでの開催ということで、県外からも多数のスタッフにボランティア参加をいただき、盛況の中、開催することができました。

さらに、進路に悩む本気の高校生を応援したい、医療従事者の魅力に気づいてもらう試みとして、高校生を対象とした「医療体験実習」を開催し、7 月 25 日から 8 月 8 日までの 5 週間、1 クール 4 名ずつ、合計 20 名の実習生を引き受け、将来の仲間を増やす活動も始めました。

待っていても医師確保はできません。病院の名前、部署、部門の名前を地域だけでなく、県内、県外に知ってもらうことでいつか一緒に働きたいと思ってくれる医療従事者が増えるのではないかと期待して、広報活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

医師プロフィール

(2023 年 6 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
救急総合診療部救急部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、病院前救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター MCLS CBRNE インストラクター 日本心臓核医学会評議員 心臓リハビリテーション指導士 病院前救急統括体制認定機構認定民間メディカルコントロール医師 沖縄県災害医療コーディネーター 中部地区 MC 協議会 運営委員
救急総合診療部 シニア・アドバイザー (SA)	銘苅 正		日本医師会認定産業医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
複数消防と連携した多数傷病者事案・ドクターカー連携訓練を企画して	第 27 回日本救急医学会九州地方会	福岡	2023 年 5 月 12 日	三戸正人
机上訓練 1 週間後に行なった多数傷病者対応の実働訓練の経験	第 26 回日本臨床救急医学会総会・学術集会	東京	2023 年 7 月 28 日	三戸正人
病院救命士による検証体制の確立				金城 鈴子、三戸 正人
中規模・二次救急病院でのドクターカー (DC) 運用の実際	第 51 回 日本救急医学会総会・学術集会	東京	2023 年 11 月 29 日	三戸正人
ドクターカーの病院前活動における画像伝送の試み	第 18 回 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会	神奈川	2023 年 12 月 9 日	三戸正人
局地災害対応の机上訓練 1 週間後に行なった実働訓練	第 29 回 日本災害医学会総会・学術集会	京都	2024 年 2 月 24 日	三戸正人

論文・著書

論題名	雑誌名	掲載年・巻号・頁	著者名
<特集> 病院救急救命士のリアル 各論一働き方のリアル ハートライフ病院	救急医学	2023 年 5 月号(第 47 巻第 5 号)	三戸 正人

その他の活動実績

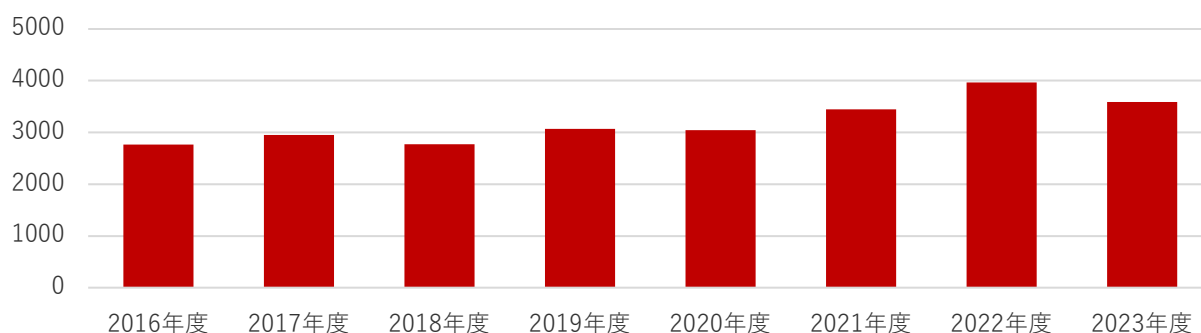
名称	日時
救急症例検討会 第 48 回 救急症例検討会 <参加者> 現地参加 消防 66 名、院内職員 21 名 計 87 名 ZOOM 参加 59 名 参加者合計 146 名	2023 年 6 月 16 日
消防主催ドクターカー連携訓練 第 2 回 沖繩子どもメディカルラリー (沖繩ライカム)	2023 年 6 月 28 日～ 30 日 2023 年 9 月 9 日
救急症例検討会 第 49 回 救急症例検討会 「複数傷病者事案をもとに、よりよいドクターカー連携を検討する」 <参加者>※現地参加のみ 消防 60 名、院内職員 17 名 参加者合計 77 名	2023 年 9 月 26 日
消防主催ドクターカー連携訓練	島尻消防主催 ドクターカー連携訓練 2023 年 10 月 18 日～ 20 日
ハートライフ病院 院内災害対策訓練	机上訓練 2023 年 11 月 17 日 実働訓練 2023 年 11 月 24 日
救急症例検討会	第 50 回 救急症例検討会 <参加者>※現地参加のみ 消防 69 名、院内職員 30 名 参加者合計 99 名 2024 年 2 月 9 日
ハートライフ病院主催ドクターカー連携訓練 (中北消防・宜野湾消防)	多数傷病者事案・ドクターカー連携訓練 2024 年 3 月 8 日

院内メディカルコントロール (MC) 体制の確立

2021 年 10 月、救急救命士法の法改正があり、「病院若しくは診療所への搬送のため重度傷病者を救急用自動車等に乗せるまでの間、又は重度傷病者が病院若しくは診療所に到着し当該病院若しくは診療所に入院するまでの間」と救急救命処置が行える場所が拡大しました。しかし病院救命士が上記条件で活動するためには、院内メディカルコントロール体制の立ち上げと、「指示・指導・助言」が行える必要性があり、院内 MC 委員会を立ち上げ、院内二次検証体制を確立し、運営を始めています。

実績

救急搬送件数



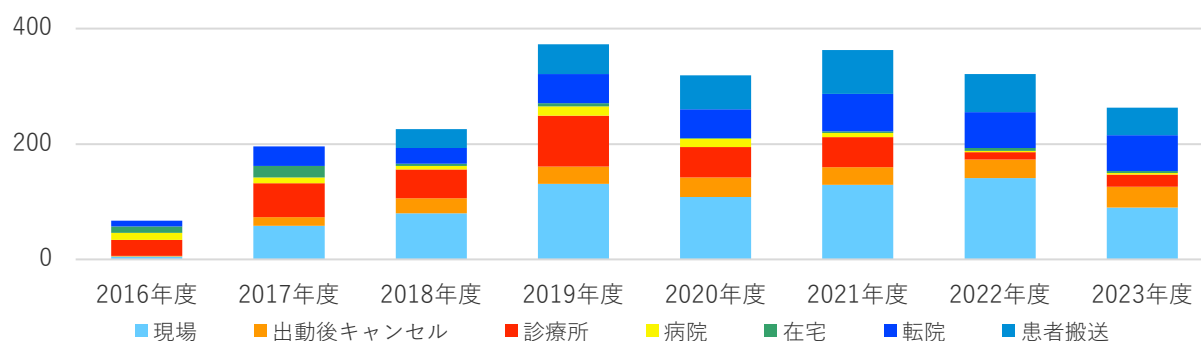
2021年度は前年度比13%増の3,444件、2022年度はさらに15%増で過去最高の3,963件の救急搬送を応需することができましたが、2023年度は3,589件と前年度比10%の減少となりました。

これは、急性期脳梗塞患者への血管内治療が自院で対応困難となったことで、脳出血を含む脳卒中が疑われる事案に加え、脳卒中を否定できない発症早期の麻痺や意識障害症例をお断り（搬送不応需と）していることや、救命救急センターが当院近隣に移転してきたことで重症度、緊急度の高い患者が他院へ搬送となっていることが原因だと思われます。しかしそれでも、当直を担当していただいている各科の先生方や、緊急入院を快く引き受けていただいている病棟看護師のみなさまの、「救急搬送を断らない」という病院の使命を理解し、協力していただいたおかげでこの数が維持できているのだと感謝しています。

2024年度からの「医師の働き方改革」の影響で、沖縄の救急医療体制の良さでもあった「断らない救急」が崩壊しはじめています。3箇所の救命救急センターは高度急性期医療への特化をめざし、高齢者や手術適応のない患者のお断り、たらいまわしが増え、地域で生活する方の安全・安心な医療提供ができなくなってきました。当院救急部としては地域の医療崩壊を食い止めるために、すべての救急患者を一旦引受け、初期治療を行い、手術や当院で根本治療が困難な患者様へは、適切な医療機関への二次転送を行うことを今後の目標としていきたいと考えています。

当院が救急搬送を断れば、より遠方に搬送されるため患者さんが重症化する恐れがあることや、地域から傷病者を乗せた救急車と救急隊が不在になり、その地域の助けられるはずの救急患者、重症患者を失うことにつながるということを共通認識としてご理解いただけているからと考えております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

ドクターカー出動件数

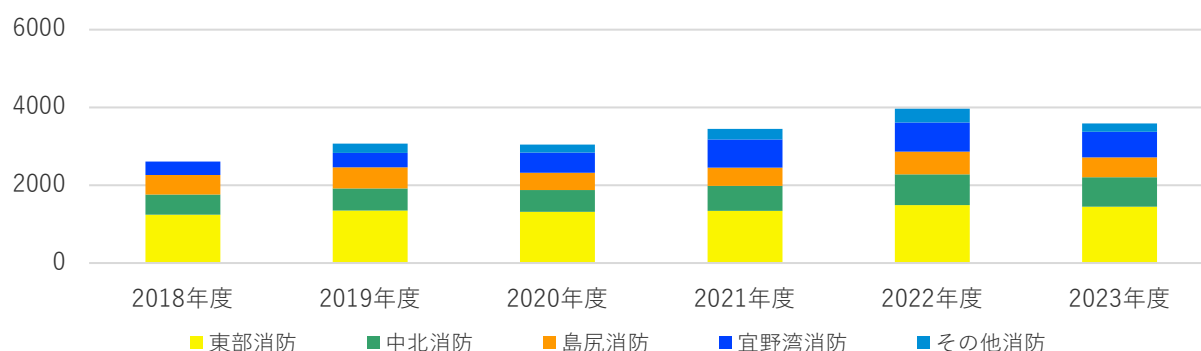


2023年度は263件の出動要請に対応しましたが昨年度よりも58件減少、そのなかでも現場要請は90件と昨年度に比べ50件も減少しました。原因としては、血管内治療が自院対応困難になり脳卒中が

疑われる事案への出動が減少したことや、コロナ禍を終え、ドクターカー同乗可能な救急医が出張や研修、会議等で病院不在となる時間帯にドクターカーを止めざるを得なくなったことが原因と考えられ、脳外科医の確保と、現場派遣要請に速やかに対応できる救急医の確保が急務だと思われます。

救急車型ドクターカーの高次医療機関への転院搬送や、下り搬送、診療所や病院へのお迎え業務中の現場出動要請へ応えるために 2019 年に導入したラピッドカー型ドクターカーも併用を開始、2020 年度からは病院救命士を 3 名体制とし安定した運用ができていました。しかし、2022 年度に救命士が退職したことで制限がでていた転院搬送も、2023 年度に新人救命士を採用、教育を開始したことで、なんとか患者搬送や転院対応も安定して行えるように回復してきています。ただ安定した病院前活動、準夜勤帯を支援できる ER 業務を行うためには、近隣救急病院のように、さらに複数名の病院救命士の増員が必要だと現場では考えています。

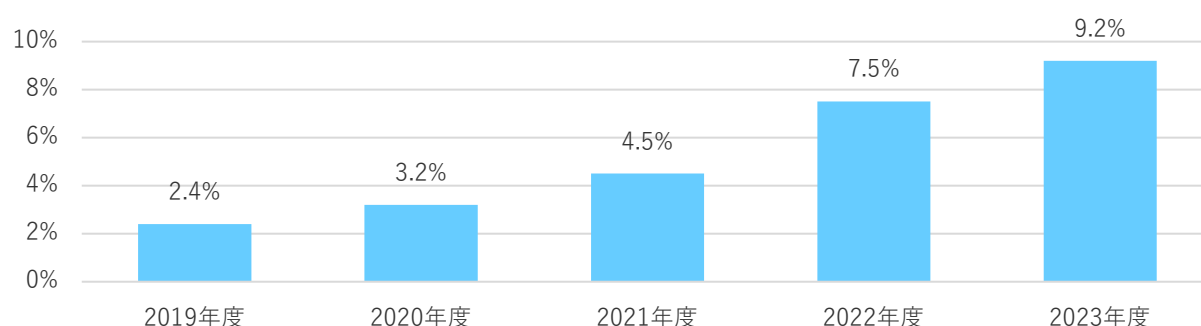
消防別搬送件数



当院は東部消防・中北消防・宜野湾市消防・島尻消防の 4 消防から 94% の救急搬送を引き受けています。東部消防・中北消防からの搬送件数は大きな増減は認めませんでしたが、コロナ禍が終わり、近隣病院が救急搬送を受けられるようになったこともあり、宜野湾市消防からの搬送件数は約 90 件、島尻消防からの搬送件数は約 70 件の減少がありました。

2024 年 1 月に浦添総合病院さんが、浦添市前田に移転したことで、東部消防西原分署管轄の救急搬送、重症患者の搬送も減少しており、脳神経外科救急を引き受けられる体制確立が急務だと思われます。

救急不応需率



当直担当医が減少したこと、2022 年 10 月より週末の脳神経外科救急のオンコール体制が休止、2023 年 4 月から平日夜間の脳外科救急もオンコール体制が休止したことで不応需率は過去最悪の 9.2% となりました。飲酒後の転倒、意識障害、発熱のある意識障害など、いままでであれば診療できていた救急患者

の不应需をどれだけ減らせるか、脳外科手術が必要になる可能性があるから断る、ではなく、まず診療し、必要なら脳外科救急を行っている救命救急センターへ転院搬送をするということをしないと県内の脳外科救急は崩壊してしまうと思われます。ご協力をお願いいたします。

長年、時間外の L&G が宣言される多発外傷・重症外傷にオンコール対応していただいた銘苅医師の年齢的、体力的問題と、院内に外科当直医が待機する体制が維持できなくなってしまったことから、外科系疾患についての体制の充実も喫緊の課題だと考えています。

当院で施行した CT や MRI 画像を南部医療センターの脳神経外科、神経内科に沖縄津梁ネットワークを通して伝送、相談できるシステムは構築し、2023 年 4 月より運用しています。また、Join という DICOM 画像閲覧、情報共有システムも導入し、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を活用した勤務医の負担軽減ができるシステム構築もすすめています。

来年度の目標

- ・ 救急症例検討会の定期開催と充実
- ・ 院内ドクターカーシミュレーションの定期開催
- ・ 消防と連携したドクターカー連携訓練の開催、拡大
- ・ 救急医学会、臨床救急医学会、救急看護学会などへの演題提出、学会発表
- ・ 院外コース（ICLS、AHA-BLS、AHA-ACLS、JPTEC、JNTEC、MCLS、MCLS-CBRNE、DMAT）などへのインストラクター・タスク派遣
- ・ ドクターカーを含めた病院前診療の質の向上、多数傷病者事案、災害発生時の病院体制、ER 体制を確立するための活動を本格的にしていく必要があると考えています。また、当院だけでは地域災害、局地災害を乗り切ることが困難であり、地域や、県全体の災害対応のレベルを上げる活動もしていかなければいけません。
- ・ 目の前の「助けて」を助けるため、「断らない救急」「ちゃんと助ける救急」を実践できるように「もっと助けるドクターカー」を活用しながら、院内職員、スタッフと一緒に勉強しながら活動が続けていきたいと考えています。

年度総括

ハートライフ病院の救急部としては、2022 年度にはじめた地域の子供達へのイベントを通して、その保護者やスタッフとしてかかわった医療従事者にも救急初期診療、外傷初期対応を知ってもらえる「沖縄子どもメディカルラリー」を開催することができました。今後も定期的に、継続的にこのイベントが開催できるように、また他の地域でも開催できるように近隣病院や消防組織などとの連携を強化していきたいと考えています。

また、自分の将来に本気で悩んでいる高校生たちに、医療従事者の魅力を知ってほしい、また病院で働く医療従事者にもなんでこの職業を選んだのか、自分たちの仕事に誇りを持ってほしいということを目的に開催した「医療体験実習」は、予想していたよりも大きな反響、好感をもって受け止めていただいたこともあり次年度以降も継続開催できればと考えています。

2024 年度からの医師の働き方改革により当院をとりまく医療環境は大変厳しくなっています。ですが、救急病院としてこの地域に必要とされ、断らない救急を実践していくためには、医療従事者が元気でなければ、笑顔でなければなりません。もっと職員の笑顔をつくれる活動を、病院全体でしていければと考えています。

これからも地域に信頼してもらえる救急医療機関として、また災害拠点病院としての役割を果たしていけるように頑張っていきたいと思います。

救急総合診療部救急部長 三戸 正人

病理診断科

当科では、手術や検査などで採取された組織・細胞について、肉眼および顕微鏡を用いて評価を行い、良悪性の判断と詳細な疾患名、病期や病変の広がりなどを診断しています。また不幸にしてお亡くなりになられた患者様の病理解剖も担当しています。2020 年度より現在の常勤専門医 1 名 + 専攻医 1 名の体制となり、臨床検査科の細胞検査士・臨床検査技師とともに精度の高い病理組織診・細胞診を行うよう心がけています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
病理診断科部長	青山 肇	外科病理学一般	日本病理学会専門医・指導医・学術 評議員 日本臨床細胞学会専門医 死体解剖資格 日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定内科医 医学博士
	古謝景輔	外科病理学一般	死体解剖資格

検査件数

臨床検査科のページに業務実績を掲載しております。

研究業績

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
Juxtaglomerular cell tumor with pulmonary metastases: A case report and review of the literature	Pediatric Blood & Cancer	Vol 70, Issue 4, April 2023	Sakiyama H, Hamada S, et al. 13 名中 7 番目

年度総括

コロナ禍以降、病理組織診の件数は流動的ですが、入院および外来での細胞診件数は漸増傾向にあります。今後も件数の増加に柔軟に対応できる標本作製・診断体制を築いていきます。また検体を受付けてから最終報告までに要する日数は、組織診で 3.3 日、細胞診で 1.9 日であり、昨年度よりわずかに短縮しています。

人材育成については、これまで沖縄県病理専門研修プログラム連携施設として専攻医をローテーションとして受け入れてきましたが、その結果 2023 年度より当院で病理診断管理加算 2 の施設基準を満たせるようになりました。細胞診については現状ではスクリーニングを行う細胞検査士一人あたりの負担が重く、若手技師が細胞検査士資格を早期に取得できるよう、教育環境を整えていきます。これら人材育成を通じて、スピーディーかつ見落としのない正確な病理診断を心がけていきます。

病理解剖は死因の究明だけでなく、臨床病理カンファレンス（CPC）を通じて当院の医療の質担保や研修医教育にも欠かすことができない医療行為です。2023 年度は 7 例の病理解剖を担当させていただきましたが、病理解剖をご承諾いただきましたご遺族の方々、ならびに病理解剖をご依頼いただきました主治医の先生方に深く御礼申し上げます。当院の診療、特にがん診療の基盤として、早く、正確な病理診断を行えるよう、今後もスタッフ一同努めてまいります。

病理診断科部長 青山 肇

医局年度総括

救急医療から専門的な医療まで、科の垣根を超えた合同医局で接しやすい医局です。コロナの再増加も睨みつつ医局行事も徐々に再開しています。これからも医局員、医局秘書、病院の助けを借りて各部署への橋渡しができればと思います。

大腸・肛門外科部長 兼 医局長 阿嘉 裕之

看護部

部門紹介

職員数（2023年4月1日現在）

総数 540名

保健師 6名

助産師 26名

正看護師 403名

准看護師 10名

看護補助者 60名

保育士 1名

クラーク 24名

歯科衛生士 2名

認定看護師・認定看護管理者

分 野	氏 名
感染管理認定看護師	大城 美那 城間 克也（専従）
皮膚・排泄ケア認定看護師	宮平 良太
緩和ケア認定看護師	高宮 理沙 長濱 博美
救急看護認定看護師 特定看護師研修修了者	兼本 愛美
手術室看護認定看護師 特定行為研修修了者	富田 賢一
糖尿病看護認定看護師 特定行為研修修了者	又吉 直美
糖尿病看護認定教育課程修了 特定行為研修修了者	比嘉 由布香
乳がん看護認定看護師教育課程修了者 特定行為研修修了者	奥田 美奈子 成田 明日香
特定行為研修修了者	富里 康太
集中ケア認定看護師	内間 幸人
医療安全管理者	比嘉 暢
医療安全管理者 養成研修修了者	外間 真紀子 安谷屋 佳子 屋宜 鮎美 米須 智子 安村 公均 勝連 しのぶ

分 野	氏 名
認定看護管理者ファーストレベル履修	安谷屋 佳子 東恩納 小百合 宮城 つかさ 崎山 久美 屋宜 鮎美 米須 智子 島袋 すが子 勝連 しのぶ 田下 茜 仲宗根 香織 山内 美咲（ハートラ イフクリニック） 喜屋武 香織 山城 敏裕 奥間 有太郎 花城 優子
認定看護管理者セカンドレベル履修	外間 真紀子 安谷屋 佳子

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にした質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

【看護体制】

入院基本料 7 対 1

勤務体制 二交代制

看護方式 固定チーム + デイパートナー方式

看護単位

- 一般病棟
 - 7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）
 - 6 階病棟（血液内科：クリーンルーム 10 床）
 - 5 階病棟（消化器内科・小児科）
 - 4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）
 - 3 階病棟（整形外科・脳神経外科・形成外科・眼科）
 - 東 4・5 病棟（産婦人科・乳腺外科・外来併設）
- ICU 8 床
- HCU 12 床
- 外来
 - 一般外来
 - 救急外来
 - 透析室
- 手術室、中央材料室
- 内視鏡センター
- 予防医学センター
- 入院支援室

各部署概要・実績

外来

外来師長 米須 智子

職員数

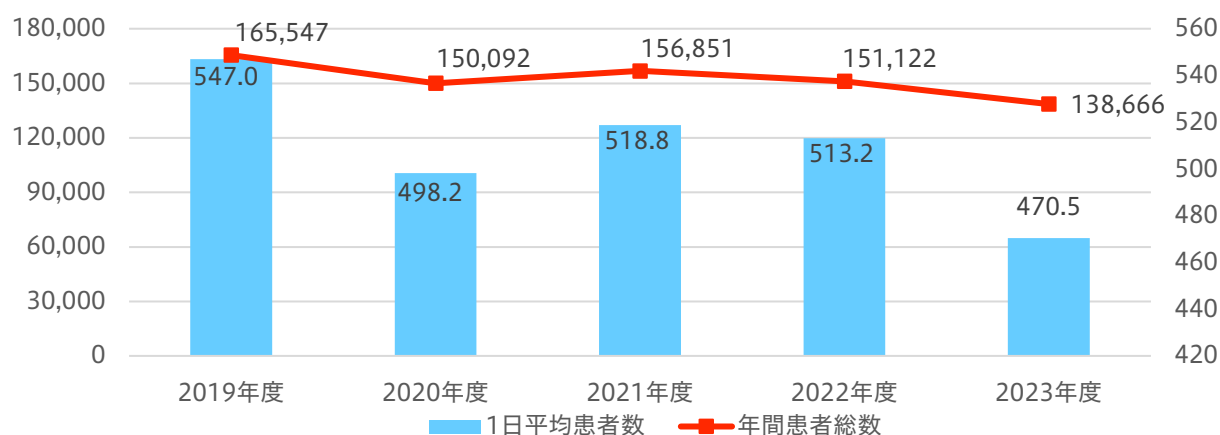
総数	40 名		
看護師	25 名	クラーク	11 名
看護補助者	2 名	歯科衛生士	2 名

資格・認定など

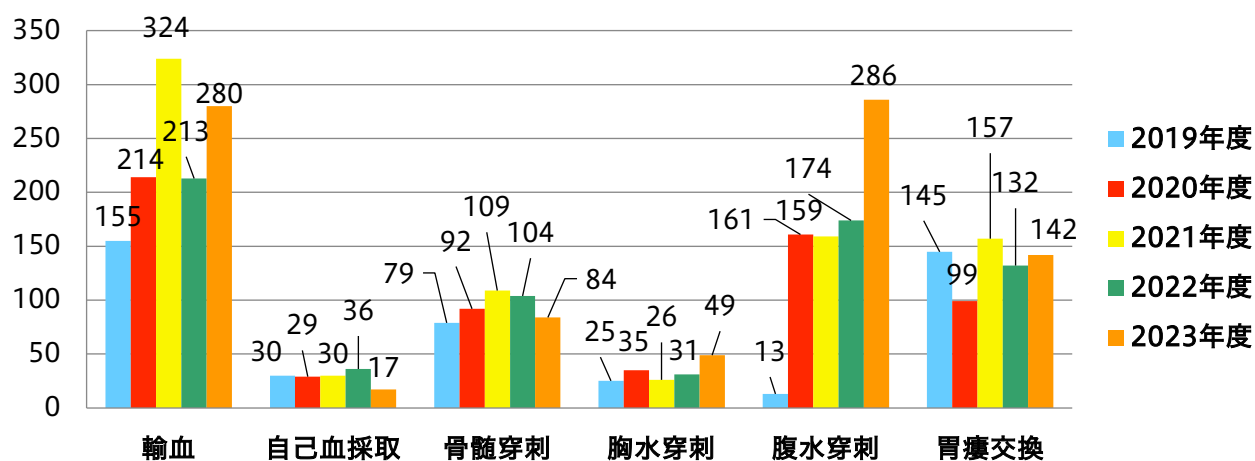
氏名	名称
米須 智子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 医療安全管理者養成研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了 実習指導者研修修了
玉城 秀美	実習指導者研修修了 医療安全管理者養成研修修了
石原 桂子	緩和ケア研修会 P E A C E
新垣 薫	排尿機能検査士 リンパ浮腫複合的治療技術者 認定排尿ケア専門員コンチネンスリーダー 排尿自立指導専任ナース 快適 C I C 指導士
志喜屋 幸子	肝炎コーディネーター資格
大滝 正美	肝炎コーディネーター資格
砂川 敦子	肝炎コーディネーター資格
金城 こずえ	肝炎コーディネーター資格
山川 七七女	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
島田 春奈	介護支援専門員 認知症キャラバンメイト 沖縄緩和ケア研修修了
島袋 彩加	リンパ浮腫複合的技術者資格
藤岡 杏奈	排尿自立指導専任ナース
成田 明日香	乳がん認定看護師教育課程研修修了

業務実績

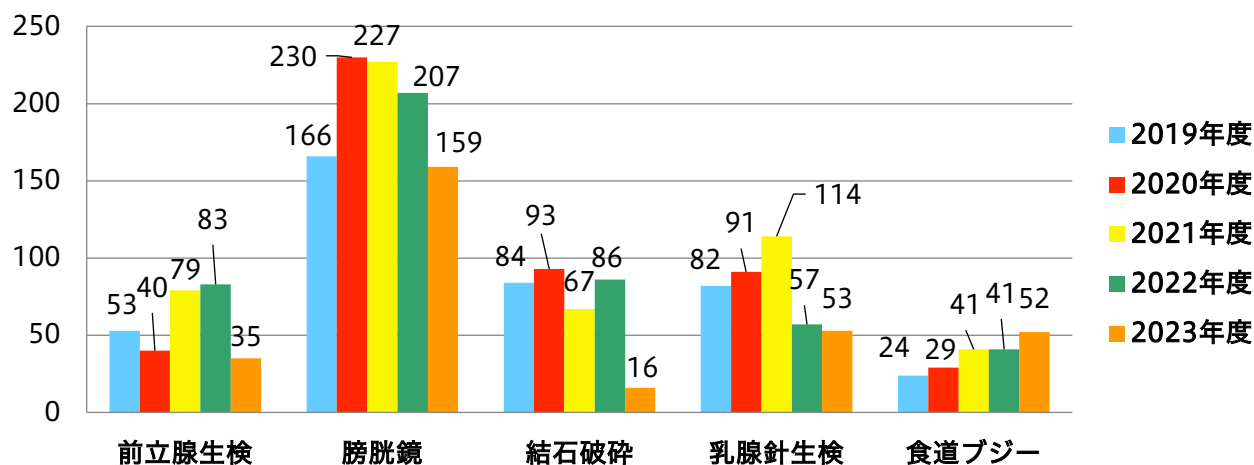
年間外来患者数と 1 日平均患者数（人）



外来で行われる主な処置件数の推移（件）



外来で行われる検査・治療件数の推移（件）



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 8 月 27 日	仲宗根香織
領域別研修（緩和ケア）	ハートライフ病院	当院	2024 年 9 月 3 日	佐久真明日香
領域別研修（安全管理）	ハートライフ病院	当院	2024 年 9 月 24 日	砂川敦子、富加見香余理
領域別研修（緩和ケア）	ハートライフ病院	当院	2024 年 10 月 3 日	佐久真明日香
領域別研修（救急看護）	ハートライフ病院	当院	2024 年 10 月 8 日	島田春奈、豊田夕子
外来看護と地域連携	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 10 月 15 日	大滝正美、島田春奈
領域別研修（安全管理）	ハートライフ病院	当院	2024 年 10 月 22 日	砂川敦子、富加見香余理
リーダー研修 プロフェッショナルマネージャーを目指す	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 11 月 12 日	大滝正美
領域別研修（慢性心不全）	ハートライフ病院	院内	2024 年 11 月 19 日	島田春奈、豊田夕子
領域別研修（乳がん看護）	ハートライフ病院	院内	2024 年 12 月 17 日	島袋彩加

年度総括

当院は31の診療科に加え、各種専門外来が行われています。外来では診療の介助や、処置室内での採血以外に多くの処置があり、限られた時間の中で安全に医療処置が行われる事が求められています。そのため、看護師の高い技術が必要とされています。看護師の配置定数は29名ですが、産休や体調不良による休職も重なり25名の看護師で切り盛りしなくてはならない状況下で、患者が安心・安全に治療を受けることが出来るように看護師の配置を工夫する必要がありました。育児短時間勤務利用職員や採血だけ行う短時間勤務者の雇用を行いながら、看護の質を担保してきました。

今年度は、①安全・確実な看護実践、②質の高い看護の提供を目標とし、さまざまな取り組みを行いました。質の高い看護の提供として意思決定支援への積極的介入に力を入れました。1日400名を超える受診者の検査や問診、処置対応に追われ、患者に対する指導や相談、重要な決断を強いられるインフォームドコンセント（以下IC）に看護師が立ち会うことが出来ないことも多く、意思決定支援も十分に行うことが出来ていませんでした。タブレット問診を強化し、クラーク業務を整理することで看護師業務をクラークへタスクシフトすることができ、ICへ立ち会う時間を作り出すことが可能となりました。ICに立ち会うことで、患者や家族の意思を確認し早期に地域へ継げることができた事例や治療方法の選択に不安がある患者家族を専門看護師へ継げ治療後の生活や費用などの詳細を説明し患者が満足した治療決定ができたことなどから意思決定支援への介入による成果だと感じています。

2024年度も意思決定支援への介入継続を目標に掲げ、よりよい医療を提供できるように取り組んでいきたいと思っています。

救急外来

救急外来師長 兼本 愛美

職員数

総数	26 名
看護師	23 名
救急救命士	3 名

認定・資格など

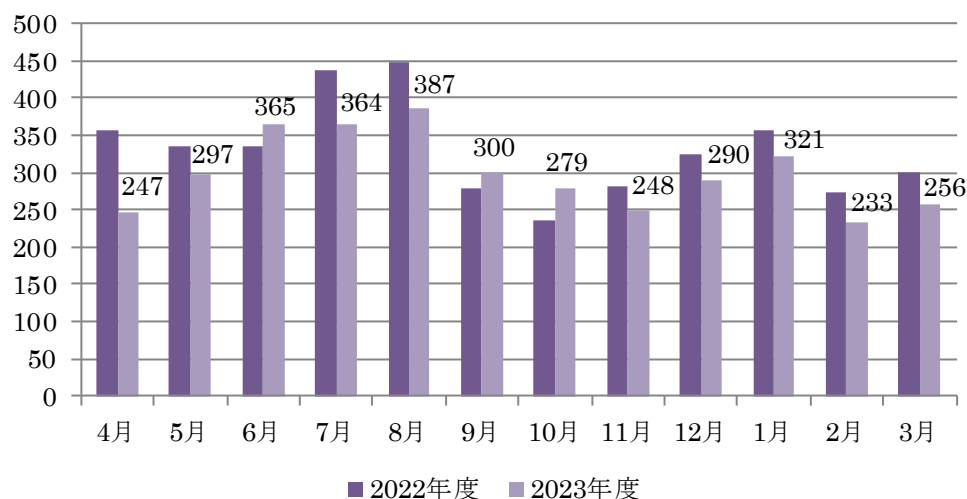
氏名	認定・資格・終了
兼本 愛美	救急看護認定看護師 特定行為研修修了 DMAT 隊員 AHA BLS インストラクター JPTEC インストラクター ICLS インストラクター
玉木 紀光	新人職員研修実施指導者研修修了
大宜見 千佳	新人職員研修実施指導者研修修了 AHA BLS インストラクター
新垣 仕言	ICLS インストラクター 心不全療養指導士
アーノルド 寿々奈	特定行為研修修了
大宜見 宗史	DMAT 隊員 JPTEC インストラクター 災害支援ナース
篠原 花織	JPTEC インストラクター
森元 一晟	DMAT 隊員
萩原 良幸	AHA BLS インストラクター JPTEC インストラクター

業務実績

救急車受け入れ件数

2022 年度 3,961 件

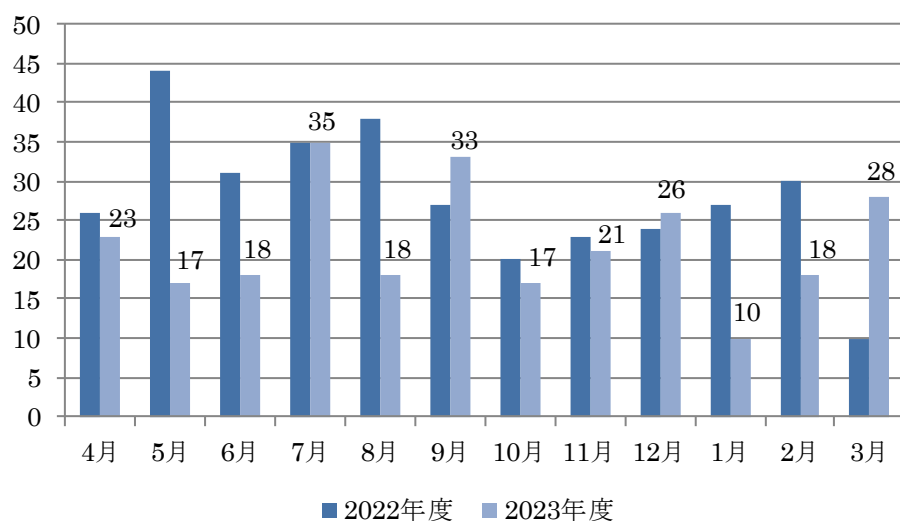
2023 年度 3,587 件



ドクターカー出動件数

2022年度 335 件

2023年度 364 件



活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
災害看護論	講義	名護市	2023年12月22日	兼本 愛美
喀痰吸引について	喀痰吸引指導者講習会	南風原町	2024年2月9日	兼本 愛美
急変対応	講義	広島県	2024年2月16日	兼本 愛美

災害派遣

名称	参加者
DMAT 能登半島地震災害派遣	兼本 愛美、森元 一晟
JMAT 能登半島地震災害派遣	大宜見 宗史、篠原 花織、櫻井 宏美、森元 一晟、萩原 良幸

研修実績

氏名	認定・資格・終了
友寄 聡子	PEARS プロバイダーコース JPTEC プロバイダーコース
大宜見 宗史	災害支援ナース研修
櫻井 宏美	JPTEC プロバイダーコース
我那覇 命	AHA BLS プロバイダーコース AHA ACLS プロバイダーコース
照屋 杏奈	新生児蘇生法講習会
桑江 美穂	PEARS プロバイダーコース JPTEC プロバイダーコース
平良 隼斗	JPTEC プロバイダーコース
萩原 良幸	AHA インストラクターコース

年度総括

2023 年度は、救急車受け入れ件数が 3,587 件でした。過去 4 年間の救急車受け入れ件数は、3,000 件を超える件数になっていますが、前年度と比較し減少しました。ドクターカーの出動件数は 335 件となっています。救急車受け入れ件数が減少した要因の一つとしては、脳外科の受け入れの制限によるものだと分析しています。

安全管理の面では、インシデント発生件数が 141 件と前年度より増加しています。検査に関する内容が最も多く 34 件、次いで薬剤に関する内容が 18 件と報告がありました。3b 以上のインシデントは 1 件発生しています。また、レベル 0 の件数は増加しており、今後もヒヤリハットのレベル 0 の報告を増やしていきたいと思います。未然に防ぐような関わりを継続して行い、再発防止に努め、スタッフの安全に対する意識の醸成につなげます。

部署の目標の一つである高水準の看護実践においては、2023 年度は特定行為修了者が 1 名誕生しました。また、日々の業務の中の効果的な振り返りや、各種講習会の受講、講師としての派遣をすることで看護の質の向上につとめています。また、各資格の認定者からの OJT など専門性の高い看護の提供につとめています。今後も高齢化が進行する社会のニーズに応えるため、各分野の高い専門知識や技術とともに、広い視野をもって対応できるように心がけていきます。

人工透析室

師長 田下 茜

職員数

総数 27 名

正看護師 22 名

准看護師 1 名

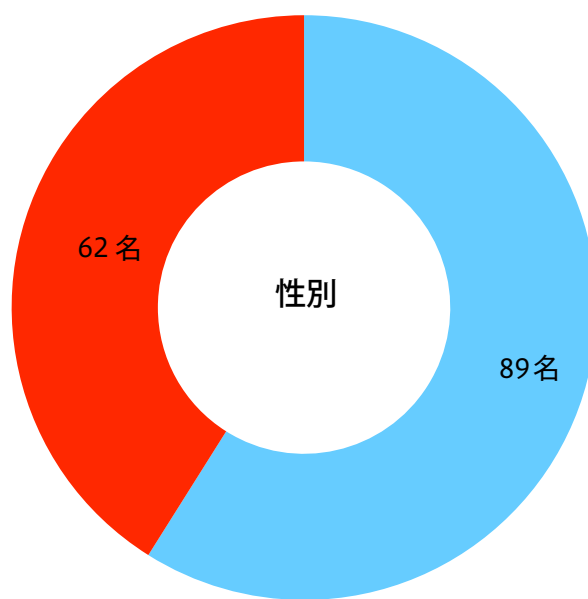
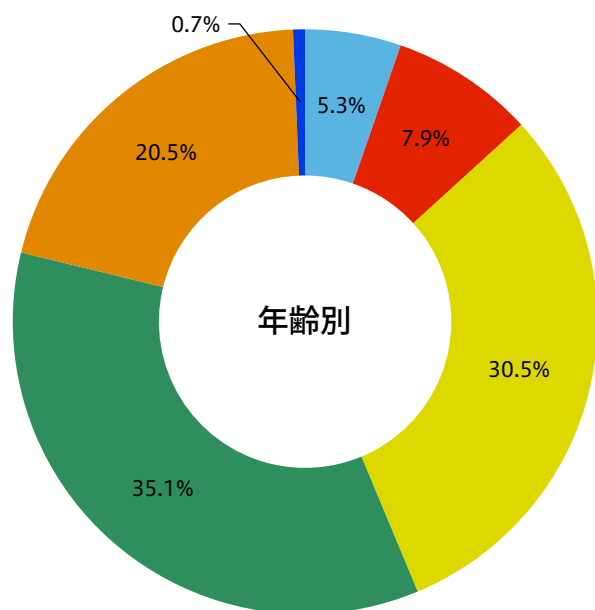
看護補助者 4 名

認定・資格取得状況

氏 名	名称
田下 茜	慢性腎臓病療養指導士 CAPD 認定指導看護師 透析技術認定士 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修修了 認知症対応力向上研修修了
上原 千晶	新人看護職員研修教育担当者研修修了 フットケア指導士 腎臓リハビリテーション指導士
瀬底 真由美	透析技術認定士 フットケア指導士
赤嶺 美智江	透析技術認定士 腎臓リハビリテーション指導士
伊保 和加子	透析技術認定士 腎臓リハビリテーション指導士
呉屋 久子	透析技術認定士
平良 美幸	腎臓リハビリテーション指導士
儀間 裕子	腎臓リハビリテーション指導士

業務実績

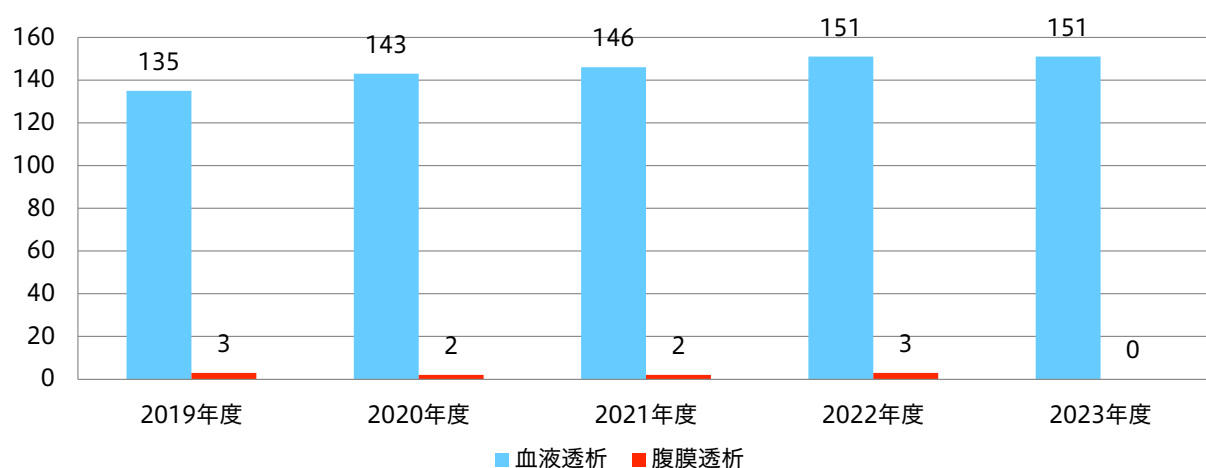
- ・ 延べ透析患者数 151 名
- ・ 新規導入患者数 8 名
- ・ 男性 :89 名 女性 :62 名 平均年齢 :68.8 歳



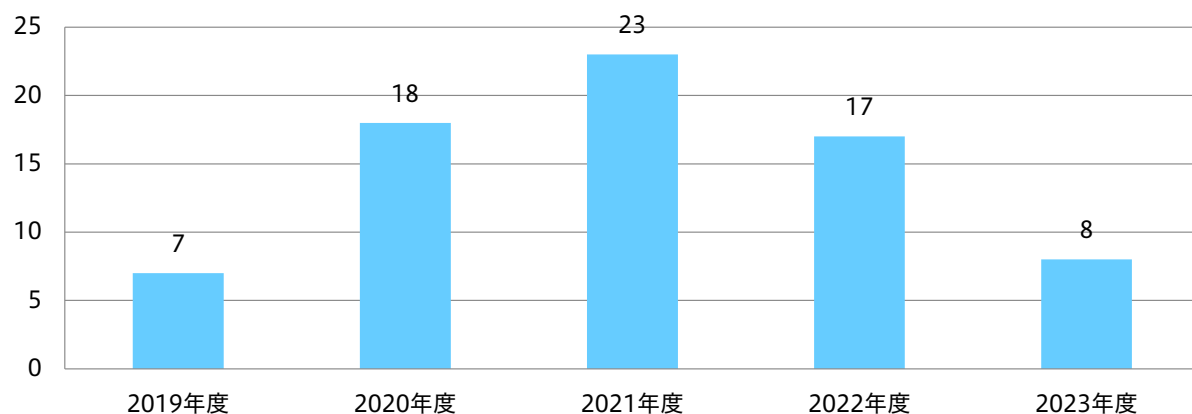
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代

■ 男性 ■ 女性

延べ透析患者数（人）



新規導入患者総数（人）



活動実績

院外研修参加実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
沖縄県看護連盟総会	沖縄県看護連盟	沖縄	2023 年 7 月 8 日	上原千晶、平良美幸
第3回腎臓リハビリテーションガイドライン講習会	腎臓リハビリテーション学会	オンライン	2023 年 7 月 30 日	赤嶺美智江、伊保和加子、儀間裕子
第4回日本フットケア・足病医学会学術集会	日本フットケア・足病医学会	沖縄	2023 年 12 月 22 日～23 日	田下茜、上原千晶、瀬底真由美
2023 年度沖縄県看護連盟、看護協会共催研修会	看護協会	沖縄	2023 年 2 月 4 日	田下茜、上原千晶
2023 年度ポリナビワークショップ in 沖縄	看護協会	沖縄	2023 年 3 月 2 日	高良美乃莉、安間理乃
第41回沖縄県人工透析研究会	沖縄県 人工透析研究会	沖縄	2023 年 3 月 12 日	呉屋久子、瀬底真由美、大工夏希、平良美幸、伊保和加子、赤嶺美智江、儀間裕子

年度総括

透析室では、腎代替療法として血液透析を行っています。2023 年度は、延べ 151 名の患者さんの透析治療を実施しました。透析導入年齢は年々高齢化し、当院の患者さんの平均年齢も 68.8 歳、60 代から 90 代が半数以上を占め 56%となっています。泌尿器科の嘉川医師を中心に、循環器医師や糖尿病医師と連携しながら日々診療に当たっています。糖尿病性腎症の患者さんも多く、月に 2 回、透析糖尿病外来にてハートライフクリニック糖尿病医師の小原医師に診察していただき、糖尿病患者さんの血糖管理やセルフケア指導など、生活の質（QOL）向上につながるよう糖尿病看護も行なっています。また、今年度は看護師のエコー下穿刺技術の習得に力をいれ、患者さんからは穿刺の苦痛や不安の軽減につながっていると評価をいただいています。患者さんが安心して透析治療を継続できるよう、引き続き安全管理、感染管理を徹底してまいります。

人生 100 年時代といわれるようになり、透析患者さんの高齢化が進み、独居の方や老老介護の方、社会的支援が必要な方など、患者さんのニーズも多様化しています。それぞれの個別性を大切にしながら、求められるニーズにお応えし、透析患者さんが住み慣れた地域で安心して生活しながら透析治療が継続できるよう地域や多職種と連携し取り組んでいきたいと思います。また、患者さんの「自分らしく生きる」を支援していけるよう、患者さんやご家族と一緒に ACP（アドバンス・ケア・プランニング）にも取り組んでいきたいと思います。

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 東恩納 小百合

職員数

総数 29 名

正看護師 21 名

看護補助者 5 名

クーク 1 名

臨床工学技士 2 名

認定・資格取得状況

氏名	名称
東恩納 小百合	認定看護管理者教育課程ファースト研修終了 重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修
富田 賢一	周術期管理チーム認定看護師 手術看護認定看護師資格 特定行為研修終了（術中麻酔管理領域パッケージ）
呉屋 真由美	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者
久手堅 緑	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
久志 周子	周術期管理チーム認定看護師
崎山 梨奈	周術期管理チーム認定看護師
山田 彩花	新人職員研修実施指導者研修修了

業務実績

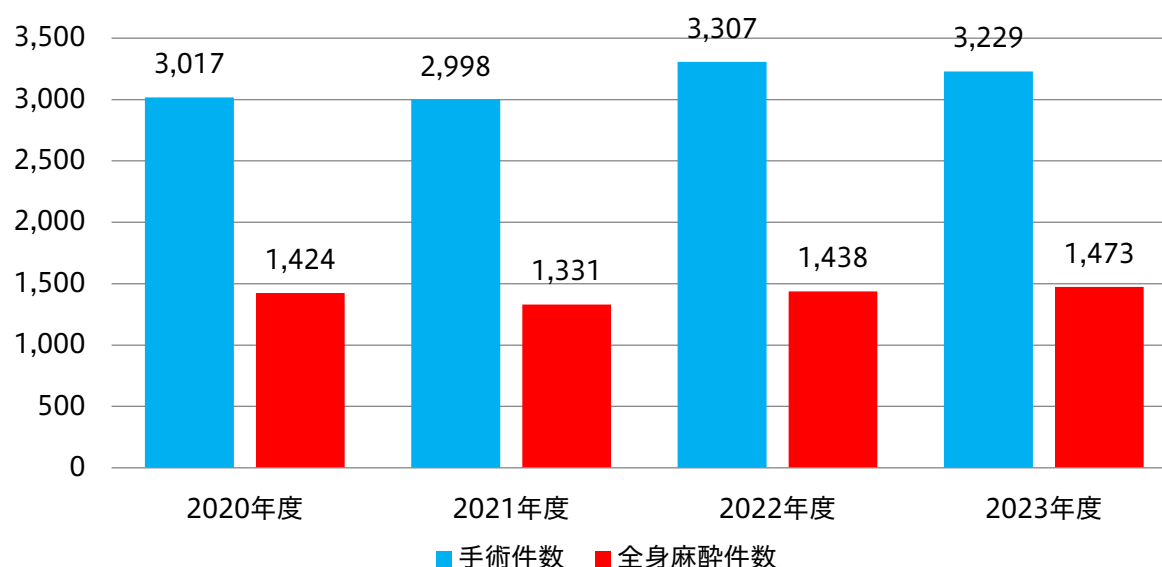
手術実績

月平均手術件数 269 件

1 日最大手術件数 20 件

1 日平均手術件数 13 件

手術件数推移



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
2023 年度 沖縄県看護連盟通常総会	看護連盟	看護協会	2023 年 7 月 8 日	濱門梨子
看護職の働き方改革Ⅱ	看護協会	WEB セミナー	2023 年 10 月 26 日	東恩納小百合
新人看護職員研修実施指導者研修	看護協会	看護協会	2023 年 10 月 11 日	宇栄原早貴
基礎から学ぶ目標管理	看護協会	看護協会	2023 年 11 月 29 日	東恩納小百合
医療安全管理者養成研修	看護協会	看護協会	2023 年 12 月 1 日	呉屋真由美
看護師が経営参画する時代へ BSC の活用のエッセンス	看護協会	看護協会	2023 年 1 月 26 日	東恩納小百合
回復力を促す周術期ケア	看護協会	看護協会	2023 年 1 月 30 日	崎山梨奈

年度総括

2023 年度の目標手術件数 3,500 件に対し今年度は 3,229 件と目標件数を達成するには至りませんでした。しかし、高齢化社会の影響を受け整形外科の手術件数は 1,130 件と過去最高件数となりました。さらに、全身麻酔件数は前年度と比較し 2.4% 増加し、麻酔科医師は多忙な年となりました。

看護部門としては、特定行為（麻酔科パッケージ）を手術室認定看護師の富田健一が研修を修了し、麻酔科医師の一部業務を 10 月から担うタスクシフトを開始したところです。そのことによって、勤務時間内に麻酔科 IC 時間の確保ができ、麻酔科医師の業務負担軽減に繋がったと考えています。また、手術を受ける患者さんやそのご家族様の麻酔科 IC による待機時間短縮へ貢献できたと自負しております。次年度も更なる業務拡充を図っていきたいと考えています。

今年度は、手術室経験者の入職者 1 名と OR テクニシャン（救急救命士）1 名を 4 月に迎え、経験者は戦力となり手術室に貢献しています。また、OR テクニシャンは、局麻手術から全身麻酔手術に至るまで器械出しを行うことが出来ました。これも、多職種チームとしてスタッフの意識が「育てる」という教育を意識した成果だと感じています。また、OR テクニシャンは、看護師と共に働く過程で自らも看護師を目指し 2024 年 4 月から看護学校へ進学しました。スキルアップに繋がったことを喜ばしく思い、3 年後看護師として戻ってくることを心待ちにしているところです。これからもスタッフ全体で教育しながら育てることができる部署を継続できるようにしていきたいと思っています。

また、今年度も専従用度課による診療材料の定数見直しや安価な物への変更をするなど、コスト削減に取り組んだところ 約 400 万 / 年 のコスト削減を行うことが出来ました。

昨今の物価高騰など難題も多い中、専従用度課の努力と診療科側の協力あつての結果だと思っています。

次年度も前年度同様、手術件数増加を目標に他職種体制の構築、安全な医療の提供を目指します。

ICU

ICU 師長 内間 幸人

職員数

総数 20 名

正看護師 18 名

看護補助者 2 名

認定・資格取得状況

認定資格者	
呼吸療法士認定	内間幸人・阿部誠・富里康太・石戸谷也寸志・山城奈保子・森下佳美・太田尾祐太
臨床工学技士	阿部誠
集中ケア認定看護師	内間幸人
特定行為研修修了者	富里康太
AHA BLS インストラクター	内間幸人
沖縄県保健師・助産師・看護師実習指導者講習会 修了	山城奈保子

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 17.5 名

病床利用数 3.4 床

在院日数 10.4 日

その他の ICU の業務実績は患者統計のページをご覧ください。

2023 年度目標

- 安全な医療の提供
 - 患者誤認ゼロ
 - 褥瘡の新規発生 50% 減
 - 静脈炎重症例発生ゼロ
 - レベル 3b 以上の発生ゼロ
- 専門性の高い看護ケアの実践
 - アセスメント力向上・OJT の推進
 - 家族ケアの充実
- チーム医療の推進
 - 他職種間の連携強化
 - ER、ICU、HCU の連携・強化
 - 医師を交えたカンファレンスの実施

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	年月日	参加者
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	沖縄県看護協会	2023 年 5 月 19 日	安里 朋花
新人看護職研修Ⅱ～身につけよう社会人基礎力～	沖縄県看護協会	2023 年 6 月 13 日	安里 朋花
新人看護職研修Ⅴ アサーションコミュニケーションスキル	沖縄県看護協会	2023 年 10 月 27 日	安里 朋花

年度総括

今年度目標とした安全な医療の提供では、年間のインシデント発生件数は 120 件で前年度に比べ 26 件の減少しました。その中で発生件数が最も多かった事象は、特定の薬剤による静脈炎発生で 17 件発生していました。ただ、前年度に比べ 5 割以上減少しており、静脈炎予防のための取り組みを継続していることの効果が示唆されます。また、静脈炎発生リスクの薬剤を使用する頻度の高い患者の入室割合が減少した事も要因の一つとして考えられます。全体のインシデント発生では、3b 以上の発生がゼロ件で目標達成出来ました。しかし、患者誤認は 3 件発生しました。ただ、治療に影響するまでの発展は無かったことから改めて 5R の徹底や照合することの意識を高めていくことが必要だと痛感しました。

専門性の高い看護ケアの提供では、新卒看護師の配属を 1 名受け入れました。プリセプターを中心に主任、スタッフが協力して指導・教育を行い、1 年目の目標を概ね到達する事が出来ました。また、特定行為研修修了者の活用では、特定行為の実施件数を重ねています。また、今年度から開講した特定行為研修の指導者の役割を担い、主に実習時の指導などを通して研修生の指導に携わってもらいました。

チーム医療の推進では、部署間研修として 救急外来から 1 名、5 階病棟から 2 名のスタッフを受け入れました。部署間研修を通してお互い学び合う機会があり効果的に行われています。医師を交えたカンファレンスの実施については、様々な課題を抱える患者の問題解決に向けて不定期で少ない件数ではありますが実践出来ました。今後は件数の増加や医師、看護師以外の職種を交えることなどを検討していきたいです。

HCU

HCU 師長 宮城 つかさ

職員数

総数 21 名

正看護師 19 名

看護補助者 2 名

認定・資格など

氏名	認定・資格
宮城つかさ	認定看護管理教育課程ファーストレベル研修修了 看護必要度データを活用した看護管理及び認知症患者等への入退院支援マネジメント向上研修修了 認知高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 新人看護師実施指導者研修修了 看護補助者の活用推進のための看護管理研修修了 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
又吉愛美	重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
與那嶺史子	呼吸療法認定資格 重症度・医療・看護必要度院内指導者研修修了
仲眞菜都美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
安次嶺徹	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
伊佐香朱美	重症度・医療・看護必要度院内指導者研修修了
吉川麻香	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了

業務実績

新規入院患者数 39.4 人（目標 33）

病床利用率 5.0 床（目標 9.0）

平均在院日数 7.7 日 目標（8.0）

重症度・医療・看護必要度 87.3%（目標 80% 以上）

活動実績

研修実績

研修名	月日	参加者
2023 年ポリナビワーク in 沖縄	2023 年 7 月 29 日	榮門 蒼
第 3 回腎臓リハビリテーション学会ガイドライン講習会	2023 年 7 月 30 日	赤嶺 美智江、伊保 和加子、榮門 蒼、儀間 裕子
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	2023 年 9 月 7 日～9 月 9 日	吉川 麻香
新人看護師研修Ⅴアサーションコミュニケーションスキル	2023 年 10 月 27 日	上原 志織
セカンドライフセミナー ～セカンドステージを考えよう～	2023 年 11 月 28 日	平良 美幸

年度総括

2023 年度 HCU の目標は、①安全な医療の提供（患者誤認 0・薬剤関連 0・内服関連 0）、②・質の高い看護サービスの提供、③人材育成としました。

安全に関しては、確認不足により患者誤認が 2 件・薬剤関連が 18 件・内服薬関連 4 件の報告がありました。引き続き安全風土を高める取り組み、要因分析と対策を行って安全な医療の提供に努めてまいります。

高齢者の入院増加に伴い皮膚トラブルに関する報告が 27 件ありました。入院時に皮膚の状態をアセスメントし、保湿ケア・皮膚の保護ケアを徹底し予防する取り組みを実践しています。

患者サービスに関しては、入退院支援看護師を中心にリハビリ・医師・看護師と週 2 回のカンファレンスを実施しております。日々スタッフ・リハビリ・主治医間とで情報交換を行い入院当初から生活背景を踏まえた支援を念頭に入れた関わりが定着しつつあります。

HCU に入院される患者さんの中には、高齢の一人暮らしの患者さんや身寄りがいない患者さん等で突然の入院、環境の変化等から退院支援に難渋するケースもありますが、病棟転床前に病棟との情報交換や MSW、主治医・家族を含めた関わりを早急に持てるよう取り組んでいるところです。

人材育成に関しては、今年度は 1 名の新人看護師が配属となりました。新人看護師への関わりとして、メンター・プリセプターを中心に成長段階に応じた関わりを実践しましたが、育成に難渋し下半期に他部署へ異動する結果となりました。

今年度の事を踏まえて、新人育成について部署で考え育成計画を進めていきたいと考えます。

2023 年度は休職者 2 名・産休 1 名・家庭の事情での退職者 2 名と人員的に厳しい状況でしたが、応援看護師の配置や、HCU スタッフのチーム力で乗り切った 1 年だったと思います。

東館 4・5 階病棟（産科・婦人科・女性混合）、産婦人科外来

東館 4・5 階病棟師長 我那覇 美帆

産婦人科センターとして、産婦人科外来、産婦人科、乳腺外科病棟として、2018 年 9 月に西館より移転しました。東 5 階を産科病棟、東 4 階を婦人科、乳腺外科、一般内科、外科病棟として運用しています。産婦人科外来は、通常 600 ～ 700 人の受診者があります。

職員数

総数 43 名

助産師 21 名

看護補助者 5 名

正看護師 14 名

クランク 3 名

認定・資格など

氏名	名称
我那覇 美帆	臨床実習指導者研修修了 新人看護職員臨地指導者講習修了 新生児蘇生「専門」コース修了 JPTEC 研修修了 看護必要度研修受講証明取得
崎山 久美	アドバンス助産師 管理者研修ファーストレベル修了 新生児蘇生「専門」コース修了認定
具志堅 理沙	新生児蘇生「専門」コース修了認定 臨床実習指導者研修受講修了
江島 純子	マタニティヨガインストラクター 新生児蘇生「専門」コース修了認定
榮 奈々子	アドバンス助産師 臨床実習指導者研修修了 新生児蘇生「専門」コース修了認定
金城 嘉奈子	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了認定
多和田 ちひろ	新生児蘇生「専門」コース修了認定
大野 智菜津	新生児蘇生「専門」コース修了認定
中根 汐香	新生児蘇生「専門」コース修了認定
川端 星羅	新生児蘇生「専門」コース修了認定
佐山 杏奈	新生児蘇生「専門」コース修了認定
原 順子	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了認定
平良 唯香	新生児蘇生「専門」コース修了認定
上原 美佳	新生児蘇生「専門」コース修了認定
前田 奈緒子	新生児蘇生「専門」コース修了認定
富里 由美子	新生児蘇生「専門」コース修了認定
仲原 悠花	新生児蘇生「専門」コース修了認定

2023 年度 部署目標

2023 年度は、2022 年度の目標を継続しながら、施設内外で連携を深められるよう下記を目標として、取り組みました。

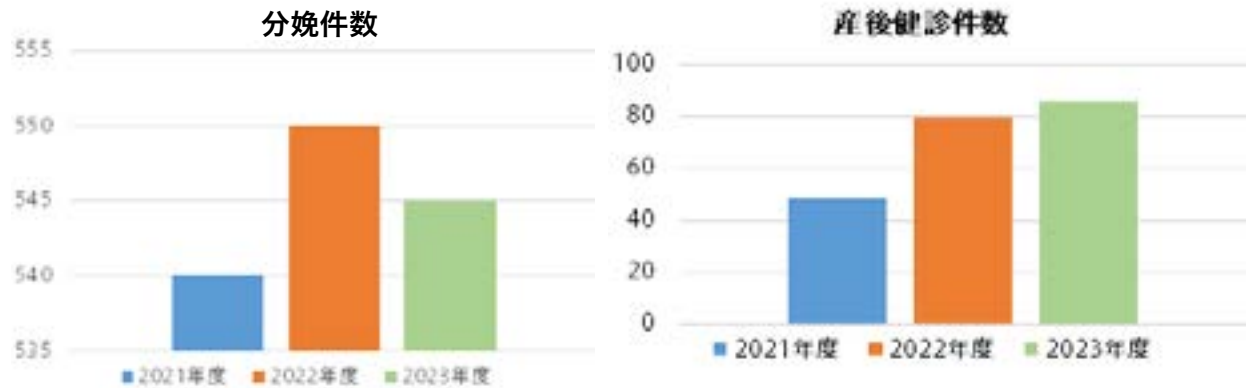
1. 専門職として質の高い看護を提供する
 - 1) 固定チームナースングを継続し、各個人がチーム内の役割を認識し主体的に行動する
 - 2) キャリアパスに沿った個人目標を設定し、目標達成できるよう取り組む
2. 安全・感染行動をルール通りに実践できる
 - 1) レベル2以上のクイックセーフターの徹底
 - 2) コロナ陽性妊産婦へ対応し、院内感染を起こさない
 - 3) 安全・感染に関する事象から得た学びをマニュアルに取込み、部署内で周知できる
3. 部署間・部署内で丁寧な連携を実践する
 - 1) 外来⇒入院の連携を強化し、継続看護を実践する
 - 2) 他部署との連携を強化し、コロナ陽性妊産婦へ安心感を与えられる環境を整える
 - 3) 院外からの研修（助産師出向制度）受け入れを行い、他施設との連携を深め、知識・技術向上を目指す

業務実績



前年度は、コロナ禍にて、他病棟閉鎖に伴い、新規入院患者数、病床利用数ともに増加しましたが、今年度は前年度より、利用率、患者数共に低下しました。要因は、コロナ禍終了につれ、一般病棟の機能が正常化し、当科のベッド利用率が低下したことが要因です。しかしながら、コロナ禍以前の利用率を上回る運用を行えた為、目標を達成できるよう今後も取り組みを継続します。

ベッド利用率を上げながら、分娩という急変も起こりうる部署で、安全に分娩が扱える為には、現在行っている、短期予約入院、ADLの自立した女性の受け入れを中心に、今後も丁寧なベッドコントロールを行っていきます。



分娩件数は、540 ～ 550 件とほぼ横ばいでした。医師が退職、産休入りの為、分娩制限を行いました、より効率的に妊婦健診ができるよう妊婦健診担当医制を開始したことで、分娩数を大きく減少させることなく、経過しました。

産後健診は増加を続けており、国の産後鬱に関する事業拡大もあり、今後も産後健診数は増加すると考えます。地域保健師と連携しながら進める必要がある産後健診を担える人材育成を継続し、今後は定数配置も検討してゆく必要を感じています。

活動実績

院外研修実績

研修名	主催	年月日	参加者
産科管理者交流会	看護協会 助産師職能	2023 年 7 月 8 日	我那覇 美帆
国際助産師の日 記念事業会議	実行委員会	2023 年 7 月 13 日	上原 美佳
周産期のメンタルヘルスケア	看護協会	2023 年 8 月 26 日	砂川 智菜津、宮崎 優奈
妊産婦に寄り添うバースレビューを実践しよう	看護協会 助産師職能	2023 年 9 月 16 日	神谷 瑞穂、東江 秋乃
医療者のための共育コーチング～心を動かしチームを動かす～	看護協会	2023 年 10 月 3 日	金城 嘉奈子、具志堅 理沙
看護組織におけるサーバントリーダーシップ～看護のリーダーであるために～	看護協会	2023 年 11 月 20 日	我那覇 美帆
リーダーシップ研修～プロフェッショナルマネージャーを目指す～	看護協会	2024 年 12 月 5 日	富里 由美子
回復力を促す周術期ケア	看護協会	2024 年 1 月 30 日	宮里 鈴奈、上原 志織

年度総括

質の高い看護の実践の点では、チーム制を導入し、3 年目を迎え、東 4 階、東 5 階、産婦人科外来チームでリーダー、サブリーダーを中心に、主体的なチーム活動が行えた 1 年でした。角膜移植、乳癌患者の患者説明用パス、産科救急（危機的出血、羊水塞栓）シミュレーション、小児科医と協働して新生児蘇生勉強会とシミュレーションと、どれもチーム員が主体となり進めることができました。

連携強化の点では、施設内では ER への助産師長期研修の実施、施設外では看護協会、産婦人科医会と協働した研修にて当院の助産師外来の取り組み（10 年間）の発表を行うことができ、県事業である助産師出向研修にて、県立中部病院の助産師を受け入れ、相互の連携を強化することができました。

人員の面では、7 人の助産師、看護師が産前産後休暇、育児休暇に入り、育児休暇から 2 名が戻ってきました。多くは時短勤務を行っている状況であり、業務調整を行いながら、妊娠中、育児中の職員も目標を持って、働き続けられる職場環境を整えていきたいと思います。

また、2024 年度から開始する医師の働き方改革に向けても、医師のみでなく、助産師、看護師で連携しながら働き方改革を行えるよう、そしてチーム全体で産科医療が継続できるよう力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。

次年度も、患者さんが安心して質の高い医療を受けられるよう、目標に沿って取り組んでいきたいと思っています。

3 階病棟（整形外科・形成外科・眼科）

3 階病棟師長 奥間 有太郎

職員数

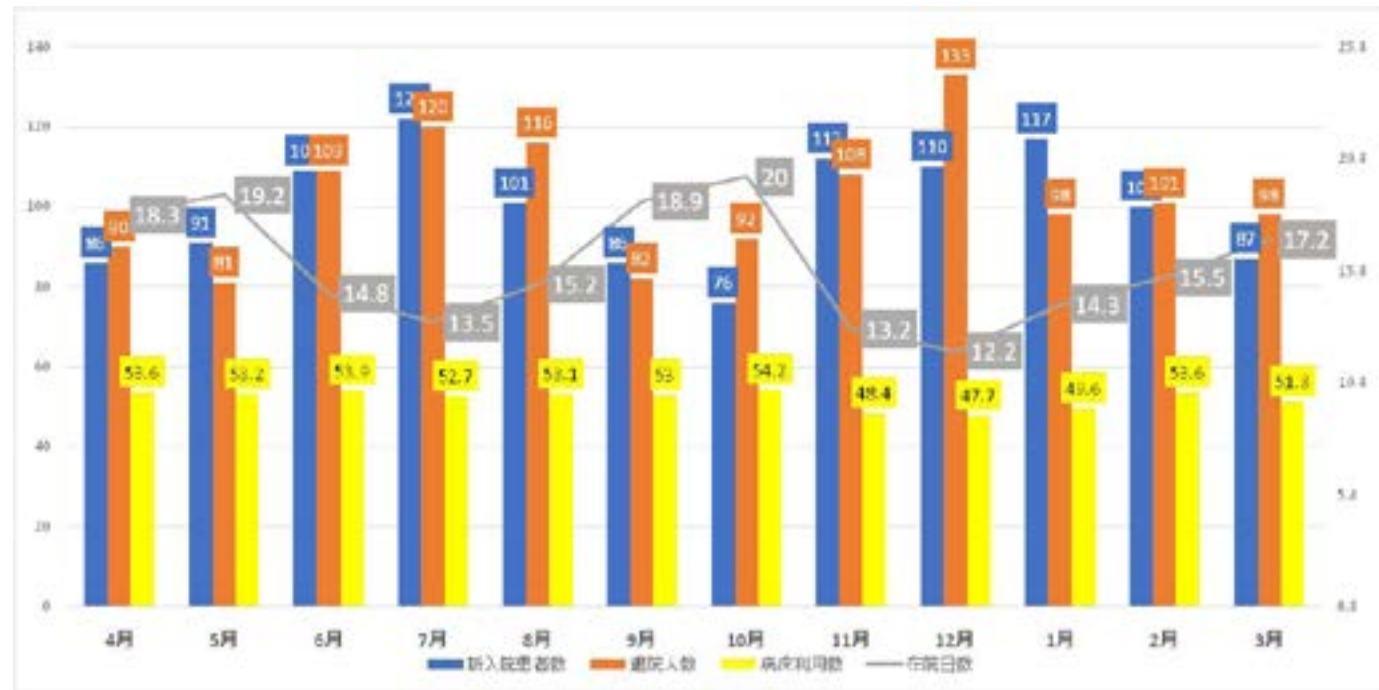
総数 43 名
正看護師 35 名 看護補助者 7.5 名

認定・資格など

氏名	名称
奥間有太郎	実習指導者研修受講修了 新人職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象
大見謝奈々	病院看護師のための認知症対応力向上研修会修了 認知症ケア加算Ⅱ対象 実習指導者研修受講修了 新人看護職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
福末直史	呼吸療法士認定
比嘉由布香	日本糖尿病療養指導士認定 日本看護協会研修学校認定看護師教育課程修了
永村麻衣子	実習指導者研修受講修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象

業務実績

新規入院患者数 1,027 人
1 日平均患者数 52.9 人 平均在院日数 17.9 日
病床利用率 95.2% 重症度・医療・
看護必要度（目標 31%） 37.9%



活動実績

院外研修実績

研修名	主催	月日	参加者
フレッシュマン研修	看護協会	2023年5月10日	金城 京香、島袋 笑奈
フレッシュマン研修	看護協会	2023年5月16日	森田 莉々、波平 愛夏
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	看護協会	2023年6月10日	宮城 久美子、大見謝 奈々
認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	看護協会	2023年6月12日～7月19日	奥間 有太郎
新人看護職員研修II	看護協会	2023年6月13日	金城 京香
リーダーシップとメンバーシップ・ファシリテーション	看護協会	2023年6月29日	伊禮 奏子
新人看護職員研修III	看護協会	2023年7月6日	森田 莉々
新人看護職員研修V	看護協会	2023年10月27日	波平 愛夏
医療者のための共育コーチング	看護協会	2023年10月3日	石橋 美奈、金城 実花
新人看護職員研修実施指導者研修	看護協会	2023年10月1日～10月13日	池村 三樹
病院と地域を看護が繋ぐ～地域包括ケアを支える看護連携～	看護協会	2023年11月22日	山田 裕稀
裁判例から考える看護実践と看護記録	看護協会	2023年12月15日	大城 似菜、町田 歌音
臨床判断能力を育てる	看護協会	2023年12月23日	伊礼 佳音、玉城 菜央

部署間研修実績

名称	年月日	参加者
HCU 研修	2021年11月1日～2022年11月30日	山城 利恵子

年度総括

2023年度も感染対策を継続しC-19感染症によるクラスター発生防止に努めました。入院患者や病棟スタッフからC-19感染者が発生することもありましたが、昨年度のような大規模なクラスターになることなく収束できました。

2023年度の大きなテーマとしては入退院支援の強化を掲げ活動し、院内研究発表会を通して当部署の支援リンクナースを中心に多職種連携を図り、プライマリー制の見直しなど業務改善から取り組みました。これまでの平均在院日数は17日～20日を推移しており平均在院日数目標値の14日まで短縮できていない現状がありましたが、今回の取り組みを始めることで早期に治療方針や方向性について情報共有ができリハビリ見学や家屋調査、転院調整をスムーズに行なうことができました。結果として取り組んだ期間の平均在院日数は14日以内にまで短縮することに成功しました。

安全に関しては、アセスメント不足・確認不足要因、コミュニケーション不足によるインシデントの発生が今年度も多かったです。報・連・相を行ないやすい風土づくりや、管理職者からの積極的な言葉かけや関わりを継続して増やしていきたいと考えています。また、ヒヤリハットやインシデント発生時のその場だけの振り返りでなく、積極的なクイックセーフターの活用と病棟会などを利用し事例検討の機会をふやし、各スタッフが自分事と捉えられるような働きかけをMRMリンクナースと協働し行っていきたいと思います。

人員については産休や育休そして退職者も重なり常にマンパワー不足の状態が続いていました。スタッフ全体で協力しながら日々の業務を遂行している現状があり、今後の人員の定着が引き続き課題としてあげられます。また、OJTによる十分な指導が行き届かない現状もありました。No 残業Dayの取り組みに対しての意識は高く残業時間の低減に繋がっています。人員不足のなかでもパワーバランスを考慮した勤務

調整を実践し心にゆとりをもち安全、安心な職場環境を作っていきたいと考えます。

令和5 年度は新人が3 名入職しました。プリセプターへメンターを1 名置き、プリセプター・プリセプティーの状況把握や指導・伝達等も行ない主任と情報の共有を行ないながら関わることができました。1 人も退職者を出すことなく無事に2 年目を迎えることができた事は大きな成果だと考えます。しかし、日々の業務に追われルーチンワークをこなす事に精一杯になり、気づきの視点や考えて行動するに至らない現状も多々あり、OJT を意識し1 つ1 つの行為の根拠を考え、気づきができる感性豊かな看護師の育成を目指していきたいと思います。

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長 安村 公均

職員数

総数 45 名

正看護師 38 名

看護補助者 6 名

クラーク 1 名

認定・資格取得など

氏 名	名 称
安村 公均	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 医療安全管理者養成研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
與那覇 亜紀子	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ研修修了 新人看護職員研修教育担当者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
宮里 伸也	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 排尿ケア
高宮 里沙	緩和ケア認定看護師取得
長浜 洋美	緩和ケア認定看護師取得
平良 勇	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ研修修了 実習指導者研修修了
川崎 聖信	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
玉城 直美	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 94.1 名

在院日数 13.0 日

病床利用数 42.1 床

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 5 月 10 日	當山 南美
フレッシュマン研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 5 月 12 日	東江 桃佳
フレッシュマン研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 5 月 16 日	仲村 菜奈
フレッシュマン研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 5 月 19 日	前里 紀亜羅
重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 6 月 7 日～6 月 10 日	玉城 直美
看護補助者活動推進のための看護管理者研修	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 6 月 10 日	安村 公均、宮里 伸也
社会人基礎緑研修	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 6 月 13 日	當山 南美

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
第 28 回日本緩和医療学会	日本緩和学会		2023 年 6 月 29 日 ～ 7 月 1 日	高宮 里沙、長浜 洋美
フィジカルアセスメント研修	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 7 月 6 日	仲村 渠 茉奈
医療安全と感染管理	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 7 月 20 日	前里 紀亜羅
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 9 月 7 日～ 9 月 9 日	安村 公均
アサーションコミュニケーション研修	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 10 月 27 日	東江 桃佳
看護組織におけるサーバントリーダーシップ	沖縄県看護協会	南風原町	2023 年 11 月 20 日～ 11 月 26 日	宮里 伸也
九州ストーマ講習会	ストーマケア学会		2023 年 11 月 16 日～ 11 月 18 日	與那覇 亜紀子
第 44 回死の臨床研究会	日本緩和学会		2023 年 11 月 25 日	長浜 洋美
第 5 回下腹部尿路の排尿ケア	排尿ケア学会		2023 年 11 月 25 日～ 11 月 26 日	宮里 伸也
乳がん認定看護師教育課程実習	乳線学会		2024 年 1 月 13 日～ 3 月 13 日	奥田 美奈子
第 10 回 沖縄県緩和ケア研修会（事前研修）	厚生省		2024 年 2 月 1 日～ 2 月 8 日	比嘉 友美
第 10 回 沖縄県緩和ケア研修会	厚生省		2024 年 2 月 17 日	高宮 里沙、上里 音彩 比嘉 友美、安村 公均

年度総括

4 階病棟は外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、脳外科の 4 診療科の混合病棟です。日々、多くの手術患者の対応をしており術前・術後を含めた周術期患者さんの管理を行っています。また、化学療法も担当している病棟です。

前年度から引き続き術前から術後合併症のリスク低減に向けて取り組んでいます。早期の社会復帰を目指した取り組みをチーム全体で意識し看護実践しています。その結果、高齢者患者を中心に ADL（日常生活動作）低下を最小限に抑え退院へ繋ぐことができました。また、脳外科など機能低下を最小限にするべくリハビリ病院への転院など入退院支援看護師を中心に他職種で連携して取り組むことができました。皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程修了した看護師が退院支援カンファレンスに加わり、人工肛門を造設した患者が不安なく退院出来るように指導への取り組みも継続しており、新たに 1 名ストマリハビリテーション研修を修了しました。今後も計画的な研修参加など、人工肛門造設患者の指導・看護への強化に向けて取り組んでまいります。

当科では、多くの術前化学療法や術後補助化学療法が行われています。化学療法による副作用として骨髄抑制や免疫力低下が起こることがありますが、新型コロナウイルス感染によるクラスターがなく 1 年経過できたことは良かったと考えています。今後も気を緩めず患者さん個々の状態把握、スタッフの健康チェックなど感染管理に取り組んでまいります。

がんターミナル期の患者とかかわるのも当科の特徴です。当科には、緩和ケア認定看護師も在籍しており、『病気を抱えながらもその人らしく最期を迎えられる看護』を目標に病棟全体で看護実践に取り組んでいます。コロナ禍であり面会制限が必要な状況でした。その中で、限られた家族との時間を念頭に患者さんの状態からチームとして話し合いを重ねて多くのケースで希望に沿った形で対応することができました。しかし、患者さん、家族の希望をかなえられないケースもありました。1 例でも多くのケースで患者さんや家族の思いにこたえられるよう早期からチームで対応できる体制を継続して強化してまいります。次年度も「この病院で入院・手術・治療して良かった」と思ってもらえる質の高い看護が提供できるように努力してまいります。

5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 大城 祥子

職員数

総数 42 名

正看護師 36 名

准看護師 2 名

看護補助者 5 名

保育士 1 名

認定・資格取得など

氏名	認定・資格
大城 祥子	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 実習指導者研修修了 新人職員研修教育担当者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～
嘉陽 陽子	実習指導者研修修了
知念 晶子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
我謝 要子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度・医療、看護必要度指導者研修修了
富里 理恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度・医療、看護必要度指導者研修修了
崎濱 千春	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了
新垣 涼香	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
與那嶺 裕	実習指導者研修修了
照喜名 朝郁	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
森下 夏江	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 AHA ガイドライン準拠 BLS プロバイダーコース
神山 真琴	AHA ガイドライン準拠 BLS プロバイダーコース
知念 晶子	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
港川 誉志也	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修
久保 綾華	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
神谷 詩歩	新人看護職員研修実地指導者研修

業務実績

月平均入院患者状況	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
新規入院患者数	172.3	136.3	129.5	132.9	170.4
病床利用	47.6	40.7	33.2	28.5	36.4
平均在院日数	8.2	8.9	7.5	6.7	6.3

年度総括

2020 年よりコロナ陽性患者受け入れを行ってきましたが、病院全体での協力もあり院内感染が発生することなく 3 年が経過しました。2023 年 5 月 8 日に 5 類感染症へ移行され、病院内でのコロナ患者対応方法なども変化しています。今後は介護度の高い患者へどのように対応していくのが課題となっています。コロナ受入れ専用病棟から現在は一般病棟へ戻りつつあります。2024 年度は病床利用向上やそれに対応する看護師の育成に努めます。

安全面では患者へ行為実施される前の事象レベル 0-1^{※1}の報告件数が増加傾向のため、他職種や患者家族を巻き込んだ対策を継続していきます。インシデント報告 3 以上の事例の殆どが皮膚トラブルでした、2024 年度は職員のアセスメント能力向上、認定看護師との連携を行い褥瘡発生・スキんテア発生の減少に努めます。

患者サービスの向上として、DPC II 期での退院・入退院支援加算取得増加を目標にしました。それぞれの目標を達成することが出来ました。入院時からケースワーカー・入退院支援看護師・病棟看護師・リハビリ医師・リハビリセラピスト・栄養士・薬剤師とカンファレンスを行い治療開始時より退院後を見据えた連携の結果と考えます。2024 年度は病棟支援看護師を増員し入院時担当看護師が家族を早期から巻き込んだ支援をする事で更なる患者サービス向上へ繋がります。

人材育成において院内外の研修へ積極的に参加しています。実習指導者研修修了者を 1 名育成し現在は 3 名の看護師が看護学生へ対応しています。2024 年度に 1 名の育成を計画しており、看護学生のみならず病棟内での教育委員を担い卒後教育の充実を図ります。教育委員へ、新人看護職員研修実地指導者研修の受講修了者を配置し、新人教育から卒後教育体制の確立を目指します。2023 年度は、院内 BLS 指導者 1 名受講修了、認知症ケア加算対象研修 2 名受講修了、重症度・医療、看護必要度指導者研修 2 名修了、小児アレルギー負荷試験対応看護師 3 名増員、ラジオ波対応看護師 1 名、リーダー看護師 5 名の育成を行いました。2024 年度も目標管理を行い自分自身が受けたい看護を提供できる部署を目指し、他職種連携・質の高い看護サービス提供に取り組んでいきます。

※1 医療安全文化は、①報告する文化、②正義・公正の文化、③柔軟な文化、④学習する文化から成り立ち、中でも①の報告する文化は再発防止において極めて重要であり、インシデント報告数を増やすこと、特にインシデントレベル 0、1 の報告数を増やすことは医療安全を推進するために欠かせません。

レベル 0：誤ったことが実施される前に気づいた（ヒヤリ・ハット）

レベル 1：誤ったことが実施されたが、患者さんに影響を及ぼすものではなかった。

6 階病棟（血液内科・総合内科）

6 階病棟師長 喜屋武 香織

職員数

総数 36 名

正看護師 30 名

看護補助者 5 名

准看護師 1 名

認定・資格取得など

氏名	名称
金城 隆也	学会認定アフェーシスナース 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 看護補助者管理者研修修了 認知症対応力向上研修 同種移植後長期フォローアップのための看護師研修会
喜屋武 香織	日本消化器内視鏡技師免許取得 看護補助者管理者研修修了 看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了
木村 有希	看護補助者管理者研修修了
呉屋 友美	新人職員研修実施指導者研修修了 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 呼吸療法認定士 沖縄県緩和ケア研修修了
山城 由衣	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 感染管理認定看護師教育課程 修了
知念 真名美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法士認定士取得
平良 ゆかり	実習指導者研修修了 同種移植後長期フォローアップのための看護師研修会
上原 拓也	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 新人看護職員研修実施指導者研修修了
宮里 瀬菜	呼吸療法認定士取得 2020 年更新済み
比嘉 哲也	沖縄県緩和ケア研修修了 2019 年
仲村 恵理子	沖縄県緩和ケア研修修了 2020 年
神谷 実希	沖縄県緩和ケア研修修了 2022 年

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 65.7 名

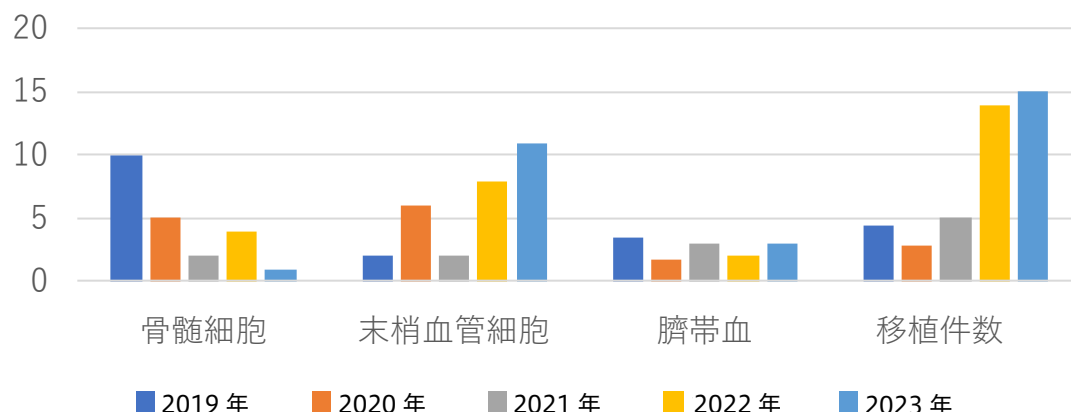
在院日数 18.9 日

病床利用数 38.8 床

移植数

	2019	2020	2021	2022	2023
造血幹細胞（骨髄細胞）	10	5	2	4	1
造血幹細胞（末梢血管細胞）	2	6	12	8	11
（臍帯血移植）造血幹細胞	8	12	15	2	3
総移植数	20	23	29	14	15

活動実績



院内・院外研修実績

研修名	開催年月日	参加者
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	2024 年 5 月 10 日	桃原 希和、波照間 夏鈴
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	2024 年 5 月 12 日	長濱 眞子、仲宗根 由紀
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	2024 年 5 月 16 日	兼島 志宜
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	2024 年 5 月 19 日	島袋 愛子
新人看護職研修Ⅱ 新人のためのフィジカルアセスメント	2024 年 7 月 6 日	長濱 眞子
新人看護職研修Ⅲ 医療安全と感染管理	2024 年 7 月 20 日	兼島 志宜、島袋 愛子
新人看護職員実施指導者研修	2024 年 10 月 11 日	上原 拓也
新人看護職員実施指導者研修	2024 年 10 月 13 日	上原 拓也
新人看護職研修Ⅴ アサーションコミュニケーション	2024 年 10 月 27 日	仲宗根 由紀
第 2 回ポリナビワークショップ IN 沖縄	2024 年 3 月 2 日	宮城 有希、田中 亜結

2023 年度総括

6 階病棟は、血液内科と腎臓内科で、おもに抗がん剤治療や輸血、骨髄移植、造血幹細胞移植を行っています。今年度は、前年度に比べ移植件数も増加しています。

学習面では、研修参加や勉強会開催に関して、コロナ禍による影響が大きかった為か参加者も減少し開催も少なく知識向上の場を持つことが難しい時期でもありました。

安全面では、インシデント 3 b が 1 件発生してしまいました。事象としては最もスキンケアが多くありました。入院患者のほとんどが高齢者であるため、皮膚脆弱な方が多く、看護ケアも慎重にかつ丁寧に実践する事を心がけていきたいと感じました。0 レベルや 1 レベルを増やし、クイックセーファの習慣を身につけるように、リンクナースを中心に要因分析を強化していきます。また、KYT 視点の能力を身につけ早期に危険回避する風土づくりを実践していきたいと思います。

今年度は、血液内科医師の退職に伴って当院の血液内科が存続しない状況になりスタッフのモチベーション維持にかなり尽力を尽くしました。次年度は、新たに「総合内科」病棟として先生方とスタッフと心機一転、スタートラインに立ち、新たな知識を習得する期待を胸に努力を惜しまず、全員でチームとして前進していきます。

ワークライフバランスも強化し、働きがいのある環境づくりと新しい 6 階病棟の質の高い看護実践に努めて参ります。

年度総括

今年度はコロナ禍の影響もあってか前年度に比べ移植件数が減少していますが、ハプロ移植など新しい移植方法を行ってきました。患者・家族にとって治療の選択肢が増えた事は良い事である一方、副作用や合併症により状態が悪化する場合も考慮しながら、より看護・医療の質が求められることとなります。

コロナによる影響は今年度も大きく、職員の就業制限や退職者が例年より増加しスタッフの負担感・疲弊感がより顕著に感じられました。その為有休消化や勤務調整に難渋することが多くありました。

密になる勉強会や研修などは減少し、知識・技術の向上の機会も減少しました。その中でも感染管理認定看護師の教育課程に1名参加し教育課程を修了することができたことは、スタッフの学習意欲を高めるきっかけとなり、後輩育成に貢献していける人材育成ができました。今後の部署の感染管理の意識向上につなげるために教育課程修了者が活躍できる場を提供し体制を整えていきます。

限られた人員ではありましたがスタッフ一人ひとりの協力体制があり、看護補助者も少ない中で連携し、業務改善しながらチームワークや結束力で乗り切る事ができたと感じます。

働き方改革の一環として男性職員の育休推進を図り、3カ月育休取得を実施することができました。ワークライフバランスを意識した働きやすい職場環境を目指し、安定した職員の定着に繋がるよう努めていきたいです。

インシデント報告件数は3b以上の大きな事象はありませんでしたが、早期に危険回避する対策を考える必要があり、今後部署として0、1レベルの報告を増やしていくことや、他部署のインシデント内容を踏まえ自部署でのインシデントの対策に活用していきます。またクイックセーフターの浸透が充分でない為、要因分析に力を入れリンクナースを中心に部署内で要因分析を強化していきたいです。

自部署ではできるだけPNS（デイパートナー）体制を維持できるように勤務調整し、新人や若手教育の充実を図り、質の向上に努めました。その結果、相談・報告しやすい体制で患者の安全と職員の安心につながったのではないかと考えます。PNS体制の継続とウォーキング申し送りでの引き継ぎを強化し、切れ目のない看護を展開していくことを今後も意識し実践していきます。また、貴重品の管理や安全面を意識した療養環境の調整も行っていく必要があります。2022年度から取り組み始めた事や見えてきた課題に対して、スタッフ一人一人が意識して取り組みより良い看護を提供していけるよう努めていきます。

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 花城 優子

職員数

総数 40 名

正看護師 34 名

看護補助者 5 名

准看護師 1 名

認定・資格等

氏名	名称
花城 優子	新人看護職員研修教育担当者研修修了 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）修了
市川 恵	2023 年度 JNA 収録 DVD 研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」研修修了
當眞 さゆり	栄養サポートチーム専門療法士認定証取得 沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了
東江 幸恵	沖縄県緩和ケア研修会修了 がんのリハビリテーション研修課程修了（日本理学療法士協会）
宮城 秀成	リハビリ緩和加算研修修了 沖縄県緩和ケア研修会修了 ACLS プロバイダーコース修了
照屋 梨乃	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
上原 彩夏	ACLS プロバイダーコース修了
宮城 幸菜	沖縄県緩和ケア研修修了 看護補助者活用のための看護管理者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
松田 沙衣可	コンチネンスセミナー初級コース課程修了
上原 慎	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 84.6 人

病床利用数 46.4 床

平均在院日数 15.2 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修	看護協会	2023 年 5 月 16 日	仲松 さより、仲里 愛夢、 長田 晴日、高江洲 衛克
看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	看護協会	2023 年 6 月 10 日	宮城 幸菜
認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	看護協会	2023 年 6 月 12 日～ 7 月 19 日	花城 優子
新人看護職研修Ⅱ身につけよう社会人基礎力	看護協会	2023 年 6 月 13 日	仲里 愛夢
新人看護職研修Ⅱ身につけよう社会人基礎力	看護協会	2023 年 6 月 14 日	仲松 さより
新人看護職研修Ⅲ新人のためのフィジカルアセスメント	看護協会	2023 年 7 月 6 日	島袋 護、高江洲 衛克
看護協会総会	看護協会	2024 年 7 月 8 日	宮城 幸菜、宮城 梨乃
新人看護職研修Ⅳ医療安全と感染管理	看護協会	2023 年 7 月 20 日	長田 晴日

研修名	主催	開催年月日	参加者
JNA 収録DVD研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」	看護協会	2023 年 7 月 26 ～ 27 日	市川 恵
ポリナビワークショップ	看護連盟	2024 年 7 月 29 日	仲里 愛夢、長田 晴日
新人看護職研修Ⅴ～アサーションコミュニケーションスキル	看護協会	2023 年 8 月 5 日	福田 純己
里帰り訪問（那覇看護専門学校）	那覇看護学校	2024 年 8 月 10 日	仲松 さより
看護実践能力を育てる～継続教育担当者として効果的な教育計画の企画にどうとりくむか～	看護協会	2024 年 9 月 15 日	宮城 幸菜、知念 瑠香
「食べる」を支援する～現場で実践できる嚥下・口腔ケア～	看護協会	2024 年 9 月 20 日	勝山 琴音、松田 沙衣可
カミングスクールデイ（おもと会沖縄看護専門学校）	おもと看護学校	2024 年 9 月 21 日	仲里 愛夢、長田 晴日
高齢者のフィジカルアセスメント～高齢者に多い症状や疾患に対するケア～	看護協会	2024 年 9 月 26 日	井上 凌、屋宜 瀬菜
医療者のための共有コーチング～心を動かし、チームを動かす～	看護協会	2024 年 10 月 3 日	安次富 桃子、高山 星七
新人看護職員研修実地指導者研修	看護協会	2024 年 10 月 11 日～10 月 13 日	宮城 幸菜
コンピテンシーモデルを活用した看護管理～人材育成のヒントを学ぼう～	看護協会	2024 年 10 月 20 日	花城 優子、宮城 幸菜
ミッションマネジメントと組織開発～対話に基づく組織開発～	看護協会	2024 年 10 月 21 日	花城 優子、宮城 幸菜
新人看護職研修Ⅴ～アサーションコミュニケーションスキル～	看護協会	2024 年 10 月 27 日	福田 純己
死に近づく人の心に寄り添う～看取る力、寄り添う力を育む～	看護協会	2024 年 10 月 31 日	平良 優香、翁長 美月
2023 年度沖縄県看護連盟リーダー研修会	看護連盟	2024 年 12 月 14 日	花城 優子
裁判例から考える看護実践と看護記録	看護協会	2024 年 12 月 15 日	宮城 幸菜
看護協会ワールドカフェ	看護協会	2024 年 12 月 22 日	花城 優子
新人看護職員研修教育担当者研修	看護協会	2024 年 1 月 16 日～1 月 19 日	宮城 幸菜
緩和病棟見学	アドベンチストメディカルセンター	2024 年 2 月 22 日	上原 慎、市川 恵
緩和病棟見学	アドベンチストメディカルセンター	2024 年 2 月 29 日	宮城 幸菜、翁長 美月
2023 年度ポリナビワークショップ	看護連盟	2024 年 3 月 2 日	安次富 桃子、仲松 さより、山田 彩花

2023 年度病棟目標

1. 入退院支援の強化

入院時から退院を見据えた介入

2. インシデント分析力の強化

- ・スタッフで共有、分析し、同じインシデントを繰り返さない
- ・事象レベル 0-1 の増加、事象レベル 3 以上 0 を目指す

3. 教育体制の再構築

- ・勤務内での勉強会、伝達講習
- ・クリニカルラダーを活用

2023 年度総括

2023 年度は入退院支援の強化、インシデント分析力の強化、教育体制の再構築を目標に掲げました。入退院支援看護師を中心に、入院時から退院を見据えた介入を行うべく日々の多職種カンファレンスと、ご家族との情報交換を定期的に行っております。また、ご家族、施設職員へのリハビリ見学も積極的に行い、スムーズな退院ができるよう努めてまいりました。

インシデント報告として、事象レベル 0-1 レベル^{※1}は前年度 34 件、今年度 98 件と増加が見られました。2 a レベルは前年度 97 件であり、今年度は 51 件と減少が見られました。更なる分析、取り組みを行い安全な療養環境の提供を目指し、危機管理意識を高め予防に努めてまいります。

教育体制については、若手スタッフの底上げに加え中堅看護師のリーダーシップ育成にも取り組み、リーダーが中心となり若手を教育するシステムを構築しました。前年度は個人差について難渋しておりましたが、今年度は個人のラダー評価を行いラダーレベルに沿った取り組みを実施していきましました。現段階では成果はみられないものの、評価できるところも増えてきました。継続してスキルアップを目指し、個々の成長過程に沿った教育を部署一丸となって実践してまいります。

今後も、地域医療に繋がられるよう患者教育に加え、スタッフの育成に力をいれて、多職種連携を活発に行い退院支援のサービス提供を目指していきます。

※1 医療安全文化は、①報告する文化、②正義・公正の文化、③柔軟な文化、④学習する文化から成り立ち、中でも①の報告する文化は再発防止において極めて重要であり、インシデント報告数を増やすこと、特にインデントレベル 0、1 の報告数を増やすことは医療安全を推進するために欠かせません。
レベル 0：誤ったことが実施される前に気づいた（ヒヤリ・ハット）
レベル 1：誤ったことが実施されたが、患者さんに影響を及ぼすものではなかった。

看護部 年度総括

【目標】

1. 安全・感染行動の意識付けと実践

<ビジョン>

- ①事象を分析しルールを守れる組織
- ②情報が共有できる組織（周知徹底）
- ③安全な医療が提供できる組織

2. 細やかな看護サービスの提供

<ビジョン>

- ①誇りと自覚を持ち、専門職として質の高い看護が提供できる組織
- ②外来から入退院支援、地域へ繋げる一貫した看護を提供できる組織
- ③看護職と看護補助者が連携し患者さんの求める看護を提供できる組織

3. 豊かな感性を持ち、質の高い看護実践の出来る人材の育成

<ビジョン>

- ①現場に直結した教育ができる組織（中堅看護師の育成）
- ②個人のキャリアアップに繋がる目標管理が実践できる組織
- ③働き続けたいと思える組織

4. 病院経営への参画

<ビジョン>

- ①看護部職員 1 人 1 人が組織体制の仕組みを理解し報告・連絡・相談が出来る組織
- ②看護部職員 1 人 1 人が病院 3 指標を意識できる組織

2023 年度は 4 本柱の目標とそれに対するビジョンを掲げ取り組んでいきました。

今年度の大きな進展は、下半期に師長会と主任会の連携強化を目的とした看護管理者会を立ち上げたことです。それぞれの会で上がった課題や情報について共有と意見交換、そして必要事項の決定を行っています。月 1 回の開催でまだ実績としては浅いのですが、看護管理者が同じ方向にベクトル合わせ組織運営を効果的に行うことへの一助になっていると感じています。今後も継続しつつ運営内容や実践の評価を行う必要があります。

目標 1 の課題として強化したのが気を緩めない標準予防策の実施です。これはコロナが感染症法 5 類へ移行し、それによる影響を考えた取り組み課題でした。具体策としては携帯アルコールの保持と使用を周知してきましたが、年間を通してアルコール推奨使用量の達成には及ばない結果となりました。また感染委員による手指衛生実施調査を行ったところ、必要なタイミングでの実施が十分ではない結果が見え実践の働きかけを行ってきました。この課題に関しては今後も評価を続けながら取り組んでいかなければなりません。医療安全の観点からは、類似したインシデントが報告されている傾向があり、事象分析を活かし予防につなげることがまだ弱い現状です。ここ数年、要因分析の実践に取り組んだ影響もあり分析は全部署で行われていますが、対策の実施確認やリマインド周知が十分できていない事が再発防止につながらない要因と思われ強化が必要です。

目標 2 と目標 3 に関しては看護サービスや質の向上に関連した目標を設定しました。

看護の質評価の向上を目指してクリニカルラダーの見直しを行い、各部署でラダーを用いた目標管理を実施しました。当院で特定行為研修を行えるようになった事も影響し、キャリアプランが明確にしやすい事や、部署間研修の定着による自己研鑽などキャリア支援が前進した年でした。今年度は「目標管理の全員実施」を目指し各部署が取り組んだので、それを今後も継続しながらラダーの内容評価と修正を行いたいと考えています。看護方式の見直しは課題として挙げていましたが、計画的に進めることができなかったため次年度の継続課題とします。今年度開校した特定行為研修センターからの研修修了者は無事 2 名誕生しました。しかし途中、現場で行う実技演習のサポートが行き届いてない課題が発覚し、体制の再構築など修正をかけながら続けた現状でした。今後は、領域の拡大や研修生増も考えられるのでサポート体制の強化を図る上でも職種を超えて全体で育てる風土の醸成が必須になると考えます。また修了者の活用については今後の優先取り組みになります。その他、乳癌看護認定看護師が 2 名、術中麻酔に関する特定行為研修終了が 1 名誕生しました。

選ばれる職場・働き続ける組織作りとして看護職採用定着プロジェクトを発足させ、現場の声を反映させる環境づくりをスタートさせました。今年度は現場の声を拾う事を中心とし、アンケートの実施・コメンタリーからの意見聞き取りが主な活動内容でしたが、次年度には現場が実感できる改善に取り組む計画です。残業に関する取り組みでは、NO 残業デーや日勤と夜勤で制服の色を変える制服 2 色制を導入しましたが、まだ評価には至っておらず次年度につなげて取り組んでいきたいと考えています。

目標 4 の病院経営への参画は、病院運営に意識した部署づくりになります。

今年度より師長全員が運営委員会へ参加することになり経営や運営参画への意識向上に役立つ環境が整えられたと思います。コロナが感染症法 5 類になったことを受け、「どの病棟でもコロナ患者の受け入れを行う」と言う方針へ全病棟が対応し、柔軟にベットコントロールを行ったことは経営への参画として評価できます。人材の確保はこれまで以上に厳しい現状を経験し、十分な応援体制を敷くこともできない結果、4 階病棟の西ウイングを半年近く閉鎖しなくてはなりませんでした。そのような対応をとらざるを得なかった事に対し痛恨の思いであります。しかしそのような人材不足の中、師長や主任が工夫しながら看護配置を行い、そしてスタッフが協力してくれたおかげで入院基本料は維持できたと思います。師長がリーダーシップを発揮し経営へ参画した結果だと高く評価いたします。そして DPC II の期間での退院支援も定着しており目標の 70% も維持できています。

リクルート活動では、年明けから 2025 年度採用に向けての動きをしており、県内で行われる合同説明会への参加や病院主催のオープンホスピタル開催を実施しました。今回戦略的に工夫したのが、合同説明会から当院見学会につなげ更に採用面接への応募につながる流れを作った事です。その為例年 7 月頃行うオープンホスピタルを前倒しで 3 月に開催し、その戦略が確実に応募につながった感触を得ています。その流れを今後も継続していく事と更なる対策として県外からの採用強化を次年度取り組んでいこうと思います。

2024 年度は看護配置で苦戦したことやコロナ 5 類移行の対応などチャレンジの多い年度ではありましたが、それぞれの目標で成果が見られた年度となり、これは看護部全職員の努力と協力の結果だと思い感謝しています。次年度は新体制となりますが、看護部職員一丸となり更なる発展を目指していきます。

看護部長 古波倉 美登利

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

各部署概要・実績

放射線科

放射線科技師長 石原 悟

2023年5月よりコロナ感染症も5類扱いとなり徐々に対応も緩和されてきました。当科としてはこれまで同様に感染症を広げないよう一患者一消毒を行っております。撮影業務に関して各検査数は以前のコロナ前の検査数に戻りつつあります。特にCT検査に関しては2年前の肺炎検索目的での検査数が著しく増加し続けていましたが、昨年度より徐々に通年の検査数へと落ち着いてきました。人間ドックのUGIとMMG検査は昨年増加に転じ回復したかにみられましたが、2023年度は再度減少へ転じましたので今後の対策・検討が必要です。またMRI検査に関しても減少傾向となっている為、予約枠の有効活用や地域連携の紹介率アップなどをできる様に対策を講じ、患者さんや地域医療サービスに貢献できればと考えております。

人員に関しては年度末までスタッフの増減の変動もなく各モダリティを効率よく業務を行うことが出来ました。1月末には2人のスタッフより次の夢やステップアップでチャレンジしてみたいとの相談もあり、その思いを尊重し応援いたしました結果、無事合格し4月以降に2人とも希望通り進むことが決定しました。それに伴い欠員枠2人を次年度の4月採用に向け活動し経験者1名と新卒者1名を採用することが決定いたしました。

設備に関しては9月に西館アンギオ室の装置を更新することができ、救急での緊急カテや腹部IVRなどで運用し以前の装置に比べ操作性や画質・被ばくの低減が向上しております。1月には手術室で使用していた外科用イメージの更新も行われ、今回導入した装置はFPDタイプでこれまでのI/Iタイプに比べ画質の向上や被ばくの低減が望めます。3月末には、病棟用X線ポータブル装置をFPD搭載一体型装置に更新したことで、画質はもちろん操作性や運用面も良くなっております。同じく3月末にはドックなどで使用している骨密度装置（前腕用）の更新も行われ、安定した検査とこれまでの個々の検査データも引き継ぐことで、受診者の骨密度経時変化をこれまで同様に表示可能となっております。

学術に関しては前年度に比べ各研究会や勉強会の対面開催が増え、各病院スタッフとの交流や情報交換もすることが出来ました。また健診業務や検査での質や精度管理が重要視されており、当院でも胃X線透視検査やマンモ検査での精度向上を目的に、胃がん専門技師取得やマンモ認定技師更新で数名のスタッフが受験し全員合格しております。今後もスタッフ間や各部署・各施設間とも協力しながら各々のレベルアップを図り地域医療に貢献できよう頑張っていく所存です。



骨密度（前腕）装置（ドック）



西館アンギオ検査室



外科用イメージ装置 FPD



病棟用 X 線ポータブル FPD 一体型

職員数

総数

22 名

職種別

診療放射線技師 21 名

受付事務 1 名

認定・資格

氏名	名称
仲座 義富	アドバンス診療放射線技師
	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
石原 悟	胃がん X 線検診技術部門 B 資格
	医療安全管理者認定
	胃がん X 線検診技術部門 B 資格
	胃がん X 線検診読影部門 B 資格
大城 盛寛	アドバンス診療放射線技師
	医用画像情報管理士
	核医学検査技能検定 3 級
	胃がん X 線撮影部門資格検定
松田 優二	X 線 CT 撮影認定技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
	AI 認定技師
	大腸 CT 認定技師
	画像等手術支援認定技師
	医療安全管理者認定
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師

氏名	名称
津波 麻利子	アドバンス診療放射線技師
	検診マンモグラフィ認定技師
	胃がん X 線撮影部門資格検定
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
	胃がん X 線撮影部門資格検定
宮城 直哉	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者？
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者？
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師
	胃がん X 線撮影部門資格検定
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X 線 CT 撮影認定技師
	AI 認定技師
	大腸 CT 認定技師
宇江城 彩香	画像等手術支援認定技師
	検診マンモグラフィ認定技師
太田 忍	肺がん CT 検診認定技師
	X 線 CT 撮影認定技師
仲田 真央	検診マンモグラフィ認定技師

2023 年度機器更新

- ・病棟 X 線ポータブル装置更新（富士フィルム社製）
- ・外科用イメージ FPD（島津社製）
- ・西館アンギオ装置更新（フィリップス社製）
- ・骨密度（前腕）装置更新（富士フィルム社製）

既存モダリティー

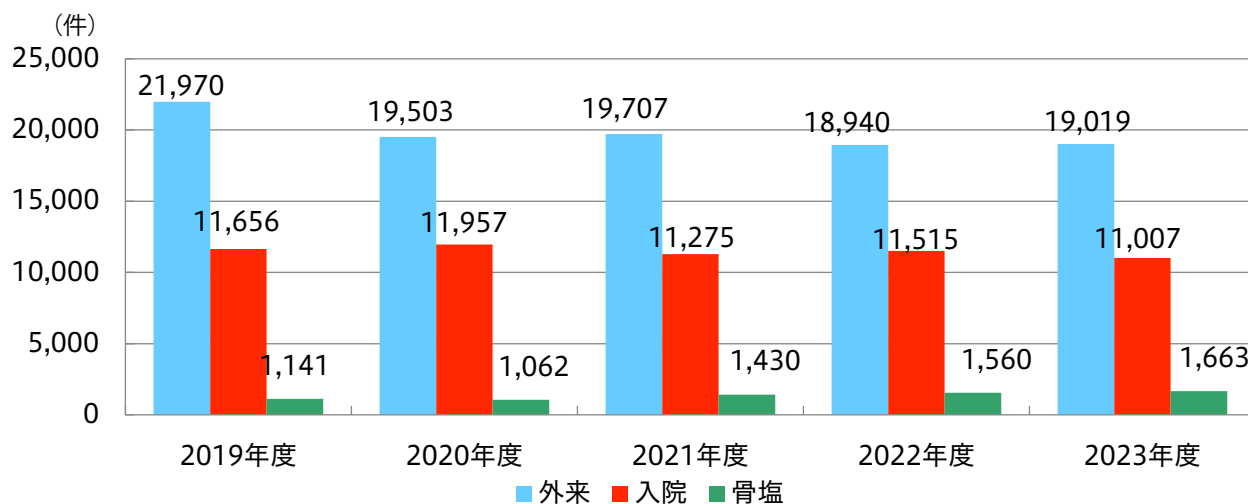
- ・一般撮影装置：4 台（ドック 1 台含む） ・ CT 装置：3 台 ・ ANGIO 装置：2 台
- ・ MRI：2 台 ・ X-TV：4 台（ドック 2 台含む） ・ マンモ：2 台（ドック 1 台含む）
- ・骨密度装置：2 台 ・ RI 装置：1 台 ・ パノラマ装置：1 台 ・ デンタル装置：1 台
- ・外科汎用型 X 線イメージ装置：3 台 ・ 四肢専用外科用イメージ装置：1 台
- ・ X 線ポータブル撮影装置 4 台
- ・結石破碎装置（泌尿器）1 台

運営方針

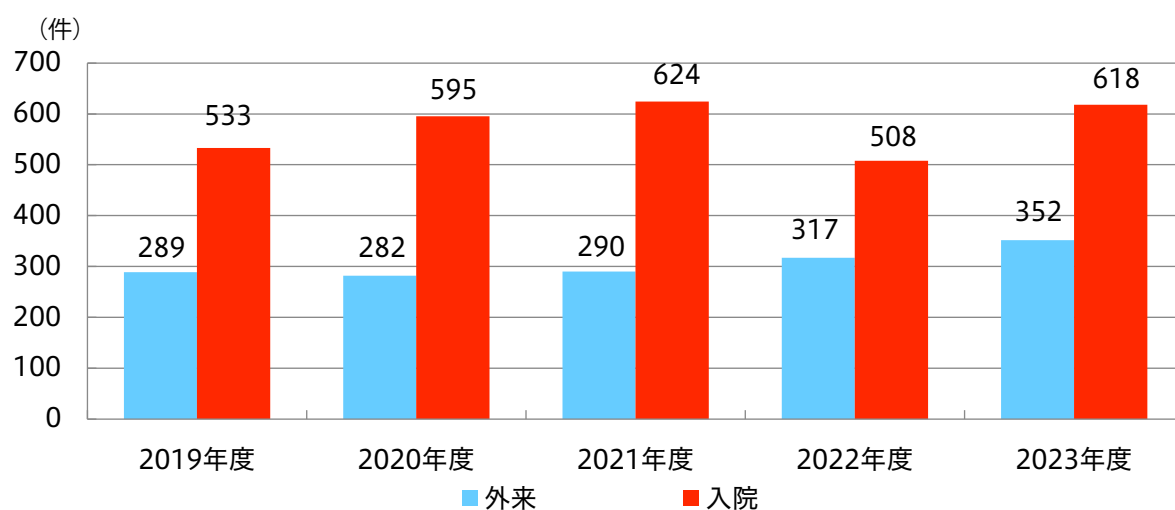
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

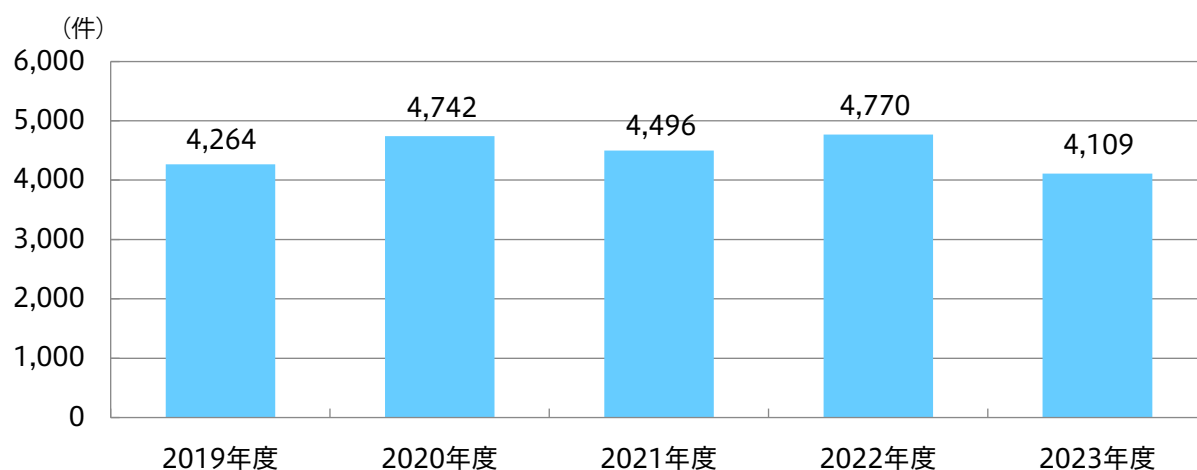
一般撮影



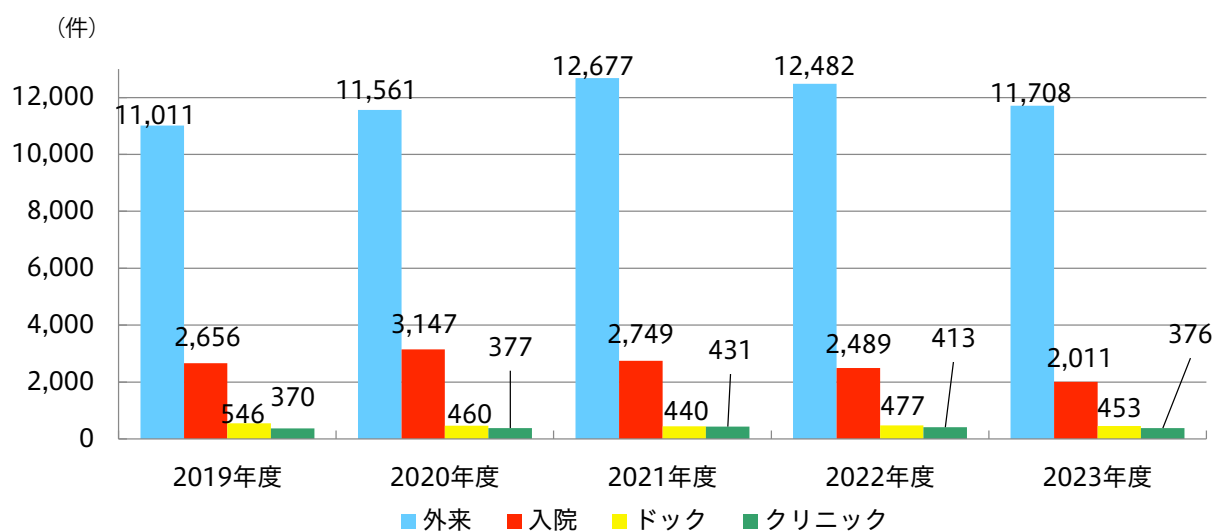
透視検査



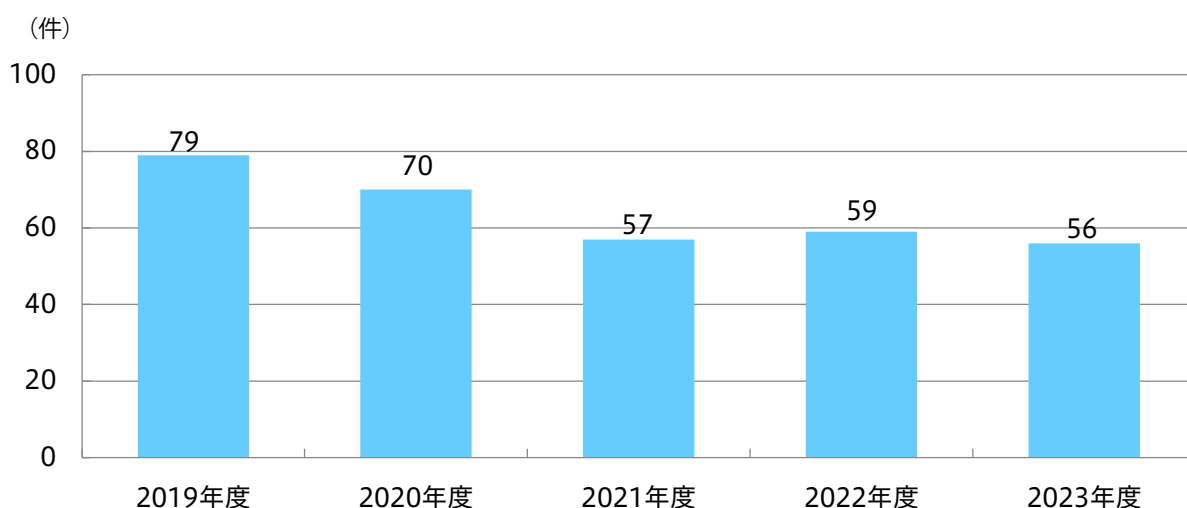
透視検査（人間ドック）



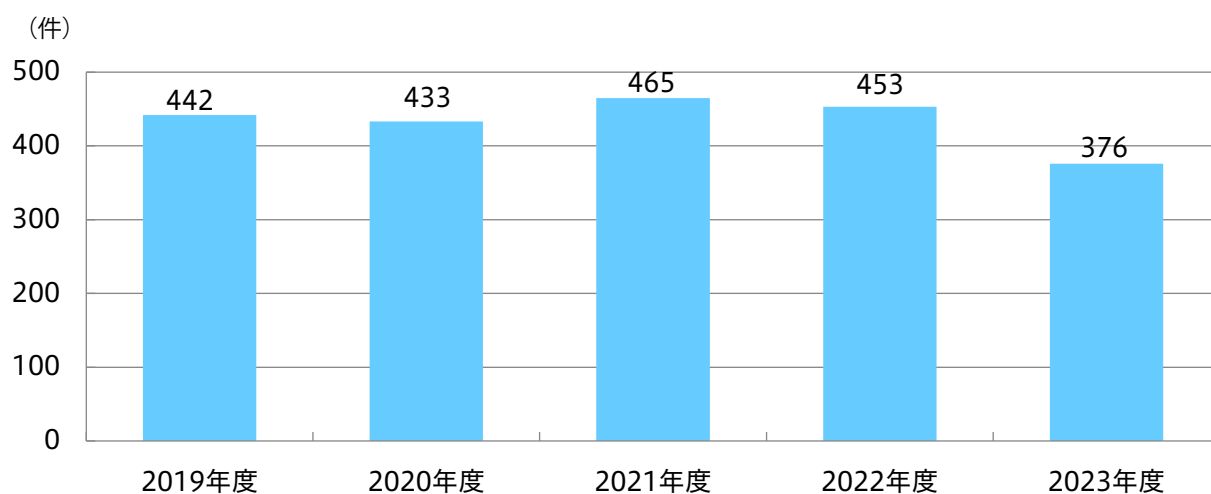
CT 検査



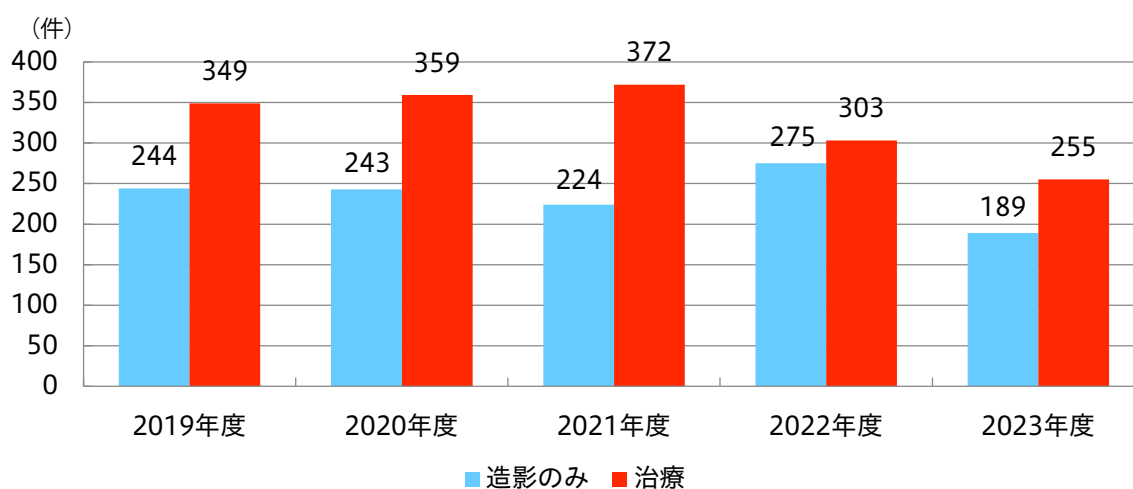
大腸 CT



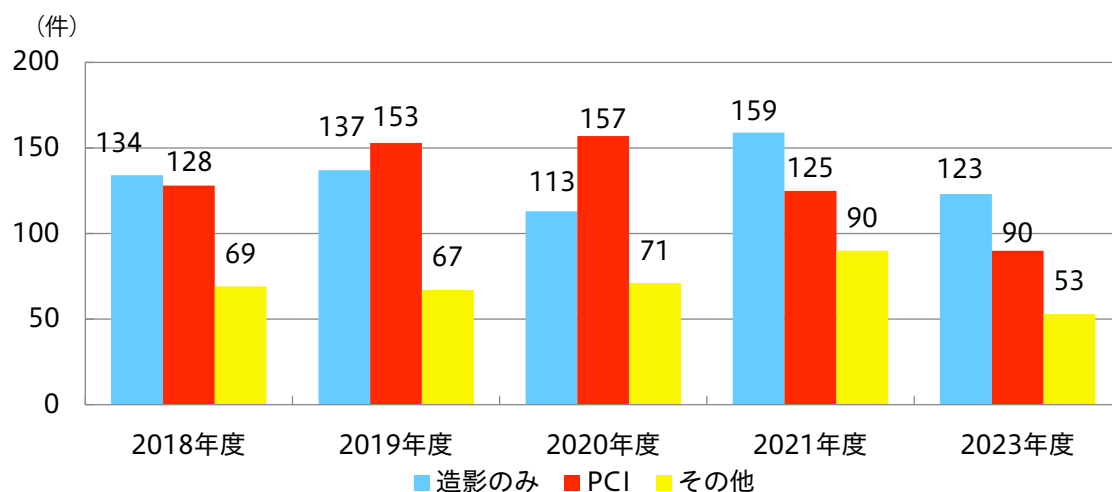
冠動脈 CT



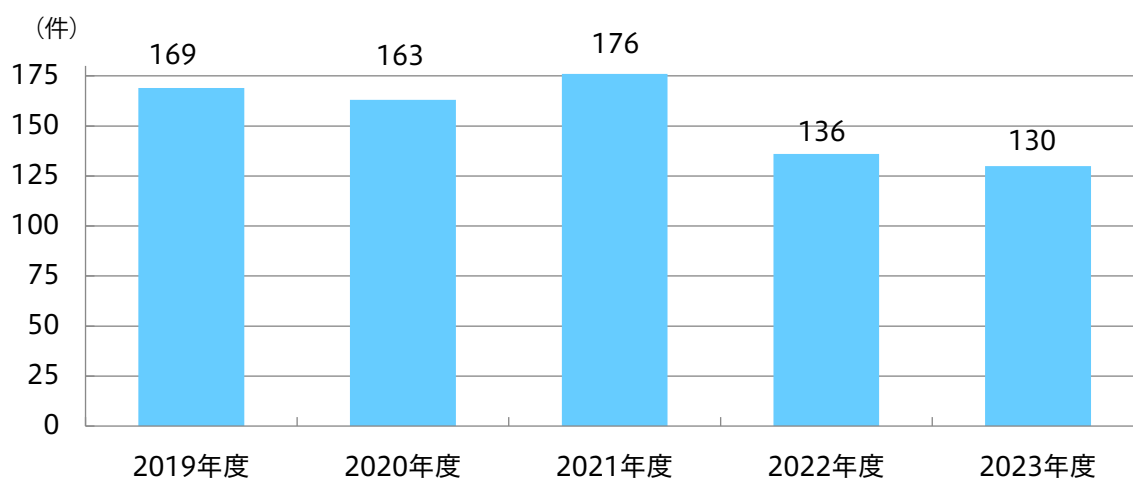
angio 総計



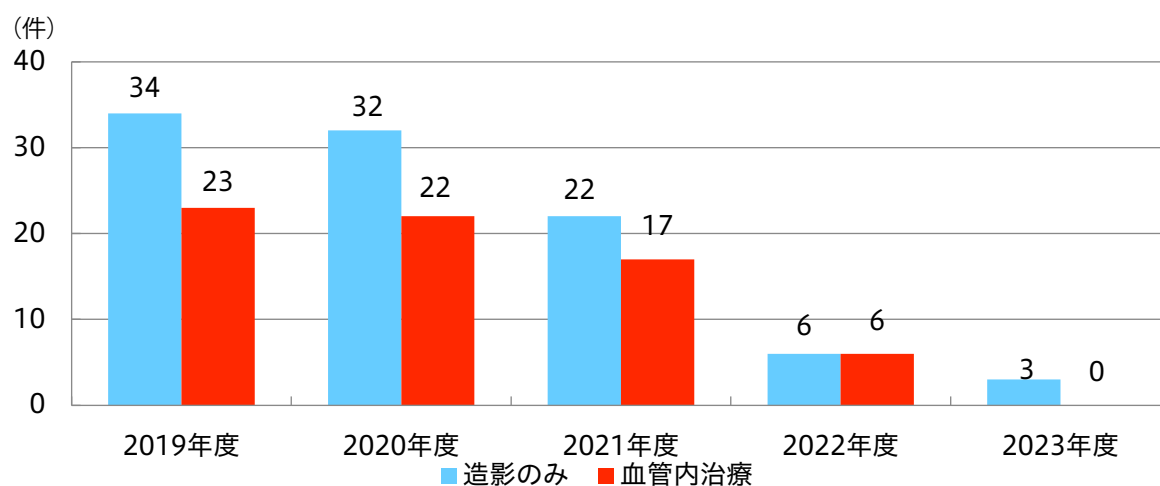
心臓カテーテル



四肢 PTA

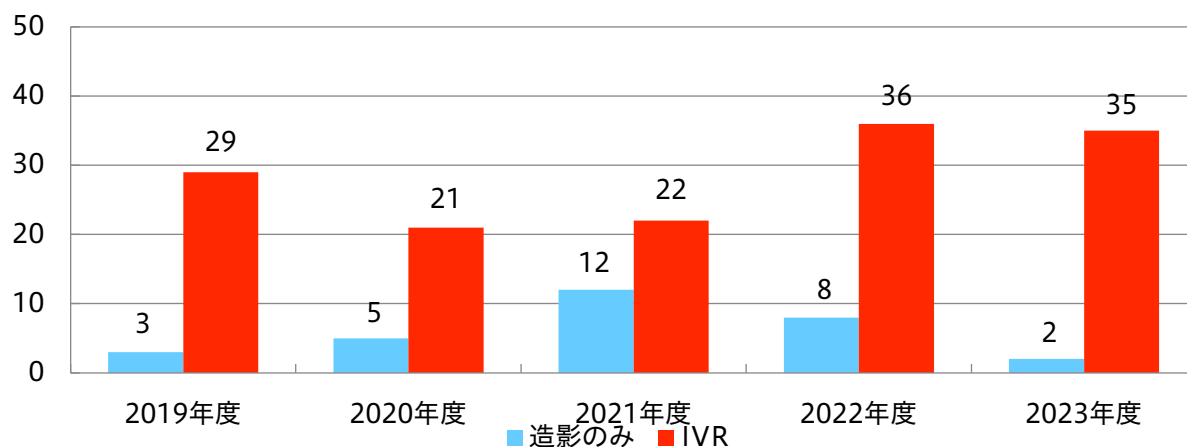


脳アンギオ



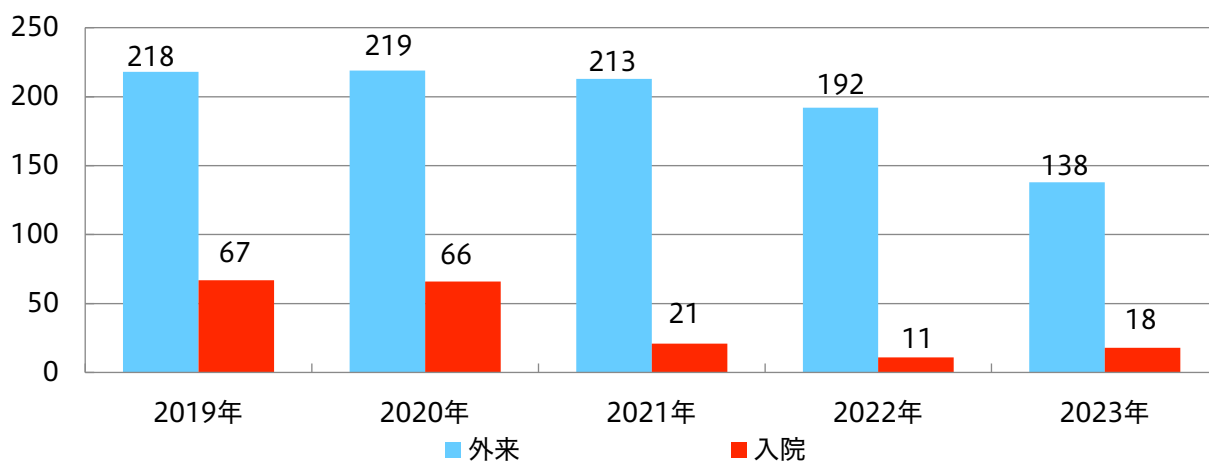
腹部アンギオ

(件)



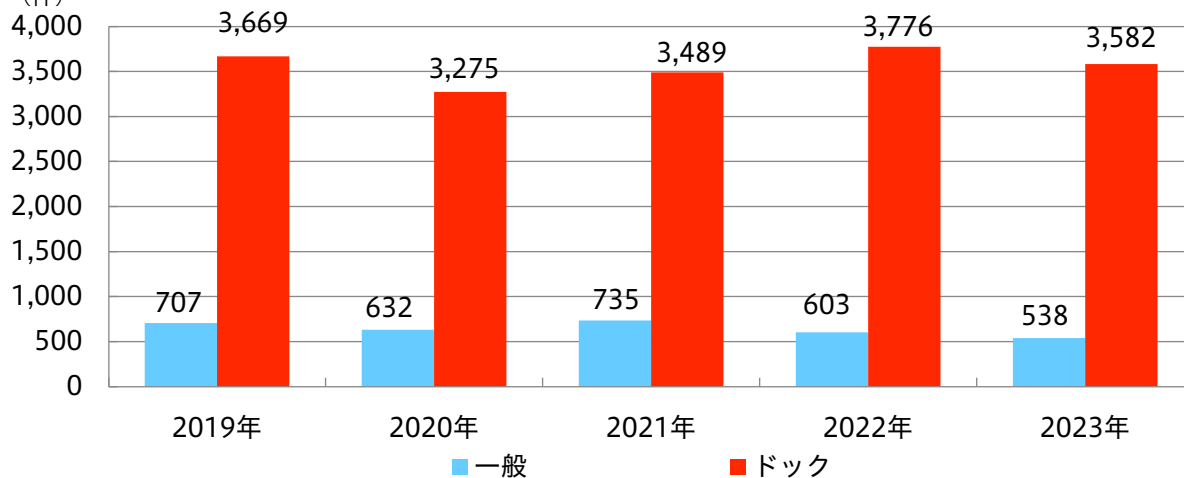
RI 検査

(件)

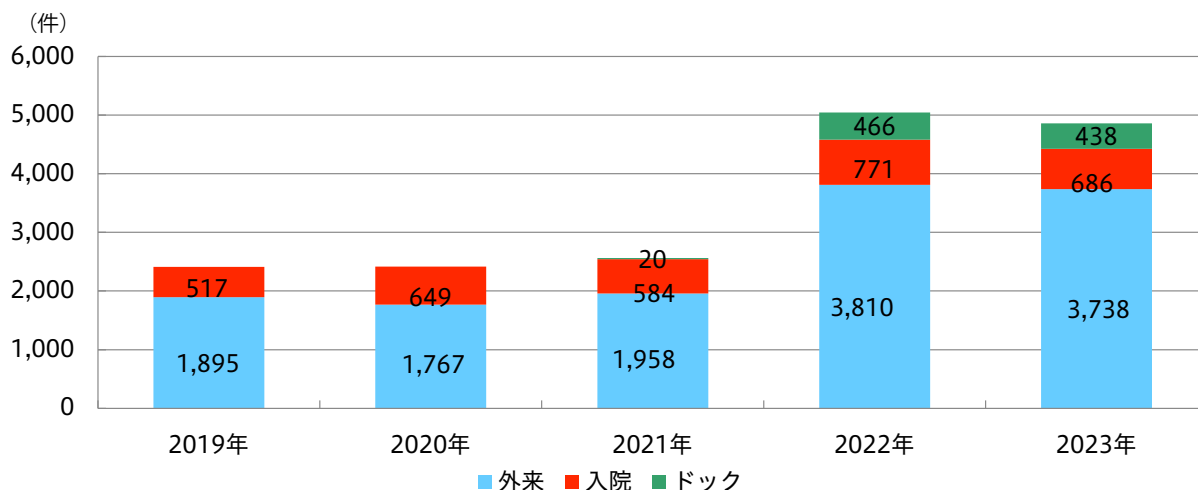


マンモグラフィ検査

(件)

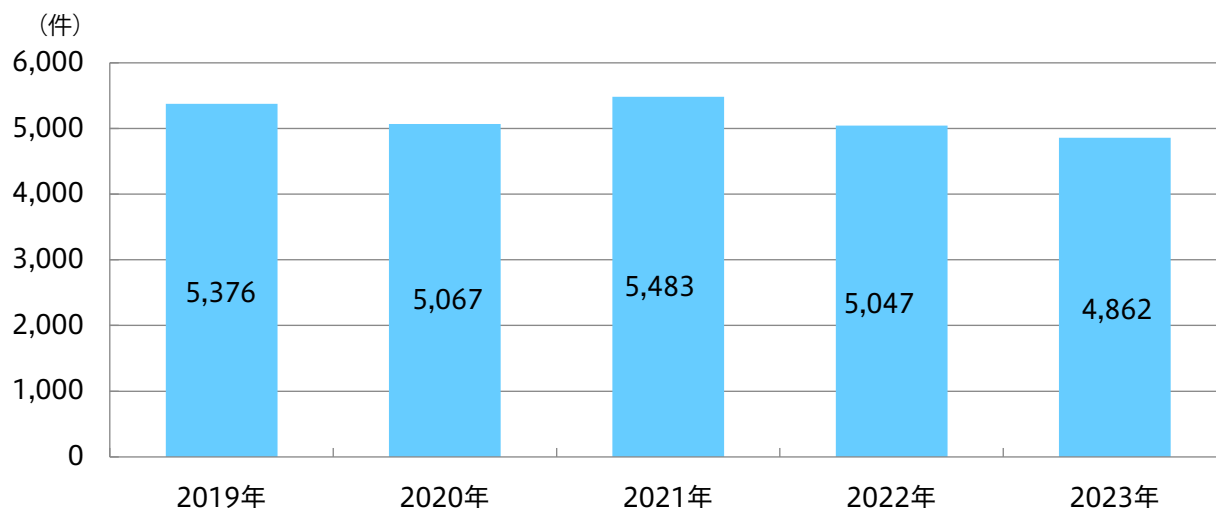


3T-MRI

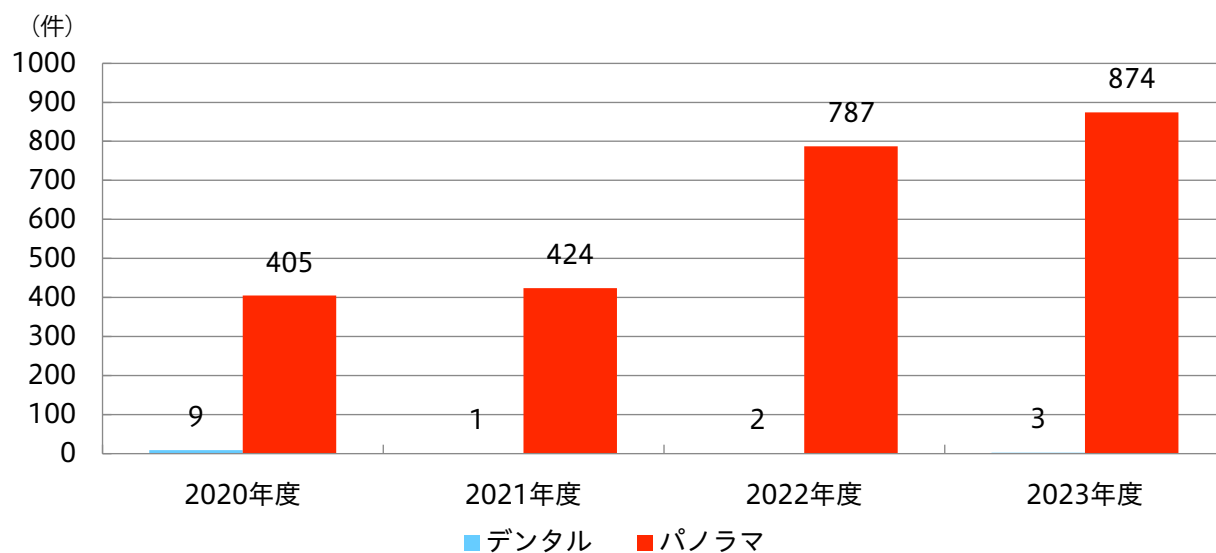


※ 2021 年度より人間ドックの 3T-MRI も担当しています（それ以前は検査科対応）。
 ※ 2022 年度より 1.5TMRI も放射線科で行う事となり、1.5T と 3T-MRI 件数を合算表示しています。

MRI 検査総件数 (1.5T+3.0T)



口腔一般撮影



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者研究者
自作補助具を用いた脂肪抑制効果の改善	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	豊見城市	2023 年 10 月 22 日	太田 忍
沖縄県消化管研究会プレゼンテーション	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	豊見城市	2023 年 10 月 22 日	程岡 美貴
横胃の撮影について（背臥位撮影中心に）	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	豊見城市	2023 年 10 月 22 日	石原 悟（座長）
胃がんにつて	沖縄県放射線技師会学術技術セミナー	豊見城市	2024 年 2 月 10 日	宮城 竜也

活動実績

院外勉強会発表

名称	勉強会名	開催地	日時	発表者
核医学検査における被ばく管理システムの運用	沖縄県核医学技術研究会	オンライン	2023 年 4 月 21 日	宮城 直哉
たくさん症例をみてみよう	沖縄県消化科管技術研究会	沖縄市	2023 年 5 月 26 日	宮城 竜也
胃がん検診専門技師認定～自身の受験経験をもとに～	沖縄県消化科管技術研究会	沖縄市	2023 年 7 月 28 日	石原 悟
当院の T1Wi の紹介 ～脊髄編～	フィリップスユーザー会	浦添市	2023 年 9 月 8 日	大城 盛寛
胃癌診断	沖縄県消化科管技術研究会	沖縄市	2023 年 9 月 22 日	宮城 竜也
大腸 CT について	沖縄県 CT 研究会	豊見城市	2023 年 11 月 15 日	仲田 真央
胃がんについて	沖縄県消化科管技術研究会	沖縄市	2024 年 1 月 26 日	宮城 竜也
胃がんにつて	沖縄県放射線技師会学術技術セミナー『認定研究会合同企画（がん）』	豊見城市	2024 年 2 月 10 日	宮城 竜也

院内研究発表

名称	セッション名	開催地	日時	発表者
放射線科の取り組み	医療技術部予選	当院	2023 年 11 月 20 日	川上 誉世
放射線科の取り組み	本選	当院	2023 年 12 月 1 日	川上 誉世

科内勉強会

名称	名称	開催地	日時	発表者
脳梗塞について	朝の勉強会	当院	2023 年 6 月 28 日	太田 忍
冠動脈における検査の有用性	朝の勉強会	当院	2023 年 7 月 31 日	喜友名 夢斗
大動脈解離のあれこれ	朝の勉強会	当院	2023 年 9 月 28 日	渡嘉敷 竜斗
骨シンチについて	朝の勉強会	当院	2023 年 11 月 28 日	下地 彩香
頸髄 MRI について	朝の勉強会	当院	2023 年 12 月 29 日	上里 将司
膝の MRI について	朝の勉強会	当院	2024 年 2 月 2 日	山城 まどか
食道アカラシア	朝の勉強会	当院	2024 年 2 月 29 日	新垣 千登勢
大腸がん	朝の勉強会	当院	2024 年 3 月 22 日	津波 麻利子

講習会受講

名称	勉強会名	開催地	日時	受講者
令和 5 年厚生労働省告示研修	第 273 号研修	南風原町	2023 年 9 月	上里 将司、辺土名 翔平
令和 5 年厚生労働省告示研修	第 273 号研修	南風原町	2024 年 1 月	下地 彩香、太田 忍、渡嘉敷 竜斗
2023 年度胃がん X 線検診技術部門資格検定	受検資格講習	オンライン	2023 年 9 月	大城 盛寛、新垣 千登勢、津波 麻利子
医療安全管理者養成講習会	受検資格講習	オンライン	2023 年 9 月	松田 優二
医療安全管理者養成講習会	受検資格講習	オンライン	2023 年 12 月	松田 優二

講習会講師

名称	内容	開催地	日時	講師名
放射線技師会フレッシュャーズセミナー	脳神経について	豊見城市	2023 年 8 月 20 日	松田 優二
放射線技師会フレッシュャーズセミナー	被ばくについて	豊見城市	2023 年 8 月 20 日	松田 優二
告示研修	フェシリテータ	宜野湾市	2023 年 9 月 24 日	松田 優二
告示研修	フェシリテータ	宜野湾市	2023 年 11 月 29 日	松田 優二
告示研修	フェシリテータ	沖縄県(宜野湾市)	2024 年 1 月 28 日	松田 優二
告示研修	ファシリテータ	沖縄県(宜野湾市)	2024 年 2 月 12 日	松田 優二

臨床検査科

臨床検査科技師長 斎藤 辰好

① 5年後を見据えた人材育成、②医療機器の段階的な更新・導入、③病院規模に合わせた臨床検査業務の構築、④ハートライフクリニックの業務連携の充実、⑤予防医学センターとの業務連携への取り組み、⑥チーム医療の構築の6項を基本方針としました。

若手技師も当直業務へ従事し、救急外来検査等に対応できる体制を構築しています。人材育成に関しては、各技師が複数分野の業務を出来るように計画を立て構築している最中です。本院業務のみならずクリニックでの採血・分析・生理検査業務を熟知し突発休や繁忙時でも対応出来るように体制を整えています。

また予防医学センターとの業務連携も順調で、技師の相互入れ替えや業務の融合共有化を進めています。心臓カテーテル検査、上肢下肢血管治療検査、アブレーション検査、ラジオ波焼灼検査、細胞診穿刺検査、NST、食道内圧・PH検査、胆嚢穿刺検査、CPC等のチーム医療にも積極的に参加しています。日本医師会、日本臨床検査技師会、沖縄県医師会技師会の精度管理事業にも参加し良好な結果が得られました。

また教育研修システムを充実させる為、細胞検査士、超音波検査士、血液検査技師、糖尿病療養指導士、緊急検査士等の各資格取得支援やスキルアップ為の支援等も行っています。県内県外大学から長期実習学生を受け入れており、教育システムを構築しています。

安定した検査体制維持の観点から検体検査室の電盤増設工事を行い、今後予想される医療機器増設に対応出来る様にしました。

機器の構築についてはエコー機3台、血糖測定器、HbA1c測定器、筋電図誘発装置、血液培養検査機器等を入替えて信頼される検査データーを提供できる体制を整えました。

運営方針

臨床検査は疾病の①診断、②治療方針決定、③予後の判定を左右する重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を心がける。

職員数

総数

43名

職種別

臨床検査技師 37名（病院 30名、予防医学センター 2名、クリニック 2名、パート3名含む）

視能訓練士 3名

検査科事務 3名

看護師 1名

認定・資格

氏名	名称
斎藤 辰好	超音波検査士 (4 領域)
島袋 泰彦	超音波検査士 (4 領域)
	沖縄県地域糖尿病療養指導士
	日本糖尿病療養指導士
	衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
仲松 勝彦	超音波検査士 (1 領域)
	衛生管理者
安里 奈美	超音波検査士 (2 領域)
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物)
	臨床検査臨床地実習指導者
新垣 春香	二級臨床検査士 (微生物)
津波古 菜々恵	二級臨床検査士 (微生物)
	緊急検査士
比嘉 勇也	細胞検査士
	国際細胞検査士
	認定病理検査技師
	有機溶剤作業主任者
	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者
諸見里 真実	細胞検査士

氏名	名称
金城 奈津子	JABTS-C 認定技師
宮平 優子	心不全療養指導士
	二級臨床検査士 (免疫血清)
上地 利恵子	JABTS-C 認定技師
蔵下 かおり	JABTS-A 認定技師
	二級臨床検査士 (免疫血清)
	緊急検査士
金城 明日香	緊急検査士
木幡 凌河	第 2 種 ME 技術者
	細胞検査士
	有機溶剤作業主任者
	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者
金城 海志	二級臨床検査士 (血液)

沖縄県 臨床検査技師会 役員

	役職
我如古 靖	沖縄県臨床検査技師会 理事
比嘉 勇也	沖縄県臨床細胞学会 幹事
	沖縄県医師会精度管理 細胞検査部門 解析委員
	沖縄県臨床検査技師会 細胞検査 副分野長

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
心臓超音波検査中に遭遇した乳幼児胸腺肥大を経験して	沖縄県医学検査学会	沖縄	2023 年 7 月 2 日	寺内 悠人
頸部腫瘍 FNA で診断に苦慮した ATLL anaplastic type の一例	沖縄県医学検査学会	沖縄	2023 年 7 月 2 日	比嘉 勇也

業務実績

科内勉強会

名称	日時	担当者
症例検討会 (肝腫瘍)	2023 年 4 月 28 日	安里 奈美
症例検討会 (頸動脈)・Z スコア (小児心エコー)	2023 年 6 月 29 日	真栄田 奈々子
症例検討会 (肝臓)・計測	2023 年 7 月 28 日	山川 萌
症例検討会 (脾梗塞)・PVF 計測を積極的活用	2023 年 8 月 25 日	寺内 悠人
症例検討会 (耳下腺腫瘍・悪性リンパ腫)	2023 年 9 月 29 日	島袋 凪瑳
リンパ管腫・ABI	2023 年 10 月 27 日	邊土名 里紗
< 冲臨技 > 精度管理 解答	2023 年 11 月 24 日	金城 明日香
感覚神経伝導検査	2023 年 12 月 29 日	比嘉 愛
ドッグオブション精密検査統計	2024 年 1 月 26 日	蔵下 かおり
MCV	2024 年 1 月 26 日	日本光電
ドッグ健診判定基準の変更について	2024 年 2 月 16 日	上地 利恵子
心アミロイドーシス	2024 年 2 月 16 日	ファイザー
僧帽弁 (狭窄症・逆流症)	2024 年 3 月 29 日	我如古 靖

検査・治療実績

生理検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心電図	491	490	477	436	448	533	472	490	475	508	484	484	5,788
CVR-R+ECG	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
マスター心電図	5	6	8	6	2	4	9	4	3	6	1	3	57
トレッドミル負荷	5	1	4	0	1	0	2	0	3	0	3	3	22
ホルター心電図	21	27	19	14	15	16	26	31	36	12	24	23	264
ABPM	0	1	2	0	2	1	0	0	0	1	0	2	9
簡易肺機能 (2 項目)	92	102	106	104	92	112	88	89	91	97	93	108	1,174
肺機能 (4 項目)	16	16	11	14	10	15	14	9	12	6	11	13	147
ABI 測定	25	18	32	30	28	21	23	45	43	35	85	69	454
サーモグラフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気中尿素試験	30	25	42	34	38	53	41	42	31	34	46	31	447
脳波	7	5	6	1	2	7	4	1	4	4	3	5	49
睡眠・薬物賦活脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経伝達速度 (MCV)	4	5	6	8	9	7	4	6	2	7	6	5	69
聴性脳幹反応 (ABR)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終夜睡眠ポリグラフ	1	2	1	2	1	3	1	1	0	4	3	2	21
心肺運動負荷試験	1	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	6
レートポテンシャル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
呼気中一酸化窒素	23	28	16	17	33	13	23	22	23	16	16	23	253
食道内圧測定	5	4	2	2	1	1	2	1	1	1	2	4	26
食道 PH モニター	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	7
経皮的酸素ガス分圧	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	7
皮膚灌流圧測定検査	2	2	1	0	2	3	2	1	0	1	0	3	17
心エコー	266	304	313	260	273	332	294	320	285	309	252	312	3,520
腹部エコー	239	315	278	236	210	263	245	203	223	239	217	213	2,881
泌尿器エコー	110	90	103	85	80	102	99	112	107	80	85	94	1,147
表在エコー	159	137	137	138	124	135	125	116	114	96	127	123	1,531
血管エコー	103	98	114	87	90	94	103	184	121	85	83	116	1,278
胎児エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経直腸エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経食道心エコー	2	4	3	5	1	2	1	2	0	1	2	1	24
ENOG	2	1	4	0	1	2	1	2	4	2	1	4	24
簡易聴力検査	5	6	3	5	3	3	5	5	12	5	7	2	61
標準聴力検査	64	60	68	50	52	52	70	56	51	41	60	69	693
ティンパノメトリー	22	25	28	22	20	18	33	32	28	21	23	26	298
アブミ骨筋反射検査	16	19	22	14	16	13	28	31	25	16	18	20	238

病理・細胞検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診	335	360	344	352	325	344	335	355	335	314	325	323	4,047
細胞診	264	251	251	227	208	273	219	264	265	207	238	236	2,903
剖検	0	0	0	0	0	1	1	3	2	0	0	0	7
迅速組織診	6	4	7	6	4	7	6	7	4	5	8	2	66

血液検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液像目視	550	437	421	438	426	426	555	404	451	429	413	405	5,355
骨髓像	13	18	26	20	18	20	14	11	12	15	9	7	183
PBSC 製剤作製 (依頼件数)	1	0	0	1	2	2	1	0	0	3	3	0	13
PBSC 製剤作製 (作製日数)	1	0	0	1	2	4	2	0	0	3	3	0	16

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨髄凍結作業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
骨髄血漿除去作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

細菌検査実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
塗抹	433	486	542	501	416	441	376	332	412	447	363	413	5,162
培養	992	1,168	1,347	1,311	1,051	1,070	972	837	938	1,067	906	992	12,651
呼吸器系	117	146	171	154	116	115	90	93	123	149	109	117	1,500
消化器系	34	38	41	42	39	25	23	30	31	23	26	19	371
泌尿生殖器系	209	254	282	270	227	229	214	172	204	217	185	214	2,677
血液	551	632	762	758	575	598	563	486	495	587	523	562	7,092
穿刺液	37	37	39	37	32	36	24	25	31	26	21	18	363
その他	44	61	52	50	62	67	58	31	54	65	42	62	648
嫌気培養	564	636	749	747	578	609	568	486	499	600	518	564	7,118
感受性													
1 菌種	215	249	225	275	207	204	196	177	205	241	189	211	2,594
2 菌種	51	61	58	59	69	55	49	48	50	51	38	31	620
3 菌種以上	23	27	49	23	33	36	20	15	22	22	12	24	306
薬剤耐性菌検出	30	37	44	42	39	32	29	33	36	43	28	27	420

検体検査（科別）

ハートライフ病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3,129	3,024	3,167	3,353	2,916	2,878	2,764	2,595	2,710	2,914	2,771	2,496	34,717
外科	822	696	824	763	860	864	766	671	660	674	664	665	8,929
整形外科	488	419	407	373	387	402	344	323	313	382	381	369	4,588
眼科	17	21	36	33	13	24	41	29	34	32	35	36	351
透析科	339	178	179	210	187	204	333	184	175	267	200	195	2,651
小児科	209	277	425	394	283	257	290	206	222	170	238	228	3,199
脳神経外科	25	60	59	67	21	44	60	40	17	27	25	37	482
産婦人科	611	575	548	520	520	451	494	455	482	387	425	471	5,939
耳鼻咽喉科	89	54	45	60	54	78	50	78	92	55	74	88	817
心療内科	7	4	5	4	6	5	11	1	5	4	7	5	64
泌尿器科	406	329	325	333	334	372	355	346	351	290	381	344	4,166
皮膚科	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
麻酔科	8	3	5	8	5	6	12	7	7	5	4	7	77
形成外科	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
乳腺外科	95	98	79	99	86	78	90	61	80	65	58	100	989
救急科	110	126	107	121	121	107	123	50	39	50	31	41	1,026
本院合計	766	804	1,088	1,034	891	867	780	670	895	1,111	777	798	10,481
口腔ケア科	7,124	6,672	7,320	7,372	6,684	6,638	6,513	5,716	6,082	6,433	6,071	5,880	78,505
本院合計	4,733	4,270	4,292	4,813	4,655	4,517	4,483	4,525	4,524	4,506	3,988	5,047	54,353

検診科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	1,109	1,281	1,488	1,426	1,392	1,419	1,509	1,460	1,573	1,397	1,358	1,417	16,829

ハートライフクリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病内科	1,325	1,323	1,318	1,272	1,279	1,259	1,302	1,223	1,330	1,224	1,257	1,205	15,317
内科	514	479	554	421	466	452	432	444	454	442	488	470	5,616
小児科	49	54	84	70	66	233	212	211	192	242	263	180	1,856
検診	5	5	11	16	12	10	16	66	14	18	33	34	240
合計	1,893	1,861	1,967	1,779	1,823	1,954	1,962	1,944	1,990	1,926	2,041	1,889	23,029

本院 + 検診 + クリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	10,126	9,814	10,775	10,577	9,899	10,011	9,984	9,120	9,645	9,756	9,470	9,186	118,363

検体検査（病棟）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ICU	171	128	160	221	227	133	94	111	188	225	120	127	1,905
HCU	281	302	343	349	306	303	341	223	230	187	204	211	3,280
東館 4・5 階病棟	342	329	348	328	290	310	305	261	248	299	297	301	3,658
3 階病棟	167	169	162	239	161	113	146	87	150	182	200	103	1,879
4 階病棟	427	361	454	446	449	408	401	302	305	313	325	287	4,478
5 階病棟	485	402	437	432	396	405	376	361	371	429	466	426	4,986
6 階病棟	542	512	559	595	609	498	512	427	453	467	374	374	5,922
7 階病棟	412	469	469	455	408	425	420	420	381	450	438	361	5,108
合計	17	15	22	25	19	28	13	21	20	25	13	17	235
	2,844	2,687	2,954	3,090	2,865	2,623	2,608	2,213	2,346	2,577	2,437	2,207	31,451

臨床工学科

臨床工学科技士長 野原 剛

2024 年の元旦に能登半島地震が発生しました。被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。この地震に際し、臨床工学科からハートライフ DMAT 隊員の一員として、1 月 20 日から 6 日間、石川県穴水町へ被災地支援を目的として派遣されました。

タスクシフト業務拡充を受け増員 1 名、定数 20 名となりました。SOLA 沖縄保健医療工学院より 1 名実習生を受け入れ代謝、循環器、ME 機器管理業務に関する実習を実施しました。

各部門の実績の詳細は資料をご参照下さい。

職員数

総数

20 名

職種別

臨床工学士 20 名

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保。
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

【ME 機器管理実績】

滅菌前点検を充実させ、手術室の医療機器の安全を維持することを進めました。

修理依頼・トラブル対応件数について

1. 年度推移

年度	2019	2020	2021	2022	2023
件数	604	676	911	702	702

2. 月推移

月に関わらず問い合わせ件数が一定数あり、臨床工学技士の対応が必要であることがわかります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019	45	52	55	56	60	44	70	45	47	45	38	47
2020	37	43	38	45	62	65	58	61	70	66	60	71
2021	76	44	54	69	129	98	90	135	64	56	31	64
2022	57	59	57	64	47	50	40	49	55	56	70	97
2023	77	109	101	67	60	49	55	50	45	38	31	29

3. 対応割合

トラブル対応は、82.6%が臨床工学技士によって行われており、迅速な対応ができました。

対応者	件数	割合
CE	587	82.6%
業者	124	17.4%

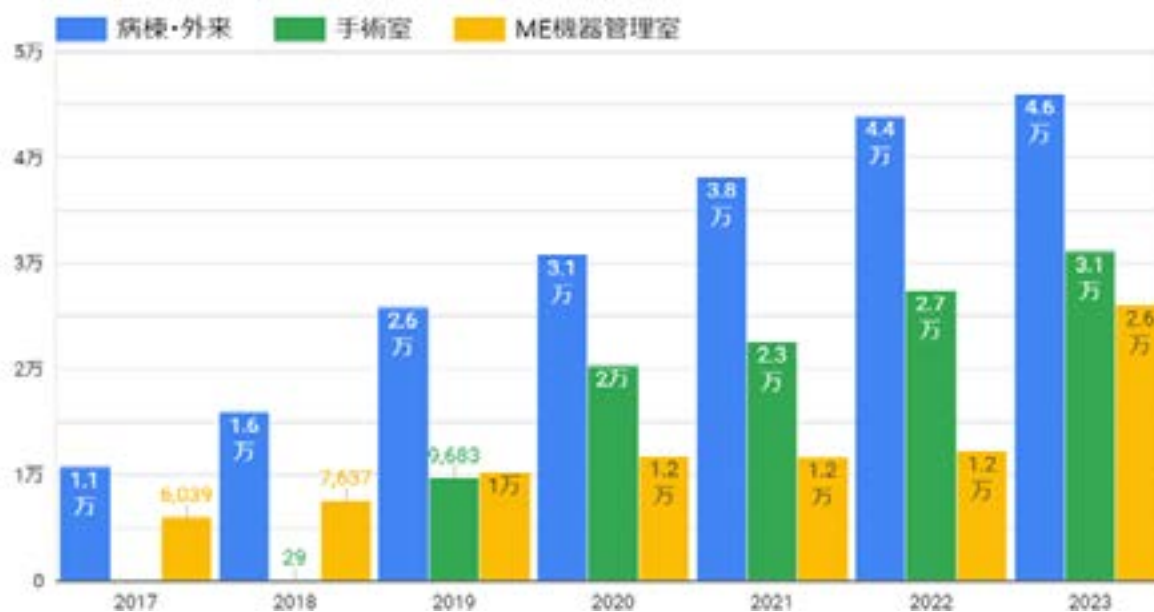
4. 発見 / 現場依頼割合

件数は減少しましたが、手術室は100件を超えています。

修理依頼部署	件数	修理依頼部署	件数
臨床工学科	304	整形外科・スポーツ関節鏡センター	4
手術室	101	東館 4F	3
東館 5F	45	在宅型有料老人ホーム	3
救急センター (ER)	39	クリニック	3
本館 7F	31	外来通院治療室	3
本館 6F	26	脳神経外科・耳鼻咽喉科	3
本館 5F	25	内視鏡センター	3
本館 4F	24	予防医学センター	2
本館 3F	23	ハートライフクリニック	2
HCU	22	整形外科	1
ICU	20	西館アンギオ室	1
リハビリテーション科	15	耳鼻科	1
中央処置室	5	人工透析室	1
		東館アンギオ室	1

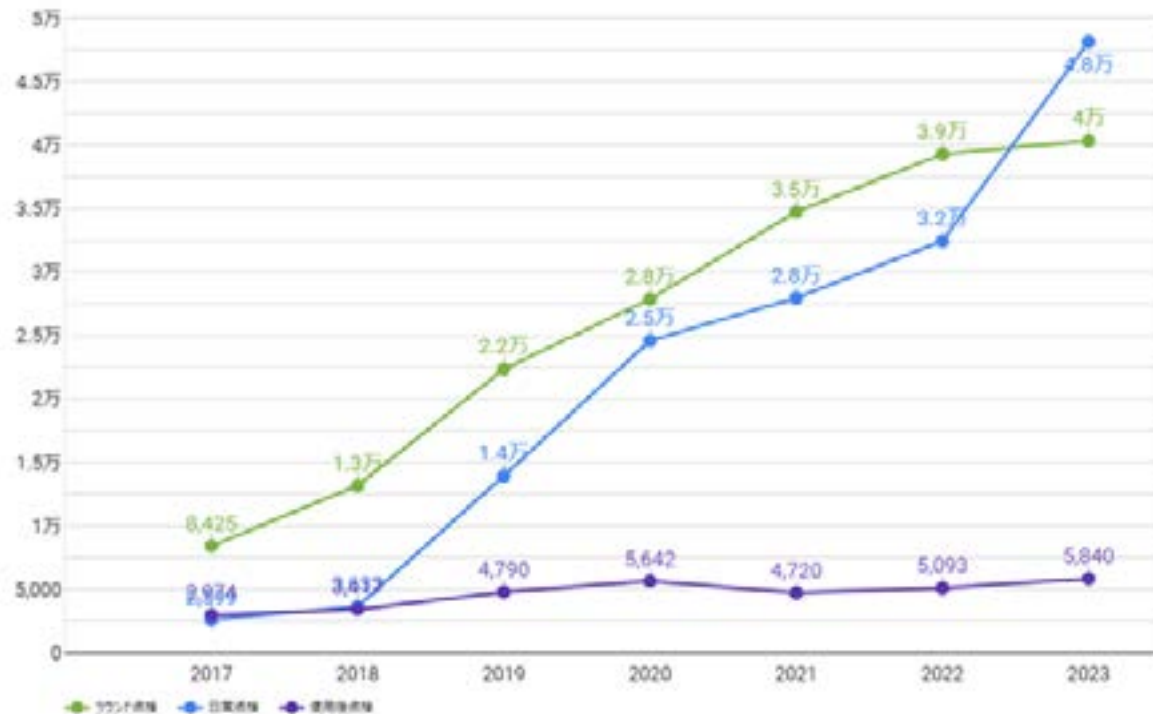
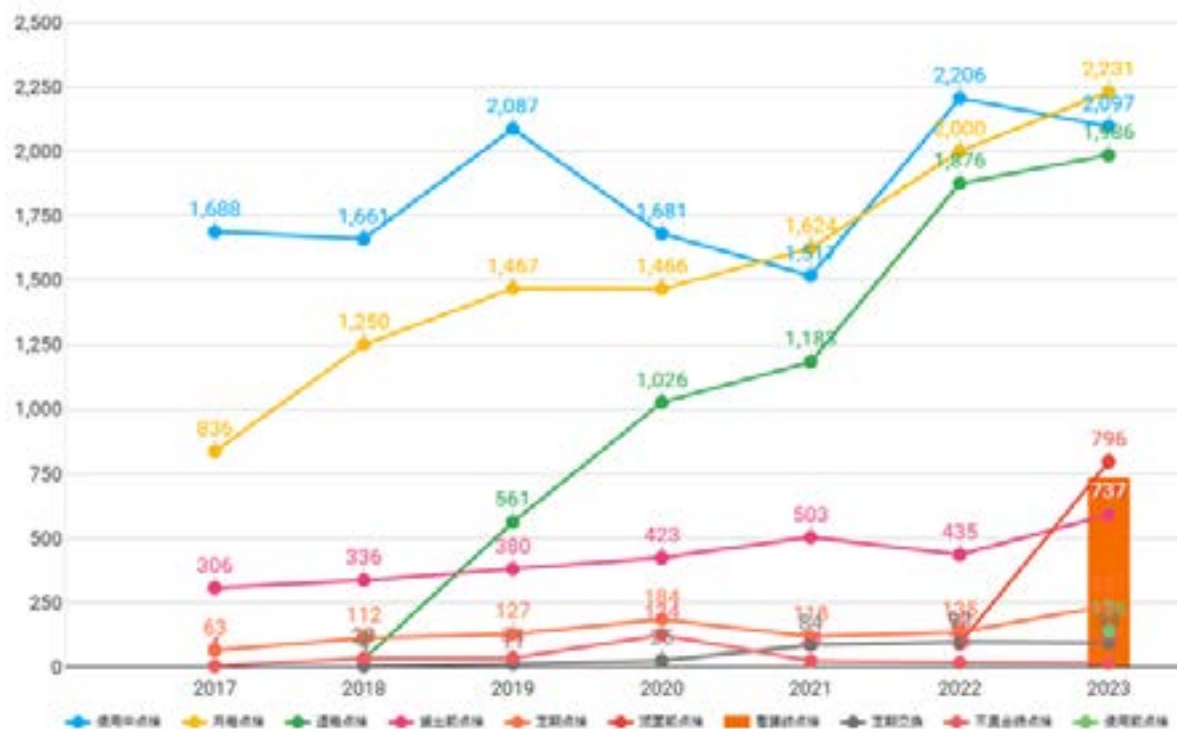
5. 保守点検集計

年々増加、すべての場所で増加していることがわかります。



点検種別件数

2023 年度より看護師による医療機器点検の電子化を開始しました。今後、負担を最低限として、安全のため徹底していきます。日常点検、ラウンド点検を充実させ、予防保守を進めていきます。



6. 臨床支援業務

臨床工学科では臨床支援業務、臨床業務として、依頼を受けて実施しています。

業務内容 ①	件数 ① ▾
1. 機器管理・呼吸	201
2. 血液浄化	167
3. 循環	162
4. 立ち合い業務	15
総計	545

人工呼吸器に関する対応

対応 ①	対応詳細 ①	件数 ① ▾ ①
1. 移動・検査	-	27
2. ジャバラ交換	-	17
3. その他対応	-	4
4. 転院搬送	-	2
5. その他対応	設定変更・設定相談	2
6. マスク	-	1
総計		53

在宅経腸栄養ポンプ

在宅機器種別 ▾	対応業者・対応 ①	対応詳細 ①	件数 ①
1. 経腸栄養ポンプ	退院	-	3
2. 経腸栄養ポンプ	中止	外来	1
3. 経腸栄養ポンプ	その他対応	入院	2
4. 経腸栄養ポンプ	その他対応	外来	1
5. 経腸栄養ポンプ	導入指導	-	1
6. 経腸栄養ポンプ	導入指導	入院	6
総計			14

在宅酸素療法機器

	在宅機器種別	対応業者・対応①・	対応詳細②	件数③
1.	HOT	吉田酸素（コイクは吉田酸素経由）	導入指導	1
2.	HOT	吉田酸素（コイクは吉田酸素経由）	退院	1
3.	HOT	南西	中止	1
4.	HOT	南西	導入指導	18
5.	HOT	南西	その他対応	3
6.	HOT	南西	退院	14
7.	HOT	フクダ	導入指導	16
8.	HOT	フクダ	退院	23
9.	HOT	フクダ	その他対応	6
10.	HOT	フクダ	中止	3
11.	HOT	オカノ	退院	2
12.	HOT	オカノ	その他対応	2
13.	HOT	その他	その他対応	4
14.	HOT	-	-	1
総計				95

在宅持続陽圧呼吸療法装置

	在宅機器種別	対応業者・対応①・	対応詳細②	件数③
1.	CPAP	導入指導	入院	2
2.	CPAP	導入指導	外来	10
3.	CPAP	中止	外来	1
4.	CPAP	その他対応	外来	3
総計				16

在宅中心静脈ポンプ

	在宅機器種別	対応業者・対応①	②対応詳細③	件数④
1.	在宅中心静脈ポンプ	退院	-	2
2.	在宅中心静脈ポンプ	その他対応	入院	1
3.	在宅中心静脈ポンプ	導入指導	入院	6
総計				9

在宅人工呼吸器

	在宅機器種別	対応業者・対応①	②対応詳細③	件数④
1.	人工呼吸器	南西	その他対応	4
2.	人工呼吸器	南西	退院	1
3.	人工呼吸器	フクダ	退院	1
4.	人工呼吸器	その他	その他の対応	1
5.	人工呼吸器	フクダ	その他対応	1
総計				8

ASV

	在宅機器種別	対応業者・対応	対応詳細	件数
1.	ASV	導入指導	-	1
2.	ASV	その他対応	-	4
3.	ASV	退院	-	1
		総計		6

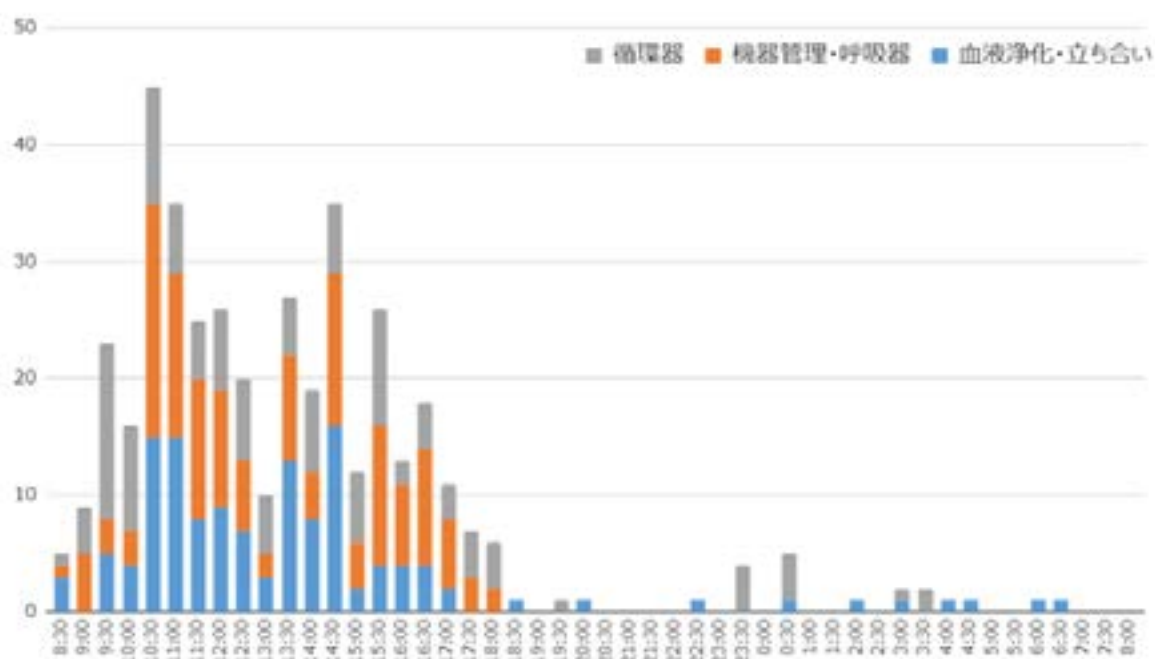
血液浄化

	血液浄化・アフェーシス	臨床業務	対応詳細	件数
1.	腹水濾過	-	-	19
2.	白血球吸着	GCAP	-	14
3.	PE（単純血漿交換療法）	-	-	5
4.	PBSC（自家末梢血幹細胞移	-	-	6
5.	PBSC（末梢血幹細胞採取）	ドナー	-	4
6.	LDL吸着	-	-	21
7.	IRRT（間欠血液浄化）	SLED	導入	6
8.	IRRT（間欠血液浄化）	HD	導入	43
9.	IRRT（間欠血液浄化）	HD	-	2
10.	IRRT（間欠血液浄化）	ECUM	導入	1
11.	CRRT（持続的血液浄化）	CHDF	膜交換	28
12.	CRRT（持続的血液浄化）	CHD	離脱（返血）	1
13.	CRRT（持続的血液浄化）	CHD	導入	1
14.	CRRT（持続的血液浄化）	CHDF	導入	9
15.	CRRT（持続的血液浄化）	CHDF	膜交換スキップ	1
16.	CRRT（持続的血液浄化）	CHDF	離脱（返血）	5
17.	BMSC（骨髄幹細胞）	-	-	1
		総計		167

循環器

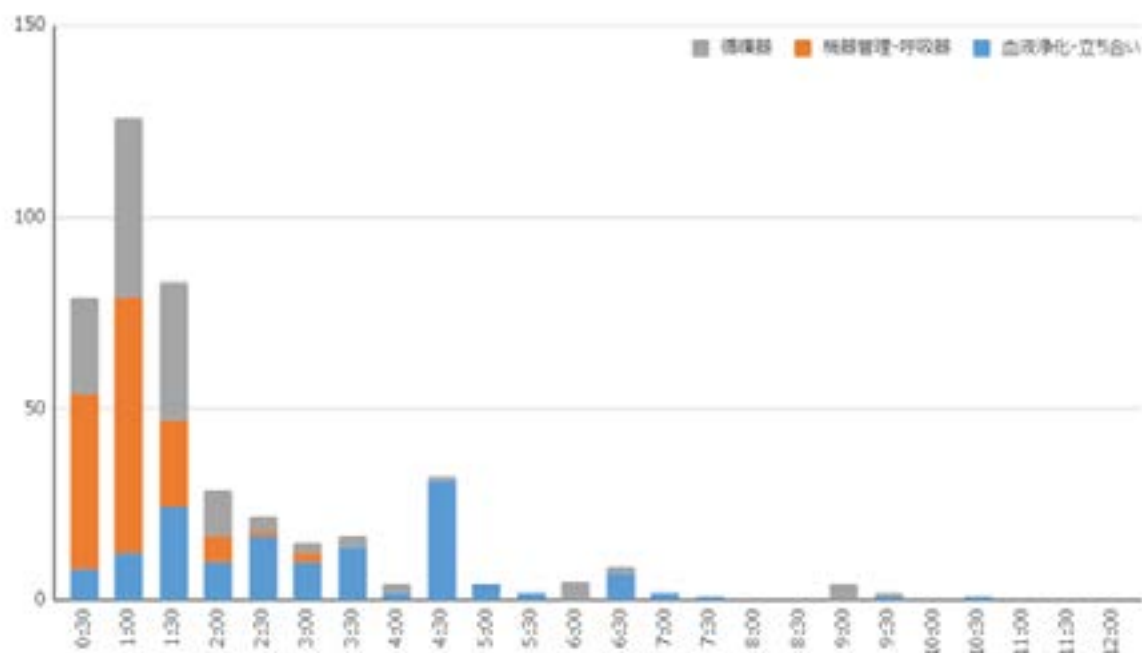
	治療種別 ①+	詳細 ②	臨床業務 ③	件数 ④
1.	脳血管	予定	脳アンギオ	3
2.	PM	1WPM	-	25
3.	PM	術前・術後	-	19
4.	PM	緊急	-	25
5.	PM	MRI	-	34
6.	PM	遠隔	その他	1
7.	ICD	緊急	-	4
8.	ICD	MRI	-	3
9.	ICD	術前・術後	-	3
10.	ICD	CT	-	9
11.	IABP	導入介助	-	2
12.	IABP	移動介助	-	2
13.	IABP	離脱介助	-	2
14.	ECMO	離脱介助	-	2
15.	ECMO	導入介助	-	3
16.	ECMO	管理	-	13
17.	ECMO	その他	-	1
18.	CRT	緊急	-	3
19.	CRT	MRI	-	3
20.	CRT	CT	-	5
総計				162

依頼の発生時刻について



通常業務に追加で対応が必要となるケースがあります。

依頼の所要時間について



立ち合い業務

循環器（血管内治療）、器械だし、血液浄化を除く、立ち合い業務の内訳を下表に示します。

立ち合い内容 ①	実施場所 ②	件数 ③
1. 新規導入機器	-	3
2. その他	-	1
3. RFA	手術室	2
4. RFA	病棟	4
5. NIM	-	5
総計		15

人工呼吸器レンタル業務

院内で不足する人工呼吸器の貸出返却の対応を引き受け対応しています。機器の在庫状況が適正化され、レンタル件数は減少しました。マスク式人工呼吸器のレンタルが主です。

年度	NPPV (V60)	NPPV (ASV)	NHF ネーザルハイフロー
2019 年度	185	43	16
2020 年度	126	26	16
2021 年度	127	11	16
2022 年度	112	12	2
2023 年度	41	1	0

【循環器実績】

アンギオ対応実績

月	カテーテル検査						植え込みデバイス						IVCF	PPI		ABL	脳血管カテーテル	
	CAG	PCI	緊急	総PCI	IABP	ECMO	TPM	PMI	PMR	MRI	外来	上肢PTA		下肢PTA	検査		治療	
4月	14	6	5	11	0	1	2	1	0	0	28	0	3	8	1	0	0	
5月	5	5	0	5	0	0	0	1	0	8	16	0	3	5	1	0	0	
6月	10	1	7	8	0	0	0	1	3	2	27	0	4	5	0	0	0	
7月	11	5	10	15	1	0	0	0	1	5	27	0	8	2	0	0	0	
8月	9	1	6	7	1	1	0	0	1	0	30	0	6	8	0	0	0	
9月	14	1	2	3	0	0	0	0	2	7	30	0	5	3	0	0	0	
10月	8	0	1	1	0	0	2	2	2	3	30	0	7	5	0	0	0	
11月	7	3	5	8	0	0	1	1	1	2	23	0	10	5	2	0	0	
12月	11	3	8	11	2	2	1	2	1	6	32	0	8	1	0	0	0	
1月	13	2	9	11	1	0	1	2	1	3	26	0	1	4	1	0	0	
2月	6	1	2	3	0	0	2	3	0	2	30	0	10	7	0	0	0	
3月	16	3	4	7	1	1	1	1	0	3	29	0	7	5	0	0	0	
総合計	124	31	59	90	6	5	10	14	12	41	328	0	72	58	5	0	0	

※ CAG は検査のみ、PCI+ 緊急が総 PCI 数になります。

PMI: ペースメーカ植え込み術。PMC: ペースメーカクリニック。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

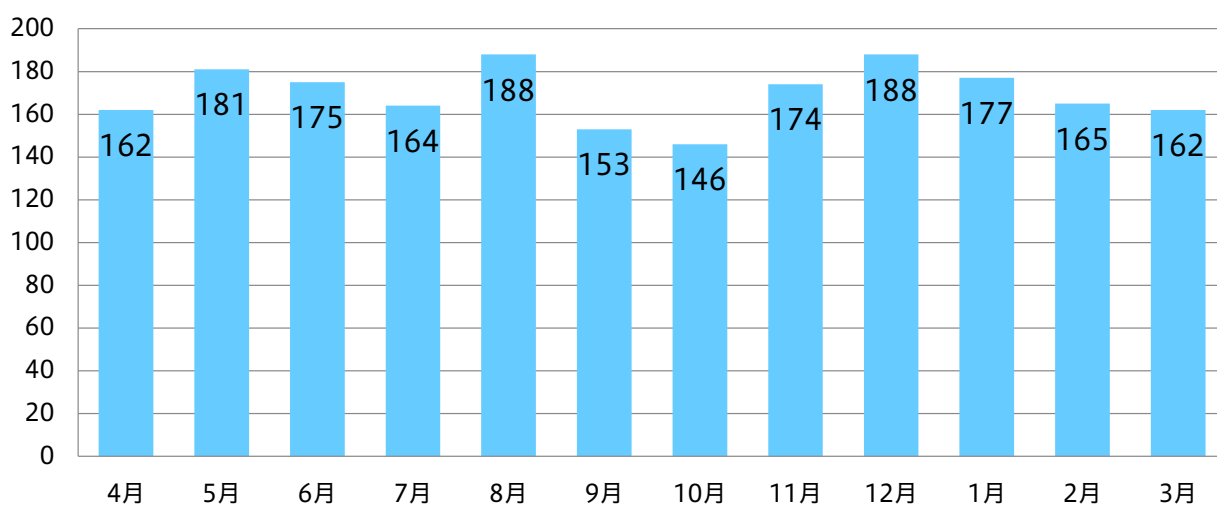
IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカ。

【血液浄化部実績】

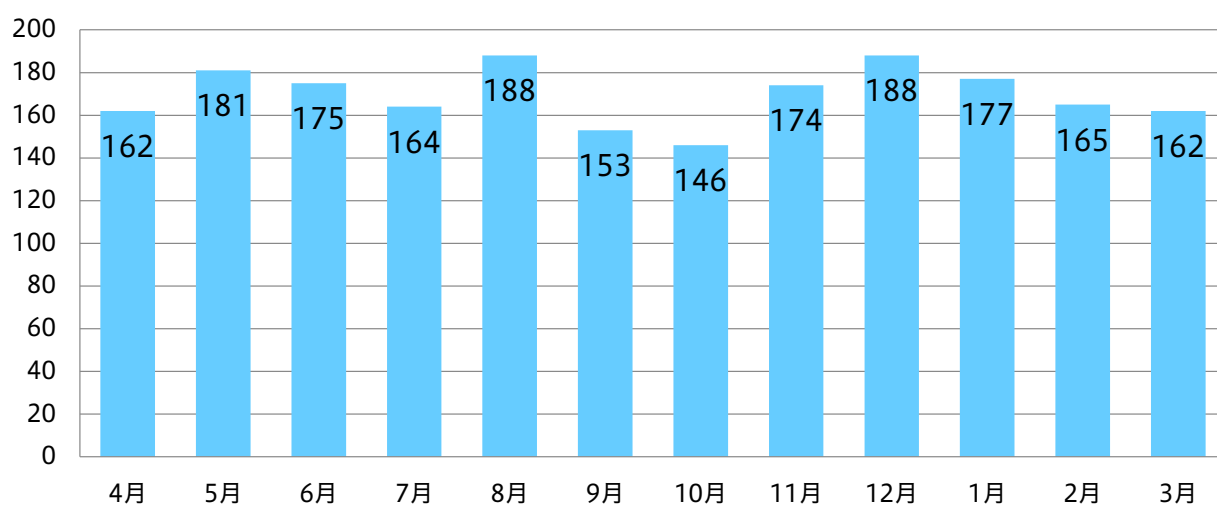
出張血液浄化実績

年月	血液浄化療法										血漿浄化療法			CA RT	PB SC	BM SC	合計
	HD (SLED 含)	HDF (SLED-f 含)	CHD	CHF	CH DF	白血球 除去療法		血液吸着			血漿吸 着 ビリルビン吸着	PP					
						GC AP	LC AP	PMX	DHP	LDL		PE	DF PP				
2023.4	5	0	0	0	16	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	24
5	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
6	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5
7	17	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	50
8	15	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	27
9	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	13
10	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	2	11
11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	0	0	0	0	2	0	11
12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3	0	1	11
2024.1	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4	3	0	15
2	6	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	16
3	1	0	0	0	0	7	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	13
計	61	0	0	0	63	17	0	3	0	18	0	5	0	21	12	1	201

エコー下穿刺件数 計 2,035 件

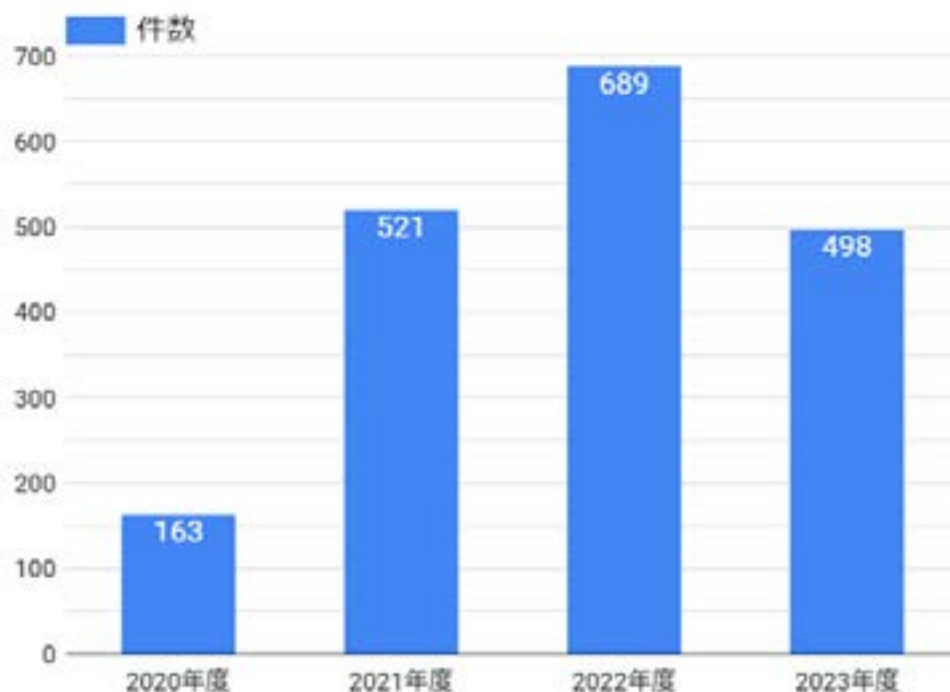


シャントエコー検査 計 268 件



【器械出業務実績】

2021 年より臨床工学科から手術室へ出向し器械だし業務を行っています。



術式（一部抜粋）

術式	件数・
1. 水晶体再建術1.眼内レンズを挿入する場合	36
2. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	27
3. 骨折観血的手術1.大腿	24
4. 帝王切開術2.選択帝王切開	19
5. 腹腔鏡下胆嚢摘出術	16
6. 人工関節置換術1.股	15
7. 創傷処理1.筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)	12
8. 人工骨頭挿入術1.股	11
9. 帝王切開術1.緊急帝王切開	10
10. 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	10
11. 口蓋扁桃手術2.摘出	10
12. 椎弓形成手術	9
13. 腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	9
14. 経尿道的尿管カテーテル留置術	8
15. 関節切開術(関節鏡下によるものを含む)	7

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
新人教育の運用に適したツールの作成及び使用評価について	第 18 回九州・沖縄臨床工学会	福岡県	2023 年 11 月 4 日、5 日	島袋 倫太郎
LINE 公式はじめる沖縄 VA 管理コミュニティ開設の試み	第 27 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会	静岡県	2023 年 11 月 18 日、19 日	大濱 明日香
当院における VA 管理業務の取り組み	第 27 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会	静岡県	2023 年 11 月 18 日、19 日	内里 司
新人教育の運用に適したツールの作成及び使用評価について	第 2 回沖縄臨床工学会	沖縄県	2024 年 1 月 21 日	島袋 倫太郎

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
LINE 公式はじめる沖縄 VA 管理コミュニティ開設の試み	第 2 回沖縄臨床工学会	沖縄県	2024 年 1 月 21 日	大濱 明日香
沖縄 VA 管理コミュニティ開設の試み	Vascular Access 超音波研究会	オンライン	2024 年 1 月 20 日、21 日	大濱 明日香

職員向け医療機器研修

講習名	実施日	講師
ECMO プライミング	2023 年 6 月 6 日	兼城 雅
ECMO プライミング	2023 年 6 月 14 日	兼城 雅
ECMO プライミング	2023 年 6 月 23 日	外間 翔吾
IABP アラームについて	2023 年 6 月 26 日	屋比久 雄飛
ECMO プライミング	2023 年 7 月 7 日	兼城 雅
病棟に NKV の使用方法	2023 年 7 月 18 日	兼城 雅
術中神経モニタリングシステム NIM の操作方法の説明会	2023 年 7 月 21 日	日本メドトロニック
腹腔鏡手術のカメラ操作	2023 年 8 月 24 日	神谷 颯志
12 誘導心電計 (ECG-3250) 更新機器説明会	2023 年 9 月 1 日	日本光電
ディフィブレータ用ペーストの使用説明	2023 年 9 月 20 日	兼城 雅、久貝 慎太郎
ディフィブレータ用ペーストの使用説明	2023 年 9 月 21 日	久貝 慎太郎
循環血行動態モニター EV1000 の原理、使用方法	2023 年 9 月 30 日	仲松 晋也
在宅酸素療法 濃縮器の操作説明会 吉田酸素	2023 年 10 月 10 日	吉田酸素 山内氏
新麻酔器 (Anespirator A65) 導入説明	2023 年 10 月 11 日	アコマ
アコマ 麻酔器 Anespirator A65 の使用方法、日常点検について	2023 年 10 月 11 日	宮川 貴紀
エイミー PCA ポンプの使用方法	2023 年 10 月 13 日	メディコ
フロートラック EV-1000 の説明会	2023 年 10 月 27 日	エドワーズライフサイエンス
低圧持続吸引器の点検方法と返却法	2023 年 12 月 19 日	中村 海斗
除細動器新規導入説明会 使用方法と点検方法	2023 年 12 月 21 日	仲松 晋也、中村 海斗
新人看護師対象 HFT 勉強会	2024 年 2 月 16 日	久貝 慎太郎
NPPV 勉強会	2024 年 2 月 28 日	兼城 雅
本館 7 階看護師対象 IPPV 勉強会	2024 年 3 月 14 日	兼城 雅
本館 7 階 新人看護師対象 NPPV 説明会	2024 年 3 月 18 日	兼城 雅
本館 7 階 看護師対象低圧持続吸引説明会	2024 年 3 月 28 日	中村 海斗

栄養科

栄養科科长 真栄城 ゆかり

慢性的な人材不足解消の為、2023 年度 10 月よりシダックスフードサービス株式会社へ給食業務の委託を開始しました。委託後は人材不足も解消され患者さんに満足頂けるよう安心、安全な給食を提供しております。

給食業務委託化に伴い、管理栄養士の業務においては栄養管理により集中できるようになり、栄養指導件数は前年度比増となりました。また、早期栄養介入管理加算件数は 2022 年度 670 件でしたが 2023 年度は 1,050 件と約 1.5 倍増となりました。

各認定資格においては沖縄県地域糖尿病療養指導士の認定を新たに 2 名取得しました。各認定資格取得に向け学会やセミナーへ参加し、そして専門療法士の育成やスキルアップに繋がるよう今後も支援体制を強化していきます。

職員数

総数

34 名

職種別

<ハートライフ病院>

管理栄養士 7 名

<シダックスフードサービス>

管理栄養士 4 名

調理師 11 名

調理補助 6 名

食器洗浄 6 名

認定・資格

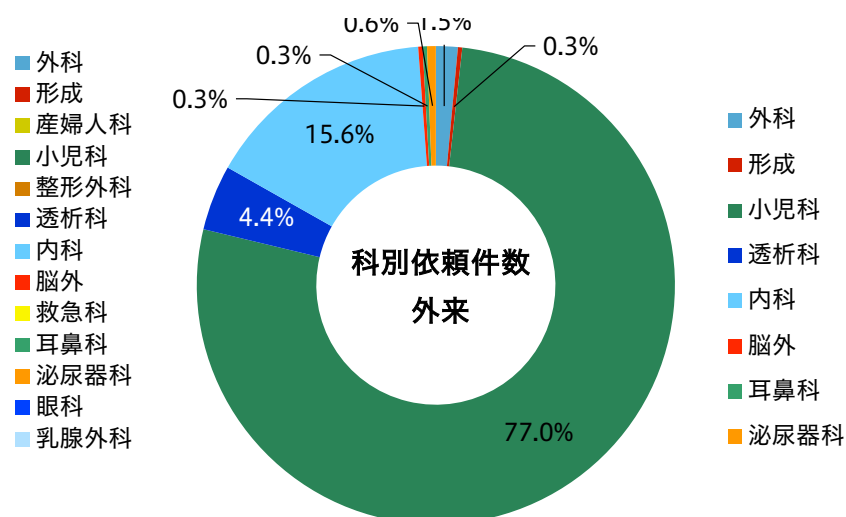
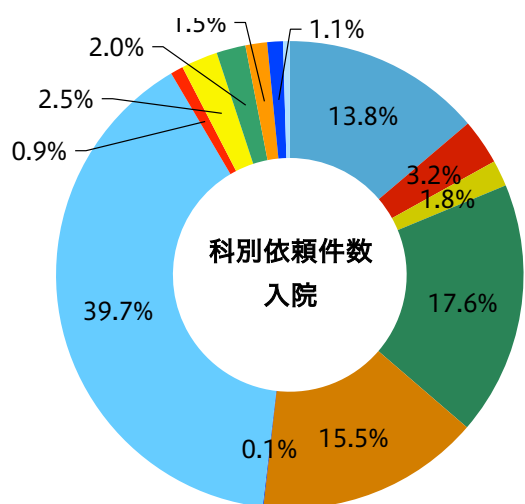
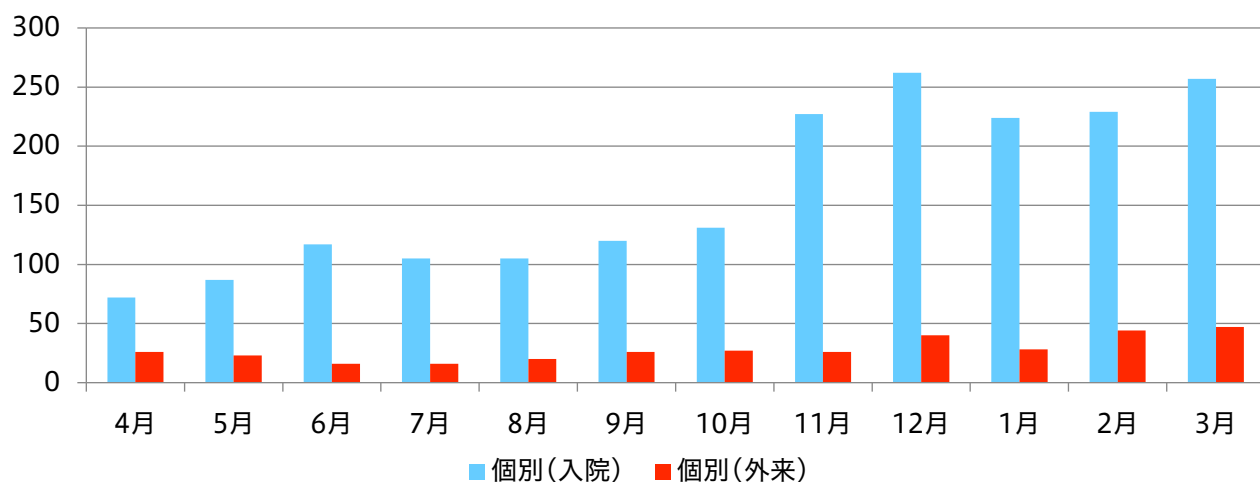
氏名	認定・資格名
真栄城 ゆかり	栄養サポートチーム専門療法士
當眞 結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
高屋 美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士

氏名	認定・資格名
中村 詩	沖縄県地域糖尿病療養指導士
末吉 花穂子	沖縄県地域糖尿病療養指導士
島袋 夏音	沖縄県地域糖尿病療養指導士
大屋 リサ	沖縄県地域糖尿病療養指導士

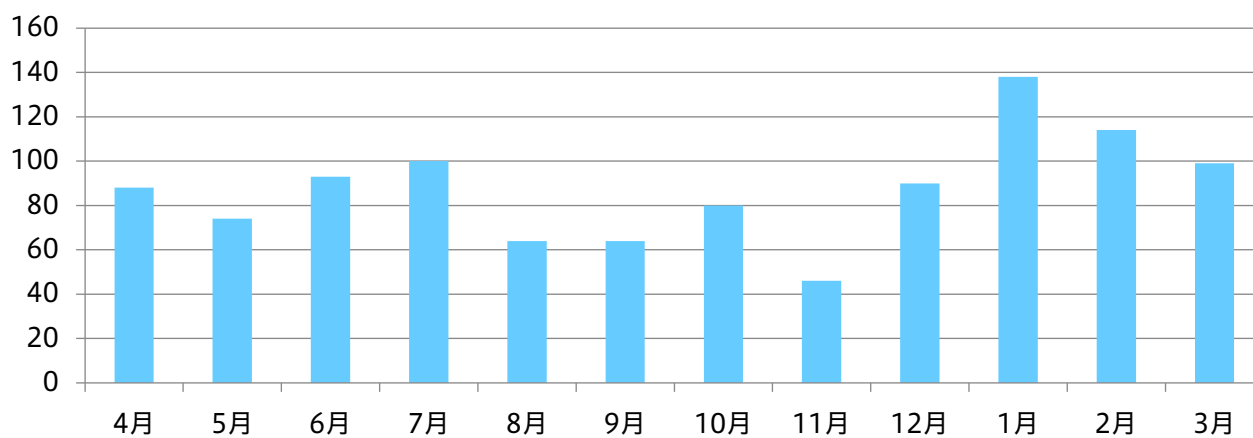
運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

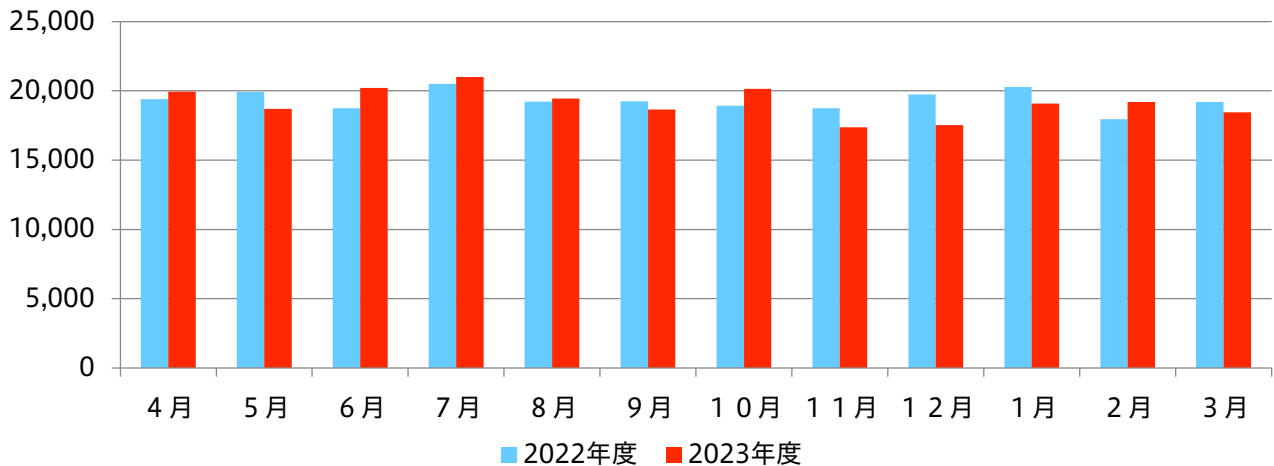
2023 年度栄養指導実施件数



早期栄養管理加算



2022 年度と 2023 年度の月間食数比較



活動実績

科内研修

名称	実施年月日	担当
食中毒対策	2023 年 4 月 27 日	大浦
食の多様化	2023 年 6 月 16 日	當眞
透析食について	2023 年 9 月 5 日	島袋
禁忌食材について	2023 年 10 月 26 日	大屋
食品衛生について	2023 年 12 月 16 日	高屋、河下 (シダックス)
誤嚥について	2024 年 2 月 22 日	末吉

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
「外来化学療法栄養チーム」における栄養士の役割	オンライン	2023 年 5 月 23 日	高屋
ベジタリアンヴィーガン・ハラール等のフードダイバーシティセミナー	オンライン	2023 年 6 月 10 日	當眞
沖縄 CDE 総会	オンライン	2023 年 6 月 25 日	當眞、大浦、末吉、港川
頭頸部外科で扱う病気、治療、予防について	オンライン	2023 年 7 月 30 日	高屋
糖尿病を持つ人とともに考えるこれからの糖尿病医療	オンライン	2023 年 6 月 28 日	當眞
おいしく治す食物アレルギー攻略法	オンライン	2023 年 7 月 26 日	當眞、大浦、末吉、島袋
小児アトピー性皮膚炎新規外用薬をどう使う？	オンライン	2023 年 9 月 5 日	大浦、當眞
頭頸部がん治療におけるサポーターケア～栄養療法	オンライン	2023 年 9 月 8 日	高屋
食物アレルギーセミナー	オンライン	2023 年 9 月 17 日	高屋
重症患者における早期栄養介入の実践	オンライン	2023 年 10 月 19 日	當眞、高屋、大浦、末吉、大屋
がん治療と有害事象、サルコペニア対策	オンライン	2023 年 10 月 20 日	高屋
透析患者の栄養管理を考える	オンライン	2023 年 11 月 8 日	大浦
大塚製薬勉強会 (ハイネックスリニユート)	栄養科	2023 年 11 月 14 日	真栄城、高屋、當眞、大浦、末吉、島袋、大屋
嚥下食、物性のバラつき解決セミナー	オンライン	2024 年 1 月 25 日	真栄城、高屋、當眞、大浦、島袋、大屋
JASPEN	オンライン	2024 年 2 月	真栄城、高屋
学会分類 2021(とろみ)と粘度調整のポイントを徹底解説セミナー	オンライン	2024 年 2 月 28 日	真栄城、高屋、當眞、大浦、末吉、島袋、大屋
その褥瘡どうケアする？	オンライン	2024 年 3 月 21 日	真栄城、高屋、當眞、大浦、末吉、島袋、大屋
食糧学会	オンライン	2024 年 3 月	真栄城、高屋

院内研究発表会

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
安心安全喜ばれる食事を提供する為に	院内発表会	院内	2023 年 11 月 20	末吉 花穂子

講師依頼

題名	開催地	実施年月日	参加
褥瘡患者の栄養	褥瘡委員会	2023 年 9 月 5 日	末吉 花穂子
食物繊維について	糖尿病委員会	2023 年 9 月 8 日	中村 詩

薬局

薬局長 大関 秀和

部署紹介

医薬品の新規採用とそれに関わる医薬品情報の整備を行っています。特に年々発売数が増えるがん治療領域で抗がん剤プロトコルの作成、改訂を行っています。患者指導箋などを活用し、患者指導に力を入れています。ポリファーマシーと言われる多剤併用について、患者持参薬情報などを活用し取り組みを強化しています。

職員数

総数

23 名

職種別

薬 剤 師 17 名

一般事務 2 名

薬局助手 4 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師 医療安全管理者
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
義田育美	NST 専門療法士 医療安全管理者

薬局理念

薬物療法のプロとして、安全に、安心な治療が受けられるようにサポートします。

目標

1. 医薬品の安全使用と管理の徹底
2. 多職種と連携した適切な薬物治療の推進
3. 新しい知識・技能の習得

2023 年度計画及び実績

項目		実績
薬剤管理指導	指導料1	1,287 件 (380 点)
	指導料2	6,848 件 (325 点)
	麻薬管理加算	123 件 (50 点)
	退院時加算	231 件 (90 点)
無菌製剤処理料		1,984 件 (180 点)
ポリファーマシー	薬剤調整加算	42 件 (150 点)
	薬剤総合評価調整加算 (入院)	69 件 (100 点)
	薬剤総合評価調整管理料 (外来)	1 件 (250 点)
	退院時薬剤情報連携加算	65 件 (60 点)

項目		実績
薬学実習受け入れ		1 名
情報配信	DI ニュース	3 報
情報配信	後発品採用率	92.3% (2022 年 3 月 目標 80%)
職員人数	厚労省通知	0 報
	メーカーの通知	20 報
	エントランス案内	60 報

採用変更実績

- ・ 5 月 新規採用：6 品目 採用切り替え：5 品目 採用中止：なし
- ・ 9 月 新規採用：8 品目 採用切り替え：7 品目 採用中止：なし
- ・ 1 月 新規採用：6 品目 採用切り替え：5 品目 採用中止：なし

後発品使用率は年間を通して 90% 以上を保っています。

後発品使用体制加算の維持

薬品マスターの新規作成及び、後発品目への切り替え設定を行う。後発品への切り替えでは、患者セットや医師セット、クリニカルパスなどの修正を行う。更に各部門への切り替え案内を発行し、電子カルテエントランスにて案内を行っています。

がん管理指導料の自動算定のための設定やインスリン管理画面への登録など、薬品マスターの作成、設定業務は多岐に及びます。

2022 年度に引き続き、多くの薬剤の納入不安定などにより薬品の切り替え業務が多く発生しました。

抗がん剤プロトコール新規作成

内科：2 外科：2

文献や製薬メーカーのパンフレットなどを使用し、投与量の設定や支持療法の決定などを行っています。催吐性リスクや血管外漏出時の薬剤レベルなどの確認を行っています。

2024 年度診療報酬改定に向けた取り組み

一般名処方加算の取得に向け、院外処方せん用マスターの整備を行います。現行、一般名処方加算 2 が取得できており、院外発行の 50% 程度の取得率でした。2024 年度は加算 1 の取得と全体的な加算取得率向上を目指します。

バイオ後続品使用に関する診療報酬改定により、入院時にバイオ後続品を使用した場合 100 点を加算できます。現在の当院のバイオ使用量では、算定基準をクリアしていないため使用率を上げる必要があります。現在使用している薬剤で、変更可能なものを次年度に向けて検討していきます。

ポリファーマシーへの取り組み

6 剤以上の多剤服用患者に対し服用理由を見直し減薬へ取り組むことで薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算、退院時薬剤情報連携加算を取得しています。今後もポリファーマシー委員会を中心に病棟薬剤師・入退院支援室と連携して患者の拾い上げを行い、他医療機関との情報共有のツールとして薬剤管理サマリーの整備を行い、これらの加算の取得率向上を目指します。

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 新垣 健

2023年度は、新たにリハビリテーション科担当医師が就任し、リハ業務に対する医師との連携がより明確化され、強化された一年となりました。

また、リハビリテーション提供の基本となる、脳血管疾患リハⅠ、運動器疾患リハⅠ、呼吸器疾患リハⅠ、心リハⅠ、がんリハの施設基準を満たすことができ、急性期リハに求められる役割を果たして参りました。並びに、働きやすい職場作りを目指し、環境整備にも取り組みました。

2024年度は、働きやすい職場作りの基本となる人材確保・育成を念頭に一つずつ課題解決に向け取り組んでいきます。

職員数

総数 44名

職種別

理学療法士 25名

言語聴覚士 6名

作業療法士 11名

助手 2名

認定・資格

氏名	資格・認定資格
理学療法士	
新垣 健	がんのリハビリテーション研修終了
波平 静香	呼吸療法認定士 がんのリハビリテーション研修終了
金城 勝一朗	がんのリハビリテーション研修終了
仲村 和也	がんのリハビリテーション研修終了 日本フットケア・足病医学会認定師
知花 勝也	がんのリハビリテーション研修終了
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修終了
福地 美香	呼吸療法認定士 がんのリハビリテーション研修終了
天久 真理子	がんのリハビリテーション研修終了
呉屋 絵美里	がんのリハビリテーション研修終了
仲里 かな子	がんのリハビリテーション研修終了
藤岡 智	がんのリハビリテーション研修終了
西里 彩花	がんのリハビリテーション研修終了

氏名	資格・認定資格
作業療法士	
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士 公認心理師
宮城 奈津希	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
佐々木 正雪	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
渡嘉敷 こずえ	がんのリハビリテーション研修終了
金城 春菜	がんのリハビリテーション研修終了
安慶名 正樹	がんのリハビリテーション研修終了
言語聴覚士	
大城 盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
比嘉 豊子	がんのリハビリテーション研修終了

2023年度の運営方針

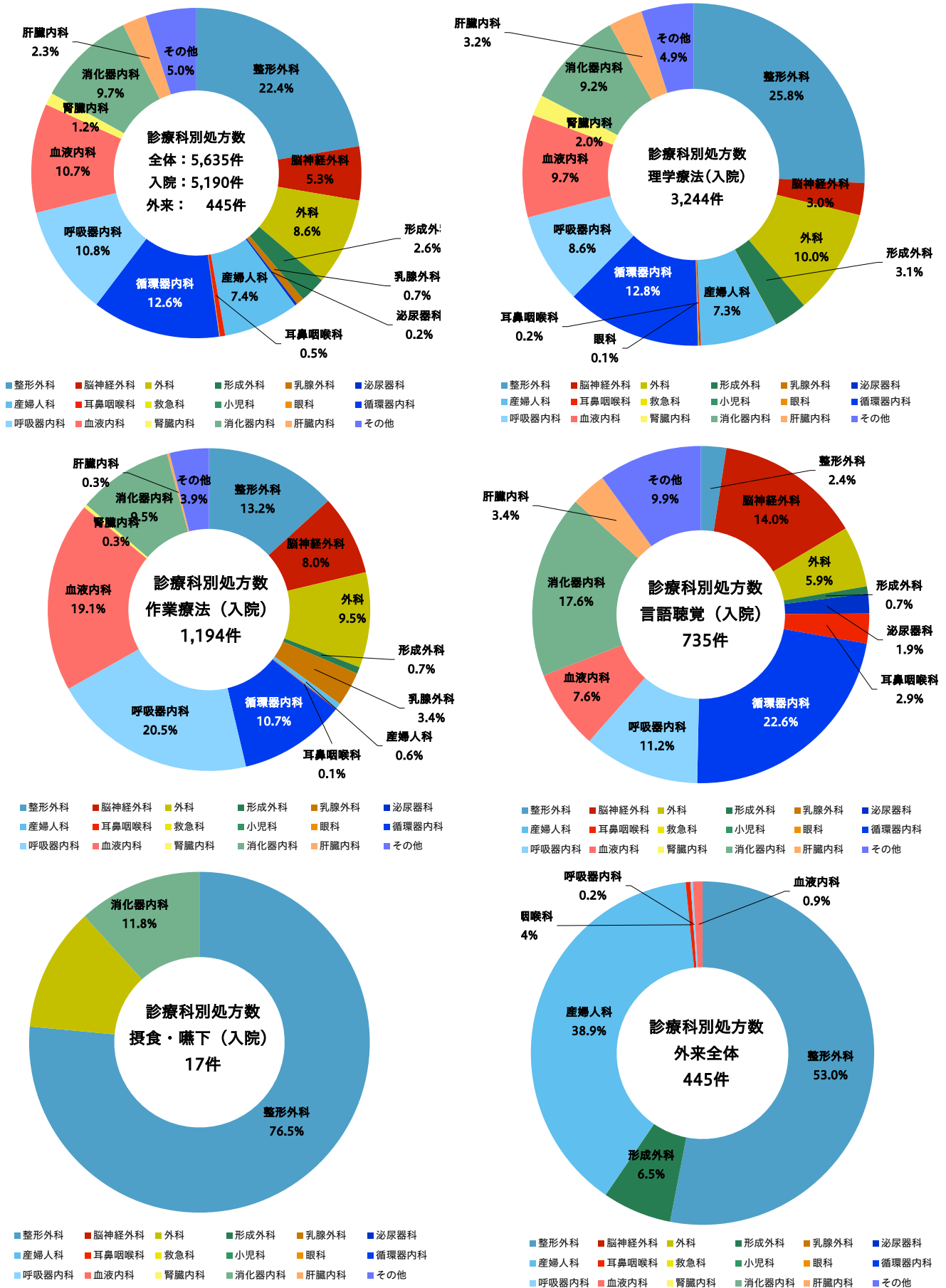
リハビリテーション科及び個々の診療技術の向上

働きやすい職場作りの推進

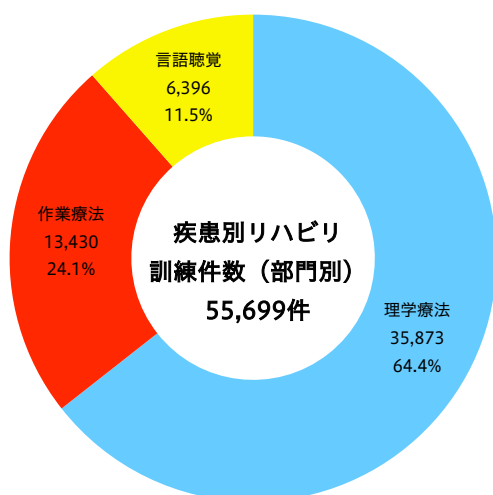
人材確保・育成

検査・治療実績

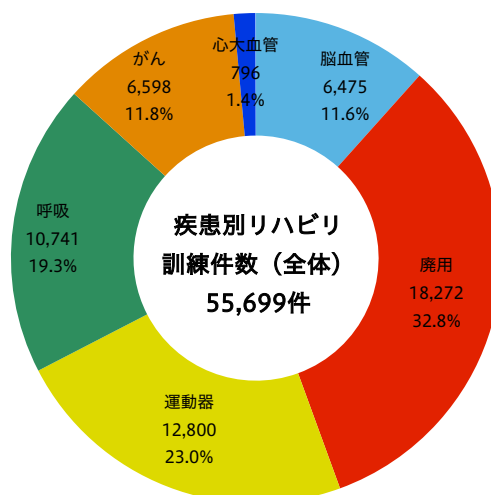
診療科別リハビリテーション処方状況



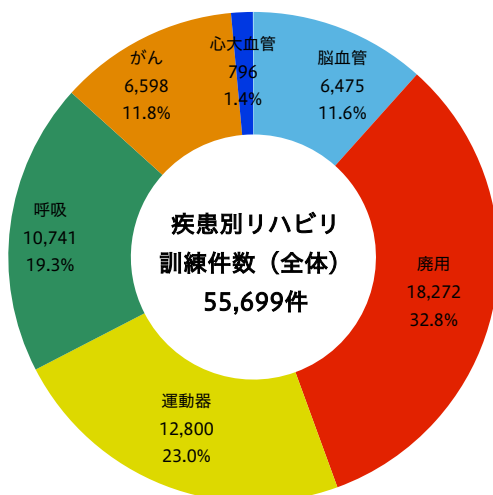
疾患別リハビリテーション実施状況



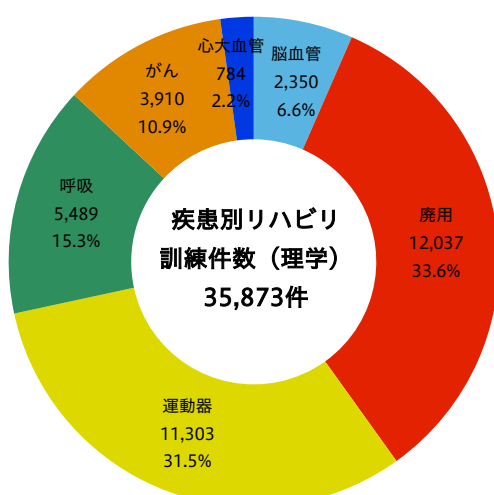
理学療法 作業療法 言語聴覚



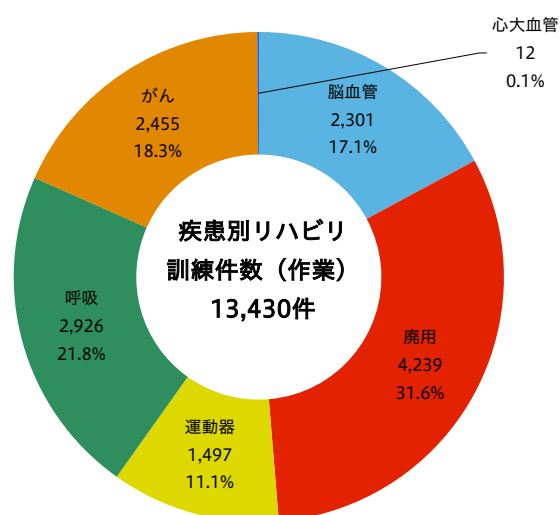
脳血管 廃用 運動器 呼吸
がん 心大血管 摂食嚥下



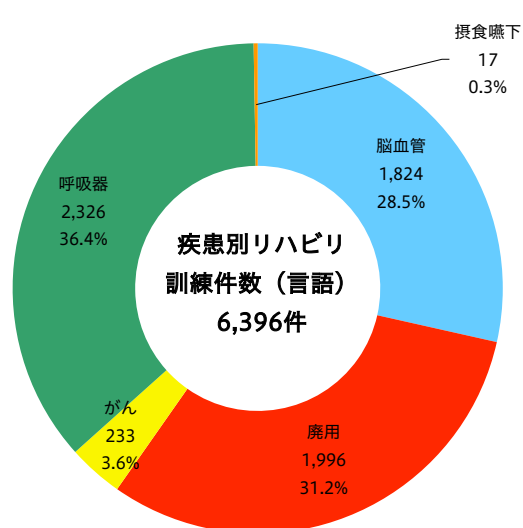
脳血管 廃用 運動器 呼吸
がん 心大血管 摂食嚥下



脳血管 廃用 運動器 呼吸 がん 心大血管

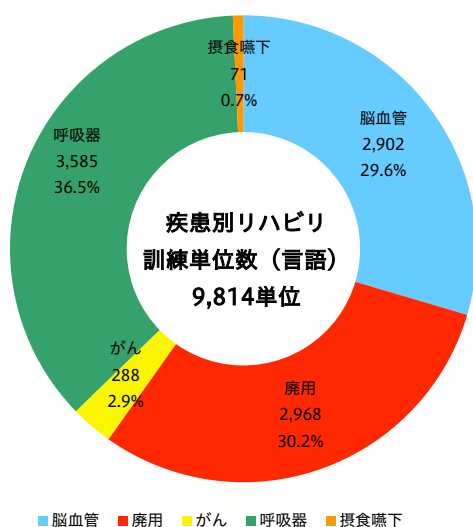
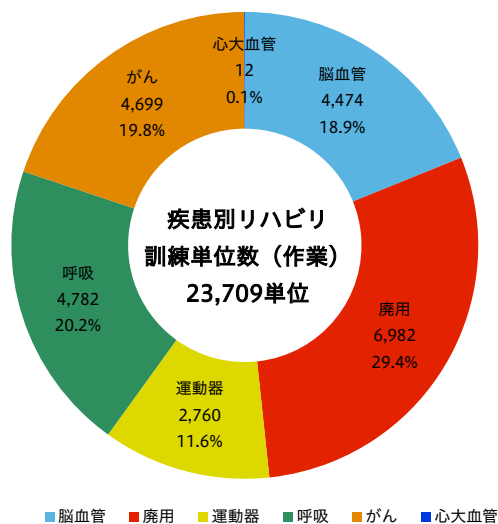
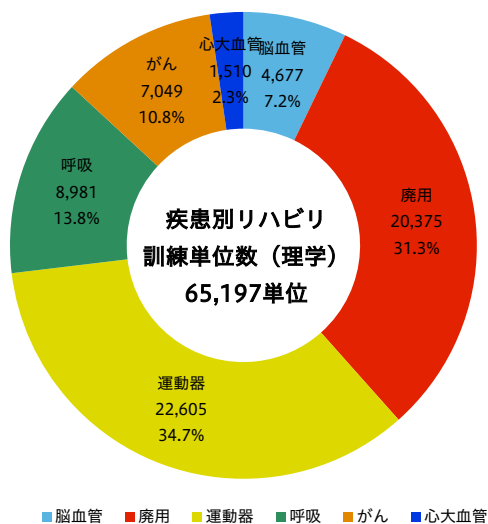
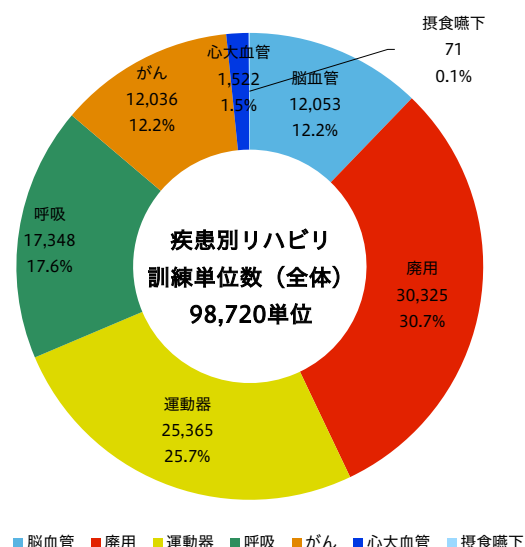
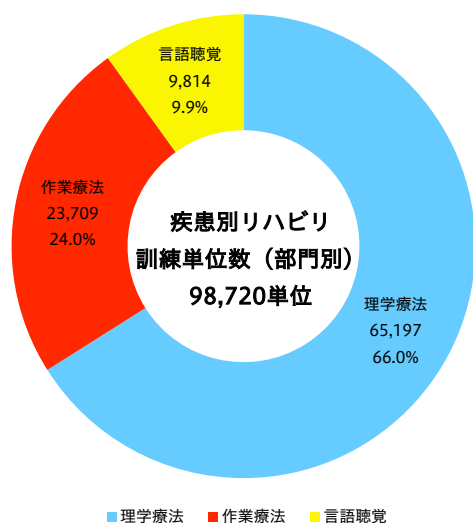


脳血管 廃用 運動器 呼吸 がん 心大血管



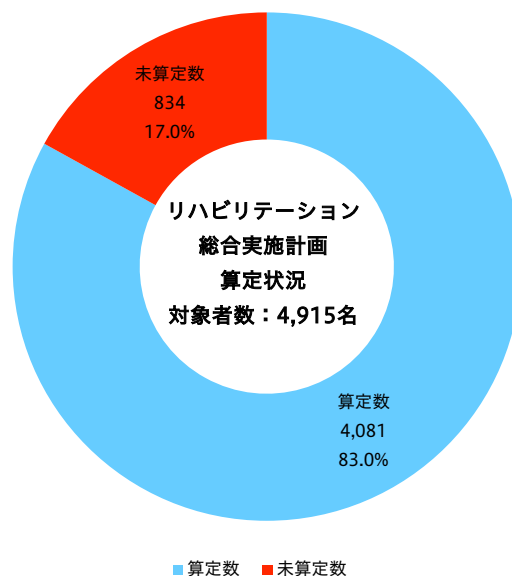
脳血管 廃用 がん 呼吸器 摂食嚥下

疾患別リハビリ訓練単位数



リハビリテーション総合実施計画

対象患者数	4,915
算定数	4,081
未算定数	834
算定率	83.0%
未算定率	17.0%
算定点数	1,224,300
未算定点数	250,200



活動実績

院内講師

名称		開催地	年月日	講師
(講師) 摂食嚥下障害と食事介助の基礎知識	新人看護研修	院内	2023 年 4 月 1 日	大城 盛彦
(講師) 移乗動作について	新人看護研修	院内	2023 年 4 月 1 日	宮里 脩治、比嘉 七瀬、 譜久村 日和、仲村渠 友弥、 上江洌 孝太、田場 朗、 渡部 尚悟、安慶名 正樹、 藤岡 智、照屋 俊樹、 天久 真理子、波平 静香

医療技術部 年度総括

2023 年度は 5 月によりやくコロナが 5 類に落ち着いた年となりました。しかし昨年度はコロナが収束し医療技術部の各部署が積極的に人員確保に躍起に取り組んだにもかかわらず、なかなか結果を出せないのが実情でした。

以下、医療技術部、各部署の 2023 年度の現状を報告します。

【薬局】

現在薬局は薬剤師定数 22 名に対し欠員が 5 名となっています。2023 年度は積極的に募集をかけたのですが応募はありませんでした。県内に薬科大学がないのが最大の要因かもしれません（沖縄出身の薬剤師が絶対的に不足している）。しかし当直の維持、薬剤師の病棟配置を実践するうえで薬剤師の確保は緊急課題だと思っています。次年度も県外の薬科大学を積極的に訪問し薬剤師の人材確保に努めたいと思います。

【リハビリテーション科】

昨年度、在籍していた心臓リハビリの理学療法士（PT）1 名が退職となり、心臓リハビリ PT の育成が喫緊の課題となっていました。その後当院在籍の PT の 1 名が心臓リハビリの資格を取得したため、循環器内科と 7F 病棟で連携を取りながら心臓リハビリの再開を行っています。

2024 年度までにはあと 1 名の心臓リハビリの有資格者を育成したいと考えています。言語聴覚士（ST）は前年度から退職が相次ぎ、ST 定数 6 名に対し 3 名しかいない状態なので、危機感を持ちつつ早急に欠員補充を進めたいと思います。

OT に関しても現在欠員がある状況なのでそれも含めて欠員補充を図りたいと思います。県内のリハビリ系学校だけではなく首都圏、関西、九州等の学校にも照準を合わせ積極的なリハビリスタッフの獲得に動きます。

【栄養科】

栄養科は 2023 年 10 月より給食業務をシダックスへ委託を始めました。現在、栄養士 4 名、調理師、調理補助、洗い場のスタッフをシダックスへ委託を行っています。

委託を始めた当初は混乱やインシデントも多々見受けられましたが、最近はかなり安定した給食提供を行っています。それにより当院の管理栄養士 7 名が入院患者の栄養指導や NST など加算の取得できる業務に集中することができ、患者さんの食からの健康増進という本来の業務に専念することができています。

次年度は老朽化した厨房の床など環境改善にも目を向けていきたいと思います

【臨床検査科】

2023 年度は当院の検査技師が細胞検査士の資格を取得したので現在 3 名の細胞検査士が在籍しています。当院での病理診断のキャパを考えたとき、さらに細胞検査士を増やす必要があると考えています。2023 年度はさらに 2 名の細胞検査士を増やすべく、研修や受験等を病院としてサポートしていきたいと考えています。

【臨床工学科】

臨床工学科のスタッフは 2 名の欠員状態です。今後は手術支援で入っている臨床工学士は透析、機器管理、手術支援とローテーションを組み合わせながらストレスの少ない枠組みを考えたいと思います。

また 2024 年度には手術支援ロボットダヴィンチの導入が計画されています。手術支援ロボットには臨

床工学技士（CE）の協力が不可欠なので今後は手術支援ロボット対応の CE を 3 名に増加させたいと考えています。

【放射線科】

放射線科は欠員もなく安定的に業務がこなせています。2023 年度は年度末に 2 名の放射線技師が退職しましたが、間を空けずに 3 年目の技師と新卒の就職がありました。3 年目の技師は半年をめどに、新卒は 1 年後をめどに当直ができるまでの技術習得を進めていきます。また 2022 年度に 2 名の技師が胃がん検診専門技師に合格したので早めに登録を進めたいと思います。さらに 2023 年度は 3 名の技師が胃がん検診専門技師に合格したので 2024 年度中には登録を計画したいと思います。

【総括】

医療技術部の今後は積極的な学校訪問に加え、オンラインがなども活用し、着実に職員募集を行えるような方法を模索していきたいと考えています。職員募集を「待ち」の体制ではなく積極的な「攻め」の体制で進め、さらに職員が定着するような教育と環境を整えたいと考えています。

次年度は新型コロナで減少した県内外で学会発表、座長、講師等を積極的に増やしていきます。

今後も気を緩めることなく引き続き感染対策を徹底し、患者さんと職員の安全を第一に業務に取り組みたいと思います。

医療技術部部长 宮城 竜也

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理者 比嘉 暢

平成 19 年に当院の医療安全管理部門として、組織横断的活動を行うために病院長からの直属として医療安全管理室が設置されました。医療安全管理責任者を副院長とし、専従で医療安全管理者が配置されています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の管理者総勢 26 名で構成され、毎月の委員会と毎週のカンファレンスを開催しています。

医療安全管理室 理念

1. 心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化の醸成を促進する

職員数

総数

2 名

職種別

医療安全管理室 専従看護師 1 名 専従事務 1 名

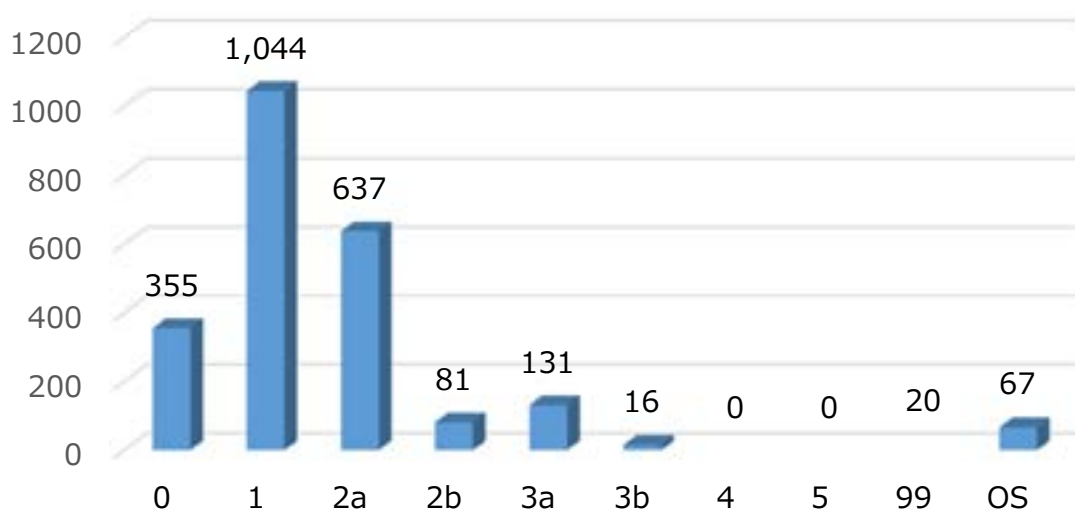
認定・資格

氏名	認定・資格名
比嘉 暢	医療安全管理者認定

2023 年度 目標

- ・ 安全風土の醸成（インシデント報告件数 150 件以上 / 月、医局報告件数 10 件以上 / 月、オカレンス報告の定着）
- ・ インシデントレベル 2：850 件以下 / 年、レベル 3 以上 100 件以下 / 年
- ・ 内服における事象 300 件以下 / 年
- ・ 高齢化に伴うインシデント内容の分析、対策強化

2023年度 事象レベル毎発生件数：2,351件



患者影響レベル

0: 当該行為が患者に実施される前に気づいた

1: 当該行為が実施されたが患者に変化がなかった【すぐ気づいた為、問題にならなかった】

2a: 当該行為が実施され一時的な観察が必要となった【内部調査が必要になった】

2b: 当該行為が実施され検査が必要となった【内部調査に加え患者家族への対応が発生した】

3a: 当該行為のため簡単な治療や処置を要した【患者家族へ病院として謝罪や説明が必要になった】

3b: 当該行為のため濃厚な治療や処置を要した【患者家族へ謝罪に加え何らかの保障が必要になった】

4: 当該行為により障害が残った

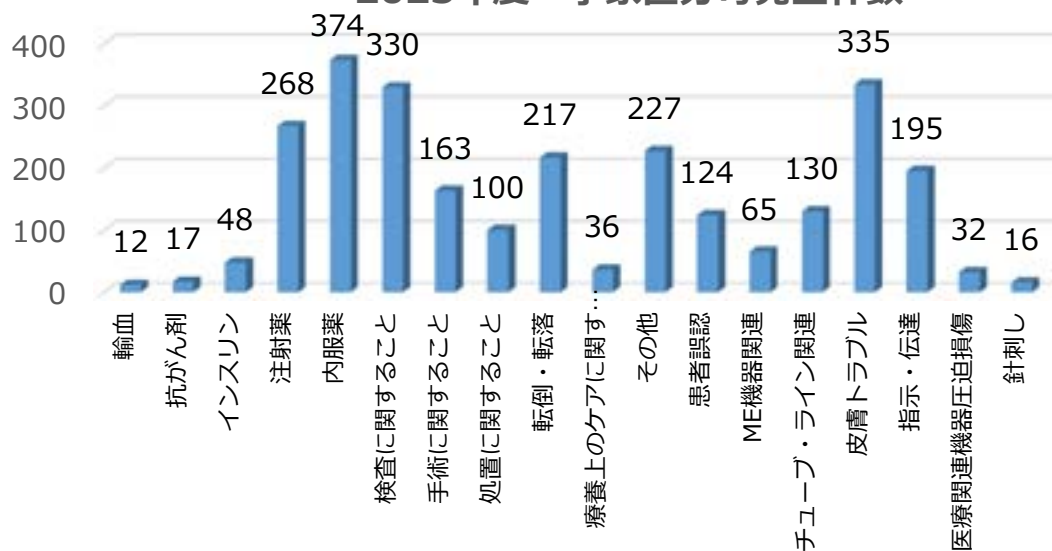
5: 当該行為が死因となった

99: その他(原因不明)

OS: 患者サポート

※「OS」は当院独自の基準で患者サポート委員会にて検討し対応を協議しています。

2023年度 事象区分毎発生件数



医療安全管理室 年度総括

2023 年度は安全風土の醸成(①インシデント報告件数 150 件以上 / 月、②医局報告件数 10 件以上 / 月、③オカレンス報告の定着)、④内服における事象 300 件以下 / 年、薬剤部払い出し事象 5 件以下 / 月、⑤インシデントレベル 2 : 850 件以下 / 年、レベル 3 以上 100 件以下 / 年、⑥高齢化に伴うインシデント内容の分析、対策強化を目標に活動してきました。

①については目標件数および QI 目安となる病床数の 5 倍以上の報告件数がありました。しかし、②医局報告件数においては、目標件数および QI 目安となる病床数の 5 倍以上の報告件数の内 1 割が医師からの報告には満たしませんでした。ただし、医師との連携におけるインシデントにおいて、0 レベルでの多職種からの報告が多く挙がり、チーム医療としての安全風土の醸成が伺えました。それを裏付けるものとして、⑤レベル 3 以上 100 件以下 / 年の目標は達成できませんでしたが、レベル 2 : 850 件以下 / 年に対して、718 件と目標を達成することができました。QI 目安となるインシデント・アクシデントレベル指数で見ると、2022 年度はレベル指数 1.53 に対して、2023 年度はレベル指数 1.29 と、レベル 0、1 の報告数の増加が見られました。このことから安全風土の醸成が伺えます。④内服に関しては残念ながら目標を達成することができませんでした。内服薬においては、医学の発展や技術開発の進展によって、多くの新薬が医療現場に導入されており、こうした先進医薬品とともに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の導入もあいまって、医療現場で使用する薬剤が多様多様となっています。今後、医師・薬剤師・看護師の連携をより強化して取り組んでいく重要性を感じました。⑥高齢化に伴うインシデントにおいては、皮膚・排泄ケア認定看護師と連携し、インシデントレベル 0、1 の報告を強化し、予防行動の強化を図りました。

2024 年度に向けては、今年度目標達成できなかった、②医局報告件数の増加とレベル 3 以上の報告件数の低減に向けての働きかけを行い、さらなる安全風土の醸成に取り組んでいきます。

医療安全管理室 比嘉 暢

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室 城間 克也

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、専従看護師が配置されました。感染対策教育は、全職員を対象とする講習会を年 2 回実施。他には、新人教育、研修医研修、看護部中堅研修、助手研修、部署別研修、手指衛生改善活動などを実施しています。

抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を平成 30 年に立ち上げ、検査技師 1 名が業務専従のため感染対策管理室に配置されました。抗菌薬適正使用や耐性菌発生抑制への各取り組みを AST の中心となり活発的に活動しています。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、感染対策に関する問題や課題を挙げ、必要な指導や教育、感染対策マニュアルの見直しや改訂などを通し改善活動を行っています。サーベイランスで得られた情報や結果を基に、ICT 耐性菌ラウンドや AST 抗菌薬適正使用ラウンドを実施。続けて ICT/AST ミーティングを行い現場での感染対策実践や適正な感染症診療への支援に繋がっています。看護部、医療技術部、事務部の各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会の企画運営を行い、全職種で感染対策に挑む体制作りとその実践を遂行しています。

感染管理対策室 理念

感染管理を通して、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

3 名

職種別

専従看護師 1 名

専従検査技師 1 名

一般事務 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
城間 克也	感染管理認定看護師

氏名	認定・資格名
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物学)

活動実績

2023 年度の目標と実績 (実績 / 目標)

MRSA 院内発生	45 件 / 50 件以下
アルコール製剤使用達成度 (推奨使用量に対し)	60.9% / 100% 以上
手指衛生遵守率「患者に触れる前」	47.5% / 80% 以上
針刺し切創・粘膜汚染	18 件 (14・4) / 15 件以下

血液培養 汚染率	1.5% / 3.0% 以下
血液培養 複数セット採取率	96.2% / 90% 以上
カルバペネム系抗菌薬 AUD 2013 年度比	33% 減 / 25% 減

主な活動

1) 職員教育

- ・ AST4 職種（医師、看護師、検査技師、薬剤師）対象講習会 受講率 70.7%【グループセッション、youtube】
- ・ 全職員対象感染対策講習会（兼 AST 枠） 受講率 74.8%【グループセッション、youtube】

2) 感染委員会の開催

- ・ 月 1 回定例開催で 12 回の開催
- ・ 感染小委員会月 1 回定例開催で 11 回の開催（保健所監査対応で 1 回の中止）

3) アウトブレイク調査と対策介入

- ・ 入院病棟における患者及び職員の COVID-19 集団感染 / 濃厚接触者発生への対策介入

4) 職業感染予防および職員フォロー

- ・ 針刺し事例 14 件への介入（状況調査、解決案検討と提示）

5) 外部サーベイランス、医療関連感染サーベイランスの実践

- ・ 厚生労働省サーベイランス（JANIS）の全入院患者部門（耐性菌）、検査部門それぞれの集計・管理・報告
- ・ デバイス関連感染サーベイランス、SSI（手術部位感染）サーベイランスの新規整備、集計、評価

6) 感染対策向上加算における連携施設との活動

- ・ 向上加算 1 施設間の相互ラウンド
- ・ 中部保健所、中部地区医師会と連携し、向上加算 3 との合同カンファレンスを 4 回実施（うち 1 回は感染症訓練）
- ・ 連携のある外来感染対策向上加算施設 3 施設に対し感染症訓練を開催実施

7) AST 活動

- ・ 菌血症患者のモニタリング・介入
- ・ 血液培養の 1 セット提出と汚染事例の監視と介入
- ・ 届出抗菌薬使用（バンコマイシン / チエクール / メロペン）モニタリング
- ・ 届出抗菌薬チエクール / メロペンの AST 多職種カンファレンスを実施（196 件介入し 156 件提案採用、介入採用率 79.6%）
- ・ 主要な菌の院内アンチバイオグラム報告
- ・ 連携先クリニックへ経口抗菌薬処方状況アンケートを実施、対象 16 施設中 6 施設回答（回答率 38%）「薬剤耐性菌と抗菌薬」をテーマに地域医療連携研修会を開催（地域連携施設 8 施設 12 名参加）

研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
沖縄県看護協会感染管理認定看護師教育課程講義「集中治療室における感染予防策」	沖縄県看護協会	2023 年 8 月 15 日	沖縄県看護協会	城間克也（講師として）
令和 5 年度沖縄県感染管理認定看護師会シンポジウム	沖縄県立南部医療センター	2023 年 9 月 2 日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也

名称	開催地	年月日	主催	参加者
令和5年度院内感染対策講習会	オンライン研修	2023年11月28日	厚生労働省	山城由衣
第12回日本感染管理ネットワーク九州・沖縄支部地方会	福岡県	2023年12月10日	日本感染管理ネットワーク九州・沖縄支部	城間克也

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策新入職オリエンテーション	当院	2023年4月3日	城間克也	新入職者全員
院内感染対策研修医1年目オリエンテーション	当院	2023年4月7日	城間克也	1年目研修医
看護部入職者研修 療養環境と感染対策、PPE着脱、手指衛生	当院	2023年4月10日	城間克也	看護部新入職者
看護部入職者研修 針刺し事故の対応	当院	2023年4月17日	城間克也	看護部新入職者
感染対策向上加算 連携施設合同 感染症対策訓練	院外	2023年11月27日	城間克也	北中城若松病院、ファミリークリニックきたなかぐすく、中村内科クリニック、ゆいゆい内科クリニック
4職種対象感染対策講習会	当院	2024年1月17日	宮城健	4職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師）
全職員対象感染対策講習会	当院	2024年1月17日	宮城健	全職員対象

2023年度目標

- ・ MRSA 院内発生 50 件以下
- ・ アルコール製剤使用達成度（推奨使用量に対し） 100% 以上
- ・ 「患者に触れる前」手指衛生遵守率 80% 以上
- ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染 15 件以下
- ・ 血培汚染率 3.0% 以下
- ・ 血液培養複数セット採取率 90% 以上
- ・ カルバペネム系抗菌薬AUD（抗菌薬使用密度）2020 年度比 20% 減
- ・ 職員対象感染対策講習会受講率 90% 以上

感染対策管理室 年度総括

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症に4年目の対峙となった2023年でありましたが、感染症法の位置付けは5月に五類移行を果たしました。法的な扱いの変わり目ではありましたが、「感染力」や「感染経路」の変化があったわけでもなく、依然コロナ感染対策が求められました。2022年に見られるような市中での大流行は無かったのですが、院内においては2022年同様にクラスターが幾度となく発生しました。スタッフならび入院時持込など、院内に1例でも入れば院内伝播しやすく、強い感染力やエアロゾル感染という嫌な特性が、アウトブレイクとしてはインフルエンザウイルス感染症とは違った感染症であることを再認識しました。引き続き標準予防策の徹底、療養および就業環境における換気徹底などが実践出来るよう感染対策管理室として現場評価、指導を行っていきます。

感染制御に係る通常業務においては、電子カルテのバージョンアップに伴いデバイス関連感染症やSSI（手術部位感染）のサーベイランスデータシステムの導入と整備を行いました。サーベイランスデー

タを用い、尿道留置カテーテル管理や早期抜去アプローチについて看護部と協同し部署ラウンドなどを新たに始めました。新年度もサーベイランスデータを用い、デバイス管理や感染対策への介入を効果的に行っています。

看護職者への手指衛生調査を 4 年ぶりに実施。手指衛生遵守率は目標を大きく下回る結果でした。新年度はこの結果をもとに、部署単位での問題や課題を検証し、さらに改善活動を計画していきます。

抗菌薬適正使用支援チーム（AST）は院外活動も引き続き行い、昨年度の課題について取り組みました。血液培養の複数セット採取率と汚染率については 2019 年度から 5 年間目標達成が維持され、適切な採血手技が習慣化されています。

2023 年度のカルバペネム系抗菌薬の抗菌薬使用密度（AUD）は 20 となっており、目標の 22 以下を達成しました。週 1 回開催している AST 多職種カンファレンスでカルバペネム系抗菌薬を使用している症例について検討し、介入を続けたことで不適切な使用が減り、AUD の減少に繋がったと考えています。

院外活動としては、経口抗菌薬適正使用の啓蒙を目的とした連携施設対象のアンケート調査と地域医療連携研修会を行いました。アンケートは 16 施設中 6 施設から回答が得られ、急性気道感染症や尿路感染症の処方行動について少しずつ改善を認めるようになってきています。しかし、アンケートの回答率は前回の約 7 割から 4 割くらいまで減少し、啓蒙活動の方法について対策が必要と思われました。引き続き抗菌薬の適正使用を通じて患者に理論的な抗菌薬療法を提案し、安全で効果的な感染症治療を達成できるよう取り組んで参ります。

新年度も ICT・AST の実働部隊が感染制御と抗菌薬適正使用支援という大きな役割を全うし、法人における医療の質の改善に寄与していきます。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室 當眞 結子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し適切な栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室 管理栄養士 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
當眞結子	栄養サポートチーム専門療法士 日本栄養治療学会

NST 回診&カンファレンスについて

NST 対象患者選択

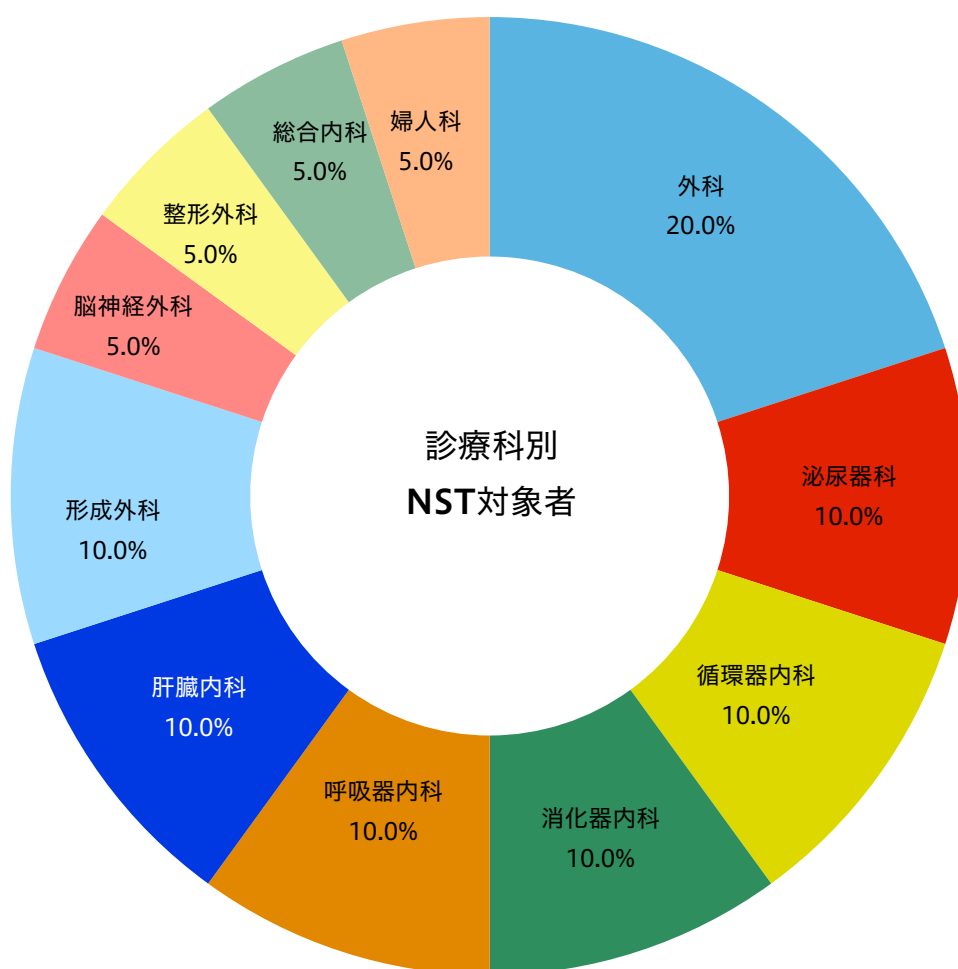
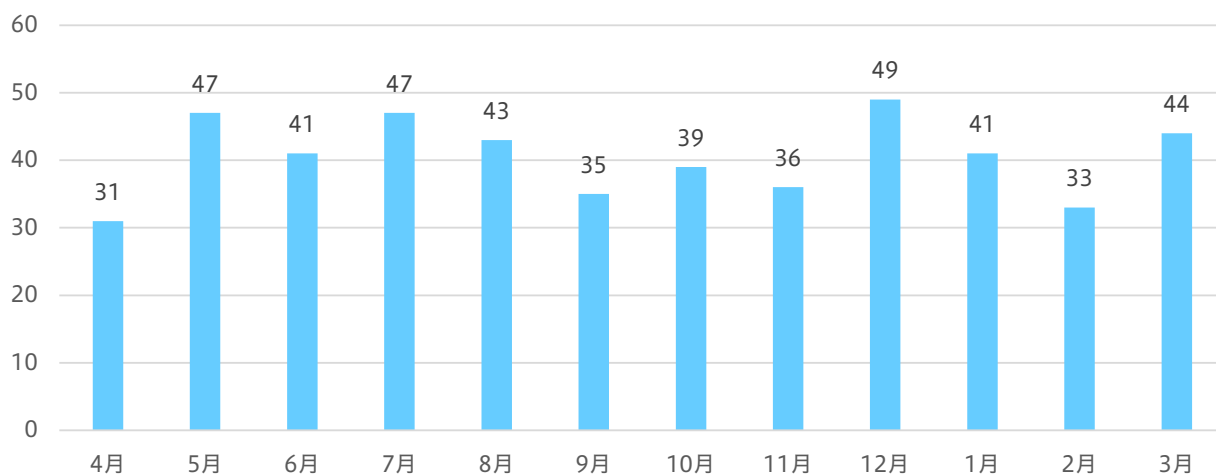
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以上
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

NST 加算件数



活動実績

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日
院内勉強会（大塚製薬工場）	NST 委員会	院内	2023 年 6 月 26 日
院内勉強会（栄養科）	NST 委員会	院内	2023 年 7 月 24 日
院内勉強会（栄養科・薬局）	NST 委員会	院内	2023 年 11 月 27 日
院内勉強会（大塚製薬工場）	NST 委員会	院内	2024 年 2 月 26 日
院内勉強会（TOSHO）	NST 委員会	院内	2024 年 3 月 25 日
第 17 回沖縄 NST フォーラム	大塚製薬工場	宜野湾	2024 年 3 月 30 日

栄養サポート室 年度総括

2023 年度は、外科部長を栄養サポート室委員長、外科医師 1 名、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 28 名、医療技術部 10 名、事務部 1 名の構成でした。

栄養サポート室では全入院患者さんの中から、採血結果 Alb 値 3.0g/dL 以下の方をカンファレンス対象者としてリスト作成を行い、そのリストからリンクナースにより選出された患者さんを毎週月曜日にカンファレンス及び病棟回診を行っています。毎月第 2 月曜には NST 委員会も実施しています。

カンファレンスでは適切な静脈経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量を検討し、主治医や病棟スタッフへ提案・助言を行った後、フィードバックを重ねる事で栄養状態の改善に努めました。また、栄養サポートを学んだスタッフを育成し、院内 NST の活性化へ繋げるために今年度も院外 NST 臨床実習へスタッフを派遣予定でしたが、臨床実習が開催されず参加できませんでした。次年度も今年度と同様に NST 療法士取得者増加に向けて、臨床実習への派遣を計画しています。その他にも、創傷カンファレンスへ参加し褥瘡委員会と協働で活動する事で褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

平成 30 年度に設立された嚥下チームへも参加し、毎週水曜日の病棟ラウンドとカンファレンスにて加齢や様々な疾病により食べる機能が低下した患者さんが「食べる楽しみ」を得られるように支援しています。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の指導施設で、指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む 33 名が従事しています。当センターでは、通常検査や予防医学センターの検査の他、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石等の胆・膵の処置（ERCP）関連や従来は外科的手術が必要であった早期の食道癌・大腸癌に対して ESD（内視鏡的粘膜剥離術）を取り入れ、2015 年には、厚生労働省より全国で 7 番目、沖縄県で初めての POEM（経口内視鏡的食道筋層切開術）を行っています。

職員数

総数	39 名	看護師	19 名
職種別		（うち内視鏡技師	7 名）
指導医	4 名	クラーク	1 名
専門医	9 名	助手	3 名
その他	1 名	臨床工学技士	2 名

担当医師

（2023 年 6 月時点）

	氏名	学会認定など
名誉院長	奥島 憲彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本外科学会認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
院長	佐久川 廣	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
予防医学センター副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医 日本内科学会認定内科医

	氏名	学会認定など
消化器内科部長 内視鏡センター副センター長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医
大腸・肛門外科部長 医局長	阿嘉 裕之	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医
肝臓内科副部長	圓若 修一	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
消化器内科医長	仲舩 拓	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医
	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
	洲鎌 理知子	
	小橋川 ちはる	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医
	川満 美和	日本消化器内視鏡学会専門医
	山城 謙人	
	エリクソン 安香	

看護師認定・資格取得状況

	氏名
渡久山 すえの	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
大城 敦	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
上江洲 さやか	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
照屋 あづさ	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
宮城 愛子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
西改 泰子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
松本 唯	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に応える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

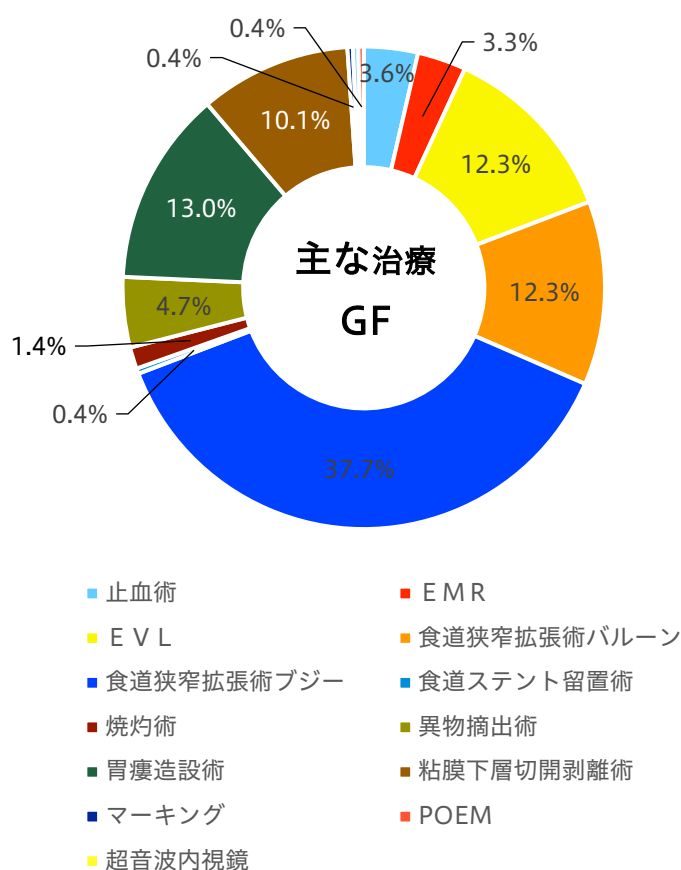
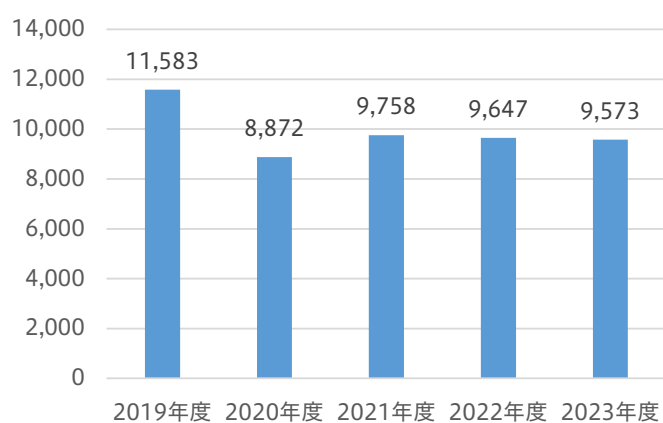
検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

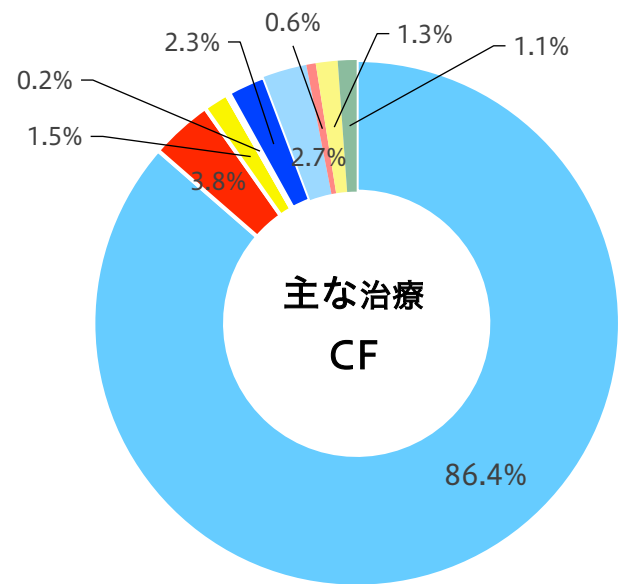
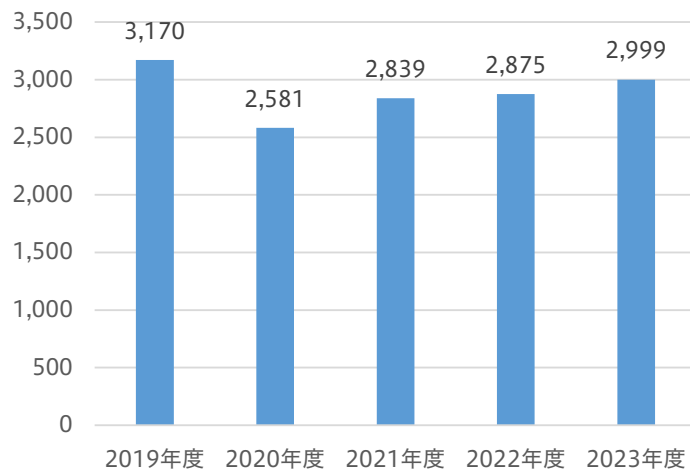
種別	合計
胃内視鏡	9,573
大腸内視鏡	2,999
ERCP	242
小腸内視鏡	1
気管支鏡	57
上部消化管 (内訳)	
止血術	10
EMR	9
EVL	34
EIS	0
食道狭窄拡張術バルーン	34
食道狭窄拡張術ブジー	104
食道ステント留置術	1
焼灼術	4
異物摘出術	13
胃瘻造設術	36
粘膜下層切開剥離術	28
マーキング	1
イレウスチューブ挿入	1
POEM	1
超音波内視鏡	0
下部消化管 (内訳)	
EMR	451
止血術	20
直腸狭窄拡張術	8

下部消化管 (内訳)	合計
異物摘出術	0
焼灼術	1
粘膜下層切開剥離術	12
マーキング	14
イレウスチューブ挿入	3
ステント	7
整復術 (腸捻転)	6
胆道・膵管 (内訳)	
乳頭切開術 (EST)	64
乳頭拡張術 (EPBD)	23
乳頭大経口バルーン拡張	10
総胆管結石砕石 / 採石術	62
経鼻胆管ドレナージ (ENBD)	1
胆管 stent	184
膵管 stent	31
超音波内視鏡	0
ENPD	0
気管支鏡	
経気管支肺生検 (TBLB)	33
肺胞洗浄 (BAL)	8
気管 / 気管支ステント留置術	0
異物摘出術	0

GF 件数

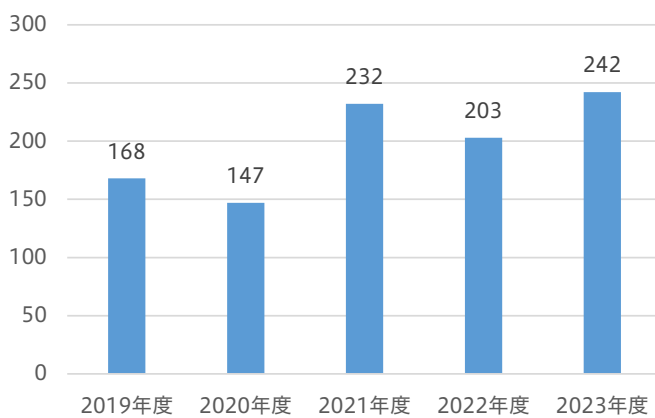


CF 件数

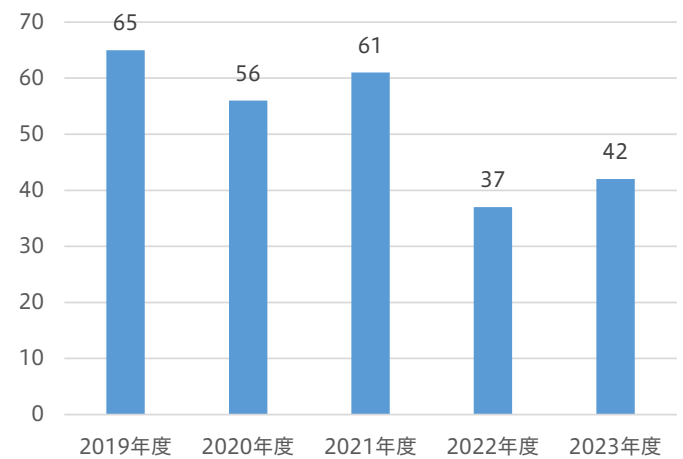


- EMR
- 止血術
- 直腸狭窄拡張術
- 焼灼術
- 粘膜下層切開剥離術
- マーキング
- イレウスチューブ挿入
- ステント
- 整復術（腸捻転）

ERCP 件数



BF 件数



活動実績業績

院内・院外発表

名称	場所	開催年月日	発表者
多職種とのタスク・シフト / シェア 看護職の働き方改革セミナーⅡ	南風原町	2023 年 9 月 14 日	大城 敦
臨床工学士への教育を見直して 院内発表	当院	2023 年 11 月 10 日	山入端 桃香
問診の時間時間短縮に向けた取り組み 中堅発表	当院	2023 年 12 月 11 日	松本 唯

研修実績

名称	主催	開催地	開催日	参加者
勤務時間内に最高のパフォーマンスを発揮する仕組みづくり		オンライン	2023 年 6 月 2 日	渡久山
スケルトンスコープを利用して スコープの取り扱い	オリンパス	当院	2023 年 6 月 13 日	山城・寿賀子・稲福
スコープの基本的な持ち方	オリンパス	当院	2023 年 6 月 20 日	玉城・與儀
看護職と倫理（入門編）～患者の権利擁護を考える	看護協会	南風原町	2023 年 7 月 4 日	屋嘉比
メドレー V フィックス放射線治療用患者体位固定具	MK 物産 日東工器 株式会社	当院	2023 年 9 月 20 日	愛子・山入端・西改・ 屋嘉比・東江・宮里・ 山城・松本・渡久山
医療者のための共有コーチング～心を動かし、チームを動かす～	看護協会	南風原町	2023 年 10 月 3 日	宮里かおり
CE 業務の役割		八重瀬町	2023 年 10 月 5 日	大城・東江
医療安全の動向と法的責任	看護協会	南風原町	2023 年 10 月 10 日	山城
消毒・滅菌セミナー	ASB Japan	小禄	2023 年 10 月 28 日	松本唯・宮城愛子
心電図勉強会（BASIC コース・ステップアップコース）	日本光電	当院	2023 年 11 月 2 月	山入端・屋嘉比
心電図勉強会（BASIC コース・ステップアップコース）	日本光電	当院	2023 年 12 月 2 日	山入端・屋嘉比
リーダーシップ研修～プロフェッショナルマネージャを目指す～	看護協会	南風原町	2023 年 12 月 5 日	宮城愛子
裁判例から考える看護実践と看護記録	看護協会	南風原町	2023 年 12 月 25 日	山城由佳
手術看護	領域別研修	当院	2024 年 1 月 13 日	松本

2023 年度 看護部総括

2023 年度の目標件数、上部 10,000 件、下部 2,700 件に対して上部 9,573 件、下部 2,999 件でした。上部は目標値には達成しませんでした、下部は目標値に達し大腸 EMR は前年度より 499 件、ERCP は 39 件増加しています。

食道アカラシアの治療として POEM（経口内視鏡筋層切開術）を行っています。2023 年 10 月時点の POEM 全国集計で 25 病院中、全国 16 位と報告を受けました。大学病院が多い中での 16 位は、奥島名誉院長を中心にスタッフ一丸となって取り組んだことの成果であり名誉なことです。

今後も内視検査及び治療内視鏡を必要としている患者様に、「ハートライフで内視鏡検査を受けたい、受けて良かった」と思って頂くように、スタッフ一丸となって努めて行きます。

1. 安全管理

2023 年度インシデント報告は計 27 件で、0～1 レベル報告件数は 17 件でした。重大な事故につながらないよう、他のスタッフが同じインシデントを起こさないよう、今後も 0～1 レベルの報告件数増加を目標に掲げていきます。危険予知能力、インシデント発生時の分析・対策・評価に対して弱い面があり、安全対策委員会を中心に安全風土の構築に向けて取り組んでいきます。

2. 感染管理

スコープがきれいに洗浄されているかを確認する為に、スコープ検体培養検査・消毒液濃度管理を、年

2 回外注で検査しています。検査結果、基準値をクリアしており感染管理に問題はありませんでした。

2023 年 5 月 8 日からコロナが 5 類感染症に位置づけされました。これに伴い胃カメラの際に飛沫・空気感染予防のために使用していましたビニールを胃カメラ専用マスクへ変更しました。ビニール設置よりもマスクは準備に時間がかからず検査がスムーズに進むようになりました。これまで同様、確実な PPE 着用、感染対策を徹底し患者さん・職員が感染しないよう努めていきます。

3. 教育

2022 年 9 月に、以前より熱望していた CE（臨床工学技士）1 名、2023 年 6 月に 2 人目が採用されました。当初は、試行錯誤の状態でしたが、現在は教育計画が構築され、タスクシェアで業務が安全に遂行されています。

2023 年 11 月沖縄県で第 85 回九州内視鏡技師学会が開催され当院から 4 名参加しました。これからも、日本・九州内視鏡学会、看護協会主催の研修へ積極的に参加し、処置技術と看護技術のバランスが取れた実践力を発揮できる人材育成を目標とし、安全・安心な検査・治療が提供できるよう継続していきます。

4. 機器管理

2023 年度修理件数は、6 件でした。5 件はスコープでスコープ先端のレンズ破損・先端スコープカバーの破損等でした。対策として検査中以外は、スコープ先端へ先端カバーを装着し先端部破損の予防に取り組んでいます。1 件は超音波洗浄器が故障しましたが使用回数が多いために部品が損傷し、修理後に使用可能となっています。

CE 採用に伴い、機器管理をタスク・シフトしています。機器の点検・修理・予防、マニュアルの整理を CE で行っています。CE を中心に機器の修理費用が抑え財務に貢献できるよう取り組んでいます。

5. 業務

2023 年度、有休消化率は 100% でした。有休残が多いスタッフに対してリーダーが中心となり、検査が早めに終了した日は時間有休で帰宅させ全スタッフの協力体制の成果だと評価しています。

2023 年 4 月から土曜日勤務を半日から 1 日勤務へ変更しました。半日へ変更したことで平日のスタッフ数を増やす事ができ業務が円滑に進むようになりました。

2023 年 9 月 1 日から外部洗浄委託綿久が採用されました。洗浄室専属にて片付けが時間内に終わっています。時間外理由が洗浄室の片付けは、4 月～9 月までは 37 名でしたが、10 月～3 月は 15 名と減少し外部洗浄委託は残業減少にも貢献しています。さらに、スタッフの急な休みに気を病む必要がなく安心が担保されています。

次年度は、仕事、休暇がバランスよく、NO 残業 day を活用し働きやすい職場環境作りに努めていきます。

内視鏡センター師長 渡久山 すえの

内視鏡センター 年度総括

2023 年度の内視鏡件数も新型コロナウイルスの影響を受けてしまいましたが、2023 年 5 月より同ウイルスの感染症法の扱いが 2 類から 5 類へ移行となり、以降は大きく影響を受けることもなくなりました。とは言え、これからも感染症対策には万全を期しながら業務を遂行します。また大腸癌による死亡率が高い沖縄県の現状に鑑み、内視鏡検査の高い需要にも応えて行きたいと思います。

内視鏡センター 折田 均

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 大城 義人

私たち予防医学センターは、お一人でも多くの地域の皆様に人間ドック健診を受けて頂き、がんや悪性腫瘍をできるだけ早期に発見し早期治療につなげられるよう各種画像検査を行っております。また、心臓病・脳卒中・心不全・腎臓病等の発症・進展を防止し、その原因となりうる生活習慣病（高血圧症・脂質異常症・糖尿病・肥満症・高尿酸血症・メタボリックシンドローム等）を抱える方々が、安心して日常生活を送り健康長寿が実現できるようお手伝いさせていただく場を目指しております。受診者の視点に立って個々人の現実の日常生活にできるだけ即した対策を実行できるよう考え提案し、心身両面においてサポートできるよう心がけております。

当センターは、人間ドック健診専門医・指導医、看護師・保健師・放射線技師・臨床検査技師・医療クラーク・事務職の各職員が、皆で一体となりチーム医療を実践していこうという場所です。

また、消化器内科や内視鏡センター、産婦人科・放射線科・脳神経外科・循環器内科・眼科の各科専門医やスタッフの皆さんが直接参画するプラットフォームとなり、献身的に継続してご協力をいただいております。そういう場所で受診なさった方が、指摘された異常について放置する事なく勇気を持って二次検診を受けることができるよう、当院の各診療科や近隣他施設とネットワークを作って繋がり、専門医・コメディカルスタッフの支援・連携をさらに強化しようとしております。

当センターは、2015 年に人間ドック健診専門医研修施設となり、また、2018 年 12 月には本館 8 階全体が人間ドック健診専用のフロアとなっており、広い空間で眺望よく快適に安心して受診できるように変貌し、2021 年には人間ドック健診施設機能評価で優秀賞を受賞し、年間総受診者数は、徐々に増加しました。コロナ禍によって受診者の皆様には、ご不便をおかけしておりますが、引き続き標準的対策を確実に行いつつ、感染状況に応じて柔軟に対応を継続いたします。今後とも受診者の皆様のご期待に応え、築かれた信用を維持できていくよう、コツコツと粛々と、謙虚に日々励んでいきたいと思っております。

施設認定

- ・ 日本人間ドック・予防医療学会健診施設機能評価認定
- ・ 全日本病院学会人間ドック実施施設認定
- ・ 特定健診・特定保健指導機関認定

職員数

総数

53 名

職種別

医 師	10 名	臨床検査技師	3 名
保 健 師	6 名	一般事務	12 名
看 護 師	12 名	ク ラ ーク	9 名
管理栄養士	1 名		

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
予防医学センター長	大城 義人	総合内科、循環器内科	日本人間ドック学会人間ドック健診指導医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、医学博士
予防医学センター副センター長	宮里 稔	東洋医学、消化器内科（内視鏡検査）	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医
常勤	大城 志乃	内科	日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会認定医、日本内科学会認定内科医、検診マンモグラフィ読影認定医
常勤	川田 晃世	消化器内科	日本内科学会認定内科医、日本人間ドック学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器がん検診認定医、日本医師会認定産業医、医学博士、日本消化器がん検診学会総合認定医
常勤	川満 美和	消化器内科	日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤	奥島 しょう子		日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本医師会認定産業医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本人間ドック学会人間ドック健診指導医
非常勤	金城 詩子		日本内科学会認定内科医
非常勤	松元 真紀子		
非常勤	楚南 いずみ		
非常勤	謝花 隆光	消化器内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医

認定・資格

氏名	名称
安次富 道代	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
桃原 勝美	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
友寄 一乃	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
又吉 美鈴	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
宮城 さおり	第1種衛生管理者免許

予防医学センター 理念

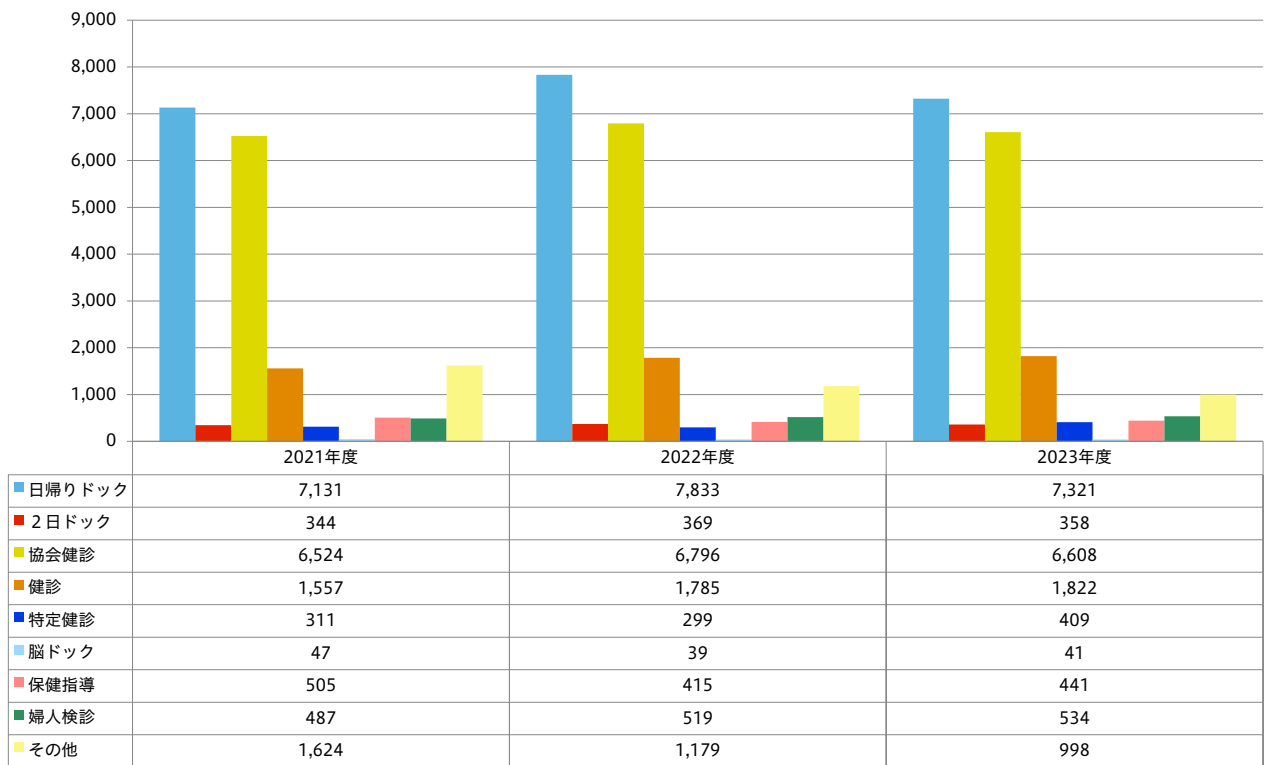
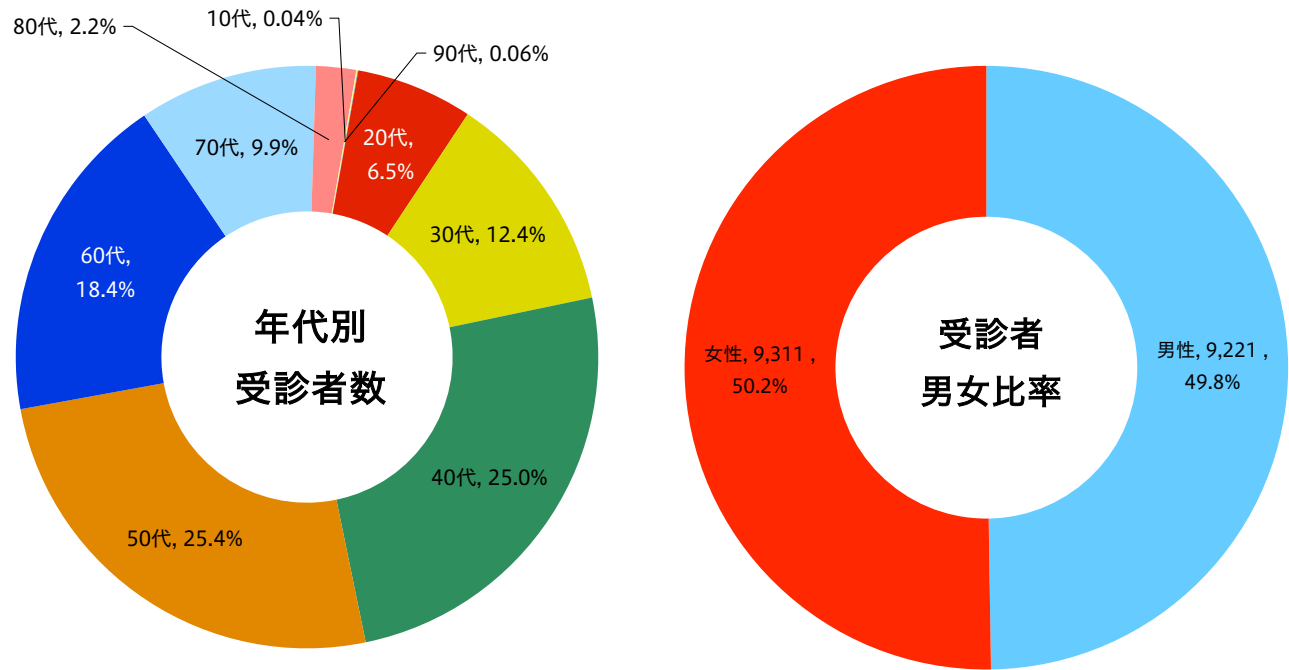
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

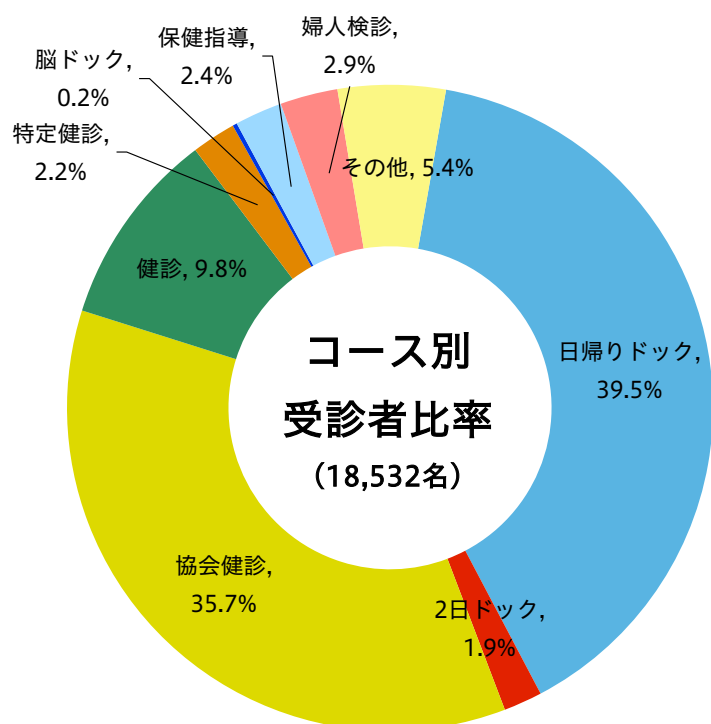
予防医学センター 運営方針

私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします

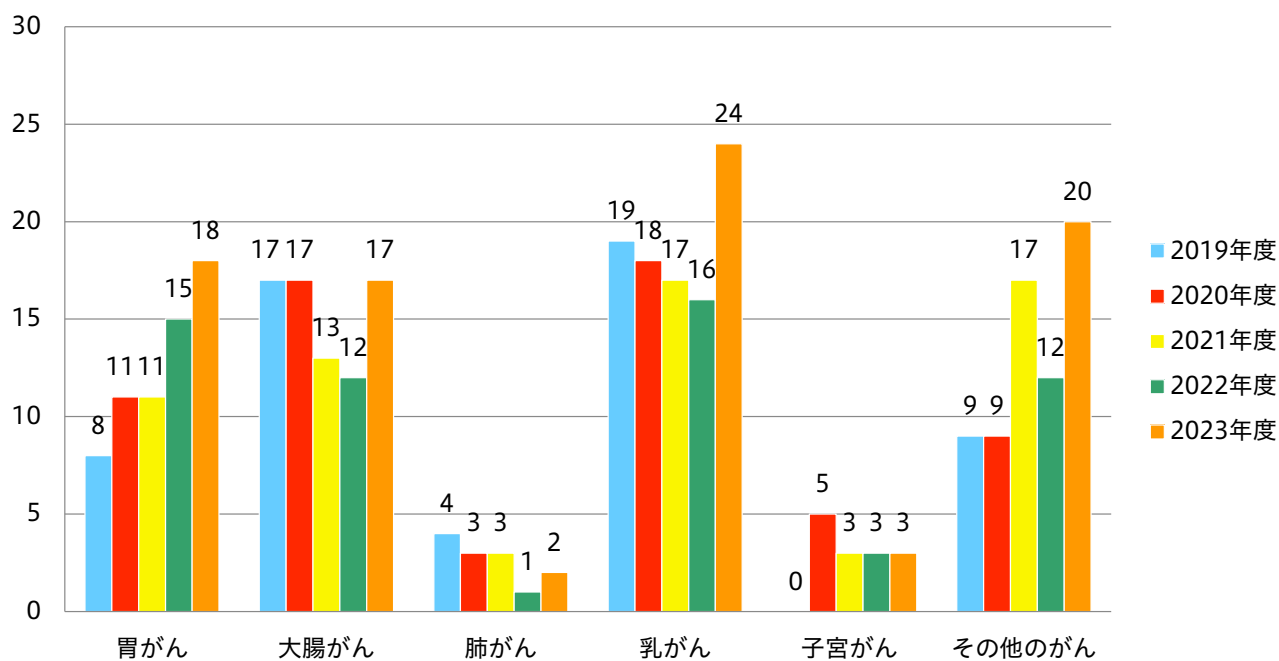
2023 年度 ドック・健診の実績

コース別受診者数の推移





悪性腫瘍発見数



活動実績

院外研修

演題名	主催（学会名）	場所	日時	参加者
沖縄県看護連盟・沖縄県看護協会 / 共済研修会	沖縄県看護連盟看護協会	南風原町	2 月 4 日（日）	呉屋 みなみ、川満 由美
人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修	人間ドック学会	オンライン	2 月 8 日（水）	桃原 勝美
人間ドック健診情報管理指導士資格取得	人間ドック学会	オンライン	3 月 16 日（木）	又吉 美鈴
2023 年度ポリナビワークショップ	沖縄県看護連盟	那覇市	7 月 29 日（土）	山内 敦子
人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修	人間ドック学会	オンライン	11 月 17 日（金）	友寄 一乃
沖縄県看護連盟リーダー研修会：看護管理者として組織力を高める為のスキルアップ	沖縄県看護連盟	那覇市	12 月 14 日（木）	高宮 江利子
人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修	人間ドック学会	オンライン	2024 年 1 月 26 日（金）	安次富 道代
《急変させない》	沖縄県看護連盟	南風原町	3 月 2 日（土）	屋比久 千佳
腎代替療法専門指導士	日本腎代替療法医療専門職推進協会	オンライン	3 月 31 日（月）	山内 敦子

院内研修

演題名	講師	場所	日時	参加者（人数）
2023 年度 感染対策講習会		e ラーニング	2023 年 3 月 17 日	
2023 年度 化学療法勉強会		e ラーニング	2023 年 3 月 31 日	
2023 年度 保険診療		e ラーニング	2023 年 2 月 29 日～3 月 31 日	
院内講演会「職場におけるハラスメントについて」		当院	2023 年 3 月 29 日	
血管の病気	謝花 医師講義	当院	2023 年 4 月 21 日	10 人
超音波 症例検討会（肝腫瘍）		当院	2023 年 4 月 28 日	
超音波 症例検討会（頸動脈）		当院	2023 年 6 月 22 日	
がんの予防	謝花 医師講義	当院	2023 年 6 月 23 日	10 人
認知症の予防	謝花 医師講義	当院	2023 年 7 月 21 日	8 人
中堅研修	看護部	当院	2023 年 7 月 27 日～12 月 11 日	呉屋 みなみ
超音波 症例検討会（肝臓）		当院	2023 年 7 月 28 日	
超音波 症例検討会（脾梗塞）		当院	2023 年 8 月 25 日	
第 49 回救急症例検討会	救急外来	当院	2023 年 9 月 28 日	高宮 江利子
超音波 症例検討会（耳下腺腫瘍）		当院	2023 年 9 月 29 日	
超音波 症例検討会（リンパ管腫・ABI）		当院	2023 年 10 月 27 日	
精度管理・報告・検討会（冲臨技）		当院	2023 年 11 月 24 日	
超音波 症例検討会（感覚神経伝導検査）		当院	2023 年 12 月 29 日	
精査率・報告・検討会（人間ドック）		当院	2024 年 1 月 26 日	
次年度に向けて（判定基準変更）		当院	2024 年 2 月 16 日	
心アミロイドーシスについて		当院	2024 年 2 月 16 日	
超音波 症例検討会（狭窄症・逆流症）		当院	2024 年 3 月 29 日	

部署内研修

演題名	講師	場所	日時	参加人数
急変対応シミュレーション		8 F フロア	6 月	14 名
SNS の危ない使い方～こんな投稿していませんか？	山城 健人 先生	各自（ナースिंगスキル活用）	6 月	36 名
正しいアルコールの消毒方法		8 F フロア	8 月	27 名
腎オプション導入前に（資料回覧にて）	大城 義人 先生	8F フロア	5 月	40 名

予防医学センター 年度総括

2020 年以來の新型コロナウイルスパンデミック、さらにはその後の国際情勢の大きな変化により、私たちの日常生活が様々な影響を及ぼされる中、職員の皆様方が当院の医療の質を維持・向上させるため日々務めておられること、深く敬服するところです。2023 年度の予防医学センターは、昨年度同様基本的感染対策を講じ通常と変わらない人間ドック健診を継続して遂行できるよう取り組んで来ました。その上で、できるだけ多くの方に人間ドック健診を受けていただけるよう、前年度よりも受診者総数増加を目指しました。その結果、2020 年度受診者総数 17,578 名、21 年度は 18,537 名、22 年度はそれまで最高であった 2019 年度 19,0981 名を凌駕し 19,234 名へと増加、本年度は 1,8532 名となりました。内視鏡センターをはじめ、臨床検査部、放射線部、産婦人科といった関係部署皆様のこれまでと変わらぬ安心の人間ドック健診を粛々と実施し、受診者のご期待にしっかり応えようという真摯な姿勢のおかげだと改めて深謝申し上げます。

2021 年度より導入した炭酸ガス送気法上部消化管内視鏡検査は、内視鏡センターの全面的協力によってさらに内視鏡受診者全例に継続して実施しております。そのため、まず最初に内視鏡検査を行なってその次に腹部エコー検査を行なっても腸管内ガスの影響が軽減され、腹部エコー撮像画質向上に繋がり、また、検査後の腹部症状軽減や、前後の検査待ち時間短縮に寄与しています。

他方、新規のオプション検査として導入した心エコーも希望する方が多く、ある程度のニーズにはお応えできたのではないかと思います。

ここで、沖縄県は依然として検診受診率の低迷が指摘され続けている一方、事後の二次検診受診率が非常に低いことも改善すべき点であるといわれています。せっかく異常を発見できたのに看過されてしまい、コロナ禍によってさらにこれに拍車がかかっているとのこと。二次検診を受診し、心臓血管病危険因子を低減し、脳循環器疾患減少させる事が非常に重要です。当センターでは、受診当日に保健師による対面介入を以前から行なっていますが、この度、「人間ドック健診施設機能評価審査」においてその実績が評価され「優秀賞」を受賞するに至りました。普段のドック健診の場で、生活習慣の行動変容が現実的に実行可能となるよう介入するための対応改善策（クオリティーコントロール）が評価されたものです。受診者の行動変容を促すため、保健師自ら学びを行なっていることは特筆すべき事と存じます。各種画像検査の結果判定についてのスキルアップも謙虚に取り組んでいきたいと存じます。

連携体制の改善のためハートライフクリニックの皆様との情報交換の場を設け、現場の先生やスタッフの当センターに対する率直なご意見を伺う貴重な時間を得ることができました。これを早速取り入れ、かかりつけ医師の皆様の日常診療に貢献できる役割を担えるよう真摯に取り組んでいきたいと存じます。その継続のために、予防医学センター関連各部署の横断的協働（顔の見える繋がり）で受診者の立場（受診者目線）に立ったチーム医療を継続して行く事ができればと存じます。改めまして、2023 年度関係各位の皆様のご協力に感謝申し上げます。

予防医学センター長 大城 義人

患者総合支援センター

部門紹介

患者総合支援センター長 西原 実

当センターでは、患者さんがその人らしく、地域に戻ってからも安心して生活が送れるように、院内の様々な多職種チームで連携して支援しています。

①患者にとって良質な入退院支援の流れになっているか。②スタッフのためになっているか。③持続できる取り組みかの3点を意識しながら体制を整えてきました。

地域の関係機関とも連携を図り、外来受診から入院、退院後を見据えた支援を心掛け、患者さんとご家族の総合窓口として、多職種スタッフが協力して対応し、安心して治療を受けていただくことを目指しています。

地域医療の中核を担う急性期病院として、患者さんや地域医療機関からも信頼される病院を目指し、今年度も更に多職種との連携を密にし、質の向上を図るとともに、顔の見える関係づくりのため、症例検討会や勉強会などもコロナウィルス感染対策をしつつ積極的に行なっていきます。

また、今後、医療と介護の連携がより重要となることを踏まえ、新たな取り組みとして「地域連携会議『はーとネットワーク』」を開催しました。この会議では、近隣の医療機関や介護施設と定期的に集まり、日ごろの地域連携・入退院支援業務に関する協議はもちろん、感染対策や ACP、BCP 等、地域資源のひとつとして、当院が近隣の関係機関とどう手を取り合っていけるかを話し合っています。こういった地域資源同士の結びつきによって、地域住民がより安心して医療・介護が受けられるような地域づくりを目指していきます。

職員数

総数

23 名

職種別

医師	1 名	入退院調整看護師	1 名
一般事務	6 名	看護師	6 名
医療ソーシャルワーカー	8 名	クラーク	1 名

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	7
介護支援専門員	3
造血細胞移植コーディネーター (認定 HCTC)	1

基本理念

私たちは、安全で信頼される医療を地域に提供します。

顔が見える地域連携と入退院調整、相談支援を目指します。

方針

1. 患者、家族、連携先各機関、院内各部署、院外連携機関との連携体制を構築する。
2. 地域包括ケアを見据え、地域医療・介護連携を推進する。
3. 入院前から入院中、退院後の地域生活を見据えて援助する。

目的

1. 患者を中心として、地域社会、連携先各機関と「かりゆし会」とのスムーズな連携を図る。
2. 入院決定時から多職種で連携し、入退院に関連した患者サービスを向上させ、安全・安楽な入院生活を送る為の支援体制を構築する。
3. 社会資源の活用ができ、退院後も安全で安心な環境を整備する。

地域医療連携室

業務内容

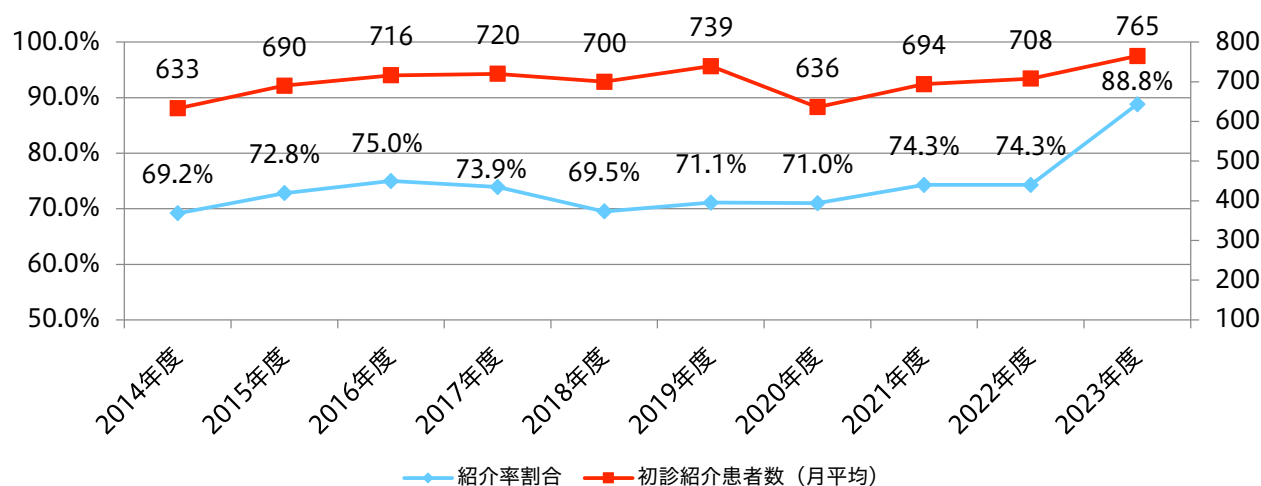
- ①紹介患者および逆紹介患者に関する調整業務
- ②各医療機関への広報活動に関する業務
- ③勉強会・講演会・市民公開講座に関する業務
- ④院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築

2023年度総括

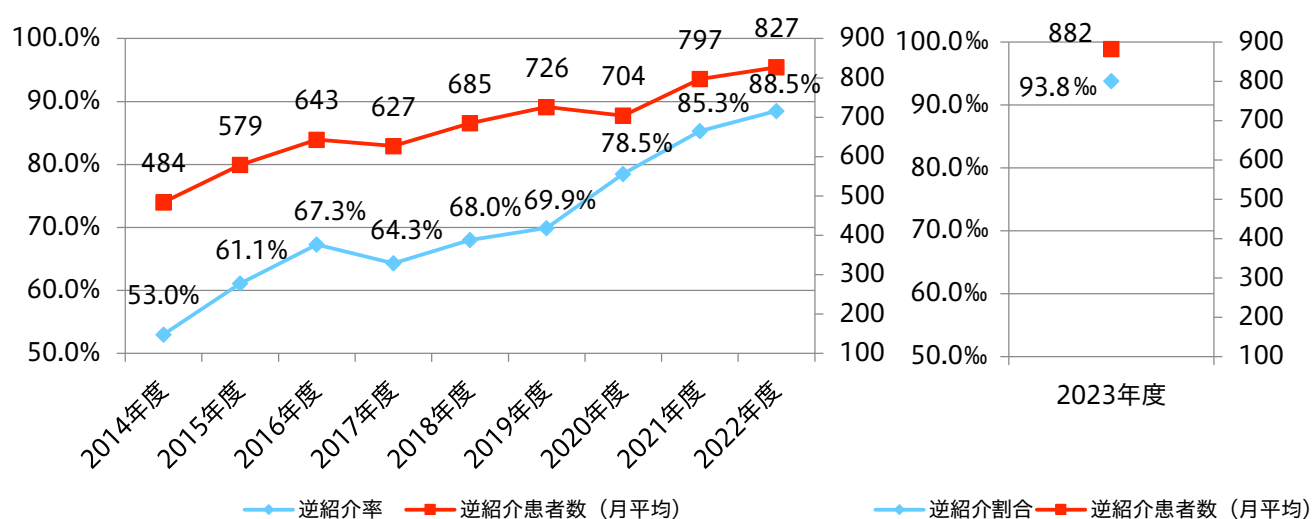
紹介件数、逆紹介件数ともに大幅に増加しており紹介割合、逆紹介割合は増加して地域医療支援病院の承認要件をクリアできました。無料健康講座や勉強会は感染対策のためにオンラインで実施しました。登録医訪問は感染防止のために実施せず目標を達成できませんでした。地域医療支援病院運営委員会を前年度1回開催を年4回開催することができました。

2023年度実績

紹介割合



逆紹介割合



2024年度目標

①社会医療法人としての役割強化

夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上

②地域医療支援病院としての役割強化

目 標：紹介割合 87%以上 逆紹介割合 91%以上

③新規紹介患者への取り組みの更なる強化

登録医療機関の新規開拓 (6 件/年)

登録医訪問 (60 件/年)

入退院支援室

入退院支援室業務内容

- 1 入院支援（外来から病棟への橋渡し）
 - ・ 患者情報の収集
 - ・ 入院に関わる、検査・手術・治療・入院生活について説明
 - ・ 入院に必要な書類の作成・説明
 - ・ 患者・家族の心理的支援
 - ・ 加算取得に関わる書類作成・患者説明
- 2 院内や地域との橋渡し・調整
 - ・ 病棟入退院支援看護師・MSW と連携し 7 日以内に共同カンファレンス
 - ・ 病棟入退院支援看護師・MSW・多職種で退院に向けて支援
- 3 病棟回診 患者カンファレンスへの参加
- 4 退院前合同カンファレンスへの参加
 - ・ 患者家族・在宅ケアチームとの顔合わせ
 - ・ 退院後も継続する課題・解決策を検討
 - ・ 必要時家屋調査・退院後訪問
- 5 地域の医療機関との転院調整
- 6 入退院支援に関する院内のスタッフ教育・多職種への啓蒙活動
- 7 在宅への仕組みづくり
 - ・ 多職種で連携のリーダーとなり、在宅でも安心して生活できる退院支援の仕組み作り

業務実績

2023年度の活動

- ・ 各部署退院支援カンファレンススケジュールの統一
- ・ 重症初期支援加算（重症メディエーター）介入、取得開始
- ・ 施設への出戻り患者の退院調整
- ・ 全部署、退院指導内容統一
- ・ 全部署、退院支援看護師の支援業務独立
- ・ 入り口から退院支援開始（病棟支援看護師の予約入院患者受け入れ業務開始）

院外研修実績

名称	開催年月日	参加者
看護職と倫理	2023 年 7 月 4 日	屋宜鮎美
2023 年度看護連盟通常総会	2023 年 7 月 8 日	屋宜鮎美
日本災害看護学会（兵庫県）	2023 年 9 月 1 日～ 9 月 3 日	屋宜鮎美
病院と地域を看護がつなぐ ～地域包括ケアに支える看護連携へ～	2023 年 11 月 22 日	仲松裕香
地域で暮らしそして生きるに伴奏していますか？ ～地域包括ケア時代に求められる看護連携～	2023 年 11 月 17 日	砂川香澄
院内研究発表 3 位 退院支援の連携多職種がそれぞれ専門性を発揮する	2023 年 12 月 1 日	発表者：下地育美

2023年度総括

2023 年度はコロナウイルス感染症対応にも慣れ、感染対策を行いながら通常業務に取り組むことができました。入院前に得た情報を多職種と連携し、退院後を見据えた指導、意志決定に関わり、患者が地域に戻ってからも安心して生活が送れるように関わりました。入退院支援の質向上を目標に、病棟と支援室が密な連携をとり、多職種カンファレンスを実施しております。今年度よりリハビリ医も加わり、より生活環境、日常生活動作に沿ったカンファレンス内容となりました。

次年度も各病棟リンク看護師と密に連携をとり DPC II 期間を意識した入退院調整、個別性の退院指導を行い、質の高い退院支援を目指し知識向上・スキルアップを図っていきます。

2024年度の取り組み

- ・病院機能評価に向けて、入退院支援室マニュアル整備、修正
- ・情報共有シート作成（入院から外来へつなぐ）
- ・3 指標目標 新規入院患者数（750 人 / 月）病床利用（260）床）在院日数（10.5 日）
定数を遵守した病床管理 重症度、医療・看護必要度を意識した病床運用
（各診療科 各部署との連携強化）
- ・DPC I・II 期間を意識した退院調整（72%）
- ・退院調整・退院指導の充実（病棟入退院支援看護師の業務拡大 地域担当者との連携）
- ・患者さんが入院前の生活に戻ることを意識した退院支援の質の向上
- ・入院前栄養指導強化
- ・入院時に必要な書類の管理徹底 算定可能な加算取得（院内連携の強化）
入退院支援加算：580 件 / 月
入院支援加算：250 件 / 月
総合機能評価加算：100 件 / 月

医療福祉相談室

2023 年度総括

地域医療支援病院の医療ソーシャルワーカーの役割として、地域包括ケアシステム構築に向けた地域との連携は不可欠となっています。2023 年度は、各関係機関との個別協議だけでなく、虐待防止対策会議や沖縄県入退院支援連携デザイン事業、在宅医療介護連携推進会議、及び中部地区連携研究会などへ、1 年を通し積極的に参画してきました。

退院支援においては、入退院支援室や各病棟退院支援リンクナースと協働する院内の入退院支援システムの体制を構築し始めてから 5 年目を迎えました。今年度も入退院支援の質に注目し、個別性を重視した退院支援に取り組むため、日々の退院支援カンファレンスの内容充実等をそれぞれ担当病棟で取り組みました。今年度は入退院支援加算 1 の取得件数は前年比で若干の減少傾向となりましたが（今年度 534.4 件／月、前年度 551.6 件／月）、退院患者総数の減少に伴うものだと考えており、加算取得患者の割合は前年度と比較し微増しています。入退院支援の取り組みが全体に定着していることがうかがえます。

前年度に引き続き、新ソーシャルワークデータシステム（MANBO）を用いて業務分析を行い、各職員や診療科ごとの業務量を分析し、関係機関との連携の傾向把握と強化に取り組みました。

医療ソーシャルワーカーの質の担保として、ICT を用いることで、県内のみならず県外の各種研修に参加し自己研鑽を積みました。また、新入職員（新人）採用に伴い、各新人に教育担当者を一人ずつ配置し、教育に努めました。

血液内科移植サポートスタッフとして、前年度に引き続き造血細胞移植コーディネート業務（患者コーディネート、血縁・非血縁ドナーコーディネート、骨髄バンクドナーコーディネート、HCTC の育成、教育）を行い、HCTC の質の担保として ICT を用いての各研修会および日本造血・免疫細胞療法学会へ参加しました。

2024 年度目標

●地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

①行政・介護サービス事業所・医療機関との協議と連携

- ・「年 3 回、25 ヶ所以上」連携機関との面会（入退院支援加算の算定要件）
- ・院外会議、研修会への参加

②在宅医療・介護連携の推進への協力と連携

- ・中部地区医師会主催の在宅医療・介護連携推進会議に参加

③後方とのパイプ作り

- ・地域連携会議の運営：地域の医療機関や介護施設を集めて、定期的な意見交換の場を創設・開催し、医療・介護の連携の円滑化を目指す

●入退院支援に関する業務構築と算定向上

①退院支援カンファレンスの充実（DPC、看護必要度を意識した内容）

②重症患者初期支援充実加算の取得へ向けた体制作り

③外来患者の支援

- ・外来患者の支援充実、外来部門との連携し支援体制構築

- ・治療と仕事の両立支援の強化
- 月間の 30 日超え長期入院患者数の減少への取り組み
 - ①毎月会議にて 30 日超え患者の確認と意識付け（目標：平均 38 人 / 月）据え置き
- ソーシャルワークデータシステム（MANBO）による業務評価と分析に向けた取り組み
 - ①業務評価や近隣関係機関との連携に係る分析
- ワークライフバランス
 - ①月 1 回 MSW 全員同日定時退社
 - ②残業時間の偏りがないように部署全体で業務の分担をする
 - ③育休復帰職員が仕事を続けられるサポート
 - ・時間短縮業務でも、当該スタッフの負担や患者に不利益が無いよう、部署内でのバックアップ体制を構築
 - ・バックアップ担当者の配置
 - ・監督者の定期的なフィードバック
- 病院機能評価に向けた準備
 - ・カルテ記録や同意書類等の管理徹底（漏れを防ぐための部署としての管理強化）
- 入退院支援関連加算の算定（収入見込み：49,584,000 円）
 - ①入退院支援加算（700 点）：6,960 件 / 年（580 件 / 月）※退院患者総数に対して算定率 80%を目指す
 - ②介護支援等連携指導料（400 点）：96 件 / 年（8 件 / 月）
 - ③退院時共同指導料（400 点）：120 件 / 年（10 件 / 月）
- 医療ソーシャルワーカー（入退院支援担当）の質の担保
 - ①県内・県外の学会及び研修会への参加（各 MSW がそれぞれ 2 回以上参加）
 - ②関連学会での演題発表（院内研究発表への演題提出）
 - ③社会福祉士実習の受入
 - ④2 年目職員の教育強化
 - ・入職 2 年目スタッフへの教育に具体性を持たせ、さらなる成長を促す
 - ・業務量や業務内容等の具体的管理や、定期的なフォローアップ体制
 - ⑤ MSW の新規採用
 - 定員割れの現状を打開するため、人事課と協力し積極的なリクルート計画を立てる
- 外部機関との連携に使う ICT 機器の充実（マイクスピーカー等）

業務実績

地域活動

名称	開催年月日	参加者
関係機関へのあいさつ回り（お中元・お歳暮）	8月、12月	全員
三者協定締結式（沖縄ハローワーク、沖縄県産業保健支援センター）	2023年5月24日	高澤
関係機関ヒヤリング（地域連携会議関連） 宜野湾記念病院、西原敬愛園	2024年1月18日	高澤
関係機関ヒヤリング（地域連携会議関連） 池田苑、北中城若松病院	2024年1月19日	高澤
浦添総合病院レセプション	2024年1月24日	高澤・根間
中頭病院新春医療連携懇親会	2024年1月25日	徳盛
関係機関へのヒヤリング（守礼の里）	2024年2月1日	高澤
第1回地域連携会議「はーとネットワーク」	2024年2月29日	西田・高澤・徳盛

院外会議

名称	開催年月日	参加者
宜野湾市 在宅医療・介護連携推進会議	通年（年4回）	高澤
西原町・中城村・北中城村 在宅医療・介護連携推進会議	通年（年2回）	徳盛
在宅医療・介護連携推進事業 中部地区合同会議	2023年9月20日	徳盛
西原町 高齢者虐待防止対策協議会 実務者会議	2023年11月15日	高澤

勉強会・研修会への参加

勉強会・研修会名	開催年月日	参加者
沖縄県 MSW 協会 初任者研修	通年（年5回）	根間、銘苅
沖縄県 MSW 協会 めだかの学校	通年（年2回）	根間、銘苅
治療と仕事の両立支援 実務者研修	2023年5月16日	全員
妊孕性温存療法に関する研修会	2023年5月22日	西田・根間
地域包括ケアシステム総論セミナー	2023年5月31日	根間・銘苅
中部地区在宅医療介護連携推進事業 入退院支援多職種研修会	2023年7月26日	高澤・銘苅
はびなす訪問看護ステーションとの意見交換会	2023年10月13日	全員
呼吸器内科 DPC 勉強会	2023年10月18日	高澤
緩和ケア交流会	2023年10月19日	高澤
めだかのホームルーム	2023年11月14日	高澤
災害対策委員会 机上訓練	2023年11月17日	高澤
在宅医療・介護連携推進事業「看取り研修会」	2023年12月13日	高澤
MSW を対象とした緩和ケアセミナー	2024年1月27日	徳盛
九州地区 DMAT 合同訓練（机上）	2024年1月27日	高澤
第10回沖縄県緩和ケア研修会	2024年2月17日	根間・銘苅
呼吸器内科 DPC 勉強会	2024年2月21日	高澤・根間
那覇市立病院 地域医療連携交流会	2024年2月22日	西田・銘苅
両立支援コーディネーター Web 研修会	2024年2月22日	徳盛
第12回沖縄県ソーシャルワーク学会	2024年2月24日	徳盛・根間
AMC 緩和ケア病棟見学会	2024年2月22日	根間
診療報酬改定セミナー	2024年2月28日	徳盛・高澤
沖縄大学 合同企業説明会	2024年3月13日	高澤
グリーンハウスと原見学会	2024年3月25日	根間、銘苅
院内研修会「ハラスメント」	2024年3月29日	全員

職能団体に関する活動

名称	開催年月日	参加者
沖縄県 MSW 協会 定例理事会	通年 (毎月)	高澤
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 令和 5 年度社員総会	2023 年 5 月 25 日	高澤・根間・銘苅
県民健康フェア	2023 年 10 月 1 日	銘苅

血液内科移植サポートスタッフ業務

名称	開催年月日	担当者
研修会「変わりつつある ALL 高齢者を中心に」「ビーリンサイトの看護」	2023 年 6 月 29 日	西田
末梢血幹細胞移植 Web セミナー	2023 年 7 月 5 日	西田
第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会	2024 年 3 月 21 日～ 3 月 23 日	西田

その他

名称	開催年月日	参加者
おもと看護学生へのレクチャー (老年看護)	通年 (年 5 回)	高澤
医療体験実習	2023 年 8 月 23 日	高澤、根間
外来看護師への勉強会 (地域包括ケアシステムと入退院支援)	2023 年 6 月 30 日	高澤
外来看護師への勉強会 (訪問看護について)	2023 年 9 月 8 日	高澤
具志川看護学校 統合実習	2023 年 11 月 7 日	高澤
第 10 回沖縄県緩和ケア研修会 (講師)	2024 年 2 月 17 日	高澤
自殺未遂患者の支援に関する情報交換会 (中部福祉保健所)	2024 年 3 月 22 日	高澤

がん相談支援室

業務内容

がんについての治療や療養生活、社会復帰に伴う疑問や不安を看護師や、医療ソーシャルワーカーが対応しています。

「がん相談支援室」にご相談が出来る事の流れ

- ・がんについて知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・患者会や家族会を探したい
- ・治療に関わる費用を知りたい
- ・治療や副作用について相談したい
- ・痛みや辛さについて相談したい
- ・地域で利用できる制度やサービスを知りたい
- ・治療と仕事の両立について相談したい

2022 年度総括

がんの治療では入院や定期的な通院、自宅療養が必要となる為、仕事や家事、社会活動に影響が及びます。また、治療費や介護保険、福祉サービスに関する内容の相談が多く日々対応しています。

今後も「がん相談支援室」では患者さん、ご家族、地域の方々の様々な相談に両立支援コーディネーター等が対応していきます。

患者サポート窓口

活動目的

1. 医療従事者と患者との円滑なコミュニケーションを図る
2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する
3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者が患者等からの相談を円滑にサポートできるように支援する

「患者サポート窓口」のご相談事例

- ・ お困りのことがあるとき
- ・ 誰に尋ねればいいのか分からないとき
- ・ 当院の対応で不快な思いをされたとき

2023年度活動内容

- ・ 不当な対応を訴える患者の対応について、医師、各師長とカンファレンスを行い、対応に困った際には医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応を行いました。
- ・ 毎週木曜日の委員会にて報告書及び投書にてあがった事案について検討、対策を行いました。
- ・ 院内駐車場の障害者専用スペース案内表示を「思いやり駐車場」と名称を付け看板を設置しました。
- ・ 診察室誤り防止の為、診察室番号標示を診療科名称含め、区別しやすく設置しました。
- ・ 3階化療室向かいトイレ内のナースコールを透析室で鳴るよう設置しました。
- ・ 正面玄関と裏口に患者、職員、業者向けに「マスク着用」の看板を設置しました。
- ・ インシデント報告の一部は、接遇やコミュニケーションエラーによるものであり、その都度現場に周知し改善を図っています。

事務部

部門紹介

経営企画分析室、人事課、財務・経理課、診療支援室、患者総合支援センター、総務課、医事課、管財課、診療情報管理室、企画室、予防医学センター、看護部に 178 名の職員が所属しています（出向・法人事務局各部門含む）。

職員数

総数

178 名

職種別

一般事務	119 名	施設係	5 名
医師事務作業補助者	21 名	調理員	11 名
診療情報管理士	7 名	警備員	1 名
運転手	6 名	司書	1 名
社会福祉士	6 名	屋外植栽管理	1 名

法人担当

経営企画分析室

事務部長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の3つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。

職員数

総数

2名

職種別

一般事務 2名

運営方針（2023年4月1日更新）

- ① 医療に関する適切なデータ分析と改善提案の推進
 - （ア）原価計算（管理会計）システムの設定を再開（重点課題）
 - （イ）本業（医療・介護）稼働状況・事業計画・数値目標の分析とレビュー体制
 - （a）エビデンスベースの改善提案活動（SSIScope、EVE、MedicalCode、MEDI-Arrows）
 - ・ 診療単価の増加
 - ・ 3指標の達成（新規入院患者数、病床利用数、平均在院日数）
 - ・ DPC係数の増加（係数Ⅰ、効率性係数・複雑性係数・救急医療係数）
 - ・ 入院期間Ⅱ内割合の増加（病床利用の目標達成を意識しながら）
 - ・ 出来高項目の算定の増加（落ち穂拾いWGの継続）
 - （b）各部署事業計画の数値目標化と達成度レビュー体制の構築（重点課題）
- ② 医療・介護制度に関する情報のキャッチとフィードバック活動の推進
 - （ア）2024年度医療・介護同時改定への備え
 - （イ）行政機関・医師会・他病院とのパイプ作り
- ③新型コロナウイルス感染症対応
 - （ア）新型コロナウイルス感染症関連の各種補助事業（空床確保、医療機器、消耗品）
 - （イ）新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
- ④各種事業の企画立案・推進サポート（重点課題）
 - （ア）5年後・10年後の事業の柱だて（施設認定の高度化の促進：5疾病6事業）
 - （イ）地域包括ケアセンター事業の経営改善の戦略立案
 - （ウ）M&A

企画室の行動指針

1. 業務支援・経営支援のための情報収集・分析・提案

単に情報をあつめるだけではなく、分析し、戦略構築と企画提案につなげる

2. 経営層と運営層への積極的なフィードバック

情報を視える化し、適時のフィードバックを通して、時機を見逃さない

3. 法人理念と事業計画を基軸にする

いかなる場合でも過去・現在・未来を俯瞰し、法人理念と事業計画に沿って今やるべきことを判断し、ニーズの掘り起こしとそれに答える企画提案を実現することで、顧客に貢献する

4. コスト意識を持つ

1 円を積み上げる努力（現場の汗）、1 円を使う責任（重み）を忘れない

5. 現場へ足を運び、現場力を身につけること

経営活動の力点・支点・作用点はいずれもすべて現場に存在するので、現場へと積極的に足を運び、現場のニーズや課題を引き出すコミュニケーションを怠らない

6. 企画室の顧客は「地域社会」と「法人（各施設、部署、職員、患者と利用者）」

患者さんや利用者、その家族、地域住民、連携機関、行政はもちろんのこと、法人内の各施設、部署、職員もすべて「顧客」として接する

交流会

名称	開催地	開催時期
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	オンライン	2023 年 5 月
電子カルテユーザ会世話人会（おきなわユーザ会）（参加）	オンライン	2023 年 6 月
電子カルテユーザ会（全国）（参加）	オンライン	2023 年 8 月

事務局活動

名称	部門	開催時期
理事会事務局	共通	月 1 回定例
経営会議事務局	共通	月 2 回定例
運営委員会事務局	共通	月 2 回定例
事業継続計画マネジメント会議事務局	共通	通年
算定率向上ワーキンググループ事務局（各種加算）	共通	通年
地域災害拠点病院設備整備事業事務局（補助事業）	共通	通年
新型コロナウイルス関係の補助事業事務局（病床確保計画・病床確保料）	共通	通年
手術支援ロボット導入プロジェクト事務局		

年度総括

2023 年 5 月から、経営企画分析室の欠員枠に応募があり、2 名体制に戻りました。早速手薄だった介護事業の経営改善から着手し、当会の介護事業の改善方針を提案することができました。

COVID-19 の流行前と診療実績を比較しますと、入院の主たる指標である新規入院と病床利用の回復が遅れています。要因を詳細に分析してみますと、近隣市町村からの外来新患登録が大きく減少しており、高齢者施設・介護施設からの紹介が半減しています。COVID-19 が流行している間は、登録診療所や高齢者・介護施設との地域連携の密度が低下しており、顔の見える関係性への回帰が急務だと考えています。

財務・経理課

財務・経理課課長 大山 朝史

職員数

総数

5 名

職種別

一般事務 5 名

運営方針

1. 財務・経理内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門の予算執行状況を把握する。

2024 年度目標

1. 法人外部監査の窓口部署として、指摘事項の改善に向けた取組みを行う。
2. 業務ローテーションにより、業務負担を平準化し有給休暇取得の促進と残業削減を目指す。
3. キャッシュレス化を推し進め、現金取扱業務を整理する。
4. 西平医院に係る経理業務の効率化を図る。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
新リース会計基準セミナー	オンライン	2023 年 7 月 26 日	大山 朝史
医療法人の経営情報に関するデータベース等の解説セミナー	オンライン	2024 年 3 月 28 日	大山 朝史

人事課

人事課 課長 仲地 貴弘

職員数

総数

9 名

職種別

一般事務	7 名	臨床心理士	1 名
産業保健師	1 名		

運営方針

～当課役割～

法人経営方針に合わせ、職員個人の育成と適材配置が出来る仕組みを醸成する人事制度の構築を目指すと共に関連法規対応に努め、職員が働きやすい環境整備に努める。

1. 人事管理

1-1 正確な人事管理情報（配転・教育・評価・賞罰等）の構築

1-2 部署定数の管理及び入退職の可視化

1-3 現行の労働法規および関連法に則した規程の策定・更新

2. 労務管理

2-1 事務手続きの電子申請化促進

2-2 働き方関連法に則した運用整備

3. 人材育成

3-1 人事評価制度の導入準備

3-2 評価制度に応じた階層別研修の構築

4. 健康支援

4-1 全職員の働きやすい環境を目指し、心身のフォローを行う

4-2 各調査結果に基づき、課題改善に向けた取組みを行う

4-3 疾病を抱えても働きやすい職場環境づくりに取り組む（両立支援）

活動実績

業務実績

年月日		名称
通年		4 社会医療法人 人事情報交換会（随時） C19 対応特別手当支給（2022.4～2024.3）
2023 年	4 月	看護師 1 年目・2 年目に PHQ-9 導入（臨床心理士）
	5 月	新入職員健康相談実施 「治療と仕事の両立支援」等に関する 3 者協定締結（当院・労働局・職安）
	6 月	春季健診事後措置実施
		職員新型コロナウイルスワクチン接種
		2024 年度事務総合職採用に向けた企業説明会
		給与規程変更（処遇改善等）
	7 月	就業規則変更（年休規則）

年月日	名称
2023 年	7 月
	看護部主催オープンホスピタル（看護職）
	奄美看護専門学校へ就職説明および奨学金制度の説明会参加
	8 月
	2024 年度採用看護師 採用試験開催
	沖縄国際大学インターンシップ受入
	9 月
	看護部管理者向け研修会実施（外部講師招聘）
	職員 B 型肝炎ワクチン接種（1 回目）
	給与規程変更（管理当番手当新設・夜勤手当額変更）
	10 月
	職員 B 型肝炎ワクチン接種（2 回目）
	全職員対象 セルフケア研修会（1 回目）
	第 64 回全日本病院学会 in 広島大会 ポスターセッション発表
	11 月
	職員インフルエンザワクチン接種
	職員新型コロナワクチン接種
	全職員対象 セルフケア研修会（2 回目）
	職員ストレスチェック実施
	12 月
	就業規則
	・治療特別休暇（年休積立制度）新設
	・かりゆし会定年年齢延長
	給与規程
	・皆勤手当の廃止および資格手当等の増額
	・社会保険適用促進手当の新設（年収の壁突破への取り組み）
2024 年	3 月
	院内パワーハラスメント防止対策研修会実施（ハラスメント対策委員会共催）
	沖縄看護専門学校 職員の在籍出向に関する協定締結
	看護部主催オープンホスピタル（看護職）

診療支援室

診療支援室課長 比嘉 須奈子

職員数

総数

32 名

職種別

医師事務作業補助係 25 名

秘書係 4 名

卒後臨床研修事務係 3 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	6

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	23

運営方針

1. 医師が安心して診療に専念できる環境を作る
2. 医師の事務的業務の負担軽減を図る
3. 初期から専門研修まで充実した研修が行えるよう、あらゆる方向から支援する
4. 他部門とのスムーズな連携・協働に努める
5. 専門的知識、技術の向上をめざして自己啓発に努める

医師事務作業補助係

業務計画

1. 外来業務においては予習を徹底し、定期検査や必要な検査等のモレを防ぐ
2. 各担当科の専門性を高め、新たに代行できる業務がないか検討し開拓する
3. 統計、データ業務の分担化

活動実績

文書作成

名称	2020	2021	2022	2023
一般診断書	565	494	494	561
生命保険文書	1,758	1,690	1,382	1,368
介護主治医意見書	262	287	303	538
傷病手当金請求書	816	917	614	658
医療要否意見書	543	583	547	607
特定疾患調査票	70	335	305	327
身障 / 年金診断書	161	285	222	277
自賠責診断書	706	714	652	787
その他	2,144	2,256	2,283	2,695
合計	7,025	7,561	6,802	7,818
名称	2020	2021	2022	2023
退院サマリー	645	748	575	1,145
高額コメント	36	33	36	19

名称	2020	2021	2022	2023
NCD（外科手術症例登録）	835	840	904	896

統計業務

- ・ 日本胸部外科学会食道分野学術調査
- ・ 日本内視鏡外科学会症例報告
- ・ 日本外科学会指定施設年次報告
- ・ 日本ヘルニア学会症例報告
- ・ 日本血液学会疾患登録
- ・ 日本造血細胞移植データセンター全国調査
- ・ 外科研修関連施設実績報告（琉大・東京女子医大・大阪大学）

学会業務

名称	開催地	年月日
日本医師事務作業補助研究会 第 7 回沖縄地方会	県内	2023 年 6 月 10 日
日本医師事務作業補助者協会 第 12 回全国学術集会	オンライン	2023 年 10 月 28 日
第 23 回 日本クリニカルパス学会学術集会	埼玉県	2023 年 11 月 10 日、11 月 11 日
日本医師事務作業補助研究会 第 8 回沖縄地方会	県内	2023 年 12 月 9 日
第 11 回沖縄ヘルニア研究会（事務スタッフ）	県内	2024 年 1 月 7 日

卒後臨床研修事務係

研修医の実績については医局部門をご覧ください

活動実績

卒後臨床研修事務局主催のレクチャー、講演会等

内容	開催地	日程
群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生による教育回診	当院	毎月第 1・第 3 木曜日
新研修医オリエンテーション	当院	2023 年 4 月 3 日～7 日
群星沖縄新研修医オリエンテーション	那覇	2023 年 4 月 4 日
カリフォルニア大学サンフランシスコ校内科教授 Dr. Lawrence M. Tierney Jr. による教育回診	当院	2023 年 9 月 26 日
ミシガン大学 Dr. Richard R.J. Schildhouse による教育回診	当院	2023 年 11 月 16 日
群星沖縄アカデミア研究発表会	那覇	2023 年 12 月 18 日
基本的臨床能力評価試験の実施（オンライン）	当院	2024 年 1 月 17 日～30 日
ミシガン大学 Dr. Stephanie Parks Taylor による教育回診	当院	2024 年 2 月 22 日
杏林大学准教授 岸本暢将先生による教育回診	当院	2024 年 3 月 4 日
群星沖縄ポートフォリオ	当院	2024 年 3 月 18 日

セミナー・勉強会・会議等への参加

内容	開催地	日程
初期臨床研修運営協議会	当院	毎月第 2・第 4 火曜日
群星沖縄定例会議（現地・オンライン）	オンライン	毎月第 2 月曜日
2023 年度第 1 回卒後臨床研修管理委員会（現地開催 + 書面会議）	当院	2023 年 6 月 1 日
琉球大学関連協力病院協議会への参加（オンライン）	オンライン	2023 年 10 月 19 日
令和 5 年度第 1 回臨床研修病院長等会議	南風原町	2023 年 4 月 5 日
琉球大学専門研修プログラム連絡協議会への参加（オンライン）	オンライン	2024 年 2 月 22 日
四病院合同内科専門研修管理委員会への参加（現地開催 + オンライン）	当院	2024 年 2 月 14 日
2022 年度第 2 回卒後臨床研修管理委員会（現地開催 + 書面会議）	当院	2024 年 3 月 7 日
広報誌「LIFE」作成委員会	当院	不定期

医学生・院外研修医の受け入れ

内容	日程
琉球大学医学部 5 ～ 6 年次クリニカルクラークシップ (延べ 45 名)	2023 年 4 月 17 日～2024 年 3 月 8 日
医学生病院見学受け入れ (延べ 58 名：県外 29 名、県内 29 名)	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
琉球大学病院より研修医受け入れ 1 年目 2 名 (救急科)	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
浦添総合病院より研修医受け入れ 2 年目 1 名 (産婦人科)	2023 年 4 月
中部徳洲会病院より研修医受け入れ 2 年目 1 名 (産婦人科)	2023 年 7 月
友愛医療センターより研修医受け入れ 2 年目 2 名 (放射線科)	2023 年 9 月、12 月
中頭病院より研修医受け入れ 2 年目 1 名 (血液内科)	2023 年 11 月

リクルート活動

内容	開催地	日程
レジナビフェア 2023 福岡	福岡県	2023 年 5 月 14 日
レジナビフェア 2023 東京	東京都	2023 年 6 月 18 日
Clinical Skills@ 東京	東京都	2023 年 6 月 24 日
当院主催病院説明会	当院	2023 年 7 月 1 日
レジナビフェア 2023 大阪	大阪府	2023 年 7 月 2 日
群星沖縄臨床推論甲子園 (オンライン)	オンライン	2023 年 8 月 5 日
マイナビ沖縄県 Web セミナー (オンライン)	オンライン	2023 年 9 月 30 日
当院主催学生向けセミナー	西原町	2023 年 11 月 11 日
群星沖縄臨床推論甲子園 (オンライン)	オンライン	2024 年 1 月 27 日
当院主催病院説明会	当院	2024 年 2 月 24 日
レジナビフェア 2024 東京	東京都	2024 年 3 月 17 日

研修参加実績

内容	開催地	日程
新研修医 AHA BLS Provider コース (1 年目研修医 8 名参加)	当院	2023 年 4 月 22 日
新研修医 AHA ACLS Provider コース (1 年目研修医 8 名参加)	当院	2023 年 4 月 29 日・30 日
新研修医 AHA BLS Provider コース (1 年目研修医 1 名参加)	当院	2023 年 5 月 20 日
新研修医 AHA ACLS Provider コース (1 年目研修医 1 名参加)	当院	2023 年 6 月 10 日・11 日
第 10 回沖縄県緩和ケア研修会 2023 (2 年目研修医 7 名参加)	当院	2024 年 2 月 17 日

その他

内容	開催地	日程
2023 年度 RyuMIC 指導医養成講習会 (医師 1 名参加)	西原町	2024 年 1 月 20 日・21 日

附随業務部門 食堂とまと



店舗



ドック食

食堂とまと 平安山 良親

院内食堂として、病院敷地奥の別館 1 階で営業を行っています。お客様の約 7 割が病院職員で、平日の日替わりランチ、店舗販売の弁当は、職員割引で提供し職員食堂の役割も担っております。

また、当院人間ドック受診者向けの昼食メニューも食堂とまとで調理を行い、8 階人間ドックの専用レストランにて提供しております。

メニュー

日替わりランチ、みそ汁定食、豆腐チャンプルー定食、さんま定食、ポークたまご定食、カツカレー、カレー、沖縄そば、日本そば（きつね）、うどん（きつね）、ライス、サラダ、弁当（みそ汁付）
タコライス、スパゲティ（ミートソース・カルボナーラ）

営業時間：月曜日～土曜日 11:30 ～ 15:00

定休日：日曜日、祝日、年末年始

職員数

総数

11 名

職種別

調理師 3 名

調理補助 7 名

調理員 1 名

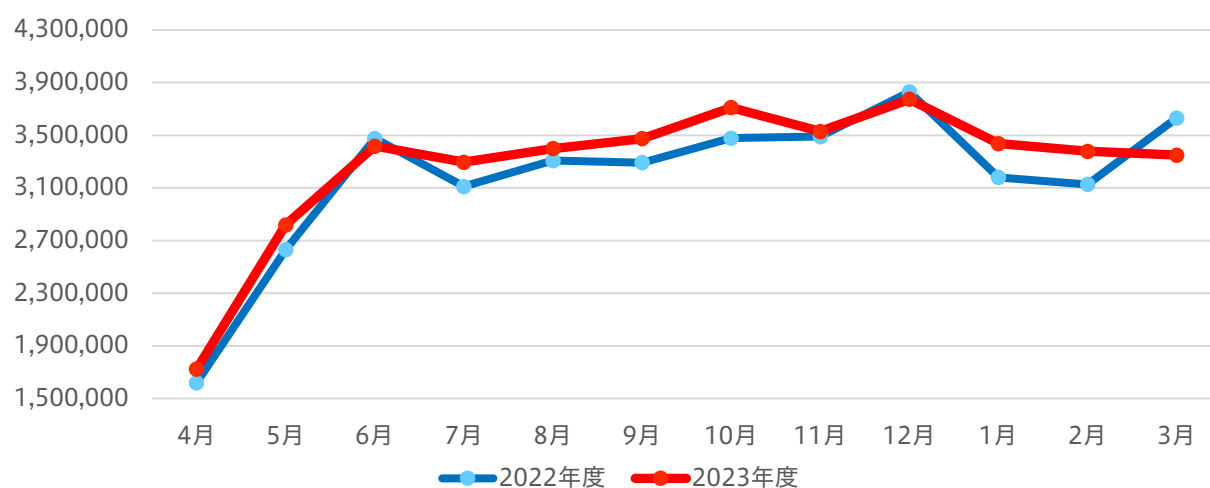
経営方針

職員や来院者に対し、「笑顔で親切ハートライフ病院」を合言葉にして、安全・安心で美味しい食事を提供していきます。

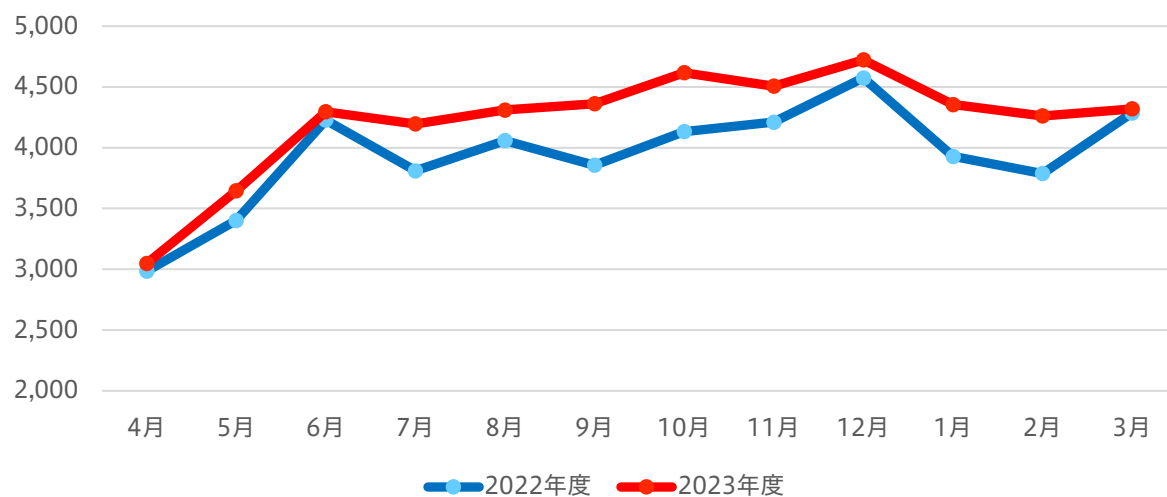
活動報告

- ・ 弁当新メニューの追加
- ・ 人間ドックメニューの変更

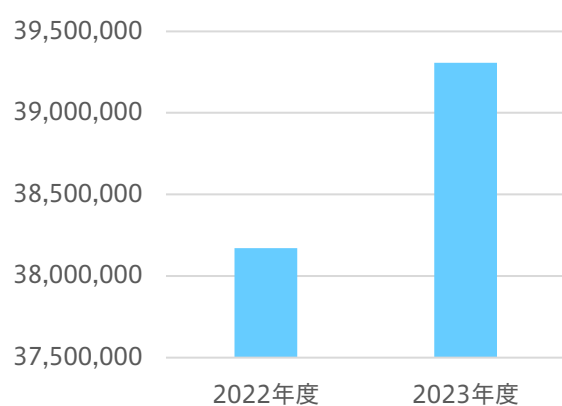
売上推移



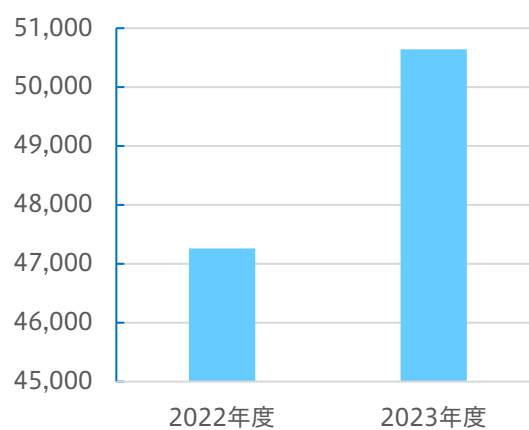
客数推移



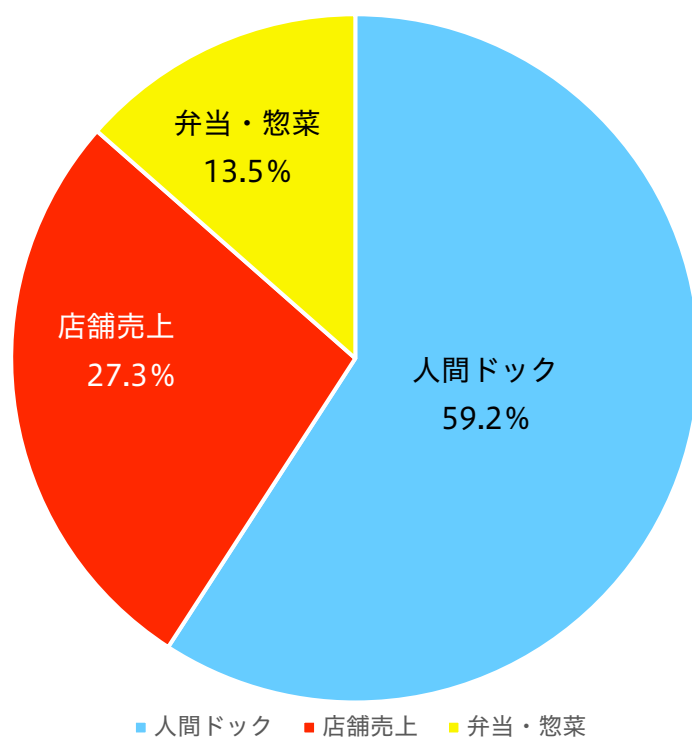
総売上高推移



総客数推移



売上割合



法人事務局 年度総括

ここでは主にハートライフクリニック、ハートライフ地域包括ケアセンター、はーとらいふ保育園、人事課、財務経理課、経営企画室、診療支援室にも触れさせていただきたいと思います。

2023 年度、5 月 8 日よりコロナ感染症が 5 類に移行しました。しかし感染が消失したわけではなく、繰り返す感染拡大の波に悩まされた 1 年でした。そのような中、各部署の職員は感染予防に務めながら職務を全うしたと思います。本当にお疲れ様でした。

【ハートライフクリニック】

2023 年 4 月、ハートライフクリニックは開院 11 周年（2012.4 月開院）を迎え、糖尿病内科、一般内科、小児科、すべての診療科でコロナ前と同等に業績も回復しました。多くの地域の皆様にご利用いただけたことは嬉しい限りです。

当クリニックでは、2023 年 5 月 8 日以降、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後も感染対策として、クリニック入口へ発熱者チェックの担当者の配置を継続するなど、感染対策には万全を期しております。2024 年 3 月でコロナ感染症への特例臨時接種（全額公費）は終了しました。当クリニックでは、2021 年 5 月～2024 年 3 月までで累計 8,256 回のコロナウイルスへの予防接種を実施することができました。また、2023 年 11 月 12 日の日曜日に、西原町、中城村、宜野湾市の 3 市町村の方を対象として、特定健診を実施しております。

2024 年度も地域の皆様のお役に立てるように、職員一同努力していく所存です。

【ハートライフ地域包括ケアセンター】

2023 年度のハートライフ地域包括ケアセンターは、5 月にコロナ感染症が 5 類へ移行した後も感染対策に追われる日々でした。センター内で発生したクラスターの影響で、新規入居者の受け入れや各種サービスの利用制限を実施せざるを得ない状況もありました。

しかし、2023 年度の後半からは感染対策もひと段落し、また、職員の定着率も向上した影響もあってか、質の高い医療・介護サービスを提供できたと自負しております。

2023 年度も職員の皆さんは入居者様・利用者様のために一丸となって努力してくれました。今後も当センターが、地域社会の皆様に貢献できる、職員が誇りをもって働ける職場であるように努力してまいります。

【はーとらいふ保育園】

はーとらいふ保育園は、2017 年に設立し、2023 年 4 月で 7 年目を迎えました。

当園をご利用してくださった方や、現在ご利用いただいております方々、また各部署の方々のお力添えによるものであり、皆様のご協力とご理解に心より厚く感謝申し上げます。

開園以来、行っております各種行事は、コロナ感染症流行後は園児のみの参加にするなど、感染対策を優先して開催しておりましたが、2024 年度からは、保護者の方をお招きした保育園行事を少しずつですが再開していく予定です。

当園は『地域枠』を設けており、当初は中城村在住のお子さんのみ受け入れておりましたが、他の市町村からも入園に関するお問い合わせが多かったため、2023 年度からは受け入れ枠・地域を拡大しており

ます。

今後も地域の皆様、職員の皆様から安心してお子様を任せていただけるように、質の高い保育を提供すべく精進して参ります。

【人事課】

2023 年度、人事課では新たに多くのことに取り組んでおります。以下、2023 年度に人事課が取り組んだ主な項目を記載致します。

- ・給与規程変更（2023 年 9 月）→看護師管理当番手当新設、夜勤手当額変更
- ・看護職奨学金制度新設
- ・産業保健業務

新人看護師（1・2 年目）へ PHQ-9（こころとからだの質問票）の導入

禁煙サポート事業の開始→産業保健師による禁煙指導強化

- ・就業規則変更（2023 年 12 月）→治療特別休暇（年休積立制度）新設

かりゆし会定年年齢延長

皆勤手当廃止、資格手当増額

社会保険適用促進手当の新設（年収の壁突破の取組み）

- ・リクルート専任者の配置

2023 年度は、リクルート専任職員を配置し、特に人員が不足している看護職の確保に力を入れました。リクルート専任者による養成校訪問や採用関連イベントへの積極的な参加、LINE を活用した採用関連の情報発信などに取り組んでいます。2024 年度以降も慢性的に人員が不足している看護師や薬剤師等の確保に注力していきたいと思っております。

【財務・経理課】

2023 年度、財務経理課では 2023 年 10 月からのインボイス制度の開始や 2024 年 1 月からの電子データ保存の義務化など、求められる処理が増えていますが、課内勉強会による知識習得や新たなシステム利用等を行うことで、制度対応ができております。

2024 年度からは西平医院が施設会計に加わりますが、課長、係長を中心に、引き続き正確かつ迅速な処理をモットーに取り組めます。

【経営企画分析室】

2023 年度、経営企画分析室で主に以下 6 項目の事業に取り組んでいます。

1. ロボット支援下手術導入業務

手術支援ロボットの機種検討、導入後の手術件数や収支計画、ダビンチ手術開始に向けた研修・体制・運用等の検討

2. 西平医院合併に関連した動き

事業譲渡契約及び土地建物売買契約の契約書内容の作成から締結までの業務

3. 有料老人ホーム事業の収支改善業務

経常損失の原因分析、改善方法提案（料金体系の変更提案、料金の金額の変更提案、介護度別の料金体系

の提案、事業間の費用按分について実態に沿ったかたちへの見直し提案、損益分岐点となる運営の提案)

4. 訪問看護事業の収支改善業務

経常損失の原因分析、改善方法提案（サービス提供状況の分析、同一建物内への需要余力の分析、損益分岐点となる運営の提案）

5. 手術件数増加に向けた対策業務

地域からの紹介患者で手術を実施した患者の紹介元への逆紹介状況の診療科別分析

6. 同規模急性期病院の近隣への移転による影響の分析と対策業務

2023 年度も経営企画分析室は法人経営に関わる大きな事案に対して関わってきました。特に、2024 年 4 月に当会へ仲間入りした西平医院との合併に関する契約面では中心的な役割を果たしてくれました。2024 年 7 月に導入予定の手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』の導入に向けた内外の調整も経営企画分析室が担っており、その重要性は増すばかりです。

経営企画分析室が今後も法人の発展に寄与することを期待します。

【診療支援室】

診療支援室は医師事務作業補助係、秘書係、卒後臨床研修事務係で構成されています。

まず医師事務作業補助係では、今年度より透析室にも担当を配置し、透析患者さんの定期処方や検査の代行入力および回診の補助を行い、医師のみならず看護師の負担軽減にもつながりました。引き続き、診療科のニーズに合わせて柔軟な対応をよろしくお願いします。

卒後臨床研修事務係では、前年度に引き続き 2023 年度もフルマッチで無事に定数 7 名の採用となりました。これもひとえに、普天間光彦研修委員長、佐藤直行副研修委員長はじめ、医局の先生方のご協力と、何よりも 3 名の事務員がそれぞれ役割分担しながら、指導医と研修医のパイプ役を担い、2 年間の研修をしっかりと支える力があってのことだと思います。大変お疲れ様でした。

医局秘書は今年度より 1 名増員し、医師の働き方改革に向けて人事課と協力して色々な取り組みを始めてもらいました。秘書が積極的に医師の残業や休みの取り方に関与することで、働き方改革の意識づけが先生方にも浸透しつつあります。今後も引き続きどうぞよろしくお願いします。

本課の『診療支援室』という名称の通り、今後もスムーズに診療が行えるよう医療現場に対して適切な支援を継続してくれることを期待しています。

以上が法人事務局部長としての 2023 年度の総括になります。2024 年度もかりゆし会の発展のため、そしてかりゆし会を利用して下さっている多くの方々のために精進して参りたいと思います。

法人事務部長 仲地 智俊

病院担当

医事外来課

医事外来課 課長 宮城 淳

職員数

総数

33 名

職種別

一般事務 33 名

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

1. 2023 年 4 月より医事課が、医事外来課・医事入院課と機能別の 2 課体制となった。医事課長は外来医事課長兼クリニック事務長として外来統括する業務となった。
2. 2024 年 4 月に診療報酬改定が実施され、2025 年に向けて当院の方向性の決定がますます重要となってくる。今後急速に発展する医療 DX に対応するため情報を取り入れ遅れの内容に取り組む。改訂に関しては医事外来課として、社会保険中央審査会議論内容を把握しながら早期情報収集、情報提供、決定後保険請求の知識向上、医療法に基づいた請求を行う。
3. 今年度からは国の方針が感染症 5 類へと移行するにあたり、新たな方針で紹介患者の獲得を目指しながら病棟運営を行っていくので、情報をキャッチして業務を行っていく。
4. 看護必要度のⅠからⅡへの変更となり、引き続き看護部とタイアップし精度並びに安定したデータ化を進める。
5. 紹介・逆紹介の取り組みを他職種と協力し実績を上げる。外来については逆紹介推進の取組み。
6. 5 年後を見据えての人材育成。まずは人材の確保。業務改善を行い人材の安定化を図る。働きやすい職場環境を目指す。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
病院経営 Web セミナー iMedy 株式会社	オンライン	2023 年 5 月 16 日	宮城（医事）・佐和田（総務）
日本病院会主催・施設基準研修会（Web）	オンライン	2023 年 6 月 16 日	宮城・新垣・田中（医事）佐和田（総務）
病院経営 Web セミナー iMedy 株式会社	オンライン	2023 年 11 月 14 日	宮城・新垣・田中（医事）佐和田（総務）
マイナ保険証関連セミナー	オンライン	2024 年 1 月 12 日	宮城・伊集・新垣・田中
2024 年度診療報酬改定 Web セミナー（MDV）	オンライン	2024 年 2 月 28 日	宮城・伊集・新垣・田中・仲宗根・佐和田（総務）

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
那覇日経ビジネスインターンシップ	2023 年 7 月 19 日～ 8 月 18 日	2 名
沖縄女子短期大学実習受け入れ	2023 年 8 月 21 日～ 8 月 25 日	1 名
広島国際大学医事課見学	2023 年 8 月 23 日	2 名

その他

名称	開催地	年月日	参加者
日経ビジネスグループインターンシップ報告会参加	沖縄市	2023 年 9 月 4 日	宮城
日経ビジネス企業説明会	沖縄市	2023 年 12 月 14 日	宮城・當間（医事）、仲地・上原（人事）

医事入院課

医事入院課 課長 新垣 淳

職員数

総数

10 名

職種別

一般事務 10 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	1

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）で接する
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

1. 2022 年 4 月に診療報酬改定が実施され、2024 年の改定に向けて当院の方向性の決定がますます重要となってくる。急性期一般入院料 1（7 対 1 入院料）を算定基本としていくために医事課として、社会保険中央審査会議論内容を把握しながら早期情報収集、情報提供、決定後保険請求の知識向上、医療法に基づいた請求を行う。
2. 看護必要度Ⅱの運用を継続できるよう、引き続き看護部とタイアップし精度並びに安定したデータ化を進める。
3. 落ち穂ひろいの継続。加算取得により増収となっている項目もあるので、算定継続と新たな項目の洗出しを行う。
4. 紹介・逆紹介の取り組みを他職種と協力し実績を上げる。
5. 2023 年度から国の方針が感染症 5 類（COVID-19）へと移行するにあたり、新たな方針で紹介患者の獲得を目指しながら病棟運営を行っていくので、情報をキャッチして業務を行っていく。
6. 5 年後を見据えての人材育成。まずは人材の確保。業務改善を行い人材の安定化を図る。働きやすい職場環境を目指す。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2023 年 4 月 19 日	新垣・田中（医事）
医療通訳サポートセンター説明会	オンライン	2023 年 6 月 13 日	新垣・田中・仲宗根（医事）
施設基準研修会	オンライン	2023 年 6 月 16 日	新垣・田中・仲宗根（医事）
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2023 年 6 月 21 日	新垣・田中（医事）
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2023 年 8 月 16 日	新垣・田中（医事）
SSI ユーザー会	友愛医療センター	2023 年 8 月 18 日	新垣・田中（医事）
外国人観光客傷病時対応セミナー	オンライン	2023 年 8 月 23 日	新垣・田中・仲宗根（医事）
マイナ保険証説明会	オンライン	2024 年 1 月 12 日	新垣・田中・仲宗根（医事）
診療報酬改定説明会 MDV	オンライン	2024 年 1 月 28 日	新垣・田中・仲宗根（医事）

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
那覇日経ビジネス専門学校	2023 年 7 月 19 日～7 月 21 日	2 名
広島国際大学	2023 年 8 月 23 日	2 名

管財課

管財課 課長 宮里 毅

職員数

総数

1 名

職種別

一般事務 1 名

運営方針

- ・ 各年度の大規模修繕工事の計画と立案。
- ・ 大規模修繕工事は、1 件当たりの工事費用が 1,000 万円以上とする。
- ・ 大規模修繕委員会への工事案件の提案と承認。
- ・ 大規模修繕委員会で承認された各工事の予算を理事会への提案と予算化。
- ・ 理事会承認された予算と前年度繰越予算内で、各工事を計画し施工管理する。
- ・ 各工事の進捗・安全管理を行う。
- ・

今年度事業の取組

2023 年度の大規模修繕予算は 220,000,000 円の承認を頂き、前年度繰越予算が 257,893,100 円で予算総額：477,893,100 円で以下の 6 件の大規模工事を実施する。

- ①非常用発電機更新工事（補助金：90,750,000 円取得）
- ②法面对策擁壁（土砂崩れ復旧）工事（補助金：11,475,000 円取得）
- ③個別空調機更新工事
- ④軽量鉄骨造（2 階建て）工事
- ⑤医局増設に伴う改修工事
- ⑥防火扉（61 ヲ所）取替工事

管財課実績

- ①受水槽増設工事
- ②エレベーター（3・5 号機）更新工事
- ③救急外来屋上防水工事
- ④全館空調機更新工事
- ⑤無停電装置設置工事
- ⑥ G 回路・2 回線受電工事

用度課

用度課 係長 諸見里 和也

職員数

総数

6 名

職種別

一般事務 6 名

運営方針

物品の安全・安定供給

- ・ 各現場へ必要物品の安定供給をする為に定数物品・注文物品等、発注から納品まで敏速に実行できる体制を構築する。
- ・ 使用後も廃棄処理時に有害物質を出さない、環境に優しい物品の採用。
- ・ 患者さん・職員に対し、安全に配慮した物品の採用。
- ・ 物品の標準化。標準化する事により、使用方法の統一が図れ、安全かつコスト削減にもつなげる。
- ・ 医療材料説明添付文書通り順守し管理する。

物品管理

- ・ 在庫管理・定数管理の強化。定期的に定数を見直し、適正な定数を目指す。
- ・ 年 2 回の、棚卸を実施。適正な在庫数を維持管理する。
- ・ SPD システムのバージョンアップを図り、維持管理の強化（12 月運用開始）。
- ・ 機器の不具合・故障等の場合、現場に出来るだけ支障の無い様に、速やかに対応する。
- ・ 災害拠点病院に適した維持管理。
- ・ 事務什器備品の資産管理。

イントラの整備

- ・ イントラ整備に伴い、各種申請書、請求伝票連絡関係等の電子化の推進。
※電子申請を 2019 年 10 月より本院・事務部がトライアル開始。2020 年 4 月本院・地域包括支援センター運用開始。各申請書は徐々に拡大予定。

課員の教育

- ・ 勉強会、県内外への研修、見学等の積極的な参加に努める。
- ・ 患者様の安心・安全の為、医療従事者として出来る最善策を日々、研究実践する。

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

用度係活動実績

業務計画

1. 医療改定に伴う医療材料、日用品の見直し。

- ・ 昨年度同様にコロナ禍の中で患者さんの安全、安心も勿論、全ての職員も守る！を念頭に感染防護品の選定や提案等を常に医師や看護師、医療技術者とディスカッションし感染予防に対し最善を尽くした。
- 2. 課員の教育とスキルアップ。
 - ・ 取扱い材料がどのような診療で使用されるかなどを紐づけて教育した。
 - ・ 各業者対応や発注業務、納品書の入力業務を援助なしで対応出来る様に指導し、対応できるようになった。
- 3. 事務備品の資産管理の徹底。
 - ・ 管理シールにて運用の徹底。
- 4. 新規治療（医療事業）に対するサポートと提案。
 - ・ 今後も新規治療がある場合、取扱店や金額交渉、納期の確認など、臨機応変に対応出来る体制を作る。

収入計画

1. 購入材料引き率目標の設定

人員計画

- ・ 課員の心身のバランス（ワークライフバランス）の取れた職場の環境作り。
- ・ 昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大を受け、国や県からコロナ補助金での医療材料や衛生材料、医療機器などの申請や、申請が下りた材料の臨時倉庫へ搬入、病棟への払い出しなど。又、コロナ病棟の整備等で残業時間が増え、来年度は院内物流管理システムの導入スケジュールリングや主要部署と委員会等でヒアリングし、スムーズに開始できるように電子カルテ上の医療材料マスタ整理や処置行為への紐付を行う。
- ・ 2022 年 2 月より手術室 1 名派遣に伴い提案や勉強会、材料及び資産管理の膨大な作業が見える為に人員 1 名の増員確保を希望する。

設備計画

1. 医療材料、日用品の安心、安全、清潔をもって管理が出来る広い倉庫の確保。
 - ・ 現在の倉庫が狭く、廊下に陳列する環境にあり消防からの指摘事項となっている。
 - ・ 災害拠点病院に係る医療材料の定着した場所の確保。
※現在 9 階ドック跡地を期間限定で利用中。倉庫は定着した場所の確保を来年度も継続していきたい。
2. 院内物流管理システム導入
 - ・ 院内物流管理システムの導入 2020 年 3 月（理事会承認済） 導入予定：2023 年 12 月頃

活動実績

セミナー・講習会・勉強会への参加

名称	開催地	年月日	参加者名
中部徳洲会病院 消化器外科ダビンチ手術見学会	北中城村	2024 年 2 月 29 日（木）	諸見里・新垣

施設課

施設課 係長 具志堅 徳明

職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者 5 名

認定・資格

資格名	人数
第 3 種電気主任技術者	2
第 1 種電気工事士	2
第 2 種電気工事士	5
1 級電気施工管理士	1
消防設備士特類・乙 6・7 類	1
消防設備士甲種 1 類～ 5 類	2
自衛消防業務	3
1 級ボイラー技士	1
2 級ボイラー技士	4

資格名	人数
ボイラー整備士	1
危険物取扱者乙 4 類	5
2 級管工事施工管理技士	1
2 級土木施工管理技士	1
第 2 種冷凍機械責任者	2
エネルギー管理員	2

運営方針

安全管理と省エネに務める。

理念

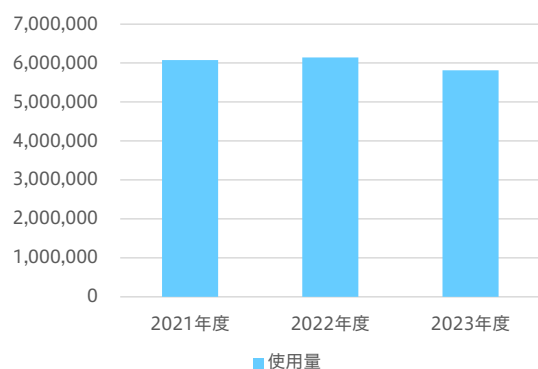
関係法令等を遵守し施設内を常に最良の状態に維持管理する。予防保全的業務を実施し、設備の耐用年数の延長を図り省エネルギーの達成に務める。

業務実績

ハートライフ病院

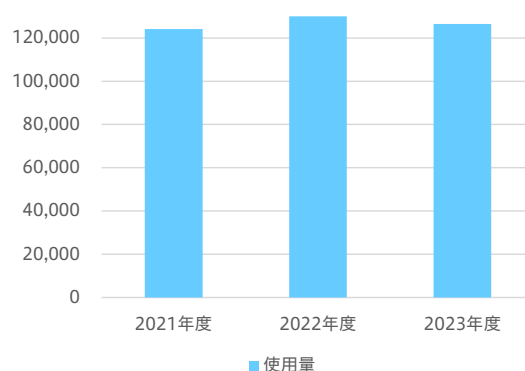
総電力量 (単位 :kwh)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
kwh	6,075,380	6,145,620	5,811,160
対前年比	2.3% 増	1.2% 増	5.4% 減



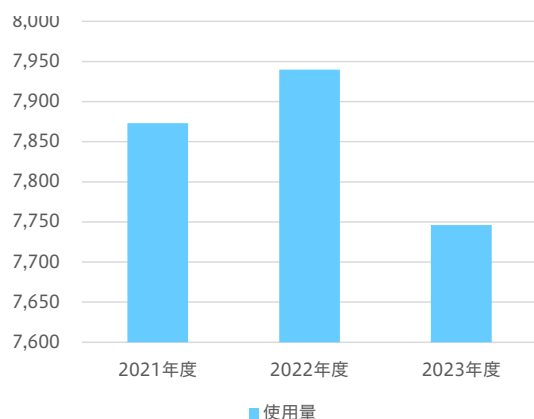
A 重油使用量 (ボイラ) (単位 :ℓ)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
ℓ	124,146	130,431	126,471
対前年比	0.2% 増	5.1% 増	3.0% 減



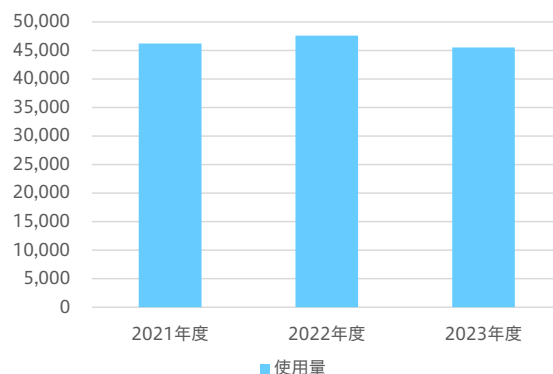
LPG 使用量（厨房）（単位：m³）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
m³	7,873	7,940	7,746
対前年比	0.7% 減	0.8% 増	2.4% 減



上水道使用量（単位：m³）

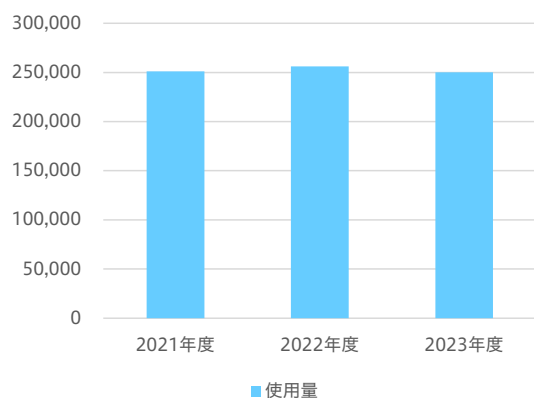
	2021 年度	2022 年度	2023 年度
m³	46,209	47,602	45,549
対前年比	8.0% 減	3.0% 増	4.3% 減



ハートライフクリニック

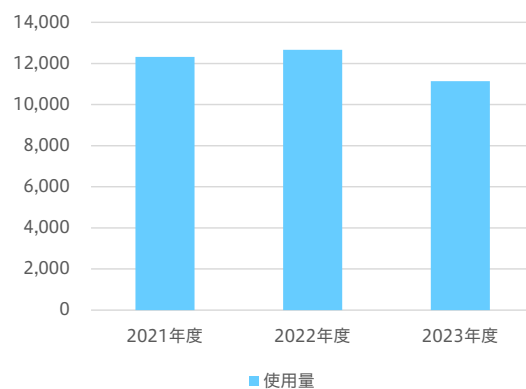
総電力量（単位：kwh）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
kwh	251,025	256,210	250,022
対前年比	0.4% 減	2.1% 増	2.4% 減



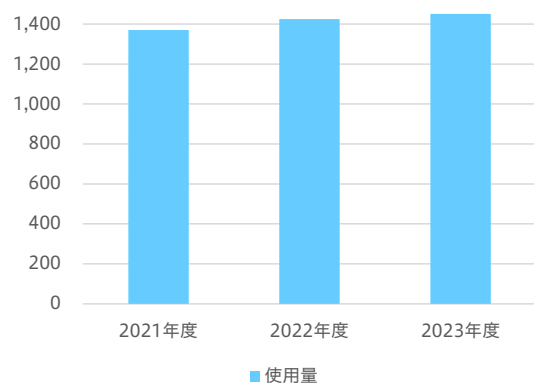
LPG 使用量（単位：m³）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
m³	12,316	12,663	11,135
対前年比	16.1% 増	2.8% 増	12% 減



上水道使用量（単位：m³）

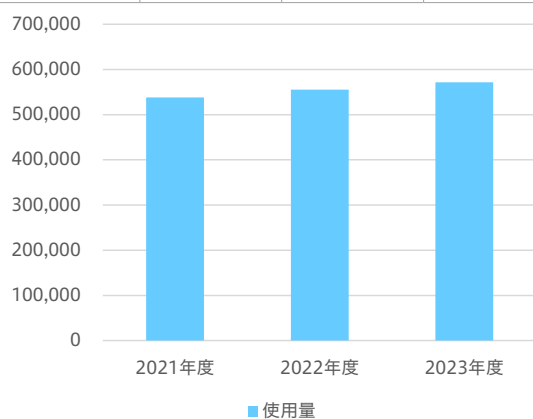
	2021 年度	2022 年度	2023 年度
m³	1,316	1,370	1,451
対前年比	18.6% 減	4.1% 増	1.8% 増



ハートライフ地域包括ケアセンター

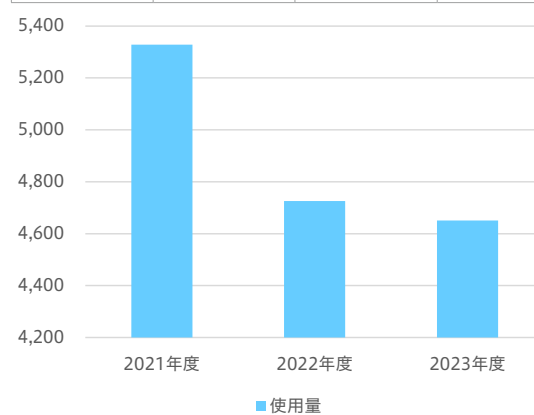
総電力量 (単位 :kwh)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
千 kwh	538,166	555,437	571,513
対前年比	0.4% 増	3.2% 増	2.9% 増



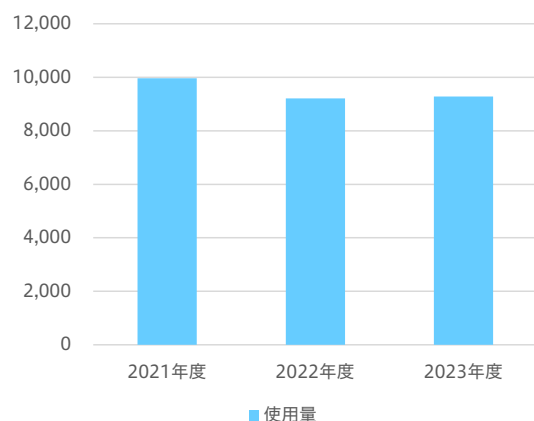
LPG 使用量 (単位 :m³)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
千 kwh	5,328	4,726	4,651
対前年比	9.7% 減	11.3% 減	1.6% 減



上水道使用量 (単位 :m³)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
千 kwh	9,967	9,210	9,281
対前年比	7.3% 減	7.6% 減	0.7% 増



法人全体エネルギー原油換算量

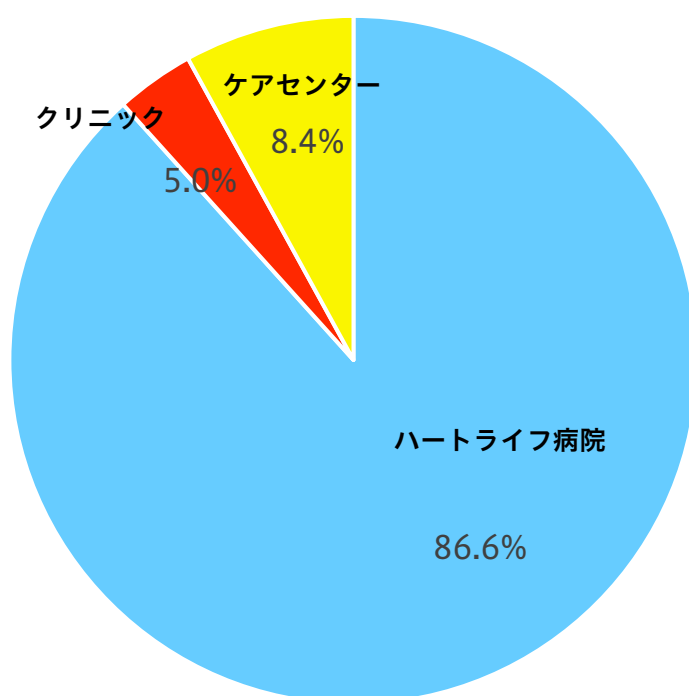
	本院		クリニック		老人ホーム	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023
電力	1,581	1,495	66	64	143	147
LPG	22	21	34	30	13	13
A重油	131	127	-	-	-	-
合計	1,734	1,643	100	94	156	160

2022 年度 法人合計	2023 年度 法人合計
1,990	1,897

令和 5 年度 エネルギー原油換算量 1,897KL【前年度比 4.6% 減】

法人各施設エネルギー使用量比率

2023 年度（令和 5 年度）は、法人全体でエネルギー原油換算値が、対前年比 4.6% 減少しました。病院においては、空調設定温度の集中制御（下限設定 24℃）を行い電力使用量の削減を達成しました。2024 年度（令和 6 年度）も引き続き、空調機をはじめ、各設備の適正運転を図り、省エネを継続したいと思います。



活動実績

セミナー・講習会・勉強会への参加

名称	開催地	年月日	参加者名
自衛消防業務講習	福岡市	2023 年 5 月 11 日～ 5 月 12 日	比屋根 宗
エネルギー管理新規講習	那覇市	2023 年 6 月 30 日	高江洲和彦
自衛消防業務講習	福岡市	2023 年 7 月 26 日～ 7 月 27 日	比屋根 齊
危険物取扱者保安講習	沖縄市	2023 年 9 月 7 日	比屋根 齊
危険物取扱者保安講習	沖縄市	2023 年 9 月 20 日	比屋根 宗

名称	開催地	年月日	参加者名
消防設備士法定講習	浦添市	2023 年 10 月 13 日	比屋根 斉
消防設備士法定講習	浦添市	2023 年 10 月 31 日	比屋根 斉

施設課 各設備点検業務状況

4 月	ハートライフ病院 本館：エレベーター点検、ダムウェーター点検、厨房害虫防除作業、第一種圧力容器性能検査 ケアセンター：受変電設備定期点検、受水槽清掃
5 月	ハートライフ病院 本館：消防設備点検、エレベーター点検、ダムウェーター点検、簡易専用水道検査 クリニック：簡易専用水道検査、受変電設備定期点検 ケアセンター：受水槽清掃、簡易専用水道検査、BEMS 定期点検
6 月	ハートライフ病院：飲料水水質検査、エレベーター点検、ダムウェーター点検、害虫防除作業、東館フィルター清掃 ケアセンター：受変電設備点検
7 月	ハートライフ病院：エレベーター点検、ダムウェーター点検、厨房害虫防除作業、特定施設排水水質検査、氷蓄熱全館空調改修工事開始、ハートライフ病院 本館フィルター清掃、東館非常用発電機法定点検 クリニック：受変電設備法定点検
8 月	ハートライフ病院：エレベーター点検、ダムウェーター点検、第一種圧力容器性能検査、第一原水槽バキューム清掃 クリニック：消防設備法定点検 ケアセンター：受変電設備点検、BEMS 定期点検
9 月	ハートライフ病院：エレベーター点検、ダムウェーター点検、ばい煙濃度測定、蒸気、温水ボイラー点検整備、東館空調フィルター、換気扇清掃 クリニック：受変電設備定期点検
10 月	ハートライフ病院：手術室防火シャッター改修工事、医療ガス設備保守点検、エレベーター点検、ダムウェーター点検、厨房害虫防除作業 ケアセンター：受変電設備定期点検
11 月	ハートライフ病院：空調フィルター、換気扇清掃、ダムウェーター点検、消防設備法定点検、非常用発電機年次点検、エレベーター点検 クリニック：受変電設備定期点検 ケアセンター：BEMS 定期点検
12 月	ハートライフ病院：ハートライフ病院 本館、東館受変電設備法定点検、院内害虫防除作業、ダムウェーター点検、エレベーター点検、手術室 1.2.3.5.6 室 HEPA フィルター取替 ケアセンター：受変電設備定期点検
1 月	ハートライフ病院：防火、防災管理点検、ダムウェーター点検、エレベーター点検、厨房害虫防除作業 クリニック：受変電設備定期点検
2 月	ハートライフ病院：エレベーター点検、ダムウェーター点検、建築設備定期検査、東館フィルター清掃、第一種圧力容器性能検査、クリニック：非常用発電機年次点検 ケアセンター：非常用発電機年次点検、受変電設備法定点検
3 月	ハートライフ病院：エレベーター点検、ダムウェーター点検、ハートライフ病院 本館フィルター清掃 クリニック：受変電設備定期点検、GHP 簡易点検

企画室 電算係

係長 宮城 克己

認定・資格

認定・資格名	認定・資格名
第二種情報処理技術者	日本商工会議所簿記検定試験 2 級
システムアドミニストレータ	Cisco certified network associate
第一級陸上特殊無線技士	Cisco certified network professional(BSCI)
デジタル第一種工事担当者	Cisco certified network professional(BCMSN)
ソフトウェア開発技術者	Microsoft certified professional(70-270)
医療情報技師	電気工事士 2 種

運営方針

1. IT への理解力と応用力を身に着け、院内の IT 環境の充実に努める
2. 院内ネットワークの有効活用
3. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
4. スキルの向上
 - a) プログラミング、ドキュメント化技術の向上
 - b) 病院業務への理解を深め、業務効率の向上に努める

活動報告

- ・ ネットワーク障害対応
- ・ インターネットスポットのパスワード管理
- ・ 電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新
- ・ 電子カルテ定期サービスパック適用
- ・ RDS を利用したおきなわ津梁ネットワーク閲覧
- ・ 患者待ち時間調査結果集計
- ・ クリニカルパス大会サポート
- ・ 電子カルテバージョンアップ
- ・ 緩和ケア学会サポート
- ・ IT 推進委員会の開催（1 回 / 月）
- ・ 財務統計処理
- ・ 不要 IT 機器の廃棄
- ・ IT 機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減
- ・ 遠隔読影構築
- ・ PACS サーバーリプレース
- ・ 電子カルテ用 PCb 閲覧用 PC の整理

年度総括

2023 年度は電子カルテシステムのバージョンアップ、処方箋の一回量処方への移行や電子処方箋管理システムの導入、既読管理システムの導入と、割と大きなプロジェクトがあり、部署として多忙であったと思います。

また、1 名の増員があり、端末整理等のこれまで手薄となっていた業務にも時間がかけられるようになりました。

2024 年度は、新たにクリニックが当法人に加わることに伴う IT 環境整理、構築があります。また、ダビンチの導入、病院機能評価がある為、前年度以上に効率のよい対応・作業を心がけて業務を遂行していきたいと思っています。

企画室 広報係

係長 知念 政治

活動目的

広報専任担当者2名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンター・保育園の各種広報活動を行っています。

中心業務は各施設の現状やPRポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的に開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関する規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し作成業務にあたっております。また、医学生と研修医を対象とした広報誌「LIFE」を作成し、県内外の医学生・研修医に医療職の魅力を発信しています。さらに新たな取り組みとして、看護職の魅力を伝える情報誌「きらきら」創刊号を3月に発刊しました。

認定・資格

認定・資格名	人数
システムアドミニストレータ	1
サーティファイ webクリエイター能力検定試験 上級	1
サーティファイ Flashクリエイター能力認定試験 上級	1

認定・資格名	人数
ユニバーサルデザインコーディネーター	1
ウェブ解析士	1

主な報道・取材対応

区分	内容	掲載媒体	年月日
取材対応	高校生医療体験実習	琉球新報	2023年8月24日
取材依頼・対応	第1回おきなわ子どもメディカルラリー	OTV NEWS	2023年9月9日

事務局運営

- ・ かりゆし会広報委員会
- ・ かりゆし会年報作成委員会
- ・ 広報誌 LIFE 製作委員会

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
第2回おきなわ子どもメディカルラリー運営サポート	当院	2023年9月9日	知念政治

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
ウェブ解析士協会主催 GA4のデータを効率的に可視化！ LookerStudio ダッシュボード作成入門	オンライン	2023年4月26日 2023年5月24日	仲田尚正

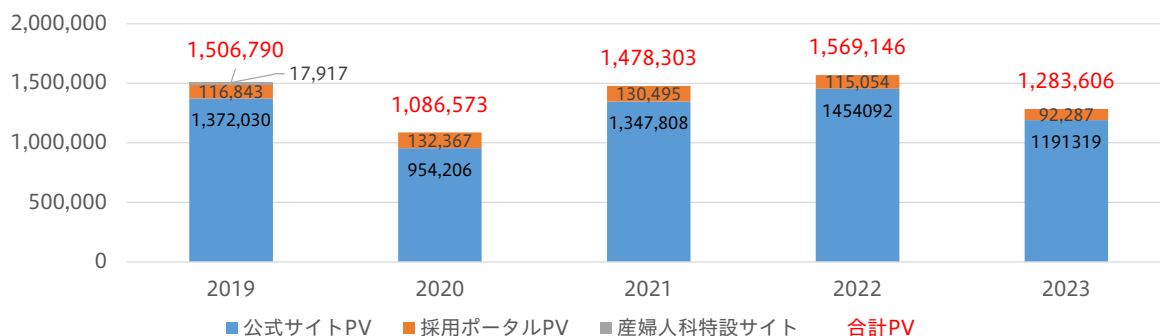
名称	開催地	年月日	参加者
全日病「2023 年度 医療DX人材育成プログラム」	オンライン	2023 年 6 月 29 日 ～ 11 月 30 日	知念政治
信州医療 DX コミュニティ (SDCs) 集患やスタッフ採用に直結! 医療機関における WEB 広報・SNS	オンライン	2023 年 7 月 21 日	仲田尚正
ウェブ解析士が知っておくべきノーコードウェブサイト制作ツール最新事情&フォローアップテスト対策講座	オンライン	2023 年 9 月 28 日	仲田尚正

公式サイト統計

ページ閲覧数 (PV) 推移

※ 産婦人科特設サイトは 2017 年 9 月 1 日より公開しました

※ 2019 年 12 月 26 日に公式サイトリニューアルを実施し、産婦人科特設サイトを閉鎖しました



診療情報管理室

診療情報管理室課長 新垣 淳

職員数

総数

10 名

職種別

診療情報管理士 9 名（病歴担当 6 名、がん登録担当 3 名）

一般事務 1 名（病歴担当 1 名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	9

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
【業務（収入）計画】業務全般に対する取組みの内容及び、展望について	●適切な DPC データの作成 ・「部位不明・詳細不明コード」の使用割合 10%未満の維持（目標 3%未満） ・DPC データの様式間の記載矛盾のあるデータの件数が全体の 1%未満の維持 ・様式 1 の未コード化傷病名の使用割合 2%未満の維持	100%	3 項目の目標値をクリアすることが出来た。
	●DPC の機能評価係数Ⅱアップに向けて ・①保険診療指数、②効率性指数、③複雑性指数、④カバー率指数、⑤救急医療指数、⑥地域医療指数 の各指数アップへ向けてデータの分析力を学ぶ ・副傷病名漏れへの対策（目標 20%）	-	2022 年度に引き続き今年度も③複雑性係数の下げ率が他の係数に比べ大きかった。要因分析を行っているが、係数UPに繋げていくことが課題。副傷病名漏れ対策は目標を達成できた。
	●分析ツールの活用の充実 (MEDE-ARROWS、EVE、MedicalCode、SSIScope)	80%	Web 研修会等に積極的に参加した。来年度は、EVE、MDVACT等の活用の充実を図りたい。
	●病院指標の作成と公開他	100%	各診療科の部長等へ評価コメントを依頼し、期日までに自院ホームページへアップ、機能評価係数への評価が行なわれた。
	●診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成	50%	各部署や医師等から依頼された資料への対応はできたが、当部署からの積極的な発信が出来ていない。
	●診療録の監査（量的・質的）の実施の継続及び内容の充実を図る	50%	診療録管理委員会にて 2 か月毎（偶数月）に診療録の監査を実施しているが、監査項目の見直し等の検討が必要。
	●カルテ廃棄の作業（保管スペースの確保）	70%	死亡退院後 11 年経過した退院カルテの廃棄作業に今年度から開始出来た。 （※廃棄対象 H14.01-H23.12DC 分）
【要員計画】計画を実行する為に必要な要員	●人員は現状の 9 名から 10 名へ（病歴担当 7 名（診療情報管理士 6 名 + 契約 1 名）、がん登録担当 3 名（診療情報管理士 3 名）	100%	2022 年度の退院患者総数が 9,066 名、コロナ感染の影響で伸び率が悪く、2021 年度比で 178 名増であった。退院患者 2,000 名に 1 名の診療情報管理担当者を配置すれば、診療録管理体制加算の基準はクリアするが、課長代行が他部署と兼務の為 1 名増となった。
【教育研修計画】年間スケジュールの作成	●DPC に関するセミナー等への参加	50%	WEB での研修会への参加は出来たが、学会への参加が出来なかった。
	●がん登録研修等への参加	100%	がん登録担当が参加した。
	●2023 年度「かりゆし会研究発表会」へ演題発表	100%	かりゆし会研究発表会で発表し、1 位となった。
	●学会発表の継続	0%	クリニカルパス学会にて発表した。

項目	概要	達成率	評価
【設備計画】 機器の更新・新規購入、 修繕、備品	●特に予定なし	-	

活動実績

研修・勉強会などへの参加

名称	日時	開催地	参加者
第 114 回 生涯教育研修会	2023 年 4 月 27 日	オンライン	真栄平久美子
令和 5 年度 第 1 回 沖縄県がん診療連携協議会	2023 年 5 月 12 日	琉球大学 病院がんセ ンター	兼濱亜紀
妊孕性温存療法に関する研修会	2023 年 5 月 22 日	ハートライ フ病院	宮平奈美子・兼濱亜紀・仲 田京子
第 115 回 診療情報管理士生涯教育研修会	2023 年 7 月 1 日	オンライン	真栄平久美子
PRRISM 経営戦略を見直そう ～患者のニーズに応えるために～	2023 年 7 月 17 日	オンライン	新垣淳
第 115 回生涯教育研修会	2023 年 7 月 20 日	オンライン	真栄平久美子
第 115 回生涯教育研修会	2023 年 7 月 25 日	オンライン	真栄平久美子
第 115 回生涯教育研修会	2023 年 7 月 28 日	オンライン	大城克枝・新垣美帆
沖縄県 観光事業者向け 外国人観光客傷病時対応セミナー	2023 年 8 月 23 日	オンライン	新垣淳
院内がん登録実務中級認定者研修	2023 年 9 月 4 日	オンライン	宮平奈美子・兼濱亜紀・仲 田京子
第 49 回 日本診療情報管理学会学術大会	2023 年 10 月 14 日	オンライン	真栄平久美子
訪日外国人受診者による医療費不払い防止対策に関する講演会・報告 システムに関する説明会	2023 年 11 月 2 日	オンライン	新垣淳
第 23 回 日本クリニカルパス学会学術集会	2023 年 11 月 9 日	埼玉県	大城克枝
第 49 回診療情報管理学会学術大会	2023 年 11 月 9 日	オンライン	真栄平久美子
令和 5 年度 第 3 回 沖縄県がん診療連携協議会	2023 年 11 月 10 日	琉球大学 病院がんセ ンター	仲田京子
ARROWS 井上塾	2023 年 12 月 1 日	オンライン	新垣淳
PRRISM 診療報酬改定セミナー（第 1 弾）中医協資料読み方編・（第 2 弾）中医協議論まとめ編	2023 年 12 月 13 日	オンライン	新垣淳
MDV2024 年度診療報酬改定 Web セミナー	2023 年 12 月 19 日	オンライン	真栄平久美子
外国人観光客対応に役立つ医療機関のための「海外民間医療保険への 対処法」解説セミナー	2024 年 1 月 23 日	オンライン	新垣淳
訪日外国人受診者による医療費不払い防止対策に関する講演会・報告 システムに関する説明会（令和 5 年度 第 3 回）	2024 年 2 月 14 日	オンライン	新垣淳
MDV セミナー「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第 6.0 版」	2024 年 2 月 16 日	オンライン	真栄平久美子
賃上げ等に関する診療報酬改定＆マイナ保険証利用促進に関するオン ラインセミナー	2024 年 2 月 16 日	オンライン	新垣淳
GHC 診療報酬改定 Web セミナー	2024 年 2 月 22 日	オンライン	真栄平久美子・大城克枝・ 田河美智代・我如古理咲子
民間看護管理社会・認定看護管理社会合同研修「診療報酬改定につい て」	2024 年 2 月 26 日	オンライン	真栄平久美子・大城克枝・ 田河美智代
MDV セミナー「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第 6.0 版」	2024 年 2 月 27 日	オンライン	大城克枝
MDV ユーザー会診療報酬改定 Web セミナー	2024 年 2 月 28 日	オンライン	真栄平久美子・大城克枝
日本病院会診療報酬改定説明会	2024 年 3 月 14 日	オンライン	真栄平久美子・大城克枝
【大和証券】「医療法人向けセミナー」	2024 年 3 月 29 日	オンライン	新垣淳

総務課

総務課 課長 河上 裕一

職員数

総数

13 名

職種別

一般事務	4 名	司書	1 名
保安警備	1 名	環境整備	1 名
患者送迎サービス係	6 名		

運営方針

- ・ 事務処理の迅速化を図る
- ・ 各部署に対する支援強化を図る
- ・ 職場環境の整備に努める

活動実績

院内行事運営など

年月日	名称
2023 年 4 月 1 日、2 日	入職式・新入職員オリエンテーション (4 月 1 日、4 月 2 日)
2023 年 5 月 20 日	合同慰霊祭
2023 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 35 周年記念品 (祝菓子) 配布
2023 年 9 月 4 日	永年勤続者表彰
2023 年 11 月 6 日	患者満足度調査 外来部門、透析室、予防医学センター、内視鏡センター：11 月 6 日～11 月 7 日 入院部門：11 月 6 日～11 月 11 日
2023 年 11 月 9 日	中部地区医師会主催医療従事者表彰
2023 年 11 月 15 日	県医師会主催 20 年勤続医療従事者表彰
2024 年 1 月 4 日	院内成人式
2024 年 1 月 10 日	新春もちつき大会

事務部 年度総括

2024 年 1 月より事務部の体制が改変され、小職が病院事務部長を拝命することになりました。病院事務部の長となりまだ数ヶ月の身ではありますが、2023 年度の事務総括をしたためです。

まず 4 月には事務総合職の新規採用者 1 名が入職してくれました。人事課長の尽力で半年間の各部署 OJT を経て、本人の配属希望どおり医事外来課に配属となり、現在は元気に外来業務に従事しています。なお、2024 年 4 月には 3 名が入職してくれています。人事課を中心に事務総合職のキャリアアッププランをしっかりと策定・運用する予定です。

7 月下旬から 8 月にかけての夏休み期間には、病院で初となる「医療従事者を目指す高校生を対象とした病院体験実習」というイベントを、救急外来が主体となって企画され、看護部、医療技術部、事務部、ケアセンターなどの多部署・多職種に受入体験プログラムの協力をいただき、総勢 20 名の高校生の実習を受け入れました。また、地域の子どもを対象とした「おきなわ子どもメディカルラリー」を昨年度に引き続き、イオンモール沖縄ライカムを会場に開催しています。将来、当院を就職先を選んでいただき、一緒に仕事ができると嬉しいですね。

新型コロナウイルス感染症は 2023 年 5 月 8 日から 5 類感染症に区分され、専用病床を確保したときの補助金が縮小するなど大変苦しい状態でしたが、近隣の高齢者施設等で集団感染が発生するなどまだまだ感染力が強い状態が続いていましたので、地域の中核病院の役割としてコロナ専用病室を確保し続ける運用を続けることにしました。

2020 年初頭からこれまで 4 年近く続く長いコロナ流行で、事務方主導で改善しなければならない課題が山積している印象をもっています。

まず 1 点目は、コロナ大流行のたびに機会を減らしていた診療圏内の医療・介護施設との顔の見える関係性の再構築です。厚生労働省の公表しているデータでは、当院はコロナ前に手術に至る紹介入院の伸び率が県内でも最上位だったのですが、これが縮小してしまっており当院の周辺地域で本来急性期での入院治療を必要としている患者さんに不便が及んでいないか危惧されるところです。そこで 2023 年 10 月から、あらためて地域における当院の立ち位置について考える取組みを開始し、地域の医療・介護施設との勉強会の定例開催など、地域医療連携活動を更に前に進める取組を開始しています。

2 点目は常勤医師の確保です。コロナ流行期間中に中堅医師が数名退職されその補充が追いついていないことや、当院の事業の柱のひとつであった血液内科が、2023 年度いっぱい閉鎖することなどが加わり、次年度以降の医師体制を維持するためにも、内科系・外科系問わず常勤医師の確保が喫緊の課題です。2023 年度に入ってから、医師確保対策を専従で対応する人材開発室の陣容を強化し、対策を続けています。

3 点目は看護師等の確保です。2023 年度に入ってから、「看護職員の確保と定着プロジェクト」を立上げ、看護部と事務部が部長・実務者レベルでタッグを組んで、採用と定着に寄与する対策をより効率的・効果的に実行する体制を作りました。

4 点目はコロナ禍で失われた職員間コミュニケーションの再活性化です。当院への入職理由や長期勤務理由として、ハートライフ病院の風土・雰囲気が気に入っている、というご意見をお持ちの方が大半です。長年醸成してきた職種間で垣根のないコミュニケーションが縮小してしまっており、加えて地域を巻き込んだ活動も少なくなっていました。小職はこの点が、他で生じている病院共通の課題に対して、広く・有機的にマイナスに働いていると考えており、多数の職員・地域を巻き込んだ病院主催のイベントや職員慰

労のための互助会イベントをなんとか再開させたいと考えています。副次的な対応として、職員満足度調査で得られた課題に対処していくことも、病院事務部を含む法人事務局全体で考えてゆかねばなりません。

事務部長 安里 竜

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	高良 誠	構成人数	16 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	比嘉 暢
活動目的	1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者を中心にした医療の質向上をはかる。 2) インシデント事象の情報を収集し、分析から対策の確立をはかる。		
今年度の 主な活動内容	1) 医療事故防止対策の検討及び研究に関すること 2) 医療事故の原因調査に関すること 3) 事象対策に関すること 4) 事象防止のための提言に関すること 5) 事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6) リスクマネージャー養成に関すること		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会	開催日	年 1 回（不定期）
委員長名	島袋 泰	構成人数	25 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	野原 剛
活動目的	医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。 1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
今年度の 主な活動内容	1. 医療ガス設備保守点検結果報告 2. 要改善箇所の改善・修復		
備考			

医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会	開催日	適宜
委員長名	秋元芳典	構成人数	10 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	比嘉 暢
活動目的	病院で発生した医療事故、訴訟問題への迅速な対応を行う。		
今年度の 主な活動内容	1) 医療事故発生の事実及び経過の確認に関すること 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会	開催日	不定期開催
委員長名	佐久川 廣	構成人数	22 人
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
今年度の 主な活動内容	1) 4 月の新人オリエンテーションにて、委員会活動報告と廃棄物処理の説明を行う。 2) 感染性や非感染性廃棄物の廃棄不備などを写真に記録紙、関係部署へ注意喚起を行う。 3) 電子マニフェストの運用継続。		
備考			

院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会	開催日	毎月第3月曜日等
委員長名	普天間光彦	構成人数	14名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	城間 克也
活動目的	ハートライフ病院の感染管理のため、院内感染に関する意思決定機関として関連事項の調査・審議を行う。		
今年度の主な活動内容	1) 委員会開催実績：毎月定例開催で年度12回開催 2) 委員会における調査・報告内容 ICT（感染制御チーム）報告 ①サーベイランス（耐性菌 / 抗酸菌 / インフルエンザ / CD / 針刺しの発生報告） ②手指衛生状況（アルコール使用量、手指衛生遵守率） ③耐性菌アウトブレイク監視（MRSA） ④JANISサーベイランス事業（全入院部門） AST（抗菌薬適正使用支援チーム）報告 ①抗菌薬使用状況（総使用量、指定抗菌薬、使用届出）、AUD（抗菌薬使用密度） ②血液培養分離 ③菌血症・届出抗菌薬モニタリングの介入・フィードバック報告 ④JANISサーベイランス事業（検査部門）		
備考			

安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	14名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職員のメンタル不調の予防 職場の安全確保・環境改善を図る		
今年度の主な活動内容	1. 2023年4月 春季職員健診実施（健診後事後措置実施 6月～） 2. 2023年4月 職場巡視（1～3部署 / 月） 通年 3. 2023年5月 職員対象 新型コロナワクチン接種（6回目） 4. 2023年6月 職員対象 新型コロナワクチン接種（6回目） 5. 2023年9月 職員B型肝炎ワクチン接種（1回目） 6. 2023年10月 職員B型肝炎ワクチン接種（2回目） 7. 2023年10月 秋季職員健診（健診後事後措置実施 11月～） 8. 2023年10月 秋季職員健診（健診後事後措置実施 12月～） 9. 2023年11月 職員インフルエンザワクチン接種 11月2回実施 10. 2023年11月 職員対象 新型コロナワクチン接種（7回目） 11月2回実施 11. 2023年11月 職員インフルエンザワクチン接種 11月3回実施 12. 2023年12月 職員対象 新型コロナワクチン接種（7回目） 11月3回実施 13. 2024年2月 職員B型肝炎ワクチン接種（3回目）		
備考			

NST 委員会

委員会名	NST 委員会	開催日	毎月第2月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	42名
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	當眞 結子
活動目的	1. 低栄養にある患者のアセスメントを多職種で行い適切なアドバイスを行う 2. リンクナースの育成を行い、栄養サポートに対する質の向上を図る 3. NST活動活発化にむけてNST専門療法士の取得を目指す		
今年度の主な活動内容	1. 栄養にある患者のアセスメントを多職種で行い適切なアドバイスを行った。年間加算取得は486件だった。 2. リンクナースの育成を行い、栄養サポートに対する質の向上を図った。症例検討会は6回実施できた。また、栄養士・薬剤師による勉強会も開催した。 3. NST活動活発化にむけてNST専門療法士の候補2名を選出した。		
備考			

エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会	開催日	毎月第 2 曜日等
委員長名	西原 実	構成人数	7 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、光熱費の削減に努める。		
今年度の主な活動内容	1) 個別空調機の更新工事を開始。 ※ 2024 年 8 月に完了予定。 2) Jクレジットのモニタリング調査を依頼。 3) 令和 5 年度のエネルギー管理優良工事等部で沖縄電機安全・合理化委員会委員長表彰を受賞する。		
備考			

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会	開催日	毎月第 1 火曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15 人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	真米城 ゆかり
活動目的	栄養管理の充実、向上とその適正な運営（栄養管理、給食に関する問題点の改善及び対策）		
今年度の主な活動内容	1. 嗜好調査の結果報告（年 4 回実施） 2. 清潔用ラックの衛生管理について 3. コロナ感染対策に伴うデイスガ容器廃止について 4. 給食業務委託化報告 5. 給食委託後の現状報告 6. 禁忌食材のオーダーについて 7. 温冷配膳車取り扱い 8. 補助食品提供について		
備考			

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会	開催日	毎月第 2 木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	11 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	兼濱 亜紀
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん診療の提供の推進を図る。		
今年度の主な活動内容	1. セカンドオピニオンの受け入れ、および他院への依頼 2. 緩和ケア病院への紹介 3. がん患者さんへの在宅退院支援 4. 沖縄県緩和ケア研修会の運営開催 2024 年 2 月 17 日（参加者 18 名：院内 15 名、院外 3 名） 5. がん対策推進企業アクションからの情報紙（ニュースレター vol.31 ～ 9）を冊子置き場、各部署へ配布 6. 患者向けがんの小冊子（がん治療情報）を関連診療科に配布 7. 2021 年症例の沖縄県院内がん登録集計報告書 5 冊を関係部署、および患者用として関連診療科外来へ配布 8. 「沖縄県がん患者妊孕性温存療法研究促進事業」について患者へ情報提供として冊子等を設置 9. 「妊孕性温存療法に関する研修会」2023 年 5 月 22 日（月）開催 10. 2022 年症例の全国がん登録、院内がん登録の提出（617 件） 11. 国立がん研究センター主催の院内がん登録予後調査支援事業への参加 12. 国立がん研究センター主催の院内がん登録 QI 研究への参加 13. がん対策推進企業アクションセミナー・アンケート調査への参加 14. 協議会、研修会、セミナーへの参加 ・沖縄県がん診療連携協議会傍聴参加 2023 年 5 月、8 月、11 月、2024 年 2 月の計 4 回（兼濱・仲田・高澤・田中） ・緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキンググループ参加 2023 年 8 月・11 月・2024 年 2 月（西原）		
備考			

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会	開催日	毎月第1木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関 秀和
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
今年度の主な活動内容	・ プロトコールシステムの整備・改定 新規レジメン登録件数 8 件 ・ マニュアルの整備・改定（血管外漏出のフローチャート改訂） ・ 院内勉強会の開催（年 2 回：抗がん剤の曝露対策、抗がん剤の制吐療法について） 院内 605 名、院外 2 名の参加があった ・ 安全キャビネットの定期点検（フィルター交換等のメンテナンス） ・ 閉鎖式デバイスの導入・運用 無菌調製処理量の算定（1984 件 / 年） ・ 化学療法加算増加・がん患者指導料の算定増加への取り組み 外来腫瘍化学療法診療料1（抗悪性腫瘍剤を投与した場合）700 点：1,147 件 外来腫瘍化学療法診療料1（その他必要な管理を行った場合）400 点：634 件 ・ 外来内服薬に関する問診チェックリストの作成、運用 ・ 免疫チェックポイント阻害薬に関する連携強化		
備考			

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会	開催日	毎週水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	32名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	屋比久 雄飛
活動目的	1) 人工呼吸器からの離脱支援：ウィニング計画の立案と実施、コンサルテーション。 2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援。 3) 呼吸器関連デバイスの更新や運用検討。 4) 酸素療法や人工呼吸器使用に関する勉強会の開催。 5) 年に 2 回チームミーティングを実施し、意見交換やケアに関する情報収集を行う。		
今年度の主な活動内容	1) 毎週水曜日に行う院内ラウンド【2023 年度は年間 255 名に対してラウンド実施】 ①対象患者は人工呼吸器装着中で呼吸器から離脱を目標としている患者、もしくは離脱困難で長期間呼吸器管理が必要な患者や在宅人工呼吸器に移行する可能性のある患者への介入 ②病棟看護師やリハビリスタッフからの要請で酸素療法実施中の患者のデバイス選定やコンサルテーション 2) 人工呼吸器関連のデバイス変更や更新時の機器・デバイス選定への寄与		
備考			

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会	開催日	年 2 回（5 月・10 月）
委員長名	仲地智俊（個人情報保護管理責任者）	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	仲地 智俊
活動目的	社会医療法人かりゆし会において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当法人職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
今年度の主な活動内容	1. 2023 年 4 月 新職員オリエンテーション 新入職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明 2. 2023 年 5 月 琉球大学病院医師への患者情報の提供について検討。目的が医学の発展に寄与するものだったため、マスキング後、提供することを承認。		
備考			

診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会	開催日	毎月第 4 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	17 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	新垣 淳
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会毎月 1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会	開催日	年 2 回（6 月・3 月）
委員長名	佐久川 廣	構成人数	50 名
事務局・担当部署	臨床研修センター	担当者名	新垣 麻子
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
今年度の主な活動内容	1. 2023年度採用初期研修医第20期生(9名)の紹介 2. 2023年度スケジュールの確認 3. 2022年度採用初期研修医第19期生(7名)の修了判定(院内委員:現地開催、院外委員:書面会議) 4. 2024年度研修スケジュールの確認 5. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討		
備考			

大規模修繕委員会

委員会名	大規模修繕委員会	開催日	不定期開催
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・病院機能維持のため、大規模改修工事の中長期計画を策定し、計画的に修繕改革を実施する。 ・2023 年度の予算は 20,000 万円を理事会承認を得る。		
今年度の主な活動内容	・2022 年度の繰越予算：25,789 万円と併せて約 45,790 万円の予算で各修繕工事を計画・実施する。 1) 非常用発電機更新工事完了。 ※補助金：90,750 万円を活用。 2) 法面对策擁壁工事完了。 ※補助金 11,475 万円を活用。 3) 外部防火扉（61 ヲ所）取替工事完了。 4) 個別空調機更新工事の開始。 ※ 2024 年 8 月末完了予定。 5) 軽量鉄骨造住宅（2 階建て）工事開始。 ※ 2024 年 8 月末完了予定。 6) 医局改修工事と別館側渡り廊下撤去工事計画と見積り依頼。 ※ 2024 年工事予定。		
備考			

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会	開催日	年4回(6月・9月・12月・3月)
委員長名	佐久川 廣	構成人数	20名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城 司
活動目的	ハートライフ病院が地域などからの要請に適切に対応し、地域における医療確保に必要な支援を行うために、必要な事項を審議する目的で地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	6月:2022年度 地域医療支援病院業務報告 9月:救急部実績報告 12月:医療ソーシャルワーカー実績報告 3月:入退院支援室活動報告		
備考	コロナ禍で休止していましたが、今年度から年4回開催しています。		

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会	開催日	毎月第2火曜日
委員長名	嘉川春生	構成人数	11名
事務局・担当部署	治験管理センター	担当者名	田中 健嗣
活動目的	臨床試験(治験等)を実施するために必要な第3者機関(院長の諮問機関)として、「薬機法(GCP)、臨床研究法」やその他指針等に従って、すべての被験者(参加者)の人権の保護、安全の保持及び福祉の向上を図ることを目的とする。臨床試験(治験等)の開始前から終了に至るまで、その責務は継続するものである。		
今年度の主な活動内容	稼働治験数:3件		
備考			

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会	開催日	5・8・2月 第3金曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中 健嗣
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販される医薬品の中から、患者個々の病態や経済性に考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見て合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった既存の薬剤の整理を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	委員会の役割 ◎ 新規採用医薬品の採用 ◎ 後発医薬品の採用方法 ◎ 既採用医薬品の再評価の必要性 ◎ 陳旧化した医薬品の取り扱い ◎ 同種・同効薬の再評価 ◎ 院内製剤の採否の決定 ◎ 医薬品の適正な使用方法の協議 ◎ 医薬品の副作用及び感染症の協議 ◎ 在庫医薬品の適切な管理と運用 ◎ 病院医薬品集・医薬品情報等について ◎ 臨床試用医薬品の採否の決定 その他の審議事項 ◎ 構成委員の改訂 ◎ CoVid19 対応薬剤の採用 ◎ CoVid19 対応ワクチンの採用 ◎ 供給不安定薬剤の供給体制の検討・対応 2023年度 審議実績 ◎ 審議薬剤: 51種・82規格(内服:20、注射:25、外用:6) ◎ 新規採用: 26種・42規格 ◎ 採用切り替え: 12種・20規格 ◎ 後発への切り替え: 13種・20規格		
備考			

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会	開催日	奇数月第 1 金曜日
委員長名	比嘉 宇朗	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
今年度の主な活動内容	- 血液製剤使用状況の確認：製剤毎、医師毎の使用状況の集計を行い、大量使用症例は内容の検討を行いました。 - 廃棄血の発生状況を検討し対策をおこないました。 ※廃棄血液金額：2022 年度（491,574 円）⇒ 2023 年度（264,014 円）で減少している。 - 輸血管理料－Ⅱ（110 点）の申請を行いました。 ※血液製剤（アルブミン製剤を含む）の使用患者に月 1 回を限度として算定される。 - 輸血適正加算－Ⅱ（60 点）はアルブミン製剤の使用量が基準値に満たず、申請できませんでした。 - 沖縄県合同輸血療法委員会への参加。 ※他院の資料を参考に当院との比較検討も行った。 2023 年、輸血関連インシデントの発生状況と内容の検討を実施した。		
備考	2023 年度：輸血管理料－Ⅱ加算は申請可能です。 輸血適正加算－Ⅱは、FFP・アルブミンの使用量により加算申請出来ませんでした。 - 廃棄血金額を 50 万円以下に抑えることを年度目標としています。（今年度は達成）		

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会	開催日	奇数月第 2 金曜日
委員長名	秋元 芳典	構成人数	6 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	斎藤 辰好
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので、疾病の診断・治療・予後を判断するための重要な情報を提供するものである。 質の高いデータを迅速に提供できるよう努力する事が大切である。 上記をサポートする事を目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会は基本年 6 回開催する。また必要に応じ臨時に開催する - 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 - 検査精度管理、機器選定ならびに導入計画 - 検査項目や、正常値の検討 - 新規検査の導入や検査中止の検討 - その他		
備考			

研究倫理委員会

委員会名	研究倫理委員会	開催日	不定期
委員長名	秋元 芳典	構成人数	12 名
事務局・担当部署	治験事務局	担当者名	伊禮 勇一
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	- 医療にかかる法律の順守に関する事項 - 患者の権利に関する事項 - 医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項 - 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 - その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数：11 件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	16 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	新垣 淳
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 適切なコーディングを行う体制に関すること。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会	開催日	毎週第 4 月曜日
委員長名	花城 直次	構成人数	32 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	安村 公均、高宮 里沙
活動目的	がん患者及び家族の治療や症状、生活や精神的不安など感じている苦痛に対して、医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、MSW、臨床心理師がチームとして協働し、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの面からケアを提案し、苦痛の軽減や療養の場所、生活を見据えて支援していく。		
今年度の主な活動内容	緩和ケアチームラウンドを麻薬使用を伴うがん患者を中心に毎週月曜日に行っています。 自宅退院 43 件、ホスピス 5 件、在宅サービス利用 4 件、死亡退院 31 件でした。 1. 緩和ケア診療加算取得とマニュアルの見直し。 2. 緩和ケア診療加算 (390 点) 年間目標 50 件→10 件。 個別栄養食事管理加算 (70 点) 2 件 / 年。 3. 多職種による症例検討を実施し、多職種や他病院におけるケアや知識を共有する。 4. 緩和ケア研修 (麻薬の使用方法) の実施。 5. 緩和ケア領域研修の実施 2 回 / 年。 6. ホスピス見学研修の実施 2 回 / 年。 7. がん性疼痛緩和指導管理料 (200 点) 目標件数 200 件→225 件。		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会	開催日	毎月第 4 月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	伊集 準
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
今年度の主な活動内容	1) 保険診療に関する事 2) 請求漏れ、査定減の対策に関する事 3) 保険請求事務等の改善に関する事 4) レセプト作成、点検に関する事		
備考			

IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会	開催日	毎月第 3 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	19 名
事務局・担当部署	企画室電算係	担当者名	宮城 克己
活動目的	電子カルテ・オーダーリングシステムをはじめとした院内情報システム (機器) の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足を図る。		
今年度の主な活動内容	①電子カルテシステムバージョンアップ ②既読管理システム導入 ③グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 ④ IT 導入に伴うセキュリティ管理 ⑤ IT 機器購入の検討 ⑥各部門システムの導入、運用検討、保守等の管理 ⑦職員の IT 知識の向上 ⑧災害時等への対応訓練 ⑨新たなクリニックの法人への参加に伴う IT 環境整備		
備考			

クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会	開催日	毎月第 3 月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	36 名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	高橋 慎二
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
今年度の 主な活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会	開催日	毎月第 2 金曜日
委員長名	三戸 正人	構成人数	23 名
事務局・担当部署	救急外来 ER-Aide	担当者名	金城 鈴子
活動目的	救急総合診療部の体制（人材確保を含む）を整える。 問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
今年度の 主な活動内容	・救急搬送患者、時間外救急患者の受け入れに關しての流れや問題点、救急総合診療部に關するすべての職種のワークライフバランスを考えながら、話し合いをもち、解決策を考え、活動目的を達成する。 ・救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に關しては、救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後、議事録は翌週の運営委員会で報告する。 ・病院救命士の活動を病院救命士院内メディカルコントロール委員会で検討し、救急総合診療部小委員会を通して救急総合診療部委員会で報告する。 ・救急症例検討会 計 3 回開催 第 48 回（令和 5 年 6 月） 参加人数 146 名（院内 21 名 院外 66 名 web59 名） 第 49 回（令和 5 年 9 月） 参加人数 77 名（院内 17 名 院外 60 名） 第 50 回（令和 6 年 2 月） 参加人数 99 名（院内 30 名 院外 69 名）		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に 1 回以上（第 1 金曜日）、救急総合診療部委員会は毎月（第 2 金曜日）1 回開催とする。		

投書対策委員会・患者満足度向上委員会

委員会名	投書対策委員会・患者満足度向上委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6 名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	患者さん等からのご意見を収集し、医療サービス向上に繋げること。		
今年度の 主な活動内容	患者さん等に対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上に努めた。 患者さん等からのご意見に対応。 患者満足度調査実施。 快適な療養環境に努めた。		
備考			

透析機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会	開催日	3ヶ月毎、第2月曜日
委員長名	内里 司	構成人数	5名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里 司
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
今年度の主な活動内容	(1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関すること。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関すること。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関すること。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関すること。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関すること。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。 (7) その他、透析液に関すること。		
備考	透析機器安全管理委員会会議は3ヶ月毎に1度実施する。有事の際は臨時会議を実施する。		

広報委員会

委員会名	広報委員会	開催日	5月、8月、11月、2月の第2水曜日
委員長名	渡慶次 学	構成人数	7名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念 政治
活動目的	1) 各施設の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外にPRする。 2) 各施設の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 各施設における掲示物などに関して、規定を作成する。		
今年度の主な活動内容	広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し多職種で検討を行う。職員のプライバシー保護の観点からプロフィールなどの顔写真の取り扱いについて協議を行いWEB上では原則非表示とするよう運用変更を行った。 院内掲示物管理規定の見直しを行った。 利用者の情報収集手段の多様化を勘案し、紙での広報誌発行部数について調整を行った。		
備考			

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会	開催日	不定期
委員長名	嘉川春生	構成人数	15名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	仲田 尚正
活動目的	かりゆし会年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
今年度の主な活動内容	1. 2022年度かりゆし会年報の企画およびデータ収集、編集、製本(全302ページ)。 2. 科別実績報告をオンデマンド配信		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会	開催日	不定期
委員長名	島袋 泰	構成人数	36 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	東恩納 小百合
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。 手術スケジュールの調整に関する事、安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、器機の保守点検、新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。 議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
今年度の主な活動内容			
備考			

台風対策委員会

委員会名	台風対策委員会	開催日	必要時（原則 13 時開催）
委員長名	西原 実	構成人数	16 名（医局・看護部・医療技術部・事務部）
事務局・担当部署	事務部 総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	1. コンディション発令（台風対策）の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2. コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員の出勤時間などを決定する。		
今年度の主な活動内容	・ 台風 2、6 号接近に伴う対策会議開催		
備考			

ICU・HCU 合同運営委員会

委員会名	ICU・HCU 合同運営委員会	開催日	不定期
委員長名	島袋 泰	構成人数	8 名
事務局・担当部署	ICU	担当者名	内間 幸人
活動目的	診療科間、多職種の連携を密にし、より効率的な ICU 運営、HCU 運営を目指す。 重症患者（救急・術後・外傷）診療の質の向上に向けた教育と業務の効率化を図る。		
今年度の主な活動内容	・ HCU の入室基準についての検討 ・ ICU と HCU の面会時間についての検討		
備考			

図書委員会

委員会名	図書委員会	開催日	不定期
委員長名	秋元 芳典	構成人数	5 名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城 映子
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営を図るため、必要な事項等を審議検討することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	・各部署購入図書・雑誌検討 ・データベース利用検討 ・文献複写依頼 ・蔵書点検 ・所蔵目録作成 ・オンラインセミナー告知（「Up To Date」等） ・廃棄資料検討、及び除籍処理 ・オンライン説明会受講（医中誌 Web 等） ・定期購読雑誌 5 タイトル購読中止：「医書 j p. オールアクセス」掲載のため ・図書室たより発行（2024 年 1 月より）		
備考			

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会	開催日	毎月第2金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6名
事務局・担当部署	法人事務局 人事課	担当者名	比嘉 康文
活動目的	1. 医療の質、向上に寄与するための人材確保 2. 各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し、経営に寄与する。 3. 職員の採用（増員・補充・異動・その他）は人事検討委員会を通して検討する。承認後は理事会調整会議にて再審議し、増員等新規に関しては理事会の承認を得る。 4. 昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案し承認を得る。 5. 業務委託の検討		
今年度の主な活動内容	2023（令和5）年度の人事検討委員会開催数12回。承認された事案は理事会調整会議及び理事会で審議され決定される。主な審議内容は、①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う補充④障がい者雇用⑤給与表・資格手当見直し⑥その他処遇改善手当の見直しなどがある。 2023年度は、かりゆし会全体で175名を採用した。（ハートライフ病院152名、ハートライフクリニック8名、地域包括ケアセンター14名、附随附帯業務1名） <増員・手当新設・その他> 産婦人科・産科当直応援医師（非常勤） 産婦人科・外来クラーク増員1名 臨床工学科（臨床工学技士）定数増（19名→20名） 医療ソーシャルワーカー定数増（7名→8名） 看護師・夜勤手当の見直し 看護管理当番手当の新設 日曜デイサービス手当の新設 内視鏡関連機器洗浄業務委託へ		
備考			

教育・研修管理委員会

委員会名	教育・研修管理委員会	開催日	毎月第2・4水曜日
委員長名	釜野 武志	構成人数	7名
事務局・担当部署	医局 / 看護部 / 医療技術部 / 事務部	担当者名	比嘉 康文
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化、向上に寄与する 全職員対象及び委員会・部門別の教育、研修を一括管理する。		
今年度の主な活動内容	1. 全職員対象の講演会、研修会実施の確認 2. 各部門の学生実習受入状況の確認 3. 医療安全・感染対策などの研修状況の確認		
備考			

診療材料検討委員会

委員会名	診療材料検討委員会	開催日	不定期
委員長名	西原 実	構成人数	18名
事務局・担当部署	管財課用度係	担当者名	諸見里 和也
活動目的	①診療材料及び、医療消耗品に係る方針に関する事 ②診療材料の高額案件や、纏め買い等で高額となる申請に関する事 ③購買管理・在庫管理・使用管理に関する事 ④発注事務等の改善に関する事 ⑤診療材料に関する職員教育及び啓蒙に関する事 ⑥新規治療に関わる医療材料の審議に関する事 ⑦全各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項		
今年度の主な活動内容	2023年度の新規採用は11件 医療材料に対する報告事項は9件となっております。		
備考			

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会	開催日	毎月第 4 木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11 名
事務局・担当部署	人事課	担当者名	仲地 貴弘
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
今年度の 主な活動内容	1. 医師および医療従事者の負担軽減推進 2. 医師当直明け午後勤務休日の推進 3. タイムレコーダ打刻徹底周知（実労働時間の把握） 4. 職員満足度調査（2022 年 10 月実施）安全衛生委員会、人事課との共同 5. 36 協定の遵守、特別条項の遵守 6. 年次有給休暇の管理（法定 年 5 日取得） 7. 働き方改革関連への対応 8. 医師労働時間短縮計画の検討・決定（医師の働き方改革検討委員会と共同）		
備考			

患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会	開催日	毎週木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	8 名
事務局・担当部署	医事外来課	担当者名	伊集 準
活動目的	1. 医療従事者と患者との円滑なコミュニケーションを図る 2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する 3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する		
今年度の 主な活動内容	・ 不当な対応を訴える患者の対応について、医師、各部長とカンファレンスを行い、対応に困った際には医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応を行う。 ・ 毎週木曜日の委員会にて報告書及び投書にてあがった事案について検討、対策を行った。 ・ 院内駐車場の障害者専用スペース案内表示を「思いやり駐車場」と名称を付け看板を設置。 ・ 診察室誤り防止の為、診察室番号標示を診療科名称含め、区別しやすく設置。 ・ 3 階治療室向かいトイレ内のナースコールを透析室で鳴るよう設置した。 ・ 正面玄関と裏口に患者、職員、業者向けに「マスク着用」の看板を設置。 ・ インシデント報告の一部は、接遇やコミュニケーションエラーによるものであり、その都度現場に周知し改善を図る。		
備考			

QI 委員会

委員会名	QI 委員会	開催日	不定期
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11 名
事務局・担当部署	経営企画分析室	担当者名	安里 竜
活動目的	当院は 2012 年度より引き続き日本病院会主催の「QI プロジェクト 2020」に参加しております。 QI (Quality Indicator) とは「医療の質の指標」を意味しています。		
今年度の 主な活動内容	・ QI プロジェクト 2022 年度 41 項目の臨床指標データの収集。 ・ 本誌の「医療の質 Quality Indicator (QI)」のページでデータをご覧いただけます。 ・ 2023 年下半期からは日本医療機能評価機構主催の「医療の質可視化プロジェクト」に参加しています。		
備考			

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会	開催日	毎月第一金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	12 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	諸見里 和也
活動目的	・ 委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。 ・ 年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。		
今年度の 主な活動内容	・ 2023 年度の物品購入委員会で審議し、理事会で承認を得た案件は 45 件で、総額約 34,360 万円の医療機器などを購入した。		
備考			

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	18名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	災害発生時、来院する傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。火災発生時の初期消火・通報・避難誘導訓練の定期実施（2回/年度）		
今年度の主な活動内容	2023年4月 消火訓練実施（消火器の取扱い・消火用散水栓の取扱い） 2023年10月 火災・避難訓練実施 2023年11月 大規模災害対策訓練実施（机上訓練・実動訓練） 2024年1月 九州・沖縄地区 DMAT 災害訓練		
備考			

無料健康講座委員会

委員会名	無料健康講座委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	4名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城 司
活動目的	地域に向けて医療に関する教育・啓蒙活動を行う。		
今年度の主な活動内容	4. 2023年4月24日 西原町翁長自治会 オンライン 健康寿命を10年伸ばそう 5. 2023年8月9日 西原町小橋川自治会 オンライン これなら私にも出来る!変形性膝関節症予防 6. 2023年8月14日 西原町翁長自治会 オンライン 簡単ヘアゴムエクササイズ 7. 2023年9月26日 西原町上原自治会 オンライン 健康寿命を10年伸ばそう 8. 2023年9月28日 西原町呉屋自治会 オンライン 健康寿命を10年伸ばそう 9. 2023年11月2日 中城村新垣自治会 現地開催 転倒骨折を予防するためには 10. 2024年3月21日 中城村伊集自治会 現地開催 薬の飲み方 ホームページで健康に関する動画を閲覧できるようにした。		
備考			

施設基準検討委員会

委員会名	施設基準検討委員会	開催日	毎月第2木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	14名
事務局・担当部署	総務課 施設基準係	担当者名	佐和田 安彦
活動目的	1. 医療法で定める医療機関の職員配置、健康保険法等での規定に基づく基本診療料・特掲診療料等に対し、施設基準の提案・検討・申請を積極的に行う。 2. 多職種間の連携を図り、情報の共有・施設基準申請の促しを図っていき、医療機関の機能・設備・診療体制を定め、安全やサービス等の価値を高める。		
今年度の主な活動内容	1. 入院基本料、特掲診療料等の施設基準状況の把握及び管理 2. 新規施設基準項目の届出検討 3. 算定率向上ワーキンググループ報告内容の共有 4. 重症患者初期支援充実加算届出（2023年4月算定） 5. 麻酔管理料2届出（2024年3月算定開始） 6. 令和6年度診療報酬改定の新規施設基準検討 7. 厚労省病床機能・外来機能報告の対応		
備考			

広報誌 LIFE 制作委員会

委員会名	広報誌 LIFE 制作委員会	開催日	不定期
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	10名
事務局・担当部署	経営企画室広報係	担当者名	仲田 尚正
活動目的	研修医および医師の採用、連携診療所等の連携強化を目的とした広報誌「LIFE」を発行する。		
今年度の主な活動内容	1. 第8号の企画・構成 発行：呼吸器内科特集 16ページ 700部発行 2. 第9号の企画・構成 発行：ハートライフクリニック糖尿病内科特集 16ページ 700部発行 3. LIFE 特設ウェブページの更新		

摂食・嚥下委員会

委員会名	摂食・嚥下委員会	開催日	毎週水曜日ラウンド 毎月第 2 水曜日ミーティング
委員長名	赤澤 幸則	構成人数	27 名
事務局・担当部署	リハビリテーション科	担当者名	大城 盛彦
活動目的	- 入院患者の誤嚥性肺炎防止 - 摂食機能療法加算の取得 - 多職種での食支援の知識・技術の向上		
今年度の 主な活動内容	- 週 1 回の嚥下カンファレンスとラウンド - 耳鼻科医師、言語聴覚士、看護師、栄養士、歯科衛生士、薬剤師の多職種でカンファレンスを行い、摂食嚥下障害のある患者の問題を明らかにし、各職種からのアドバイスを基に病棟でのケアに活かせるように努めています。 - 月に 1 回のミーティングでは摂食機能療法加算の状況の報告や、食事介助・口腔ケアの勉強会を行い、食支援の質の向上を目指します。 2023 年の摂食機能療法の算定数：1,160 件（1 件：185 点）		
備考			

褥瘡対策委員会

委員会名	褥瘡対策委員会	開催日	毎月第 1 火曜日
委員長名	立津 朝成	構成人数	46 名
事務局・担当部署	褥瘡対策管理室	担当者名	宮平 良太
活動目的	- 入院患者の褥瘡やスキンテアなど皮膚トラブルの発生を予防する。 - 褥瘡発生（入院時に有する）患者に対して適切なケアを実施する - 褥瘡ケアに対する質の向上 - スタッフへ褥瘡に関連した教育の実施 - 褥瘡ハイリスク患者ケア加算の取得		
今年度の 主な活動内容	毎週火曜日：褥瘡ハイリスク患者カンファレンス 第 2・4 火曜日：褥瘡回診 毎週火曜日に、専従看護師と病棟専任看護師にて褥瘡ハイリスク患者のカンファレンスを行い、褥瘡予防ケア計画を立案し、病棟看護師にて実践しています。 隔週火曜日には、形成外科医師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、専従看護師、病棟専任看護師で回診を行っています。回診では、医師から看護師または患者自身へ処置の指導、理学療法士によるポジショニングなどの指導を実施し、褥瘡予防に努めています。低栄養状態にある患者を対象に、管理栄養士さらには NST チームと連携し栄養管理方法について検討を行っています。 また、退院後の処置や自宅での褥瘡予防などの指導を行い退院後を見据えた活動にも力を入れています。		
備考			

ポリファーマシー対策委員会

委員会名	ポリファーマシー対策委員会	開催日	2 ヶ月に 1 回 第 1 金曜日
委員長名	佐藤 直行	構成人数	5 名
事務局・担当部署	医事入院課	担当者名	稲本 泉
活動目的	多種類の服薬を行っている患者の処方薬剤を総合的に評価・調整する。		
今年度の 主な活動内容	入院時の持参薬より、対象者を抽出。多職種によるカンファレンスを実施し、処方内容の変更や中止を行った。 薬剤総合評価調整加算（100 点）+ 薬剤調整加算（150 点）→ 42 件 薬剤総合評価調整加算（100 点）のみ→ 27 件 薬剤総合評価調整管理料（250 点）→ 1 件 院内勉強会開催（看護師対象）		
備考			

病床利用率向上対策委員会

委員会名	病床利用率向上対策委員会	開催日	毎週火曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	50 名
事務局・担当部署	医事入院課・入退院調整	担当者名	新垣 淳・外間 真紀子・佐和田 安彦
活動目的	病床間及び関連部門との連絡調整を行い、病床の効率的運用について情報を共有する ・新規入院患者数 病床利用率の向上 ・DPC II期間での退院調整 ・診療報酬加算取得可能分野の算定率向上		
今年度の 主な活動内容	1. 委員会における報告内容 ①病院全体の病床利用の推移 ②各病棟の DPC 入院期間Ⅱ患者の割合 ③週次の診療科別実績（新規入院 病床利用） ④重症度、医療・看護必要度の推移 ⑤新型コロナウイルス感染症に関する報告 2. 活動内容 ①各部署の師長・各診療科部長・主治医間で情報共有し円滑な退院支援を行う ②紹介患者は断らない（病院全体での地域医療連携の推進及び充実） ③柔軟な病床管理（病院各部署のチームでベットコントロールを担う）		
備考			

新型コロナウイルス感染症災害対策本部会議

委員会名	新型コロナウイルス感染症災害対策本部会議	開催日	毎週金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	24 名
事務局・担当部署	法人事務局	担当者名	比嘉 靖
活動目的	当法人の新型コロナウイルス感染症への運営方針に関する意見調整、意思決定、予算管理に関すること		
今年度の 主な活動内容	1. 法人・病院全体の運営に関わる事項 2. 下部会議から上がってきた事項の審議 3. 予算管理		
備考	コロナ感染が収束したことで、2023 年 11 月をもって会議は一旦終了となる。		

ハートライフクリニック 2023年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2023



理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニック

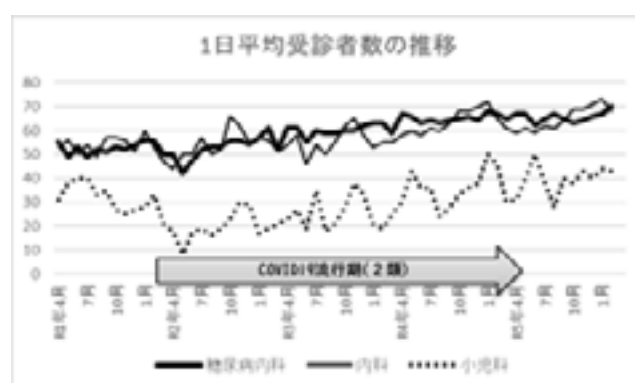
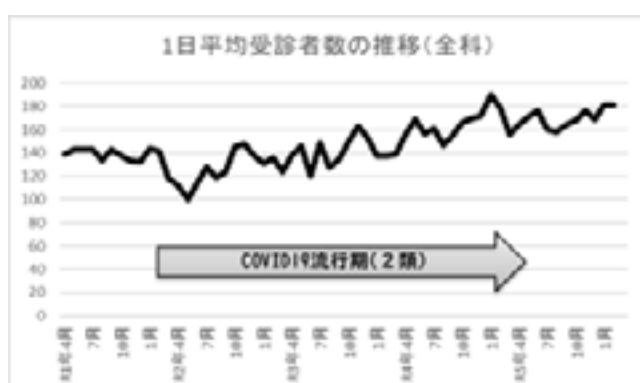
年報発刊によせての挨拶



2023年度の年報を発刊するにあたりハートライフクリニックの現状を報告いたします。

2020年以来ハートライフクリニックでは他の施設と同じく COVID-19 による診療への影響が続いてきました。ハートライフクリニックの3科（内科、糖尿病内科、小児科）では2020年に受診者数の減少が見られ、特に小児科での減少が顕著でありました。その後はCOVID-19の流行状況で受診者数の増減は見られるものの内科と糖尿病内科では1-2年で流行期以前の状態に戻りました。小児科では2023年になってようやく流行期以前の受診者数まで回復してきました。ちょうど2023年5月8日でCOVID-19が2類から5類に移行されたタイミングでもあります。もちろん5類となったから感染症がなくなったわけではなく、医療機関としては警戒しながら対策をとりながらの診療を継続しています。COVID-19の流行から私たち医療提供者として学ぶことも沢山ありました。今後の新興感染症への対応や、普段の診療でも油断していたことへの啓発でもあったと思われます。

本年報ではクリニック各部署における、新興感染症の過渡期の活動状況を報告させていただきます。ハートライフクリニックでは成人の慢性疾患診療と急性疾患診療、小児科では急性疾患診療を通じて地域の皆様の健康に貢献すべく努力しています。これからも皆様のお力添えをお願い申し上げます。



社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニック
院長 山本 壽一

クリニック概要

(2023 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

所在地

〒903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話 (098) 882-0810 (代表)

FAX (098) 882-0820

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

院長 山 本 壽 一

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡
規模構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建

職員数

総数 57 名

職種別

(2023 年 4 月 1 日現在 / データ作成 人事課 玉那覇)

職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	5	クラーク	4	管理栄養士	2
非常勤医師	13	保育士	1	理学療法士	1
看護師	11	臨床検査技師	3	一般事務	8
准看護師	1	放射線技師	1	その他	7

指導医・専門医・認定医

(2023 年 6 月時点 データ作成 企画室広報 仲田)

名称	人数
日本呼吸器学会専門医	1
日本骨粗鬆症学会認定医	1
日本循環器学会専門医	1
日本糖尿病学会研修指導医	1
日本糖尿病学会専門医	4
日本透析医学会専門医	1
日本内科学会指導医	1
日本内科学会総合内科専門医	3

名称	人数
日本内科学会認定内科医	6
日本小児科学会専門医	1
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	2
日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	1
内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医	1
医学博士	1
日本医師会認定産業医	2

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 各指定難病医療機関
5. 各指定小児慢性特定疾病医療機関
6. 労災保険指定医療機関

診療体制

標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

その他、専門外来など

- ### ● 禁煙外来

受付時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 7:45～11:30
 午後 13:00～16:30
 土曜日(内科/2020年4月まで診療)
 午前 7:45～11:30

診療時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 9：00～12：00
 午後 14：00～17：30
 土曜日（内科 / 2020 年 4 月まで診療）
 午前 9：00～12：00

休診日

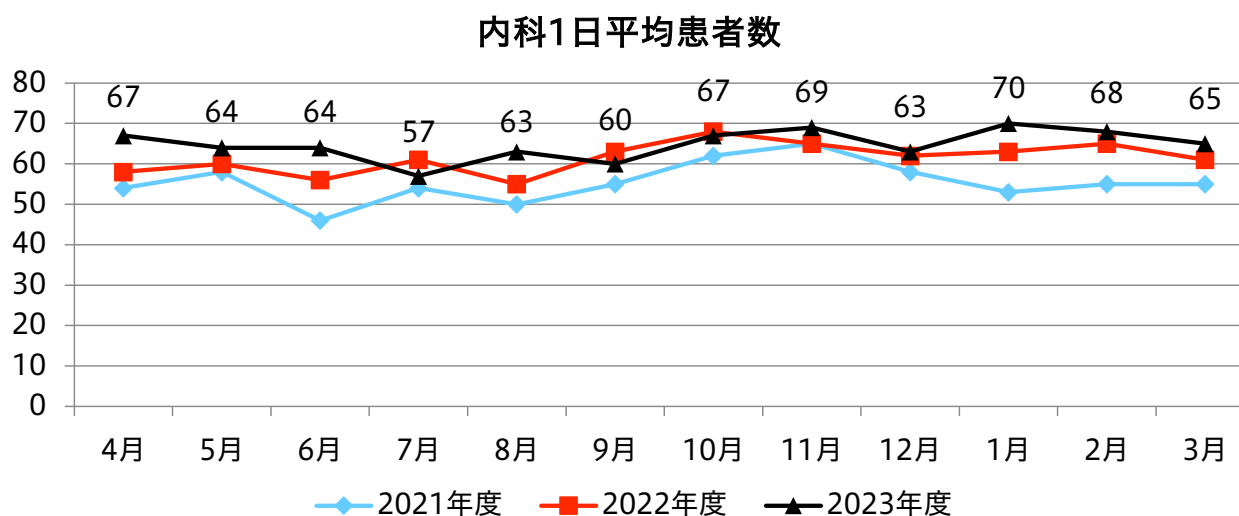
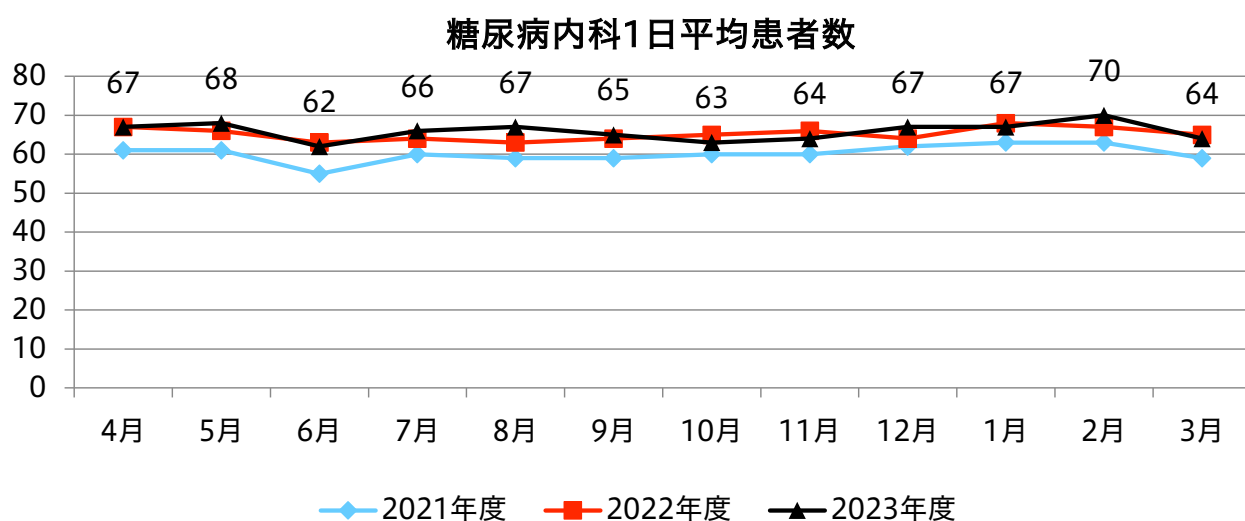
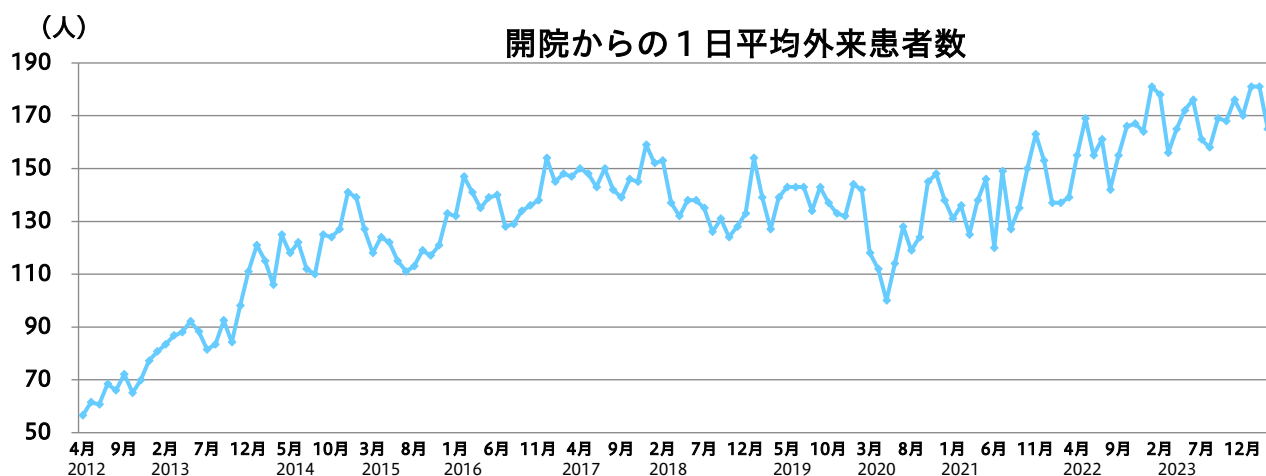
糖尿病内科/ 水曜日午後・土曜日・日曜日・祝祭日

内科 / 土曜日・日曜日・祝祭日

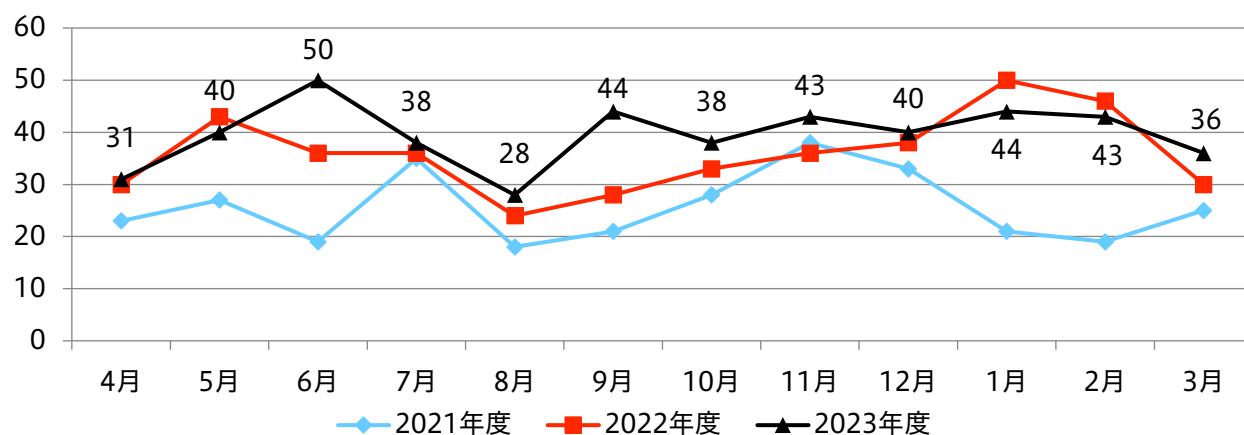
小児科 / 土曜日・日曜日・祝祭日（月曜・水曜・金曜午後は予防接種のみ※）

※金曜午後の予防接種は 2024 年 3 月より

患者統計

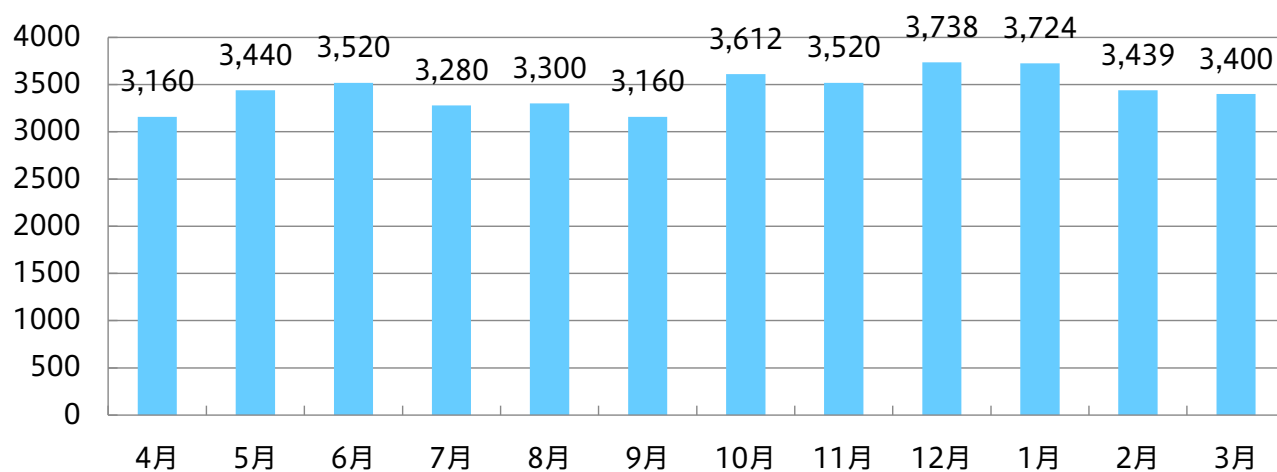


小児科1日平均患者数



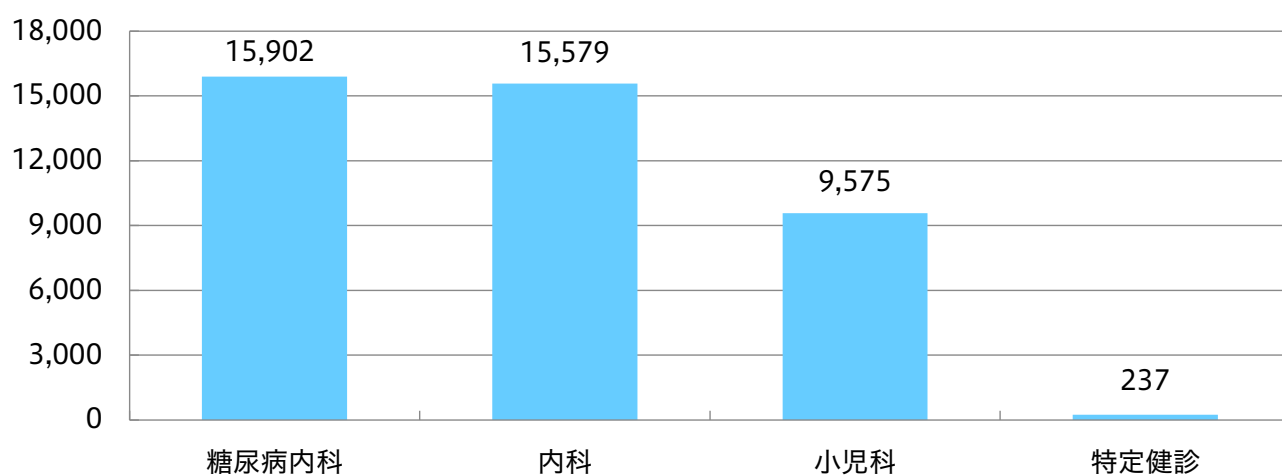
(人)

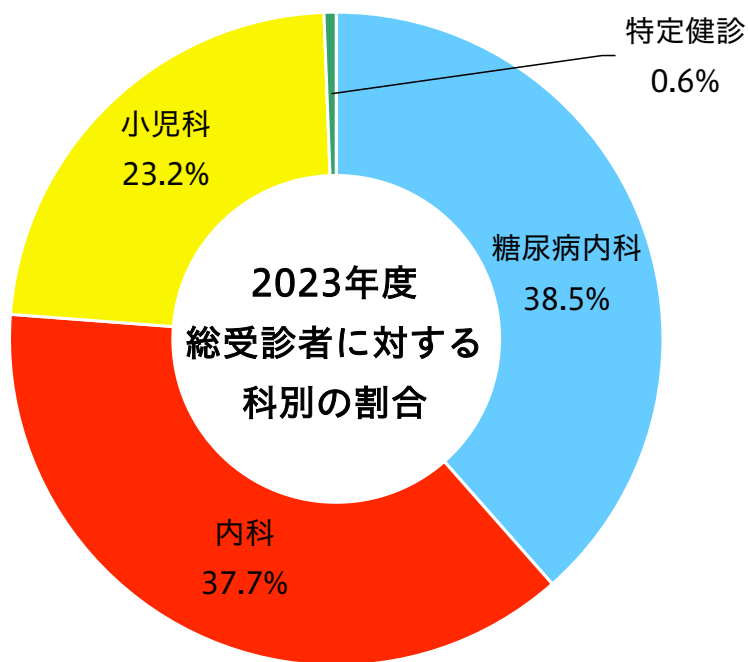
2023年度 ハートライフクリニック月別外来受診者数



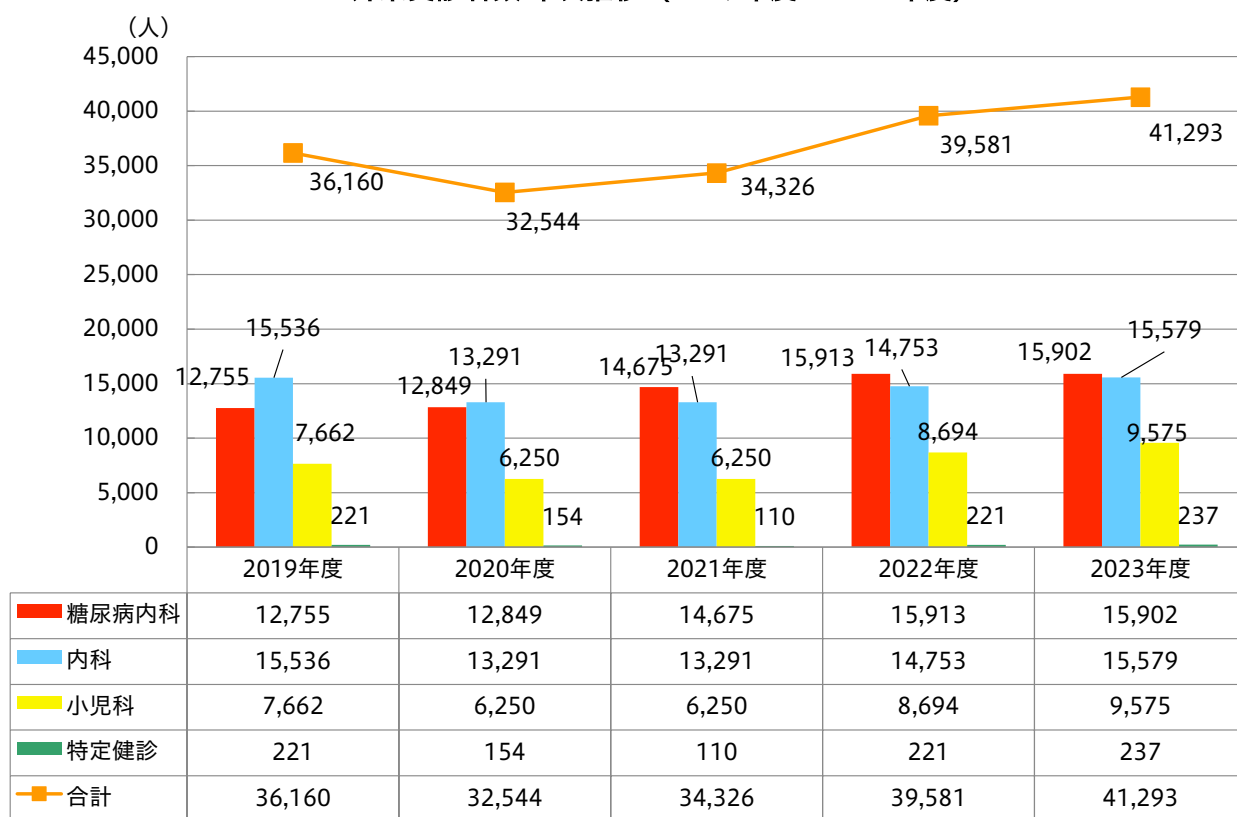
(人)

2023年度 科別受診者数

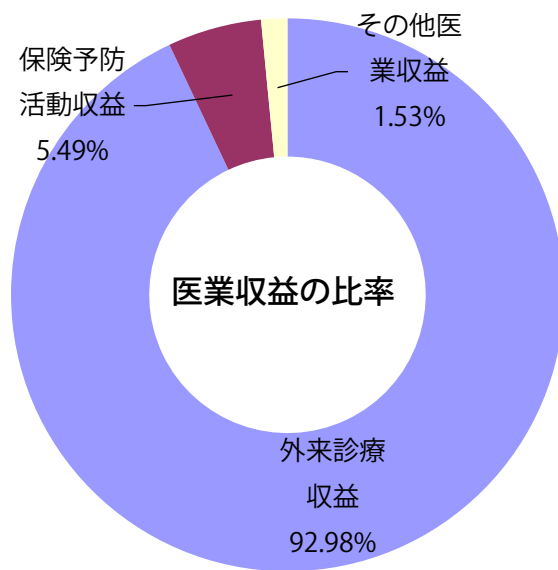




外来受診者数 年次推移 (2019年度～2023年度)



ハートライフクリニック財務情報



ハートライフクリニック 部門別業務実績

糖尿病内科

糖尿病内科副部長 小原 正也

部門紹介

ハートライフクリニック糖尿病内科では、糖尿病患者様の健康と生活の質を向上させるため、幅広い医療サービスを提供しています。最新の医療技術を導入し、血糖測定も最先端の方法で患者様の状態に合わせた治療を行い、実施しています。

具体的な治療として 1 型糖尿病患者様向けに、血糖値に応じて自動でインスリン設定を調整する自動学習 AI 機能を搭載したミニメド 780G システムを導入しています。さらに、テルモ社のメディセーフウィズスマートというパッチ式インスリンポンプも利用可能です。2024 年 4 月 1 日から新薬 GLP1/GIP 受容体作動薬のマンジャロが長期処方できるようになり、6 月 4 日には全用量が使用可能になります。血糖測定には、Abbott 社のリブレ 2 やデクスコム G7 が新たに発売され、自動血糖測定のモニタリング機能が強化されました。これらにはアラート機能があり、無自覚低血糖の防止や測定忘れの防止に役立っています。また、2 型糖尿病を伴う慢性腎臓病の進行を抑制するケレンディアも長期処方が可能となりました。

療養指導は、糖尿病専門資格を持つ看護師、栄養士、理学療法士、健康運動指導士が担当し、患者様の健康管理を総合的に支援しています。患者会や交流会も積極的に開催し、情報交換や支援の場を提供しています。2024 年には、昨年反響のあった YouTube による情報発信を紙媒体でも行う予定です。また、糖尿病患者会「ハッピーハート会」や 1 型糖尿病患者の交流会「ポパイの会」も定期的に開催し、11 月 14 日の世界糖尿病デーには院内掲示やノベルティ配布を行い、啓発活動に取り組んでいます。

さらに、当院の理学療法士が運営する疾病予防運動施設 Ryuew-ZA では、医師の運動処方箋のもと、糖尿病患者様に本格的な運動プログラムを提供しています。そして管理栄養士がプロデュースする Healthy cafe ohana では健康的な食事を提供し、患者様の健康維持に貢献しています。

職員数

総数 24 名

医師 7 名（常勤 2 名、非常勤 5 名）

メディカルクラーク 6 名

看護師 7 名

クラーク 2 名

管理栄養士 2 名

認定・資格

名称	人数
日本糖尿病療養指導士	6

名称	人数
沖縄県地域糖尿病療養指導士	2

患者教育活動

ハッピーハート会

1. ハッピーハート会ではハートライフクリニック糖尿病内科に通院されている患者様同志の交流を深めると共に糖尿病の知識を高めあう目的として定期的にイベントを開催しています。2023年は3回イベントを行いました。
2. 月刊誌『さかえ』を配布してます。さかえには糖尿病に関する情報が記載されてます。

名称	日時	参加人数
第1回 体験談を語ろう!聞いてみよう!	2023年11月11日	17名
第2回 お持ち帰り運動療法・姿勢・バランス	2024年1月27日	31名
第3回 オリジナル巻き寿司を作ろう	2024年2月17日	21名



イベントの様子



月刊誌さかえ

糖尿病月間

11 月 14 日は「世界糖尿病デー」です。

ハートライフクリニックでは毎年、インスリンの発見者フレデリック・バンディング博士の誕生日に制定された 11 月 14 日の「世界糖尿病デー」と関連させてイベントを行っています。今年度は「通院とセルフケアの二刀流 続けるあなたに賞タイム」を標語に掲げ、11 月 1 日～30 日の期間を「糖尿病月間」とし、来院者や地域の方々に向けて糖尿病に関する啓蒙活動を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮しつつ、展示やクイズラリーなどを行い、来院者へシックデイ対応に関する情報の入った QR コード付き糖尿病連携手帳の配布、院内通路に糖尿病豆知識パネルを設置しました。

通院とセルフケアの二刀流、
続けるあなたに賞タイム

糖尿病に関するクイズに挑戦！！
クイズラリー♪



シックデイ QR コード付き連携手帳カバー



間食の
マル秘情報
教えます！



糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んだり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。コロナウイルス感染症の影響に伴い 2023 年度は毎月第二水曜日に YouTube 配信、また YouTube の QR コードを作成しチラシ配布・案内、情報ボードでも配信を行いました。

開催月	テーマ	担当者	配信時間
4 月	「糖尿病」って何？	医師（小原）	11:55
5 月	すぐにわかるカリウム～摂取してほしい人・制限してほしい人 あなたはどっち？～	管理栄養士（棚原）	12:15
6 月	あなたの足、いつみですか…！？今でしょ！！	看護師（玉那覇 / 島袋 / 屋我）	8:30
7 月	2型糖尿病の新しい薬について	ハートライフ病院 薬剤師（玉城 / 平良）	7:30
8 月	どうする”誘惑” カメラカメラ対策	医師（山本）	10:35
9 月	ウォーキングの極意	リューザ	11:48
10 月	糖尿病検査の”あれこれ”～合併症を防ぐために～「神経障害」編	検査室（大城）	11:07
11 月	メトホルミンの温故知新	医師（小原）	16:00
12 月	体調不良？！あなたはどうか対応する？？	看護師（松堂 / 久高 / 高江洲 / 嘉手苅）	5:04
1 月	すぐにわかる塩分の減らし方	管理栄養士（新垣）	8:14
2 月	治療を続けるコツ	医師（山本）	11:36
3 月	疲れをためない極意～楽々ストレッチで全身ほぐし～	リューザ	13:09

YouTube 配信の作成の様子



待合室にて外来教室の YouTube 動画配信



待合室にて外来教室の YouTube 動画配信



スマホでの視聴可能



糖尿病教室
ホームページ

内科

内科 上地 華代子

部門紹介

内科では、高血圧や脂質異常症などの生活習慣病の治療、喘息、COPD 等の呼吸器疾患、特定健診、予防接種業務他、健診からの紹介患者の 2 次精査および様々な症状の初診患者を多く受け入れ、診療しております。

循環器内科医・呼吸器内科医は常勤しており咳や胸痛、呼吸苦等対応可能です。消化器症状には腹部エコー他、本院と連携し内視鏡検査も積極的に行っております。

2023 年度より週 1 木曜日は消化器 Dr. の診療応援を頂き、診療充実を図っております。

禁煙外来ではチャンピックスの供給停止の為、ニコチネルパッチにておこなっております。前年度と比較し、禁煙外来受診者と 5 回通院した患者数は増えております。内科スタッフのサポート体制を強化しており、5 回完遂された方は 85% の高い禁煙成功率を収める事が出来ました。

職員数

総数 9 名

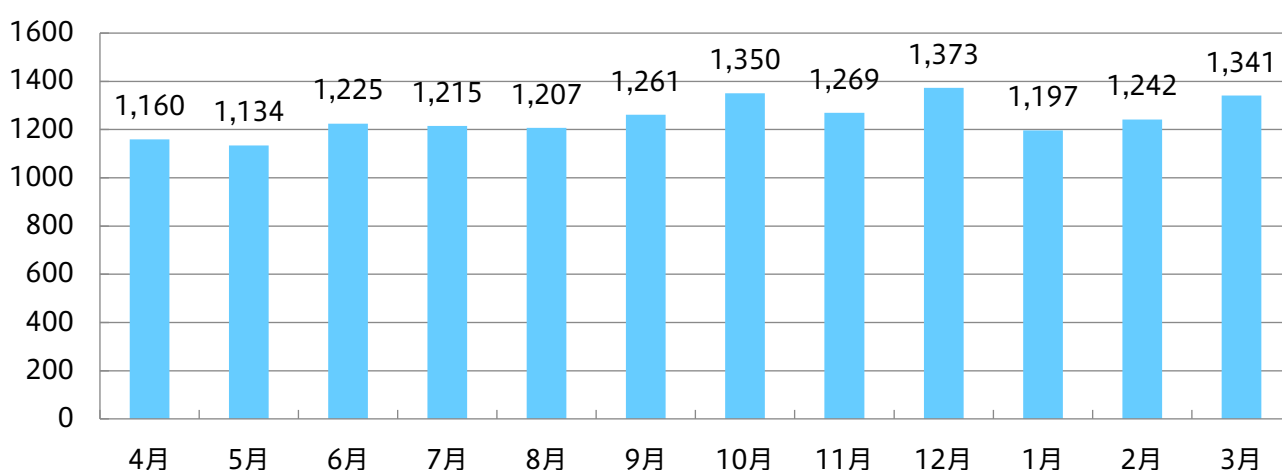
医師 3 名（常勤 2 名 非常勤 1 名）

クラーク 2 名

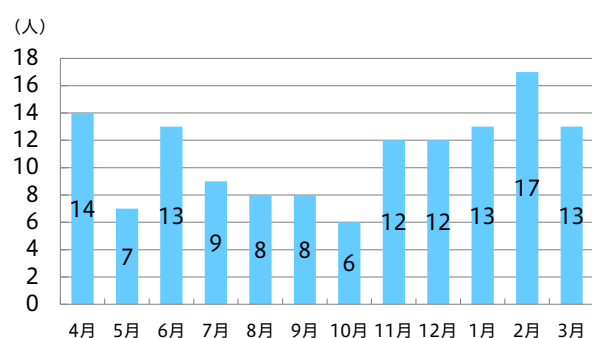
看護師 4 名

業務実績

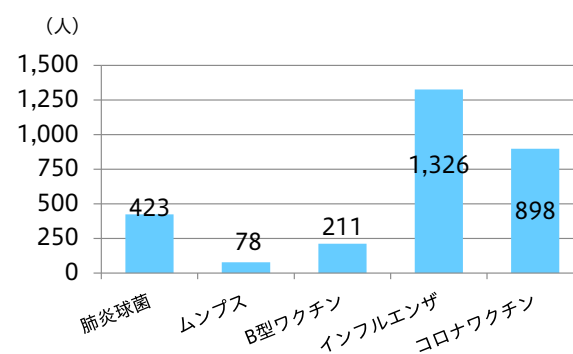
(人) 内科 月別外来受診者数



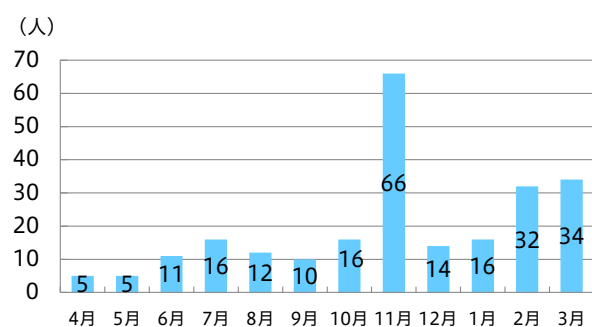
禁煙外来受診者数



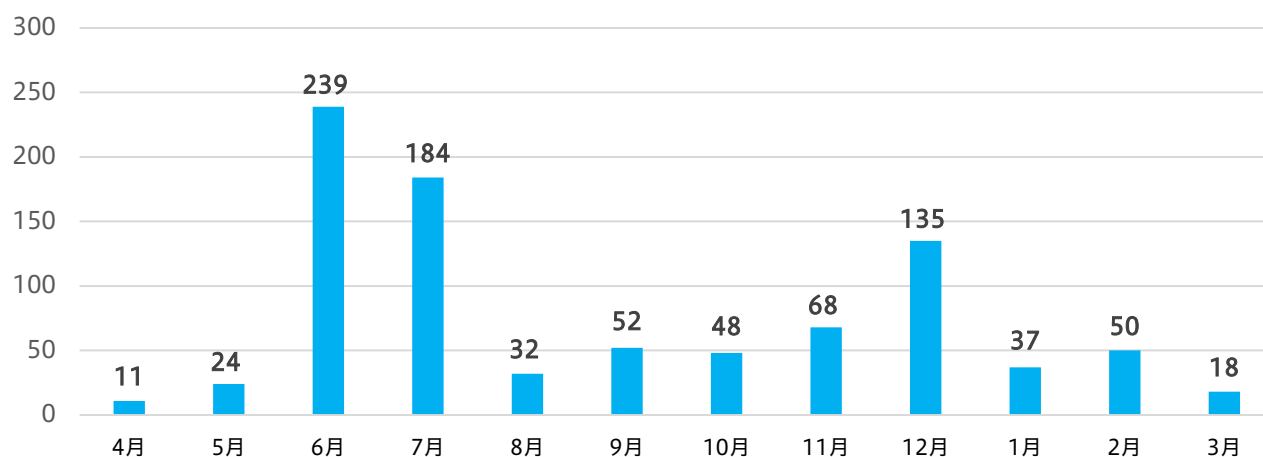
予防接種・ワクチン接種実施数



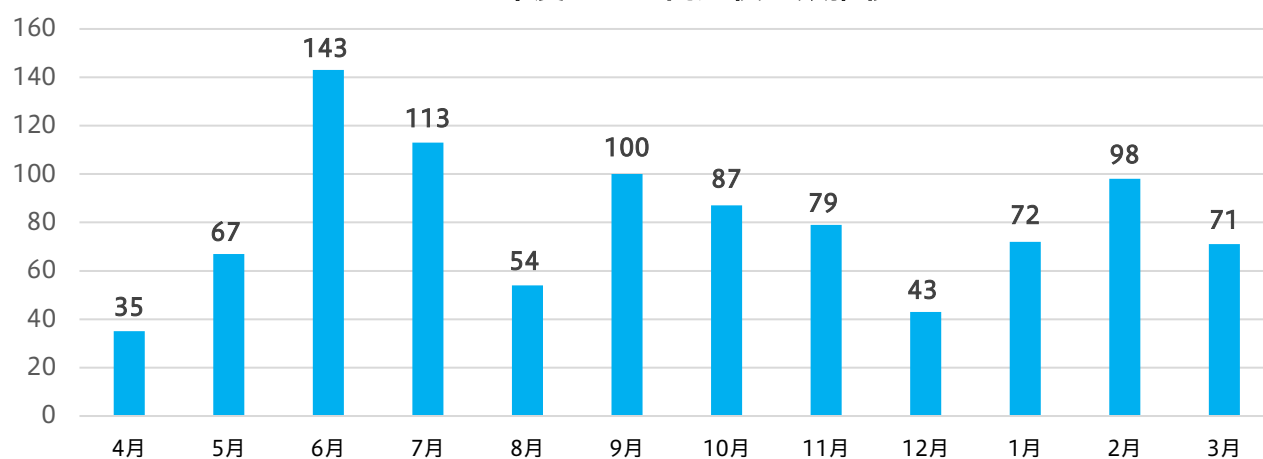
特定健診受診者数



2023年度コロナワクチン接種件数推移



2023年度コロナ関連検査数推移



禁煙外来実績

本管理料を算定した患者数 (期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月)	① 32 名
①のうち、当該期間後の 7 月末日までに 12 週間にわたる計 5 回の禁煙治療を終了した者	② 24 名
②のうち、禁煙に成功した者	③ 21 名
5 回の指導を最後まで行わずに治療を中止した者 (①－②) のうち、中止時に禁煙していた者	④ 8 名
ニコチン依存症管理料の初回の治療の年間の算定回数 (前年 4 月 1 日から当年 3 月末日までの 1 年間)	⑤ 32 名
ニコチン依存症管理料の年間の延べ算定回数 (前年 4 月 1 日から当年 3 月末日までの 1 年間における初回から 5 回目までの治療を含む)	⑥ 148 回
喫煙を止めたものの割合 = $(③ + ④) / ①$	90.6%
治療の平均継続回数 = $⑥ / ⑤$	4.6 回

小児科

小児科 川満 豊

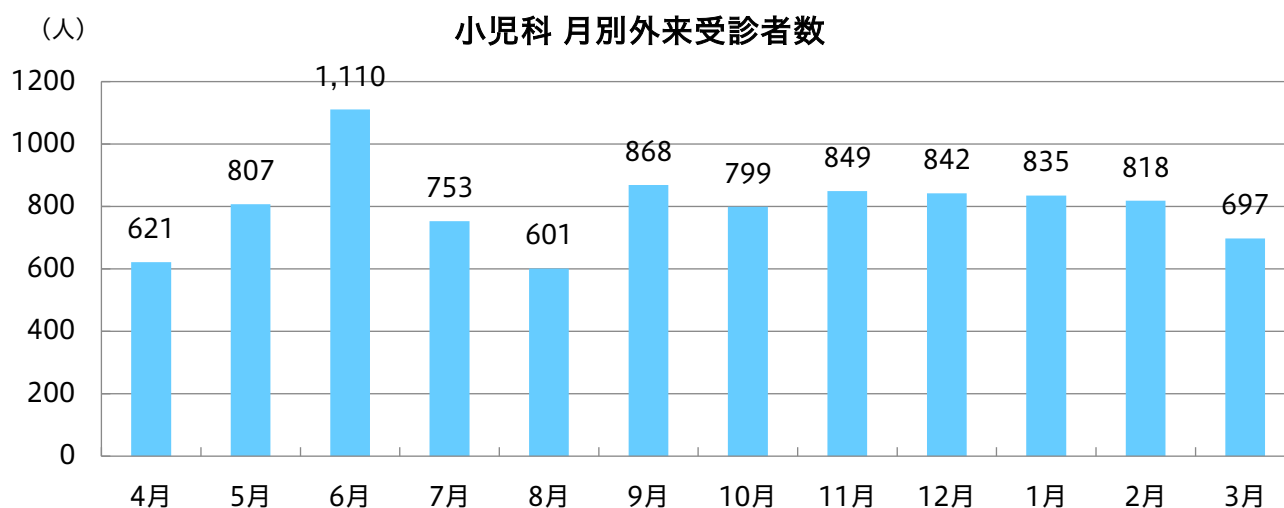
部門紹介

小児科では小児一般外来を行っております。ハートライフクリニックの医師と主に琉球大学附属病院小児科医局から派遣していただいている非常勤医師で診療にあたっています。月、水、金曜日の午後、予防接種も行っております。

当クリニックの小児科内は、プレイルームを広めにとっており、お子さんが安心して怖がらずに来院できるように工夫しています。

対応が困難な検査や入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

業務実績



附属施設

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA 長嶺 敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザには理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

2023 年度はコロナウイルス感染予防対策を講じながら、リニューアルオープンを致しました。また、当クリニック糖尿病内科患者への体組成測定の実施と運動指導、運動・健康情報誌「リューザニュース」、糖尿病外来「オンライン講座」、かりゆし会広報誌「あすなろ」への掲載など運動療法の啓蒙活動を積極的に行いました。

職員数

総数 3 名

理学療法士 1 名

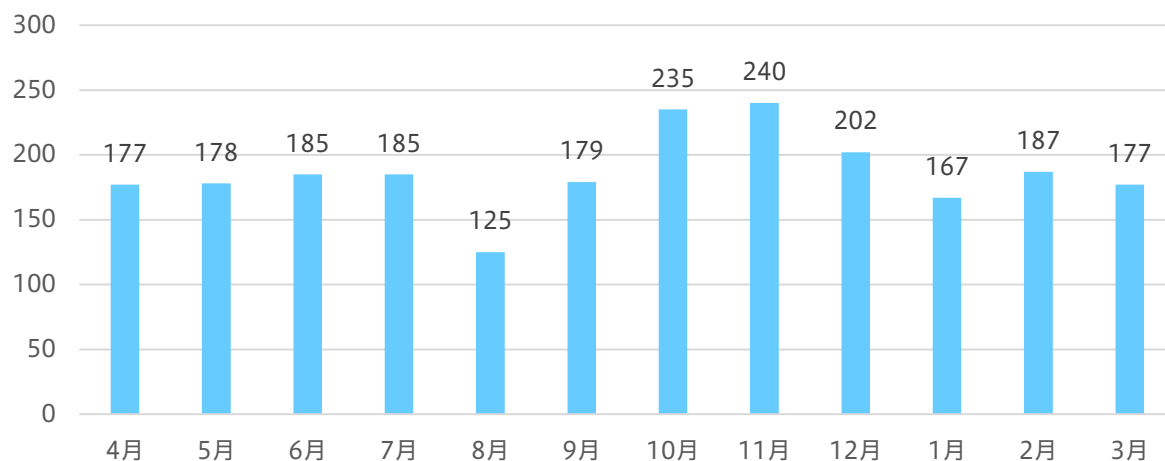
健康運動指導士 2 名

資格・認定

- ・ 理学療法士
- ・ 日本糖尿病療養指導士
- ・ 沖縄県地域糖尿病療養指導士
- ・ 健康運動指導士

業務実績

施設利用者数



活動実績

学会発表

学会名	演題	開催地	発表年月日	発表者と研究者
第 61 回日本糖尿病九州地方会	安全、簡単、継続できる高齢者の運動療法～フレイルに至る前に～	熊本	2023 年 12 月 1 日 (土)	長嶺 敦司

講義

テーマ	開催地	年月日	講師
糖尿病の運動療法	医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院 (与那原町)	2023 年 12 月 15 日 (水)	長嶺 敦司
糖尿病の運動療法	医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院 (与那原町)	2023 年 12 月 22 日 (水)	長嶺 敦司

無料健康講座

名称	開催地	年月日	講師
健康寿命を 10 年伸ばそう!	オンライン	2023 年 4 月 24 日 (月)	長嶺 敦司
膝痛予防について	オンライン	2023 年 8 月 9 日 (水)	長嶺 敦司
ヘアゴムエクササイズで転倒予防!	オンライン	2023 年 8 月 14 日 (月)	長嶺 敦司
健康寿命を 10 年伸ばそう!	西原町上原自治会	2023 年 9 月 26 日 (火)	長嶺 敦司
健康寿命を 10 年伸ばそう!	西原町呉屋自治会	2023 年 9 月 28 日 (木)	長嶺 敦司
転倒骨折を予防するためには	中城村新垣自治会	2023 年 11 月 2 日 (木)	長嶺 敦司

情報誌関連 (QR コードよりコンテンツを閲覧できます)

リニューズ

テーマ	発行月	担当
「腎活」	2023 年 6 月	長嶺 敦司
「脳活」	2023 年 8 月	長嶺 敦司
「便秘と運動」	2023 年 10 月	高原 早陽香
「タンパク質たりている?」	2023 年 12 月	伊野波 盛邦
「姿勢について」	2024 年 2 月	高原早 陽香



広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
「かちもない」	2023 年春号	長嶺敦司
「腎活」	2023 年夏号	長嶺敦司
「脳活」	2023 年秋号	長嶺敦司
「ホル活」	2024 年新春号	長嶺敦司



オンライン糖尿病教室

テーマ	発行月	担当
ウォーキングの極意	2023 年 9 月	長嶺敦司、高原早陽香、伊野波盛邦
疲れをためない極意	2023 年 3 月	長嶺敦司、高原早陽香、伊野波盛邦



患者会イベント活動

テーマ	発行月	担当
姿勢・バランス・筋力	2024 年 1 月 27 日 (土)	長嶺敦司、高原早陽香、伊野波盛邦

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 管理栄養士 新垣 優子

部門紹介

クリニック内に健康管理のサポートを目的とした管理栄養士が運営するヘルシーカフェ オハナが併設されています。利用者層は、主に外来受診患者さんとそのご家族、職員になっています。カフェでは、ヘルシーランチや日替わりバランス弁当などを提供しています。

沖縄の文化的特徴として肉料理や揚げ物が振る舞われる行事が多く、糖質、脂質、塩分の過剰摂取が繰り返されます。そこで、カフェでは揚げ物や脂質、塩分を抑えた料理を提供することで食習慣の改善を促しています。

2023 年度はテイクアウトのみの営業を行っており、ランチ弁当、サンドウィッチやお握りなど手軽に食べられる商品を販売しています。また、本院栄養科調理スタッフの欠員のため、9 月までの期間にカフェ オハナから調理師スタッフの派遣を行いました。

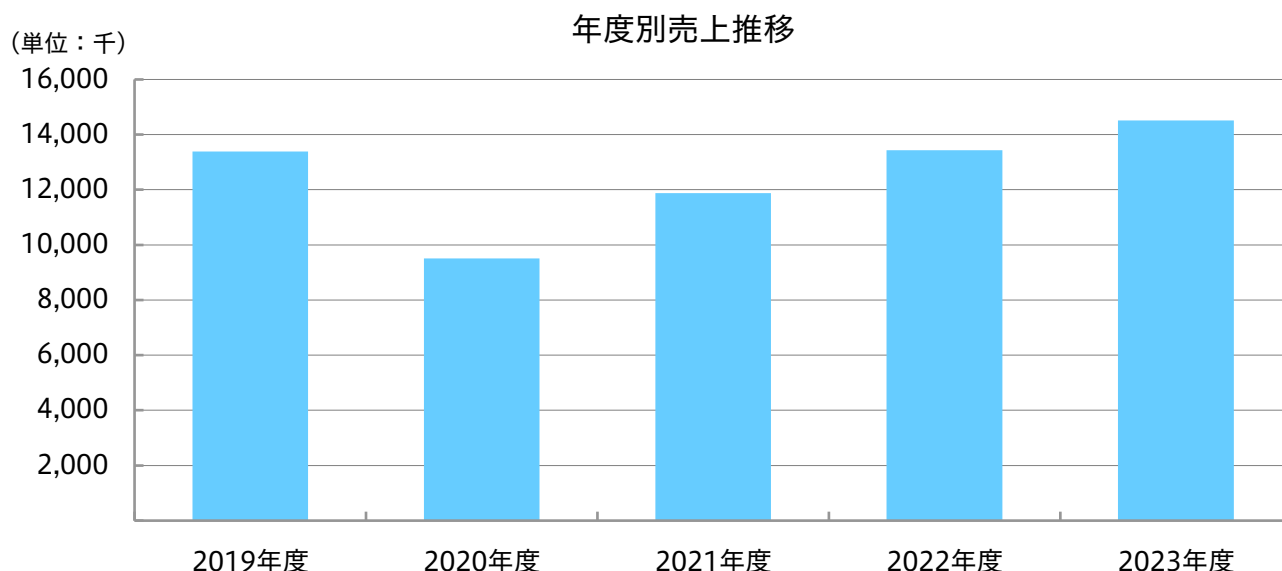
次年度は、調理に伴う商品の価格高騰により、メニューの価格改定を行う予定です。

今後も、食生活が気になる職員の食事サポートを続けて行きたいと思います。

職員数

総数 3 名

調理補助 3 名



ハートライフ地域包括ケアセンター 2023年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2023



理念

わたしたちは、心と心をつなぐ信頼される医療と介護をめざします

運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3. 利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさと温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。

年報発刊によせての挨拶



1. はじめに

当ケアセンターは、2015年7月の開所から9年目を迎えることができました。これもひとえに入居者様やそのご家族様、そして関係する皆様のおかげと感謝申し上げます。

コロナ禍を機に医療・介護業界は更なる人手不足が深刻化しています。物価高騰による生活苦も加わる事での他業種への流出もその要因と言えます。医療・介護業界の人手不足は喫緊の重要課題であり、2024年度は政府主導処遇改善や介護報酬対策にも期待したいところです。

2023年5月8日よりコロナは第5類に引き下げられましたが、その後も感染は衰えることはなく、上半期は当センターでもクラスター（集団感染）が発生し、その対応に追われました。8月には台風6号による被害で一部の空調設備が故障し、復旧までに約1ヶ月を要しました。その間はコロナ対策に加えて暑さ対策、脱水等への対策も必要となるなど、入居者様の体調管理には細心の注意を払いました。加えて同時期に介護職員4名の病休者が発生しました。その中には6ヶ月後に43歳の若さで他界された職員がいます。そのことは今年度で一番の辛い出来事で、当時は職員の心も沈みがちになっていました。そのような状況下ではありましたが、入居者様のQOL向上に向けて日曜デイサービス開始に向けての準備を進めました。準備に向けた各種調整や介護職員の不安等を考慮した結果、計画より半年遅れの実施となりましたが、何とか無事に日曜デイサービスを開始することができました。関係各位の皆様のご理解とご協力のおかげと心から感謝致しております。

2023年度の平均入居者数は95名を維持していますが、経営的には97名～98名の入居者数の維持が必要です。そのためには健康管理や感染症対策は必須となりますが、高齢者を対象とした事業ではなかなか高いハードルでした。

2024年度介護報酬改定はマイナス改定、人件費増等もありかなり厳しい経営状況となります。出きる事を「ちりつも」で積み上げ、ケアプランの微調整等を行いながら僅かでも収入増へ繋げいく、そして節電や時間外勤務対策の為の業務改善等無駄の排除を行っていく所存でございます。

訪問看護ステーションは複数の産育休者の復職に伴い、外部利用者増に向けて取り組みましたが目標達成には至っておりません。目標件数を達成し、安定した経営とするためには、やはり要介護の方のみならず、精神疾患の方や小児の利用者の増加、サービス提供エリアの拡大も視野に入れる必要があります。現在、訪問看護事業は利用者獲得の争奪戦が行われています。利用者様から必要とされる訪問看護ステーションであるためには「良質なサービスの提供と良質な人財の確保・育成」が求められます。また当訪問看護ステーションでは「ハートライフ」の知名度を生かし、その名に相応しいサービスの提供を心掛け集客に努めています。お陰様で利用者様や近隣の居宅事業所から「ハートライフさんで良かった等」お褒めの言

葉を頂く事も多くなってきました。

ケアプランセンターに関しては、慢性的な人員不足が持続しており介護支援専門員一名当たりの利用者が多くなりがちですが、カンファレンスやミーティングを密にする等、チームとしての連携を強化し、各人のモチベーション維持に努力しています。

2023 年度、当ケアセンターの事業は計画通りにはいかず、目標達成には至っておりません。しかし、今年度も色々と苦難がある中、全職員が本当に頑張ってくれました。心から感謝致します。ご協力下さった理事長はじめ理事の先生方、本院感染対策室、ハートライフ病院、ハートライフクリニックはじめ法人職員の皆様には心から感謝致します。

2. 2023 年度の目標と振り返り

A. 居住環境

①安全・安心な生活空間の提供

→クラスター防止対策として、感染対策の徹底と、入居者様及び職員の健康管理を徹底した。

②サービスの質向上

→入居者様敬老会や餅つき大会・ムーチャー作りイベント実施。

→12 月 9 日感染対策用パネルの撤去 フロアへの雰囲気ガラッと変わり明るくなった。

B. 職員が働きやすい職場環境

①離職率 20%以下の継続

→若手介護職確保ができた。

②ケアセンター全体（有料老人ホーム、デイサービス）の介護職員の確保

→ケアマネジャー 2 名欠員・看護師欠員長期病休者 1 名・産育休者 1 名

C. 安定経営とサービスの質確保のための利用者増（2023 年 1 月時点平均値）

①住宅型有料老人ホーム：月平均入居者数 97 名以上の維持

→（実績 95.1 名達成ならず）

②デイサービス：1 日平均利用者数 59 名以上の達成

→（実績 57.9 名日曜デイ含まず）

③訪問看護ステーション：1 ヶ月の延べ件数 750 件以上の達成（RH 含む）

→実績 878 件 うち外部利用者：23 件（終了者含む） 看取り 2 件

④ケアプランセンター：96 名 / 月ケアマネジャー 1 人あたり 30 人の達成（管理者は 15 名）

→（人員不足により 30 名以上を担当しており昨年同様）

3. 2024 年度への展望

2020 年から始まったコロナ禍も 2023 年 5 月に国の感染症分類が 2 類から第 5 類へ移行し、弱毒化もあって下半期は職員の罹患はなく、また入居者様も 1 名の罹患でした。今後は「日常を取り戻す」を目標に、市中の感染状況を踏まえご面会や外出等の制限緩和やご家族様の施設入館へ向け取り組んでいくと共に、入居者様とご家族様の満足度向上に向け職員一同頑張っていく所存でございます。

2024 年度の収入計画は昨年に続き 2 回目の料金値上げ、4 月新規入居者様から新料金改定を実施します。料金改定は入居者様やご家族様への負担増となり、入居者数 97 名～98 名の維持へのリスクともな

りますが、近年の物価高などの背景から苦渋の選択を致しました。

次年度、訪問看護の利用者増も高い目標を掲げておりますが、本院とクリニックとの連携・看護師 24 時間配置の強みを生かし、集客の為に営業や広報活動を積極的に行っていく所存です。

次年度から特に契約職員などを対象に実施される時給アップは、当ケアセンターにとってはかなり厳しいものですが、職員の生活を守るという観点からは喜ばしいことであり、法人としての判断には非常に感謝しております。「人財・人は宝」です。人がいなければ良いサービスの提供も何もできません。昨年、「高齢者施設経営の明暗を分けるのは介護職の確保と処遇の改善が鍵になると言われています」というお話をさせて頂きました。給与の底上げは人員確保と定着に大きな期待ができると同時に職員のモチベーション UP にもつながります。それに伴い、今年度も法人からの援助が必要な状況であり申し訳ない気持ちでありますが、現状に深く感謝し僅かでも収入増に繋げていく努力を惜まず職員一同頑張っていきます。何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年問題も来年となりました。経営的課題は山積ですが当ケアセンターの目標は法人の高齢者施設としての存続と考えています。その為にも職員の定着・安定こそが良質なサービス提供の源だと考えております。今後も入居者様・ご家族様に満足して頂ける高齢者施設を目指して努力して参りますので、当ケアセンターの運営に関しまして、関係各位の皆様のご理解とご協力、ご支援の程、宜しくお願い致します。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフ地域包括ケアセンター
センター長 宮平 典子

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、4 事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2. デイサービスはーとらいふ
3. 訪問看護ステーションはーとらいふ
4. ケアプランセンターはーとらいふ

所在地

〒 903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

連絡先

電話 (098)944-3300 (代表)

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/care/>

管理者一覧

理 事 長	安里 哲好
セ ン タ ー 長	宮平 典子
事 務 長	仲地 智俊

職員数

総数

68 名

内訳

センター長	1 名
事務長（法人事務局部長）	1 名
事務係長	1 名

●有料老人ホーム

介護職員	28 名（デイサービス兼務）
相談員	2 名（デイサービス相談員兼務）
環境整備	5 名

●デイサービス

介護職員	12 名
柔道整復師	1 名

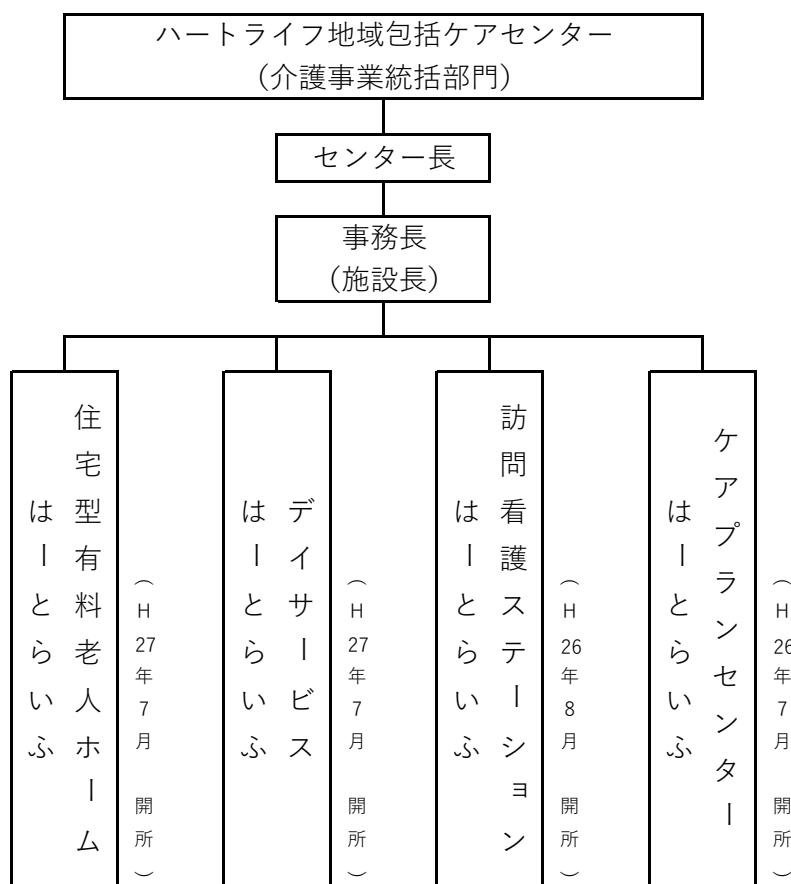
●訪問看護

看護師	14 名（デイサービス兼務）
理学療法士	2 名（デイサービス兼務）

●ケアプランセンター

ケアマネージャー	3 名
----------	-----

組織図



2023 年度 利用者実績

住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規入居者数	3	2	4	2	3	0	2	3	2	1	4	1	27	2.3
短期入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末入居者数	92	93	96	96	99	95	95	96	96	97	96	95	1,146	95.5
退去者数	2	1	1	2	0	5	1	2	2	1	4	4	25	2.1
内：死亡者数	2 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	2 (2)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	2 (2)	20(9)	1.7 (0.8)
看取者数	1	1	1	1	0	3	0	0	1	1	2	0	11	0.9
入院者数	3	7	10	11	7	15	9	7	11	12	8	16	116	9.7
訪問診療利用者数	22	20	22	23	24	22	22	22	15	17	26	24	259	21.6
平均介護度	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3

※死亡者数の () は入院先で亡くなった方。

デイサービス はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	2	3	3	2	0	2	3	2	1	2	1	24	2.0
利用実人数	91	93	95	96	97	97	93	96	96	95	97	93	1139	94.9
利用延べ人数	1473	1,574	1525	1525	1551	1,507	1,527	1,540	1,508	1,411	1,524	1,556	18,221	1518.4
稼働日数	25日	27日	26日	26日	26日	26日	26日	26日	26日	28日	29日	30日	-	27日
一日平均数	58.9	58.3	58.7	58.7	59.7	58.0	58.7	59.2	58.0	50.4	52.6	51.9	56.9	56.9
平均介護度	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3

訪問看護ステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	2	4	6	3	1	3	5	3	2	5	2	39	3.3
利用実人数	102	101	106	110	111	112	107	111	111	106	111	106	1,294	107.8
延べ人数	793	889	820	854	955	977	873	928	831	896	890	855	10,561	880.1
稼働実績	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	-	31日
一日平均数	26.4	28.7	27.3	27.5	30.8	32.6	28.2	30.9	26.8	28.9	30.7	27.6	28.9	28.9
平均介護度	3.1	3.1	3.1	3.0	2.9	3.0	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.1	3.1

ケアプランセンター はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	6	2	1	2	0	1	1	4	1	0	2	0	20	1.7
利用実人数	98	99	95	91	98	96	98	97	97	96	95	93	1,153	96.1

はーとらいふ保育園 2023年度 年次報告

Annual report of Heartlife Nursery 2023



理念

私たちは心と心を結ぶ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な
心身共にすこやかな成長を保育方針とします

保育目標

よくあそぶ子

好奇心豊かな子

表現豊かな子



年報発刊によせての挨拶



社会医療法人は一とらいふ保育園は、2017年に設立し、2024年4月で8年目を迎えます。

はとらいふ保育園をご利用くださった方や、現在ご利用いただいております方々、また当園に携わる各部署の方々のお力添えによるものであり、皆様のご協力とご理解に心より厚く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も5類へ移行となり、保護者との子育てに関する面談、要望にお応えし、新たに親子遠足などを開催する予定です。引き続き感染対策は十分に行い、安心して園生活を過ごせるようにいたします。

また、他園に通うお子さんの一時預かり（慰霊の日、年末、年度末など）も継続しておこない、昨年も当会で働く職員の方にご利用いただきました。微力ながらも貢献できればと思っております。『一時預かり保育』に関しましては、入職や復職をされる職員のお子さんを入園前の慣らし保育として、1～2ヶ月前より受け入れをする事で、保護者もお子さんも徐々に園生活に慣れ、生活リズムが整うよう配慮しました。令和6年度も他園に入園希望の当会職員のお子さんも『集団生活の体験入園』としてご利用される方のニーズに応えながら継続していく予定です。

また、令和4年度より中城村在住の方のみ『地域枠』を設けましたが、他の市町村の方からの問い合わせが多く、昨年度より拡大し西原町、宜野湾市、与那原町の方も受け入れております。

保護者の皆様に安心していただけるよう、お子さんの園生活の様子をブログに、園からのお知らせをホームページに掲載しております。当会の職員のみならず、地域の方々も閲覧できることで入園についての問い合わせも増えております。

開園以来、行っておりました『親子うんどう会』も新型コロナウイルス感染症により、令和2年からは園庭にて『ミニミニうんどう会』に変更して園児のみの参加とし、日頃の保育の中で実践しているお遊戯や体操、うんどう遊び、リズム遊びを元気いっぱい、泣かずに披露してくれました。幼い子どもたちにとって精一杯の表現です。幼いながらも、色々なものを見て感じて表現します。その思いに職員ひとりひとりが寄り添い、花や野菜を育てる体験などを通じて新たな感性を育て、園生活が充実できるよう努めてまいります。

社会医療法人かりゆし会は一とらいふ保育園 園長 金城 久乃

施設概要

当園は、社会医療法人かりゆし会の職員のお子さまを対象に、お預かりする保育園（企業主導型保育事業）です。育児中である当会職員が「仕事と育児の両立の充実」を提供できるように平成 29 年 4 月より設立しました。

また、地域のニーズや待機児童解消に応じ、令和 4 年度より中城村在住の方の地域枠を設け、令和 5 年度より宜野湾市、西原町、与那原町へと受け入れを拡大し、昨年度は 9 名の園児を受け入れました。（年度途中退園児含む）

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 はーとらいふ保育園

所在地

〒901-2417 沖縄県中頭郡中城村字伊集 159 番地

連絡先

電話 098-987-6543

FAX 098-987-6544

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

園 長 金 城 久 乃

職員数

総数 11 名

職種別

園長 1 名

保育補助・子育て支援員 2 名

保育士 7 名

事務（連携推進担当） 1 名

理念

私たちは心と心をつなぐ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な心身共にすこやかな成長を保育方針とします。

保育目標

- ・ よくあそぶ子
- ・ 好奇心豊かな子
- ・ 表現豊かな子
- ・

保育時間

7:15～18:15（平日のみ延長保育：18:15～19:15）

保育士配置基準

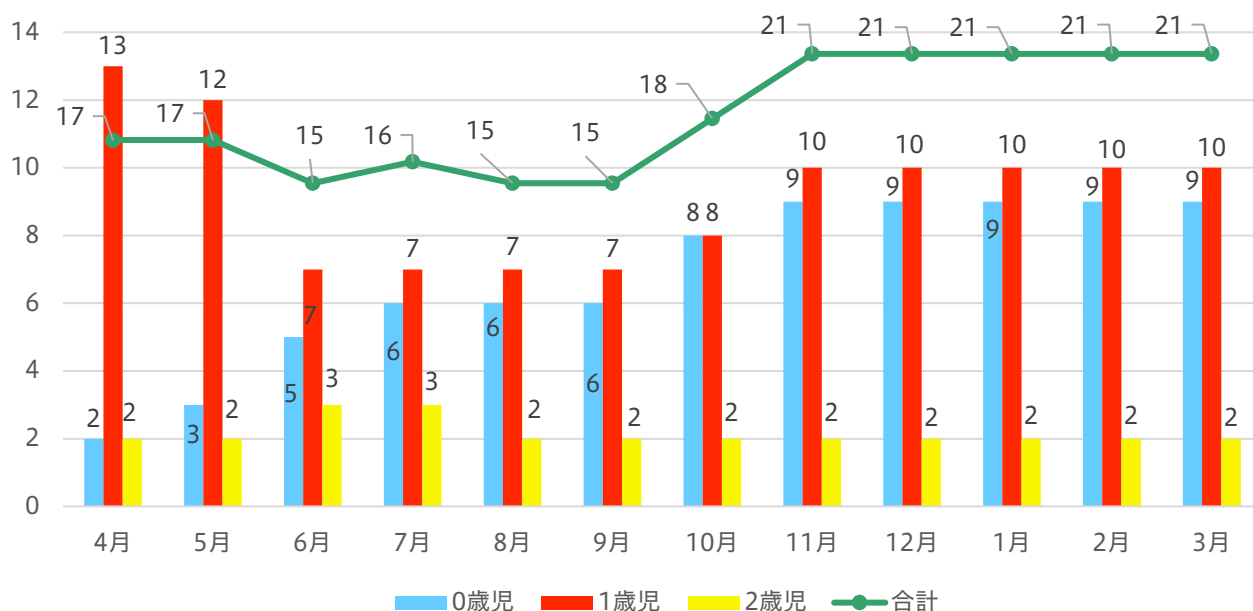
0歳児 9名
1歳児 13名
2歳児 8名

保育料金

0歳児 25,100円
1歳児 25,000円
2歳児 25,000円

令和4年度より地域枠（中城村、西原町、宜野湾市、与那原町）を設けました（1、2歳児）。

2023年度園児在籍数



園行事・活動

4 月	入園式 / 野菜の植え付け (オクラ・二十日ネギ・ラディッシュ)
5 月	内科健診
6 月	歯科健診 / 尿検査
7 月	七夕 / 水あそび
8 月	水あそび
9 月	うどんあそび
10 月	ハロウィンパーティー / 尿検査
11 月	内科健診 / 歯科健診 / ミニミニうどん会
12 月	クリスマス会 / 記念撮影 / 総合避難訓練
1 月	正月あそび
2 月	節分豆まき
3 月	ひな祭り / お芋ほり / 年度保育修了

毎月行事 誕生会 / 避難訓練 / 身体測定

研修・勉強会実施報告

名称	場所	日時	参加者
新入園児の情報共有・避難訓練について年計画の周知	当園	4 月	全職員
新入園児とアレルギー児の報告と食事の把握	当園	4 月	全職員
散歩コース、道路の歩き方の確認	当園	5 月	全職員
乳幼児の窒息・誤飲の予防について	当園	6 月	全職員
乳幼児の睡眠事故について SIDS や窒息事故を未然に防ぐ	当園	7 月	全職員
保育案園計画作成 保育安全計画の周知と職員の役割、連携	当園	8 月	全職員
食育アレルギー対応	オンライン	9 月	玉城奈々
保育安全研修	オンライン	10 月	知念彩子
認可外保育施設職員研修 沖縄県社会福祉協議会	那覇	10 月	伊波句子
施設長研修	オンライン	10 月	金城久乃
乳児保育	オンライン	10 月	知念彩子
マネジメント	オンライン	11 月	糸数しのぶ
AED 心肺蘇生法 講師：救急外来職員	当園	11 月	全職員
園外活動の危険ヶ所の把握	当園	11 月	全職員
児童虐待を未然に防ぐ 中城村子ども課	中城村	11 月	比嘉希美
保育スキル向上	オンライン	11 月	照屋尚美
子育て支援・保護者支援	オンライン	1 月	前田美恵
総合避難訓練を終えて	当園	1 月	全職員
次年度に向けて個人情報取り扱い再確認	当園	2 月	全職員
次年度に向けて入園児の面接結果報告	当園	3 月	全職員
要保護児童支援 中城村子ども課	中城村	3 月	金城久乃

2023 年度立入調査 / 監査実施報告

名称	日時
沖縄県子育て支援課立入調査	7 月
児童育成協会による立入調査 企業主導型保育事業	11 月

次年度への方針計画

- 対象年齢：0 歳児（生後 6 ヶ月）から 2 歳児（3 歳の誕生日を迎えた年度末まで）
産休育休明けの対象者が多くいる事や、3 歳児からの集団への学び、成長過程を踏まえた上での
未満児の保育の充実に努める

2. 保育料金

0歳児（25,100円） 1歳児（25,000円） 2歳児（25,000円） 地域枠（32,000円）

※一時預かり（給食込） 当会職員（1,000円/日） 地域枠（1,500円/日）行事費などの徴収分を保育料にまとめたものとする

3. 保育時間

開園：7時15分～18時15分 延長保育：（月～金）18時16分～19時15分

保護者の方の勤怠に応じての保育時間とする

4. 園児定員数

0歳児（9名） 1歳児（13名） 2歳児（8名）※1,2歳児は計21名で調整あり、進級園児の兼ね合いから、保育室基準に準ずる

5. 個人面談

6. 園庭整備 畑（食育）

2024年度の計画

1. 感染症対策を継続し、園内消毒に努める。
2. 安全環境の整備（保育室及びベランダ、園庭、固定遊具、水遊び等）
3. 園児絵本、エプロンシアターやペープサートの実施
4. 職員間の連携
5. 働きやすい職場の環境整備
6. 五感を使った畑の管理や食育の体験
7. 一時預かりの受け入れ（継続）希望により入職、復職の2か月前から実施
入職、復職前の一時預かり保育（慣らし保育）
集団生活前の体験保育
8. 敬老会参加 ケアセンター訪問
9. ミニミニうんどう会
10. 親子遠足
11. ハロウィンパーティー
12. クリスマスパティー・記念撮影

かりゆし会の1年

写真で振り返る かりゆし会の1年

2023年4月1日～2024年3月31日

2023年4月1日

入職式・新入職員オリエンテーション

看護師特定行為研修センター開所

春季職員健診

2023年5月22日

合同慰霊祭

2023年5月24日

長期療養者支援事業協定締結式

2023年5月26日

職員対象 新型コロナワクチン接種(6回目)

2023年6月2日

職員対象 新型コロナワクチン接種(6回目)

2023年7月10日

院内献血

2023年8月14日

科別実績報告会(オンデマンド配信)

2023年8月22日

ハートライフ病院 開院35周年

2023年9月4日

永年勤続表彰

2023年9月9日

第2回おきなわ子どもメディカルラリー(イオンモール沖縄ライカム)

2023年9月13日

職員B型肝炎予防接種(集団①)

2023年10月3日

秋季職員健診

2023年10月11日

職員B型肝炎予防接種(集団②)

2023年10月20日

保健所立入検査

2023年10月27日

火災避難訓練

2023年11月6日

患者満足度調査

2023年11月10日

職員対象 新型コロナワクチン接種(7回目)

2023年11月17日

職員対象 新型コロナワクチン接種(7回目)

2023年11月22日

職員インフルエンザワクチン接種(集団①)

2023年11月24日

大規模災害対応訓練

2023年11月29日

職員インフルエンザワクチン接種(集団②)

2023年12月1日

第3回かりゆし会研究発表会(本選)

2023年12月12日

院内献血

2024年1月10日

新春もちつき大会

2024年2月28日

職員B型肝炎予防接種(集団③)

2024年3月22日

初期臨床研修医研修修了式



2022年度入職式



新人看護師BLS研修



東部消防本部との合同訓練



多数傷病者事案 消防合同訓練1日目



多数傷病者事案 消防合同訓練2日目



献血運動推進協力者表彰



火災避難訓練



院内研究発表会



おきなわ子どもメディカルラリー



臨床研修医第18期研修修了式

2023 年 社会医療法人かりゆし会 永年勤続者

勤続 30 年（1993 年 1 月 1 日～12 月 31 日入職者）

1. 大城 盛寛	ハートライフ病院 放射線科
2. 石原 悟	ハートライフ病院 放射線科
3. 斎藤 辰好	ハートライフ病院 臨床検査科
4. 與座 一	ハートライフクリニック 内科
5. 中村 弘之	ハートライフクリニック 放射線科

勤続 20 年（2003 年 1 月 1 日～12 月 31 日入職者）

1. 與那嶺 史子	ハートライフ病院 東館 HCU
2. 下地 久美子	ハートライフ病院 入退院支援室
3. 富里 由美子	ハートライフ病院 東館 4・5 階病棟
4. 田下 茜	ハートライフ病院 透析室
5. 大工 夏希	ハートライフ病院 透析室
6. 屋宜 鮎美	ハートライフ病院 入退院支援室
7. 東恩納 小百合	ハートライフ病院 OR/CS
8. 富里 康太	ハートライフ病院 東館 ICU
9. 高宮 江利子	ハートライフ病院 予防医学センター
10. 堀江 恭子	ハートライフ病院 透析室
11. 栄野比 智也	ハートライフ病院 リハビリテーション科
12. 富永 涼子	ハートライフ病院 リハビリテーション科
13. 田中 健嗣	ハートライフ病院 薬局
14. 伊佐 智恵美	ハートライフ病院 予防医学センター
15. 高良 誠	ハートライフ病院 放射線科

編集後記

2023 年度はコロナの 4 年目を迎えました。5 月には 5 類感染症に移行され 2020 年から続いていた大きな波はなりを潜めていましたが、小さなうねりは持続していました。各部署で対応していただきながら 1 年を乗り切ることができました。

このたび、2023 年度の年報が作成されました。2023 年度もありがとうございました。職員の皆様に感謝申し上げると共に、ご健康を願ひまして編集後記と致します。年報作成に携わったスタッフの皆様にも感謝申し上げます。有難うございました。

年報作成委員会委員長 嘉川 春生

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	嘉川 春生（泌尿器科部長）
委員	安谷屋 佳子（看護部部長）
	田中 泉（副薬局長）
	石新 紘也（ハートライフ地域包括ケアセンター係長）
	知念 政治（企画室広報係係長）
	新垣 優子（ヘルシーカフェ ohana 主任）
	金城 美加（メディカルクラーク副主任）
	田河 美智代（診療情報管理室副主任）
	内間 善一（総務課）
	宮城 映子（総務課図書係）
企画調整・編集	仲田 尚正（企画室広報係主任）

社会医療法人かりゆし会 年報
第 30 巻 2023 年度年報 2024 年 11 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <https://www.heartlife.or.jp/>